

# ACCESS MAP

## 交通のご案内

### ■ 舞岡キャンパス(木原生物学研究所)



- 理学部
- 生命ナノシステム科学研究科  
[生命環境システム科学専攻]
- 木原生物学研究所

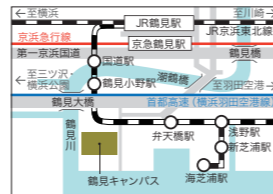


〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町641-12  
TEL.045-820-1900  
●市営地下鉄「舞岡駅」下車徒歩10分

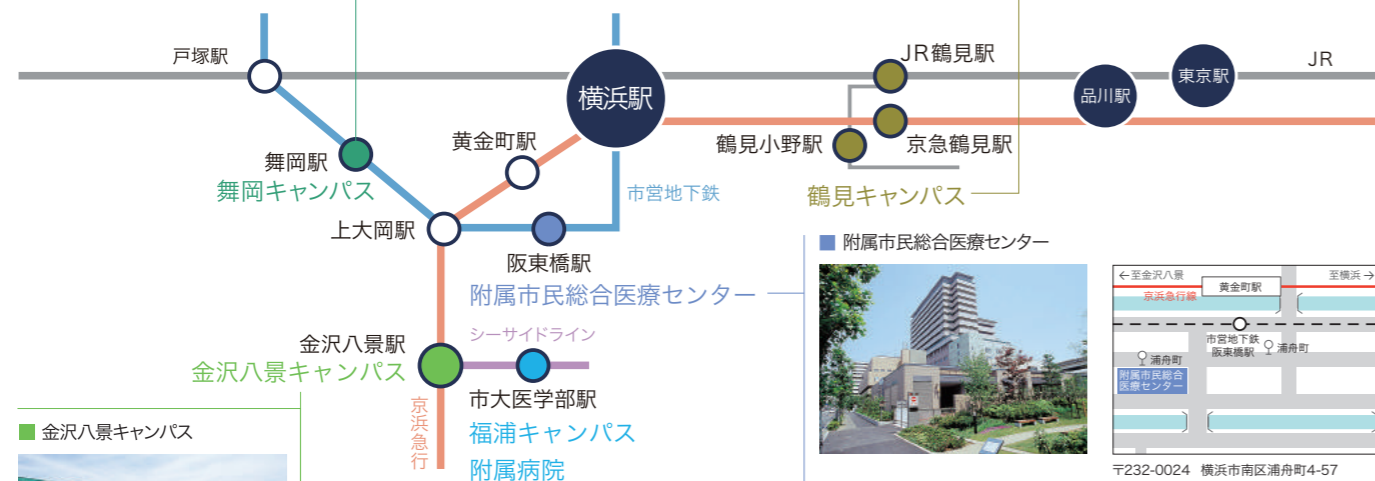
### ■ 鶴見キャンパス



- 理学部
- 生命医科学研究科  
[生命医科学専攻]



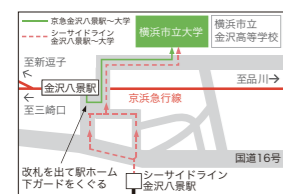
〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-7-29  
TEL.045-508-7201~7203  
●JR京浜東北線「鶴見駅」東口および京浜急行「京急鶴見駅」前の8番バス乗り場から、川崎鶴見臨港バス鶴08系統「ふれーゆ」行きで約15分「理研・市大大学院前」下車  
●JR鶴見線「鶴見小野駅」下車徒歩15分



### ■ 金沢八景キャンパス



- 国際教養学部
- 国際商学部
- 理学部
- データサイエンス学部
- 医学部(医学科・看護学科)※1年次
- 都市社会文化研究科  
[都市社会文化専攻]
- 国際マネジメント研究科  
[国際マネジメント専攻]
- 生命ナノシステム科学研究科  
[物質システム科学専攻]  
[生命環境システム科学専攻]



〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2  
TEL.045-787-2311  
●京浜急行「金沢八景駅」下車徒歩5分  
●シーサイドライン「金沢八景駅」下車徒歩7分

### ■ 福浦キャンパス



- 医学部(医学科・看護学科)
- 大学院  
医学研究科  
[医科学専攻][看護学専攻]
- 先端医科学研究センター

### ■ 附属病院



〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9  
福浦キャンパス TEL.045-787-2511  
附属病院 TEL.045-787-2800  
●シーサイドライン「市大医学部駅」下車徒歩1分

**YCU**  
横浜市立大学  
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

Twitter @YCU\_koho  
Facebook YokohamaCityUniv  
LINE@ @yokoichi  
Instagram yokohama\_city\_university

横浜市立大学 アドミッションズセンター  
〒236-0027 神奈川県横浜市金沢区瀬戸22-2  
TEL.045-787-2055 FAX.045-787-2057  
www.yokohama-cu.ac.jp



※デバイスによっては読み取れない場合があります

【編集・発行】横浜市立大学 広報室  
2018.06

YCU 大学案内

2019

**YCU**  
横浜市立大学  
YOKOHAMA CITY UNIVERSITY

2019

横浜市立大学

CONTENTS

プロローグ「GO GLOBAL」― p.1

- 学長メッセージ
- ヨコハマと歩む
- ヨコハマで学ぶ
- 世界へ羽ばたく
- 活躍する卒業生
- 数字で見る YCU

学びのフィールド ―――― p.16

- 学部・大学院構成
- 学部教育のカタチ

YCU の共通教養 ―――― p.19

グローバル教育 ―――― p.24

- 海外で学ぶ 海外で実践する
- 短期・長期・交換留学・研修プログラム
- 海外フィールドワーク支援プログラム
- デイズニー・パレンシア国際カレッジプログラム
- 海外インターンシップ・国際ボランティア

ヨコハマで学ぶ ―――― p.34

領域横断教育 ―――― p.36

国際教養学部 ―――― p.38

国際商学部 ―――― p.44

理学部 ―――― p.50

データサイエンス学部 ――― p.56

医学部 ―――― p.62

- 医学科
- 看護学科
- 附属2病院

大学院／研究施設 ―――― p.82

- 都市社会文化研究科
- 国際マネジメント研究科
- 生命ナノシステム科学研究科
- 生命医科学研究科
- 医学研究科
- 先端医科学研究センター
- 次世代臨床研究センター
- 連携大学院・協定研究機関など
- 鶴見キャンパス
- 木原生物学研究所

学生支援 ―――― p.92

- 進路状況
- キャリアサポート
- さまざまな学生サポート
- 図書館

YCU のキャンパスライフ ―― p.102

- YCU の1年・学生アンケート
- 実家暮らし・一人暮らし
- 部活・サークル

キャンパス紹介 ―――― p.108

- 金沢八景キャンパス
- 福浦キャンパス

入試データ等 ―――― p.112

- 2019年度入試情報
- 2018年度入試結果
- 学費・奨学金
- Q&A
- 学生募集要項等の請求方法
- 知る見る学ぶ YCU

# GO GLOBAL.

Start in YOKOHAMA.

ヨコハマから世界へ

## 革新と温もりが調和する YCU 限りなく拡がる未来は、ここから。

YCU の学びは、緑豊かなキャンパスから始まる。  
陽射しがたっぷりと降り注ぐ、のどかな環境は、  
人との距離を感じさせない温もりに溢れている。  
ここで、わたしたちは伸び伸びと学び、  
大胆に、柔軟に思考し、自由な発想を生み出す。  
自らが持つ本来の力を発揮し、飛躍的に成長する。  
すべてはここから、未来へ、世界へ向かう。

国際都市横浜の進取の精神とともに歩む YCU。  
90 年もの伝統を重んじながら、果敢に時代に挑み続ける。  
留まることを知らず、変化することを恐れない。

表紙イラストは、この場所がモチーフ。昭和39年(1964年)に、第I講堂と中庭を囲むように建てられた本校舎。YCU金沢八景キャンパスの真ん中に位置し、緑の屋根が特徴的な建物です。昭和を代表する建築家、村野藤吾氏の設計で、日生劇場(東京都)、横浜市役所等、多くの著名な建築物を手掛けたことで有名。池にはカメがいて、ときどき珍しい鳥も訪れます。昭和の趣を残した、YCU 癒しの空間です。

# 学長メッセージ

—横浜から世界へ—

GO ヨコハマから世界へ  
GLOBAL.  
Start in YOKOHAMA.

YCU は豊かな人間性と  
高い専門能力を備えた  
「横浜から世界へ羽ばたく」  
人材を育成します。

横浜は幕末の開港以来、新しいものを積極的に取り入れ、ダイナミックに発展してきたわが国最大の基礎自治体であり、世界有数の国際都市です。YCUは今年創立90周年を迎える伝統ある大学です。この横浜の地で長きにわたり「商学」と「医学」を中心に教育を支え、常に新たなことにチャレンジしながら、横浜市と共に時代をリードし続けています。

2018年春、新たに首都圏初となるデータサイエンス学部を開設し、65名の新入生を迎えました。このデータサイエンス学部では、第4次産業革命の到来ともいえる新たな時代の潮流を先取りし、日々蓄積される膨大なデータの分析・活用において社会をリードできる人材の育成に取り組みます。さらに、2019年春には、国際総合科学部を改組し、新たに国際教養学部、国際商学部、理学部へと再編する準備を進めています。現代は社会課題も複雑化、多様化しています。これらの課題解決には多角的な視点や専門性に裏打ちされた深い論理的思考力、高い専門能力を結集することが必要です。YCUはこれまでの文理融合教育により、学問領域を超えて学際的に学ぶ力を養ってきた実績があります。それを土台に、専門の力をさらに深化させるため新たな3つの学部を誕生させ、これからの社会課題に立ち向かいグローバルに活躍できる人材を輩出していくことを目指します。

一方、医学の領域においても革新は続きます。グローバルスタンダードに準拠した医学教育を推進するため、医学科では臨床実習を大幅に増やすとともに、海外派遣も積極的に増やし、国際的に活躍できる医師・研究者の育成に力を入れています。看護領域では2018年4月から看護学専攻博士後期課程が始動し、市内唯一の高度人材の育成と研究の拠点となる体制が整いました。

このように、学ぶ意欲のある学生にYCUは惜しみなくその環境を提供します。積極的に学ぶ姿勢を持ち、知的好奇心を満たし、自らの資質を向上させるため、充実した教育研究環境を存分に活用してください。YCUでの学びは、真の意味での「知識」や「知恵」を獲得することにつながり、「世界へ羽ばたく」糧となることを約束します。

創立90周年を迎える今年、伝統と革新が融合するYCUはさらなる進化を目指していきます。YCUとともに新たな歴史を作っていきましょう。

横浜市立大学 学長 窪田 吉信

窪田 吉信 Yoshinobu Kubota

1949年1月生まれ。専門は泌尿器科学。1974年横浜市立大学医学部卒業。横浜市立大学医学部附属病院、横浜市民病院、南カリフォルニア大学がんセンターなどを経て、2001年横浜市立大学医学部教授。附属病院副院長、副学長を歴任した後、2014年4月より現職。医学博士。

## 横浜市立大学の3つの特徴

### 教育プログラム

広い視野と知識から、  
自らの専門性を切り拓く

- すべての学生が1年次の共通教養で、専門教養の基盤となる知識、姿勢、思考法を学ぶ
- Practical EnglishやAdvanced Practical Englishで、英語によるコミュニケーション力を鍛える
- 少人数の演習形式、多彩な教授陣による専門教育と領域横断型のプログラム



### 地域貢献とグローバル

国際都市横浜で学び、  
世界に通用する力を身に付ける

- 横浜というフィールドで課題を発見し、解決策の実践を通して地域や世界の問題を学ぶ
- 駐日大使の講演会や国際イベントへの参加など、横浜にしながら多様な国際経験を積む
- 海外フィールドワークや留学、海外インターンシップで、世界へと飛び出し、自分を試す



### きめ細かな学生支援

コンパクトだから、  
温かい距離感

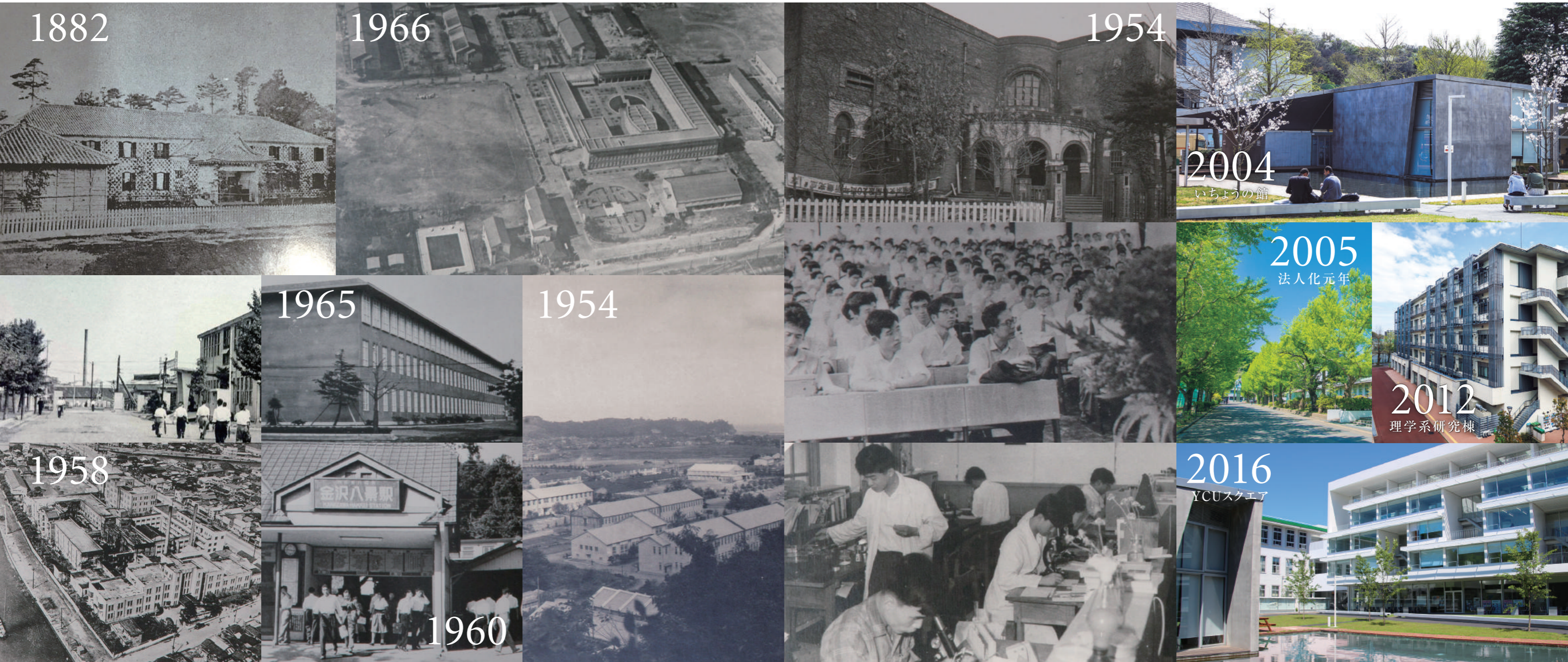
- 教養ゼミやPractical English、専門での演習など、少人数クラスで自ら、能動的に学ぶ
- 学生数5,000人に満たない規模だからこそ、教員との距離が近く、親身な指導が受けられる
- 履修や課外活動、留学や就職相談など、スタッフが手厚くサポート



# ヨコハマと歩む

受け継がれる伝統 国際性・進取性に富む学風

GO ヨコハマから世界へ  
GLOBAL.  
Start in YOKOHAMA.



YCUの源流は、明治初頭に設立された横浜商法学校、仮病院まで遡る。明治の早い時期に商業学校や病院が設立されたのは、当時、横浜が日本第一の貿易港で国際商業都市だったから。その後、創立とされる1928年の横浜市立横浜商業専門学校（Y専）、1944年の横浜市立医学専門学校を経て、1949年に新制大学として横浜市立大学に。以来、開国、開港の地である横浜にふさわしい、開放的で国際性、進取性に富む学風は、YCUの伝統として受け継がれている。

沿革	1882 横浜商法学校 (Y校)	1888 横浜商業学校	1917 横浜市立 横浜商業学校	1928 横浜市立横浜 商業専門学校 (Y専)	1944 横浜市立経済 専門学校	1949 横浜市立大学 商学部	1952 横浜市立大学 (商・文理・医) 横浜市看護婦養成所	1971 医学部附属 高等看護学校	1995 横浜市立大学 (商・国際文化・理・医) 看護短期大学部	2005 横浜市立大学 (国際総合科学部／ 国際総合科学科、 医学部／医学科・看護学科)	2018 横浜市立大学 (国際総合科学部、 データサイエンス学部、 医学部／医学科・看護学科)
	1871 仮病院	1872 横浜中病院 横浜共立病院	1874 県立十全医院	1891 横浜市十全医院	1944 横浜市立 医学専門学校 附属十全病院	1949 横浜医科大学	1949 横浜医科大学病院	1954 横浜市立大学 医学部病院	1991 医学部附属 浦舟病院	2000 医学部附属市民 総合医療センター	2005 附属市民総合医療センター 附属病院

【大学院沿革】  
医学研究科(1961～)、経営学研究科・経済学研究科(1970)、総合理学研究科(1989)、総合理学研究科・連携大学院/生体超分子システム科学専攻(2001)、国際文化研究科(1993)を統合して国際総合科学研究科(2005～2009)を設置、国際総合科学研究科を再編し、都市社会文化研究科、国際マネジメント研究科、生命ナノシステム科学研究科を設置(2009～)、医学研究科看護学専攻(2010～)、生命医科学研究科(2013～)、医学研究科看護学専攻博士後期課程(2018～)

# ヨコハマで学ぶ

地域を生かし、行動するチカラを培う

GO ヨコハマから世界へ  
GLOBAL.  
Start in YOKOHAMA.



社会の役に立つお菓子プロジェクト



空き家活用プロジェクト



いのちの授業



Aozora Factory



みんなで作る麦畑



Yokohama Dream Catchers

YCUの学びには、ヨコハマというフィールドがある。  
地域が抱えるさまざまな課題を企業と、そして行政と一緒に考え、  
自らのアイデアを実践しながら、行動力を鍛える。  
地域に入り込んで、現場の声を聴き、あらゆる角度から  
試行錯誤を繰り返すことで、確実に身に付くチカラがある。  
ヨコハマは、無謀ともいえる挑戦も温かく受け止めてくれる街。  
わたしたちは、ヨコハマで格段に成長する。

たとえば、ゼミで横浜市内の空き家の活用を提案したり、  
産業団地の魅力を発信するイベントを開催したり、  
産学連携でお菓子を作ったりもする。  
横浜みなとみらいには、市民と一緒に作る麦畑もある。  
子どもたちに、医療の知識を伝えたり、  
命の大切さを教えたりするために、小学生に授業を行う。  
ヨコハマという街が、わたしたちのキャンパスになる。

# 世界へ羽ばたく

世界に通用する力を手に入れ、果敢に挑む

GO ヨコハマから世界へ  
GLOBAL.  
Start in YOKOHAMA.



わたしたちが目指す未来は、世界が相手だ。

日本にいてもグローバルにつながる国際社会で生きていくことになる。

想像を超えるほどの多様性に溢れ、複雑で高度な社会。

YCUには、世界に通用する力を養うための学びがある。

まずは、心強い武器となる言葉の力を手に入れ、

世界の大学とつながる絶好の環境で、国際センスを磨く。

YCUで、国際都市ヨコハマで、グローバルな学びを積み重ねる。

そして舞台は、世界へ。

世界の地へ臆せず踏み出し、さまざまな文化や歴史、思考に出会う。

目で見て、肌で感じ、体験したことから

柔軟な国際感覚を身に付け、

世界を相手にできるだけ対応力、実践力へと変えていく。

YCUは、そんなわたしたちの挑戦をいつも支えてくれる。

わたしたちが目指す世界は、果てしなく広い。

# 活躍する卒業生

GO GLOBAL.  
Start in YOKOHAMA.

※学生の所属は、現行の学部・学系・コース名となっています。

File no.1 国際総合科学部 経営科学系 会計学コース 2016年卒業



「異なる分野の人たちとも切磋琢磨し、  
挑戦し続けてきたことが今につながる。」



トヨタ自動車株式会社  
パワートレーン統括部 パワートレーン管理室

永田 恵也 Keiya Nagata

## ■現状の自分を認識し「トライ&エラー」で日々成長

トヨタ自動車にて次世代商品の収益管理業務に携わっている永田さん。「クルマの価格はお客様が決めます。」製品の開発初期から原価目標を設定し、お客様の一台となるその日まで、もっといいクルマづくりにふさわしい設計・仕様、徹底的な原価改善を多くの関係者と一丸となって取組み、原価目標の達成を牽引する。「自分も開発の一翼を担い、より多くのお客様に良品廉価なクルマを提供できることが仕事の醍醐味です。」常に厳しく数字と向き合うことが求められる仕事において、その基礎はYCUの会計学ゼミでの学びだと語る。ゼミの財務諸表分析を通じ、要因別分析手法の習得、レポートの作成・発表といった事に加え数字の意味するところは何かについて徹底的に考える習慣を身に付けた。また自動車は国や地域により規制や使用条件が異なり、さまざまな想定を評価する必要がある。求められるニーズも違えば現地スタッフの姿勢も多様であるという。そんな未知の領域に挑戦する姿勢は、YCUでの部活動で培った。未経験ながらラグビー部に所属。自分の長所を生かしながら、積極的に経験者からアドバイスをもらい、即実践。そして改善を何度も繰り返しレギュラーを勝ち取った。トライ&エラーで納得するまでこだわる姿勢は、社会人になった今でも生かされている。

## ■目的意識が挑戦の過程を後押しする

学業に励む傍ら、部活、アルバイト、半年間インドでインターンシップに参加するなど、大学時代は多くのことにチャレンジした。すべては能動的に目的意識をもって考え、選択し、実行してきたことだ。「YCUは非常にコンパクトにまとまっているため教授や他学部生との距離が近く、留学、インターンシップ、課外活動などプログラムも充実しており、新しい自分に出会える機会に恵まれています。異なる分野の人たちと切磋琢磨し、挑戦し続けたことが今につながっていると思います。」



File no.2 医学部 医学科 2011年卒業



「臓器移植に代わる『再生医療』の実現と、  
新たな学問領域『広告医学』の普及を目指す。」

横浜市立大学 学術院 医学群 先端医科学研究センター（臓器再生医学 兼任）教授

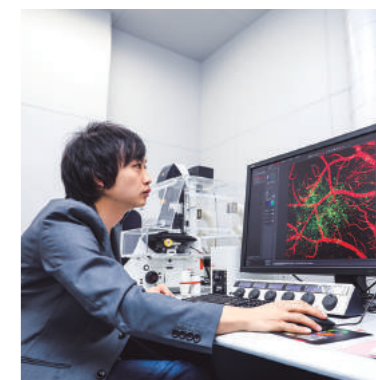
武部 貴則 Takanori Takebe

## ■病気で苦しむ人を一人でも少なくできるように

2018年1月、数々の優れた業績が評価され、31歳という若さで YCU 先端医科学研究センター教授に就任した武部教授。小学生の時に父が脳卒中で倒れ、奇跡的に生還したことがきっかけで医学の道を志した。「学生時代は夜中まで研究活動に没頭する毎日でした。『すべてを切り捨てても医学に貢献したい』という強い気持ちは今も同じです。」臓器移植に代わる「再生医療」に着目し、肝臓の効果的な治療法を研究。2013年にiPS細胞から血管構造を持つ機能的なヒト臓器を世界で初めて創り出すことに成功。現在も再生医療の実現を加速させる成果をあげ続け、東京医科歯科大学や米国シンシナティ小児病院にも研究室を構えるなど、活躍の場は留まることを知らない。また、「広告医学」という新しい学問領域の普及にも力を注いでいる。これは、デザインやコピーといった広告的手法を医療にも活用し、人々の自然な健康行動の誘発につなげようというものだ。上りたくなる「健康階段」、メタボ基準値を境に色が変わる「アラートパンツ」などは横浜市の健康施策にも利用されている。「iPSを用いた研究においても、治療だけではなく予防医学にも還元できるような技術を生み出して、病気にかかる人の数を減らしていきたいです。」

## ■まずは自分で考え抜いて「自分なりの答え」を出すこと

「今までは全部自分でやろうとしていましたが、教授という立場になり、次世代の育成というところに基点が動きつつあります。現時点は私の研究を手伝ってもらうケースが多いのですが、いずれは彼らが自ら考え周囲を巻き込んでプロジェクトを動かしていけるようにアシストできればと思っています。」指導において気をつけている点は、「答えをすぐに教えずにまずは自分で考える習慣をつけさせること」だという。



# 活躍する卒業生

GO GLOBAL.  
Start in YOKOHAMA.

※学生の所属は、現行の学部・学系・コース名となっています。

File no.3 国際総合科学部 国際教養学系 人間科学コース 2012年卒業



「直面するさまざまな課題・要望を  
多角的に捉え、簡潔な改善策を導く。」

東京ガス株式会社  
お客さまサービス部

木野田 有美 Yumi Kinoda

人の生活を支えるうえで不可欠なエネルギー系の分野に関心のあった木野田さんは、大学3年次に東京ガス株式会社のインターンシップに参加。優しく真摯に接してくれた社員や働く環境に魅了され、同社への入社を志望したという。2017年7月から東京ガスカスタマーサポート株式会社の料金業務管理部に出向。ガス検針・料金収納を行うための業務フローの設計、およびガスの自由化に伴う現場の混乱を緩和させるための整備や関係各所への周知などの企画業務を担当している。「現場の担当者約2,000人や関係各所に大きく影響する業務のため、現場の業務実態や各所からの課題・要望を引き出して精査し、なるべくシンプルな設計を行うことで現場に浸透させられるよう気をつけています。」ひとつの事象を多角的に捉え考察する姿勢は、学生時代に社会学を学ぶ中で培ってきたものだ。「大学生活は自分次第でいくらでも可能性を広げることができるので、自分のやりたいことをやり抜いてください。」

※学生の所属は、現行の学部・学系・コース名となっています。

File no.4 国際総合科学部 理学系 環境生命コース 2010年卒業



「本質を掴み原点回帰することで  
目的達成への最適な手段を創造する。」

サッポロビール株式会社  
マーケティング開発部

下村 高司 Takashi Shimomura

学生時代、学内外問わずとにかく多くの人と関わりを持つことに励んでいたという下村さん。他大学の学生や社会人を巻き込んで学生団体を起ち上げたり、サークルを作ったりするなど、自分で一から作りあげていくのが好きだったという。さまざまな活動に熱中する日々の中で築いてきた人との縁は、当時から想像もできないようにつながり、今の下村さんを紡ぎだしているという。所属していた研究室では、研究の背景となるところが肝心だと教わり、何のためにその作業を行うのか、本質に立ち返ることで目的達成のための最適な手段をロジカルに組み立てられるようになったと語る。現在はサッポロビール株式会社にてデジタルを主としたマーケティング業務に携わる。「Web や SNS 等のデジタルツールを活用して、より深くお客様とコミュニケーションを図っていくことで新しい価値を生み出すべく日々奮闘しています。世界中のお客様と直接的につながることでできる影響力の大きさにやりがいを感じています。」

File no.5 医学部 医学科 2004年卒業



「現場に向き合うことで気づけた  
予防医学・疫学研究の重要性。」

国立がん研究センター社会と健康研究センター／中央病院  
疫学研究部 代謝疫学研究室 室長 総合内科・歯科・がん救急科 医員

後藤 温 Atsushi Goto

国立がん研究センターの疫学研究部で糖尿病やがんを中心とした疫学研究を行いながら、同センター中央病院において臨床医として現場で患者さんに向き合う。「生活習慣病と病気の関係性」については、実験室での研究だけではわからないことも多い。『人』を対象にした調査で、患者さんとそうでない人の生活習慣や社会生活に関する膨大なデータを収集し、それらを解析する研究が疾病を解明するためには不可欠だ。後藤さんは、もともと糖尿病を専門とする臨床医だった。そのため、常に臨床医としての視点と、患者さんの視点を大切に、「臨床医の目」で研究に向き合いたいのだと言う。「その原点は大学4年の時の臨床実習で初めて患者さんに接した時です。医師としての責任の重さを認識しました。」また、後藤さんは学生時代、2度の海外留学を経験した。「YCUには学生がやりたいことを尊重し、夢を後押ししてくれる環境があります。しかし、どの道に進むかを決めるのは自分。YCUから羽ばたいていった多くの先輩たちのように、ぜひ自分のやりたいことを見つけて道を拓いていきたいですね。」

File no.6 医学部 看護学科 2014年卒業



「絶えず明るく笑顔で接することが  
何より患者さんの心の支えになる。」

横浜市立大学附属病院 7-1 病棟  
(一般外科／心臓血管外科・小児循環器／臨床腫瘍科・乳腺外科)

看護師

諸橋 弥和 Miwa Morohashi

心臓血管外科・消化器・呼吸器などの手術や、化学療法・放射線療法を行う患者さんが入院する病棟で働く諸橋さん。「安心して前向きに手術が受けられるように想いを傾聴し、手術への不安を取り除くことができるよう日々心がけています。術後は合併症を起こさないように全身状態の観察に努め早期退院を目指し、退院後の生活を患者さんとともに考えながら、ご家族の方にも納得し安心して過ごすことができるよう、個性性に合った看護の実践に努めています。」大学4年次の時、当院での急性期実習で、術前－術後－退院までの患者さんを受け持った際、めまぐるしく状態が変化する患者さんを献身的に絶えず笑顔で支え、早期回復、早期退院を後押した先輩の看護師さんに憧れて、今の自分があるという。病棟を照らす明るい笑顔は、諸橋さんのトレードマーク。「辛い時期を乗り越え退院していく患者さんから『ありがとう』の言葉をいただいた時にやりがいを感じます。」

# 数字で見るYCU

GO GLOBAL.  
Start in YOKOHAMA.

留学生数  
120人  
19カ国・地域  
本学に在籍している外国人留学生の数  
(2018年5月1日現在)

海外留学・研修参加者  
23人  
(2018年3月31日現在)

就職率  
98.9%  
国際総合科学部の就職実績 (2017年度実績)  
(全国平均) 98.0%

男女比  
男子 41%  
女子 59%  
男子1,755人、  
女子2,474人で少し女子が多い環境です。  
(2018年5月1日現在 学部生数)

## 国際ボランティアプログラム

30カ国  
横浜市立大学で体験できる国際教育交換協議会が  
提供する国際ボランティア・プログラムの数  
(2018年5月1日現在)

世界大学ランキング  
14位  
教員一人当たりに対する学生数の比率に関する  
世界大学ランキングにて世界で14位。日本では  
9位。  
日本 9位  
(THE Top universities with  
the best student-to-staff ratio 2018の発表を元に掲載)

## 部活動・サークル数

150団体  
(2018年5月現在)  
運動系団体: 53団体  
文化系団体: 55団体  
その他サークル: 42団体  
※金沢八景キャンパス・  
福浦キャンパスの合計

看護師国家試験  
合格率 (2017年度実績)  
100%  
(全国平均) 91.0%  
※既卒含む

横浜から  
18分  
横浜駅から  
京急線金沢八景駅までの  
快特・特急の乗車時間

## TOEFL-ITP500点相当以上の学生

96.8%  
Practical Englishの最低達成条件をクリアしている  
学生の割合 (2018年5月1日現在)  
※直近4年間の実績 (医学科は6年間)

海外の  
交流協定締結大学・  
研究所等  
45校  
交流協定を締結し  
現在交流を行っている海外の  
大学や研究所の数

医師国家試験合格率  
(2017年度実績)  
97.7%  
(全国平均) 90.1%  
※既卒含む

### ■国際総合科学部学生数

国際総合科学科	3,197人
男子 1,328人 / 女子 1,869人	

### ■データサイエンス学部学生数

データサイエンス学科	65人
男子 41人 / 女子 24人	

### ■医学部学生数

医学科	559人
男子 374人 / 女子 185人	
看護学科	408人
男子 12人 / 女子 396人	

### ■大学院学生数

都市社会文化研究科	61人
博士前期 39人 男子 17人 / 女子 22人	
博士後期 22人 男子 15人 / 女子 7人	

国際マネジメント研究科	51人
博士前期 47人 男子 18人 / 女子 29人	
博士後期 4人 男子 3人 / 女子 1人	

生命ナノシステム 科学研究科	147人
博士前期 125人 男子 71人 / 女子 54人	
博士後期 22人 男子 15人 / 女子 7人	

生命医科学研究科	98人
博士前期 77人 男子 36人 / 女子 41人	
博士後期 21人 男子 14人 / 女子 7人	

医学研究科 医科学専攻	409人
修士 44人 男子 27人 / 女子 17人	
博士 365人 男子 256人 / 女子 109人	

医学研究科 看護学専攻	35人
博士前期 54人 男子 12人 / 女子 42人	
博士後期 5人 男子 1人 / 女子 4人	

(2018年5月1日現在)

### ■留学生数 (人)

所属	正規生	研究生	交換留学生	合計
国際総合科学部	17	0	12	29
データサイエンス学部	2	0	0	2
医学部	0	0	0	0
学部生合計	19	0	12	31
都市社会文化研究科	15	3	0	18
国際マネジメント研究科	39	6	0	45
生命ナノシステム科学研究科	8	1	0	9
生命医科学研究科	3	0	0	3
医学研究科	11	3	0	14
大学院生合計	76	13	0	89
合計	95	13	12	120

### ■留学生の出身地 (人)

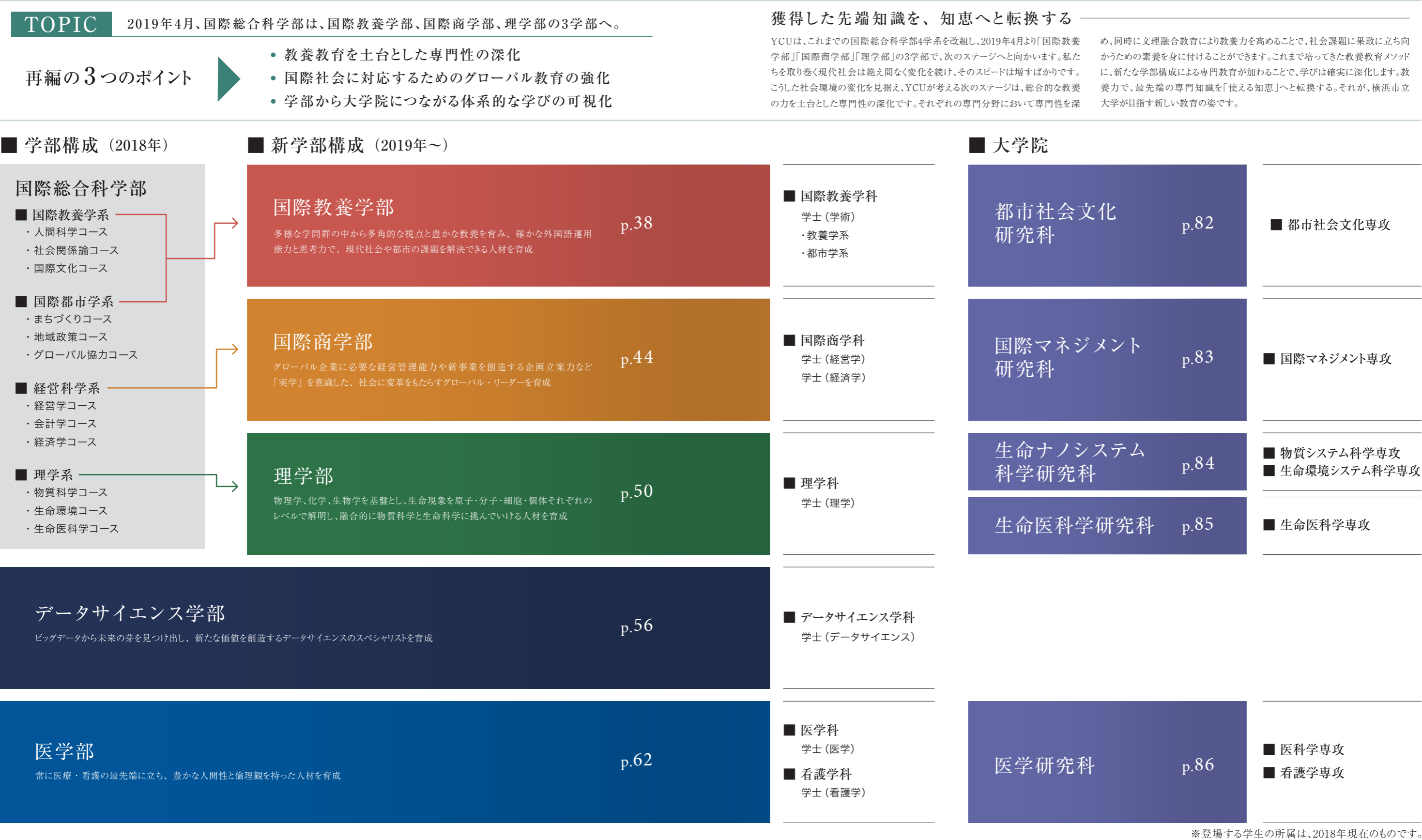
中国	77	マレーシア	1
韓国	8	オーストリア	3
ベトナム	4	ナイジェリア	1
バングラデシュ	5	ネパール	2
イタリア	2	フィンランド	1
アフガニスタン	2	フランス	2
タイ	3	レソト	1
台湾	3	インド	2
アメリカ	1	ボスニア・ヘルツェゴビナ	1
トルコ	1		

### ■教員数 (人)

所属・配属	教授	准教授	講師	助教	助手	計
学術院(国際総合科学群)	78	63	1	10	0	152
学術院(国際総合科学群)人文社会科学系列	39	37	0	0	0	76
学術院(国際総合科学群)自然科学系列	34	24	1	10	0	69
学術院(国際総合科学群)	5	2	0	0	0	7
学術院(医学群)	66	106	91	326	5	594
医学部医学科	39	35	40	85	4	203
医学部医学科兼生命医科学研究科	3	0	0	0	0	3
医学部看護学科	12	7	10	11	0	40
附属病院	2	18	19	108	0	147
附属市民総合医療センター	8	42	22	121	1	194
保健管理センター	1	0	0	0	0	1
生命医科学研究科	0	1	0	0	0	1
先端医科学研究センター	1	3	0	1	0	5

# 学びのフィールド

## 学部・大学院構成



# 学部教育のカタチ

YCUの学部教育は、教養教育、グローバル教育、地域での学び、そして専門教育を柱として展開していきます。教養教育は、他大学に先がけて展開した文理融合型のアプローチをベースとした、共通教養科目が中心となります。また、国内外でのグローバル体験を積み、多様性を理解し、コミュニケーション力を身に付けるグローバル教育や、自分たちの暮らす「ヨコハマ」をフィールドに地域や社会の課題解決に実践的に取り組む地域での学びによって総合力を高めていきます。この総合力を、それぞれの専門教育において応用・深化させていく、そんな体系的な教育プログラムがYCUにはあります。



# 01 | YCUの共通教養

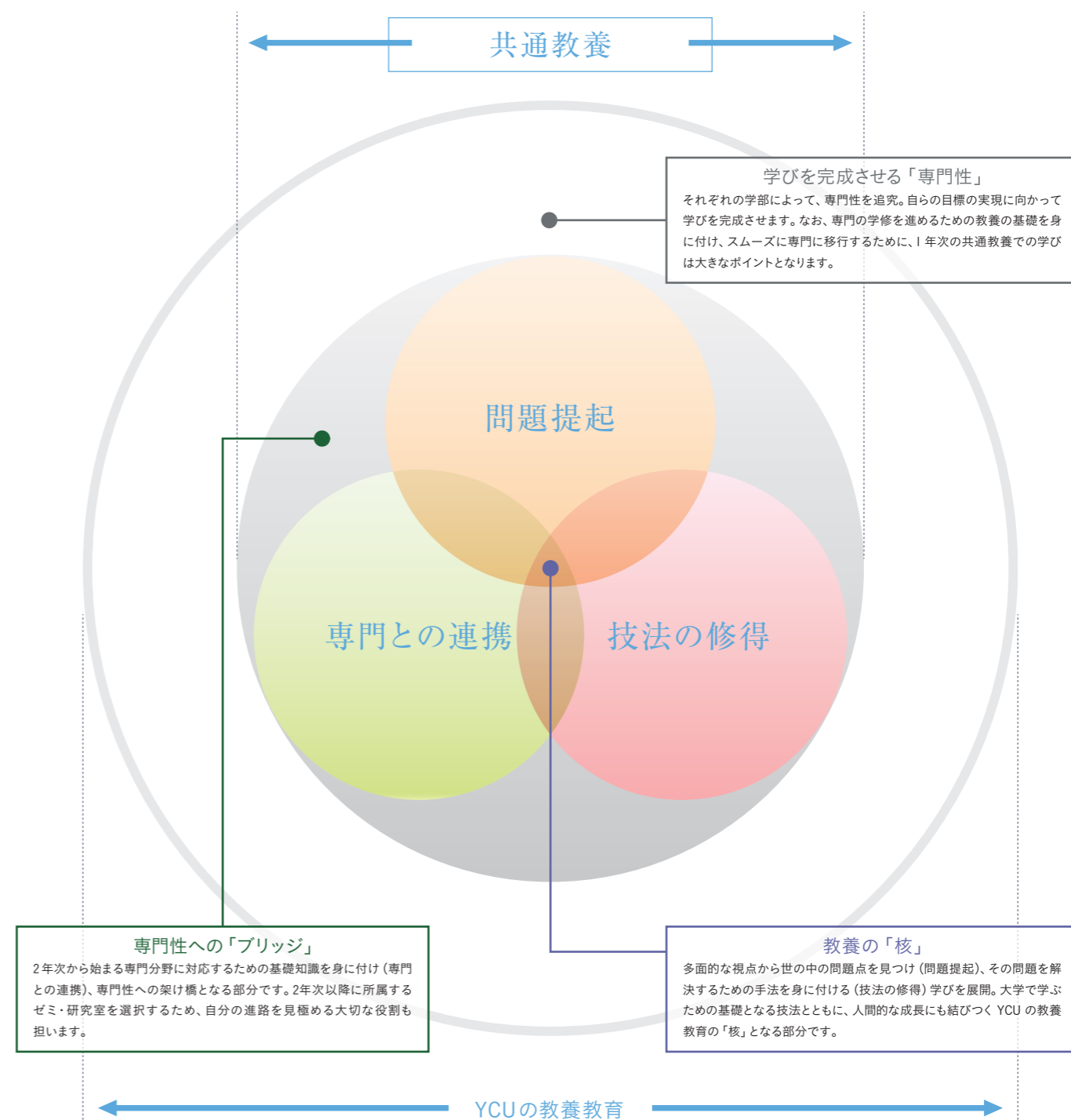
自ら問題を発見し、解決する力を修得する

共通教養は、YCU の教育の土台であり、「自ら主体的に課題を発見して解決する力」を育てていくことを目標としています。

問題の解決には、情報の質を見極め、主体的に選別する能力や技術が必要になり、ときには高い専門性が求められる場面もあります。

問題を発見してから試行錯誤を重ねて解決に至るプロセスに必要な基礎力を獲得するため、YCU の共通教養科目は、「問題提起科目」「技法の修得科目」「専門との連携科目」という大きく3つの科目群で構成されています。

全学部の学生は、入学後1年次よりこれらの科目群を通して学ぶ姿勢を身に付け、さらには問題の発見・課題解決の力を修得していきます。



# 共通教養3つの科目群

## ■問題提起科目群

総合講義	特定のテーマについて、さまざまな講師を招いて話を聞き、現状や問題点を多面的に学ぶ授業です。				
・国際関係論 ・環境論入門 ・まちづくり学入門	・連携特別講座 「国際協力の実践と課題」 ・企業家に学ぶ	・生命科学と環境 ・医療と社会 ・Education in the World	・現代社会とジェンダー ・鎌倉・金沢を知る ・横浜学事始	・多文化社会を考える ・データサイエンス入門 ・国際マネジメント	・物質と生命

多文化交流ゼミ | Practical English 合格者を対象に、英語で議論し、英語で考えを表現することを学びます。

- 現代アジア・太平洋地域事情
- 外国人の日本研究
- Comparing Education in the World
- Global Communications
- 横浜のなかにある外国人コミュニティ
- 世界で報道される日本
- Japan from Foreigners' View

実践科目 | 実践することで、考えるだけではわからなかった問題を理解するきっかけをつかみます。

- キャリア形成実習  
キャリアデザイン  
インターンシップ
- 健康スポーツ実習  
春期スポーツ種目  
秋期スポーツ種目  
ウエルネスライフ実習
- 自然体験実習  
ボードセーリング  
シーカヤック  
ヨット
- 長期海外研修  
・短期海外研修  
・福祉施設実習
- 特別講座  
留学科目・共通教養A  
留学科目・共通教養B  
留学科目・共通教養C  
留学科目・共通教養D

## ■技法の修得科目群

ゼミ	語学
★教養ゼミ ★基礎ゼミ（国際教養学部・国際商学部・理学部のみ必修）	★Practical English ・Essential Practical English ・Advanced Practical English I～VII ・看護英語

初習外国語 | Practical English 合格者対象の科目です。中国語、韓国・朝鮮語、ドイツ語、フランス語、スペイン語があります。 ※国際教養学部 教養学系のみ必修

- ドイツ語教養基礎Ⅰ
- ドイツ語教養基礎Ⅱ
- ドイツ語教養実践
- フランス語教養基礎Ⅰ
- フランス語教養基礎Ⅱ
- フランス語教養実践Ⅱ
- 中国語教養実践A
- 中国語教養実践B
- 中国語教養実践C
- 中国語教養基礎Ⅰ
- 中国語教養基礎Ⅱ
- 韓国・朝鮮語教養基礎Ⅰ
- 韓国・朝鮮語教養実践A
- 韓国・朝鮮語教養実践B
- 韓国・朝鮮語教養実践C
- 韓国・朝鮮語教養基礎Ⅱ
- 韓国・朝鮮語教養実践A
- 韓国・朝鮮語教養実践B
- 韓国・朝鮮語教養実践C
- スペイン語教養基礎Ⅰ
- スペイン語教養基礎Ⅱ
- スペイン語教養実践

※留学生・帰国生対象

- 日本語入門Ⅰ
- 日本語入門Ⅱ
- 日本語Ⅰ
- 日本語Ⅱ
- 日本語Ⅲ
- 日本語実践  
文章表現A  
文章表現B
- 文章表現C  
口頭表現A  
口頭表現B
- 口頭表現C  
アカデミックジャパニーズA  
アカデミックジャパニーズB
- 留学生のキャリアデザインA  
留学生のキャリアデザインB

## 情報コミュニケーション

- ★情報コミュニケーション入門
- ・プログラミング基礎
- ・マルチメディア表現基礎
- ・情報検索基礎
- ・データ分析基礎

## ■専門との連携科目群

基礎科学講義	専門への接続科目			
・心理学入門 ・文化研究入門 ・思想研究入門 ・文学研究入門 ・健康スポーツ科学入門 ・倫理学入門 ・歴史学入門 ・世界史概説 ・社会学入門 ・国際社会学入門 ・政治学入門 ・経営学入門Ⅰ ・経営学入門Ⅱ ・法学入門 ・経済学入門Ⅰ ・経済学入門Ⅱ	・簿記入門Ⅰ ・簿記入門Ⅱ ・民法入門 ・日本国憲法 ・ビジネス統計Ⅰ ・ビジネス統計Ⅱ ・ゲーム理論入門 ・経営管理論 ・微分と積分 ・微分と積分演習 ・行列とベクトル ・行列とベクトル演習 ・物理学概説A ・物理学基礎演習A ・物理学概説B ・物理学基礎演習B	・化学概説A ・化学概説B ・化学概説C ・生物学概説A ・生物学概説B ・生物学概説C ・基礎物理学実験 ・基礎化学実験 ・基礎生物学実験 ・統計と確率 ・データ解析入門 ・科学の倫理学 ・英米文化理解A ・英米文化理解B ・英語学入門A ・英語学入門B	・イギリス文学入門 ・アメリカ文学入門 ・English Grammar for Higher Education ・Introduction to Psychology ・Topics in Modern Psychopathology ・欧米研究入門 ・課題探究科目 Japanese Globalization in Comparative Context History of Modern Japan Japan Studies: Youth Cultures 現代社会の見方 歴史から今を知る 企業の経済学 ライフサイクルの経済学 ・心を科学する ・病気を科学する	・哲学入門 ・社会調査法入門 ・芸術入門 ・日本史概説 ・アジア研究入門 ・情報倫理 ・国際文化論 ・人間科学論 ・国際社会論 ・都市政策・まちづくり論 ・リメディアル講座 基礎物理学 基礎生物学 医学科基礎物理学

※ データサイエンス学部、医学部の学生が履修する共通教養科目の科目名については、上記の科目名と一部異なるものがあります。  
国際教養学部、国際商学部、理学部の再編成に伴う科目名変更によるものですので、履修する内容は、5学部共通です。

# Pick up 科目

## Practical English



### 国際水準の英語によるコミュニケーション能力を身に付ける

Practical English の目的は、大学における知的活動を英語によって行えるレベルのコミュニケーション能力を身に付け、それぞれの専門分野を学んでいくためのスターティングポイントに立つことにあります。授業は、4つの基本的なスキル（読む・書く・話す・聞く）を使いながらすべて英語で進められ、英語を使うこと、英語で考えること、英語で学ぶことを修得します。到達度を客観的な基準（TOEFL-ITP）で測り、500点相当を最低達成水準として設定しているほか、単位の修得には、授業への8割以上の出席も求められます。授業カリキュラムの作成と運営、個別カウンセリングなどをはじめ、さまざまな学生のサポートは Practical English Centerが行います。

## 教養ゼミ



### 徹底的に「考える力」を体得する

教養ゼミの目的は、「考えをカタチにする力」を身に付けてもらうこと。なぜなら、大学では自らの疑問から「問い」を設定し、それを考察・研究していくことが求められるからです。そのためにまず、さまざまな考え方があり、ひとつの事柄についてもいろいろな角度から捉えられることを理解してもらいます。そして、信頼性のあるデータを集め、専門的な知識に基づいて核心に迫り、自分の考えを発表する力を育成します。教養ゼミでは少人数制教育のもと、専門の異なる教員2名と学部の異なる学生でクラスを形成し、自由に、活発に議論を交わすことができる環境を整えています。

# Pick up 科目



## 多文化交流ゼミ

### グローバル人材、はじめの一步

Practical EnglishとAdvanced Practical Englishで培った英語力を生かす場としての多文化交流ゼミ。使用言語はすべて英語。ゲストスピーカーによる講義、グループでテーマに沿ったリサーチ、プレゼンテーション、クラスディスカッションの流れを繰り返しながら、学生中心に展開される授業です。アメリカ・カナダ大学連合やCITYNETといった横浜にある国際機関の協力により開かれる科目もあり、大学レベルでの実践的英語力を身に付けると同時に、広い視野に立った思考力と発信力を養います。



## 初習外国語

### 母語 + 英語 + もうひとつの外国語

英語の授業に加えて、外国語の授業を中国語、韓国・朝鮮語、ドイツ語、フランス語、スペイン語から選択して履修することができます。グローバル化がますます進展するこれからの社会、複数の外国語・文化に習熟することは、複雑化するさまざまな文脈のなかで自分を生かす力=生きる力を形づくることです。まず最初に週3回の授業に積極的に取り組むことで、生活上の基礎的な運用能力を身に付けることが可能です。続いてそれぞれの専門領域における社会活動や、学術研究活動での実践的な受信・発信能力を養成します。海外の大学へ留学できる道も開かれています。

※国際教養学部 教養学系は必修



## 基礎科学講義

### 知識を学問に変える準備

基礎科学講義の大きな柱は2つ。その分野を勉強するために必要な基本概念の修得を目指す入門科目と事象を主体的かつ批判的に分析する思考方法を身に付ける課題探究科目です。さらには、実験を通じて自然科学の基礎を修得する科目、高等学校での知識を補うリメディアル講座も用意されています。これらは共通教養の科目なので、所属する学部にかかわらず、自分の問題意識にあった講義を履修することができます。



## キャリア形成実習

### キャリア教育のスタート

これから先の人生（キャリア）をスタートする準備を行うのがキャリア形成実習です。インターンシップでは、自分の将来のキャリアと照らし合わせ、実際に就業体験を行うことで、進路についての理解を深めます。国内に限らず、海外でのインターンシップも推進しています。インターンシップに参加、報告を行うことで、卒業単位として認定されます。



### 学生の声

## 知的好奇心がくすぐられる 充実した共通教養科目。

国際総合科学部 国際都市学系 グローバル協力コース 2年  
広島県 広島市立基町高等学校卒

滝本 美喜子 Mikiko Takimoto

入学する前は、大学の講義で法学や心理学などの自分が専攻しているという分野と全く異なる学問領域に触れることができるとは思っていませんでした。そのため、YCUの充実した共通教養科目は私にとって非常に有意義な大学生活を送ることのできる一助となっています。さまざまな分野についての基礎知識が身に付き、知的好奇心をくすぐられるとても良い体験となっています。共通教養科目で自分でも想像できなかったほど興味の対象を広げることができたので、これからは講義の時間に限らず、視野や知見を広げ、経験を蓄えて将来に生かしていけるように積極的に専門以外の領域の学修も行っていきたいと思っています。



### 学生の声

## 共通教養で培った力を 医療に携わっていく人間として 将来にも生かしていきたい。

医学部 医学科 2年  
神奈川県 私立公文国際学園高等部卒

南 拓光 Takumi Minami

「教養ゼミ」では他学部の学生と協力してひとつのプレゼンを作成することで、コミュニケーション力やプレゼン資料作成力を高めることができ、他者に物事を伝えることの難しさも学びました。「倫理学」では医療倫理や生命倫理などで、教室の意見が二分するような問題に対して考える力がついたと思います。「生体分子と細胞」「生命の機能」などは物理を選択していた自分には難しい講義ではありましたが、2年次で行う解剖学や生理学に向けて良いスタートが切れました。共通教養での学びは、専門に進むための基盤だけではなく、倫理観、客観的に物事を捉える力、そして豊かな人間性を育むことができます。これらは将来医療に携わる身として必要になるので、今後に生かしていきたいと思っています。

# 02 | グローバル教育

## グローバル人材育成の体系図

STEP1 世界を相手にする語学力と適応力を手に入れる

## 英語教育体系

専門科目・全学開放科目

- Global Business Strategy
- Learning Global Cooperation in English
- Global Leadership など

英語での講義が理解できる基準

共通教養科目

- 多文化交流ゼミ
- 英米文化理解
- 総合講義 (Education in the World) など

TOEFL 600

APE 科目

TOEFL 540 ~ 550	●APE V TOEFL iBT	●APE VI IELTS	●APE VII TOEIC	
TOEFL 520 ~ 540	●APE II Speaking	●APE III Writing	●APE IV Academic Study Skills	●APE IV Business English
TOEFL 500 ~ 520	●APE I Four Basic Skills			

海外留学最低基準※

到達目標  
TOEFL 550  
IELTS 6.0  
TOEIC 800

PE 科目

TOEFL 500	●PE ① Listening	●PE ② Reading	●PE ③ Grammar
-----------	--------------------	------------------	------------------

必修  
TOEFL 500

PE : Practical English APE : Advanced Practical English

※本基準は、海外の大学で専門科目の単位取得を目指す場合の国際的な基準です。本学学内における海外留学・研修プログラムの基準と異なる場合があります。



## キャンパスにいたがらのグローバル体験

YCUは、皆さんの語学力を試す場としてさまざまな機会を準備しています。海外への留学もそのひとつですが、キャンパスの中で自分の語学力を伸ばすこともできます。海外からYCUへやって来る留学生との交流により留学への意欲を醸成します。

### サマープログラム

夏期休暇期間を利用して、海外から学生を招待し、一緒に研究活動を行うプログラムです。海外の学生と与えられたテーマについて議論やグループワークを行うことで、これまでにない考え方や発想に触れることができます。

### 国際交流型シェアハウス

YCUは、留学生とYCU学生が共同生活を送るためのシェアハウスを金沢文庫駅近くに有しています。留学生と一緒に生活を送ることで、考え方、生活習慣、文化の違いに触れ、新しい学びへとつなげていくことができます。

### チューター制度

チューターとは、海外からの留学生の大学生活をサポートする学生のことです。チューターとなって、マンツーマンで履修アドバイス、キャンパス案内など留学生と交流することで国際感覚を養うことができます。

STEP2 海外で学び、実践する。挑戦する



1 留学プログラム 短期 長期 交換留学 ..... p.28

2 海外フィールドワーク ..... p.30

3 ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム 海外インターンシップ ..... p.32

4 国際ボランティア ..... p.32

5 アカデミックコンソーシアム ..... p.27

# 海外で学ぶ 海外で実践する

世界各国の大学・研究所等と国際的な交流を推進する YCU では、その中の 24 の国・地域の大学と学生間の交流を深めています。

夏季または春季の休暇を利用した短期留学プログラムの他、長期派遣プログラムや交換留学プログラム、海外フィールドワーク支援プログラムなどがあり、毎年多くの学生が世界の各地で国際性を磨きながら成長しています。

## YCU の国際交流ネットワーク

世界 24 ヶ国・地域の大学・研究所等とのネットワーク

### ヨーロッパ

イタリア	フランス	スペイン
●ベネチア大学	●リヨン第3大学	●ナバラ大学
オーストリア	●パリ公立病院連合 (AP-HP)	●マドリッドコンプルテンセ大学
●ウィーン大学		●サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学
ドイツ	ルーマニア	フィンランド
●ゲーテ大学	●ブカレスト大学	●オウル大学
	セルビア	
	●ベオグラード大学	

### 北アメリカ

アメリカ

- カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD)
- カリフォルニア大学アーバイン校 (UCI)
- UCSD 海洋研究所 (Scripps)
- サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所
- テキサス州立大学MDアンダーソンがんセンター
- ラホヤアレルギー免疫研究所

カナダ	メキシコ
●ブリティッシュコロンビア大学 (UBC)	●アメリカス・プエブラ大学 (UDLAP)
●マニトバ大学	

### 中南米

ブラジル

- リオグランデ・ド・スル連邦大学

### アフリカ

ウガンダ

- マケレレ大学

### アジア・オセアニア

オーストラリア	ベトナム	韓国
●ディーキン大学	●貿易大学	●仁川大学校
シンガポール	●ベトナム国家大学 ホーチミン市校	●世明大学校
●シンガポール国立大学	マレーシア	●光州科学技術院
タイ	●マレーシア科学大学	●ソウル国立大学
●タマサート大学	中国	●浦項工科大学校
●チェンマイ大学	●上海師範大学	●高麗大学校 (世宗キャンパス)
●カセサート大学	●上海交通大学	インドネシア
ネパール	台湾	●ハサヌディン大学
●クオバ工科大学	●台湾師範大学	
●トリバン大学	●東海大学	
フィリピン	●国立虎尾科技大学	
●フィリピン大学		

### ◎国際交流実績

世界各国	海外交流大学・研究機関	短期留学生派遣数	海外フィールドワーク参加者数
24 ヶ国・地域 (2018年4月現在)	45 大学・研究所 (2018年4月現在)	58 人 (2017年度実績)	297 人 (2017年度実績)
外国人留学生数	国際ボランティア参加者数	海外インターンシップ参加者数	長期留学生派遣数
120 人 (2018年5月1日現在)	18 人 (2017年度実績)	20 人 (2017年度実績)	30 人 (2017年度実績)



地球規模の課題を海外の現場で学び、考え、分析し、解決する

## アカデミックコンソーシアム

YCU は、アジア各国のトップ大学と協働で都市の課題解決を目指す国際的な大学間ネットワーク「アカデミックコンソーシアム (IACSC※1)」を 2009 年に創設し、横浜市および JICA・アジア開発銀行 (ADB)・CITYNET 等の国際的機関と連携しながらグローバルな研究や教育を推進しています。IACSC では「環境」「まちづくり」「公衆衛生」の 3 分野を中心に据え、①年次総会・国際シンポジウムの運営 (2018 年度はフィリピン大学で開催予定)、②国際共同研究の推進、③持続可能な都市づくり共通教育プログラム (SUDP※2) の実施、④JICA 革の根技術協力事業、⑤海外フィールドワークやサマープログラムによる国際学生交流、といった多岐にわたる活動を各国で展開しています。YCU の「グローバル都市協力研究センター (GCI※3)」は 2011 年に設立され、IACSC ネットワーク全体の事務局として上記の諸活動の企画立案、各参加大学や協力機関との交渉や調整、教育・研究プログラムの実施を担当しています。YCU の学生は、IACSC の活動に積極的に参加し、海外大学の学生との交流や現地での学びの機会を得ることで、国際化する社会で要求される行動力、交渉力、思考・分析力、発信力を身に付けています。GCI は、学生が国内や海外のフィールドに出て、都市の現場が抱える現状と課題に向き合い、新たな知識と経験を得て実践的に課題解決を目指すことのできるグローバル人材の育成を支援していきます。

※1 IACSC: International Academic Consortium for Sustainable Cities  
※2 SUDP: Sustainable Urban Development Program  
※3 GCI: Global Cooperation Institute for Sustainable Cities

### 【アカデミックコンソーシアム (IACSC)】



### 【主な参加大学・協力機関等】

- ・マレーシア科学大学
- ・タマサート大学 (タイ)
- ・フィリピン大学
- ・ベトナム国家大学
- ・ハサヌディン大学 (インドネシア)
- ・横浜市
- ・独立行政法人国際協力機構 (JICA)
- ・公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES)
- ・アジア太平洋都市間協力ネットワーク (CITYNET)
- ・アジア開発銀行 (ADB)

# 短期・長期・交換留学・研修プログラム

YCUの留学プログラムは、外国の文化、言語、自然、社会等に関する知識を修得し、現地での交流を通して豊かな国際感覚を養うことを目的としています。大学プログラムではYCUからの補助金や、後援会からの助成金など、さまざまな経済的支援制度があります。また、計画的に海外渡航するため2018年4月より「《よこしん》YCU 海外留学定期積金」の運用を開始しています。

## 短期留学プログラム

【全学年対象】

夏季・春季の休暇期間などを利用して参加するプログラム。  
渡航先・言語・プログラム内容から選ぶことができます。

(2018年度参考)

名称	国名	留学先大学等	参加要件	プログラム期間	費用
夏季語学研修	カナダ	ブリティッシュコロンビア大学	PE取得以上	8月下旬より約3週間	45～60万円
	カナダ	サイモンフレーザー大学	PE取得以上	8月初旬より約4週間	45～60万円
	イギリス	アングリア・ラスキン大学	PE取得以上	8月初旬より約3週間	45～60万円
	イギリス	サセックス大学	PE取得以上	8月初旬より約3週間	45～60万円
	アイルランド	ダブリンシティユニバーシティ	PE取得以上	8月中旬より約4週間	45～60万円
	オーストラリア	ディーキン大学	TOEFL-ITP480以上またはTOEIC600以上	8月中旬より約4週間	45～60万円
	フランス	トゥーレーヌ語学学院	フランス語初級程度	8月初旬より約4週間	45～60万円
春季語学研修	スペイン	ナバラ大学	スペイン語初級程度	8月中旬より2.5週間	45～60万円
	アメリカ	UCSD 春季アカデミックスキル研修 (カリフォルニア大学サンディエゴ校)	PE取得以上	2月中～下旬より約4週間	45～60万円
	カナダ	ピクトリア大学	PE取得以上	3月初旬より約4週間	45～60万円
	アイルランド	ダブリンシティユニバーシティ	PE取得以上	2月中旬より5週間	45～60万円
夏季講座	中国	上海師範大学	中国語初級程度	2～3月より約4週間	30万円
	アメリカ	UCLA (カリフォルニア大学ロサンゼルス校)	TOEFL-iBT79以上 (TOEFL-ITPは受付不可) / IELTS 6.5以上 等	8月初旬より約6週間	90万円
	アメリカ	UCSD (カリフォルニア大学サンディエゴ校)	TOEFL-iBT90以上 (TOEFL-ITPは受付不可) / IELTS 7.5以上 等	8月初旬より約5週間	130万円
	アメリカ	UCI (カリフォルニア大学アーバイン校)	詳細はWebサイトで確認してください。	8月初旬より約6週間	100万円

## 長期留学プログラム

【出発時に学部2年次以上】

(2018年度参考)

国名	プログラム名	参加要件	プログラム期間	費用
アメリカ	ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム	PE取得以上／TOEIC600相当以上 (他の英語力試験において相当であれば選考対象)	2月～8月／8月～1月 (年2回派遣)	100～120万円
オーストラリア、アメリカ、イギリス等	ブリッジプログラム	TOEFL-iBT61以上または、IELTS5.5以上 (但し派遣先による)	2月～4月より1年	300～500万円 (YCU学費免除)
アメリカ、カナダ、イギリス等	セメスター留学	TOEFL-iBT71以上または、IELTS6.0以上 (但し派遣先による)	8月～9月より半期または1年	300～950万円 (YCU学費免除) 半期 250万円～/1年 350万円～

## 交換留学プログラム

【出発時に学部2年次以上】

大学間の協定に基づき派遣される交換留学プログラム。

(2018年度参考)

国名	留学先大学等	参加要件	プログラム期間	費用
イタリア	ベネチア大学	TOEFL-iBT71以上または、IELTS6.0以上	9月初旬より1年	160万円
フランス	リヨン第3大学	応募書類、面接で確認	8月下旬より1年	160万円
ドイツ	ゲーテ大学	詳細はWebサイトで確認してください。	10月初旬より1年	160万円
オーストリア	ウィーン大学	応募書類、筆記・面接で確認	3月初旬より1年	160万円
スペイン	ナバラ大学	英語：TOEFL-iBT80以上またはIELTS6.0以上 スペイン語：面接で確認	9月初旬より1年	150万円
スペイン	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学	スペイン語：面接で確認	9月初旬より1年	150万円
フィンランド	オウル大学	詳細はWebサイトで確認してください。	9月初旬より1年	160万円
メキシコ	アメリカス・プエブラ大学	英語：TOEFL-iBT80以上またはIELTS6.0以上 スペイン語：面接で確認	8月中旬より1年	150万円
中国	上海師範大学	応募書類、面接で確認	9月初旬より半期または1年	100万円 (1年間の場合)
台湾	東海大学	中国語：面接で確認 英語プログラム：TOEFL-iBT61以上または、IELTS5.5以上	9月中旬より1年	90万円
韓国	仁川大学校	応募書類、面接で確認	8月下旬または2月下旬より 半期または1年	110万円
韓国	高麗大学校 (世宗キャンパス)	韓国語：面接で確認 英語プログラム：TOEFL-iBT61以上、IELTS5.5以上	9月初旬より1年	140万円
タイ	タマサート大学	TOEFL-iBT61以上または、IELTS6.0以上	8月初旬より1年	100万円
タイ	チェンマイ大学	詳細はWebサイトで確認してください。	8月初旬より1年	100万円
マレーシア	マレーシア科学大学	TOEFL-iBT61以上または、IELTS5.5以上	8月下旬より1年	80万円

※経費概算は旅費・保険等を含んだ目安です。

※学生の所属は、現行の学部・学系・コース名となっています。

### 短期留学体験者インタビュー (ディーキン大学 夏季語学研修)

留学先：オーストラリア (ディーキン大学 2017年8月～9月)

## 1年次の夏に思い切って挑戦し、 これからの自信を得ることができた。

医学部 看護学科2年  
富山県立高岡高等学校卒

定司 すみれ Sumire Jouzuka

「外国人の患者さんにも対応できる看護師になりたい」という想いから留学に興味を抱き、挑戦するなら1年次のうちからだと思っていました。留学を通して自分の英語力に対する自信が付き、さらにステップアップするための新たな課題を見つけることもできました。そして何より、多様な人たちとのコミュニケーションで行動力と積極性が身に付いたと感じています。準備や滞在中も自ら考え行動することが求められました。留学中に会った人々からは多くの刺激を受け、今後も国際交流や国際ボランティアに参加したいと強く思うようになりました。1年次の夏にこのような経験ができたことが自信につながったので、在学中にまた留学に挑戦したいと思います。



### 長期留学体験者インタビュー (交換留学プログラム)

留学先：フランス (リヨン第3大学 2016年8月～2017年7月)

## 本場の文化・環境での生活は 新たな視点や考え方を与えてくれた。

国際総合科学部 国際教養学系 人間科学コース4年  
新潟県立阿賀黎明高等学校卒

渡部 綾一 Ryoichi Watanabe

大学の講義で現代思想について学び、その中でもフランス現代思想に興味を抱きました。それらの思想が、どのような社会環境や文化の中で生まれたのかを知りたいと思い、フランスに留学することを決めました。日本の視点、フランスの視点の両方を理解することができるようになったため、より広い視点でものごとを考えられるようになったと思います。私の専門は発達心理学で、子どもの道徳性を研究しています。日本の慣習に合わないからといって排除するのではなく、社会・文化を超えて、子どもにとって何が大切かを第一に考えて、留学中に得られた経験を生かして研究に取り組んでいきたいと思っています。



# 海外フィールドワーク支援プログラム

YCU では、国際的な視野を持った人材を育成するために、海外での実践的な教育活動を支援する「海外フィールドワーク支援プログラム」を行っています。授業の一環として実施する、海外での実践的な教育研究活動を支援するため、渡航経費の経済的補助を行っています。

## 海外フィールドワーク支援プログラム一覧

より実践的な教育研究活動ができるように各学部、研究科、コース・学科・専攻によって異なるフィールドワークがあり、それぞれプログラム期間は異なります。(2017年度参考)

学部 研究科	コース・学科・専攻	科目名	渡航先	概 要
国際総合科学部	共通教養	ドイツ語教養基礎Ⅰ・Ⅱ、教養実践、中級	オーストリア (ウィーン)	市内の交通やスーパーマーケットなど、日常生活を観察し、ドイツ語が使用される生活背景を垣間見ながら、身に付けたドイツ語を実際に使ってみる。ウィーンを訪れることでドイツ語の背後にある豊かな歴史文化と出会い、ヨーロッパへの理解を深める。
		Advanced Practical English Ⅰ～Ⅴ	カナダ (バンクーバー、ビクトリア)	先住民族 (イヌイット) 文化センターや自然科学博物館などを訪れたり、現地の2大学を訪問・同大学の学生と交流することで、互いの文化・言語などに対する理解を深める。日本と全く異なる環境の社会に直接触れ、英語を使い現地の人々とコミュニケーションをとる。
	人間科学コース	演習Ⅰ・Ⅲ、現代の人間論B	イタリア (ローマ)	キリスト教の起源と死の哲学的考察という二つのテーマが密接に関連している場所を訪れ、ローマのカタコンベヤ初期の教会・礼拝堂を直接見ることで、「死の宗教」としてのキリスト教の実態を肌で感じる。
	社会関係論コース	演習Ⅱ・Ⅳ、卒論演習Ⅱ、演習Ⅱ・Ⅳ、研究演習Ⅱ、総合研究科目2 (博士後期)	イタリア (ローマ、トリエステ、ベネチア)	イタリアに赴き、①精神医療システムの現在 (ローマ、トリエステ、ベネチア)、②ユダヤ人に関する歴史 (ベニスの最初のゲットー、トリエステの強制収容所跡地)、③若者の現在 (異なる世代間の関係、男女関係、仕事意識等)、の3点を中心に、イタリア社会と日本社会の現在を比較する。
	国際文化コース	演劇文化論、表象文化論、演習Ⅰ～Ⅳ、卒論演習Ⅰ・Ⅱ	イギリス (ロンドン)	シェイクスピアやミュージカルなど、主に英米演劇について講義・演習で学び、考察してきたことを、上演の場として、また舞台芸術研究の場としてもっとも重要なロンドンで確認、発展させる。
国際総合科学部	まちづくりコース	演習Ⅰ・Ⅲ、卒論演習Ⅰ、演習Ⅰ (博士前期)	台湾 (台北)	歴史的資源の活用事例、創造産業育成事例を調査することを目的に台北市、新北市を訪問する。台北市では、容積移転制度を活用した保存事例等を見学し、台湾歴史資源経理学会や台北市政府都市更新機、及び産業発展局の方からの講義・ヒアリングを実施する。
	グローバル協力 コース	海外調査実習C (国際協力)b	ネパール (カトマンズ、バクタプル、ナガルコット)	ネパールを訪問し、同国で実施されている多様な国際協力の現場を視察するとともに、日本人関係者や現地の人々との意見交換を通じて、開発がもつ意味、役割、正負のインパクト、課題解決への道筋等を考察する。また、実習の一部として、クオパ工科大学と地震復興に関する共同調査を行い、学生による発表会を行う。
		海外調査実習A (アジア) a	中国 (広州、深圳、香港)	華南珠江デルタ地域の中心地として変貌著しい広州、経済特区という壮大な実験で広く知られる深圳、植民地の歴史を経てグローバル・シティとなり現在は中国の特別行政区としてその動向が注目される香港を対象地域とし、アジアにおける経済発展、都市形成、社会変容などについての識見を高める。
		海外調査実習B (国連)	オランダ (ハーグ)、 ベルギー (ブリュッセル)	国連の現場であるハーグ、多数の国際機関があるブリュッセルの現場で政策形成や活動を行っている国際機構や国際 NGO の方の話を聴き、議論を深めることにより、地球規模問題の解決のために国連や国際機構がどのような取り組みをしているのか、理解を深める。
	経営学コース	演習Ⅰ・Ⅲ	台湾 (台北、新竹、台中)	台湾、新竹科学工業園区を訪問し、IT 産業の研究開発にかかる最新の状況を学修するとともに、台湾の研究所の研究者に対し、日本の IT 産業の現況についてプレゼンテーションを行う。また、台湾の東海大学経営学部の学生との英語による交流や、淡江大学外国語学部の学生との台北市内の消費動向調査・レポート作成を共同で行う。
		演習Ⅰ・Ⅲ	ベトナム (ハノイ)、 タイ (バンコク、チェンマイ、 アユタヤ)	ベトナム社会主義共和国およびタイ王国に進出している日系企業へのヒアリング調査を通じ、国際的な観点から人的資源管理や経営組織論を学ぶ。また、タイ王国の2つの現地大学 (カセサート大学、チェンマイ大学) 訪問による学生間交流を行い、文化・経済的側面から設定したテーマに基づきフィールド調査を行う。
		演習Ⅱ	フィリピン (セブ、カオハガン)	世界で活躍できる「グローバル人材の育成」を目的とし、海外 (新興国) において、英語をコミュニケーションツールとしたアクティブラーニングを実践する。具体的にはフィリピン、セブ島ロスガに建つ「職業訓練&事業開発」の施設で出店し、現地メンバーと協働で継続的に会社経営を行う。
医学部	会計学コース	演習Ⅰ・Ⅲ、卒論演習Ⅰ	タイ (ブーケット)	ソクランナカリン大学を訪問し、両国の会社制度、企業経営、会計制度等に関する講義へ参加する。講義の内容を踏まえ、英語でのプレゼンテーションを行い、日本とタイの企業やビジネス環境の比較から視野を広げる。また、ラチャバット大学を訪問し、国際学部の学生と交流を図る。
	看護学科	看護の統合と実践Ⅲ、国際看護学Ⅰ	フィリピン (イロイロ)	JICAやセントラルフィリピン大学附属病院、地域保健医療施設等を訪問し、開発途上国における母子保健の現状について体験し、医療人としての視野拡大に役立てる。また現地住民に対し、健康教育を行うことを通じ、地域特性及び健康課題別の看護方法について学ぶ。
	生命ナノシステム科学専攻	国際リトリート	台湾 (台北)	国立台湾大学・国立台湾師範大学にて現地研究者と研究交流ワークショップを開催し、研究発表や議論を通じたモチベーション向上、学生の国際化を図る。また、個々の専門に沿った研究室を訪問し、より細部にわたる議論を行うことで、今後の研究の方向性、発展について話し合う。
		国際リトリート	オーストラリア (メルボルン)	オーストラリアのメルボルンにあるメルボルン大学、モナッシュ大学、メルボルン工科大学、オーストラリア連邦科学産業研究機構 (CSIRO) で研究発表、研究所ツアー、学生および研究者との交流会を行う。また、現地の日本企業の研究者の交流会を通じ、将来の具体的なキャリアパスを視野に、本場の英語に触れより高いレベルでの国際化教育を実施する。
生命ナノシステム科学研究科	生命環境システム科学専攻	国際リトリート	台湾 (虎尾、台北)	横浜市と関係の深い台湾雲林県にある虎尾科技大学生命工学院を訪問し、研究発表を行う。教員、若手研究者、大学院生と討論することにより、自分の研究のアービールと問題点、方向性を身を持って学ぶ。また虎尾科技大学の先端研究を行っている研究室を訪問し、世界をリードする研究に触れる。

※学生の所属は、現行の学部・学系・コース名となっています。

### 海外フィールドワーク参加者インタビュー

渡航先：タイ・ベトナム

## 現場に行くことで見えた これからの自分に必要なもの。

国際総合科学部 経営科学系 経営学コース 4年  
ドイツ デュッセルドルフインターナショナルスクール卒

今出 雛子 Hinako Imade

ゼミで「人的資源管理論」を学び、海外進出している日系企業の制度や育成方法について興味が湧き、日系企業の進出が著しい東南アジアの国の現状を知りたくて参加しました。海外駐在員の方の経験を伺う中で、これまで理論として体系的に学んできたことだけでは実際には上手いかならないこともあるという現場の厳しさを知りました。友人関係のような次元ではなく、複雑な関係が交錯する企業において、異なる文化を受け入れながら働くことの難しさを実感しました。将来は海外駐在員として働きたいと思っているため、単なる語学習得だけではなく、論理的思考を学び、誰もが理解できるようアウトプットする能力を身に付けていきたいと思います。

### 海外フィールドワーク参加者インタビュー

渡航先：台湾

## 生涯の財産になる 「主体的に学ぶ姿勢」を得られた経験。

生命ナノシステム科学研究科 生命環境システム科学専攻 博士前期課程2年  
神奈川県 横浜市立金沢高等学校卒

村山 千尚 Kazunao Murayama

現地の学生に自分の研究内容を英語で発表する機会があり、その際に現地の学生の学修意欲の高さと自身の英語力不足を感じました。分からないことや興味のあることに対して主体的に学ぶ姿勢を強く感じ、英語力の高い人たちがほとんどという中で、多くの刺激を受けました。帰国後、何かを始めようと思い、まず読書と英語の勉強を習慣化させるべく、大学図書館にあるビジネス誌を毎週読むようにし、英語の勉強はLLテープライブラリーで毎日2時間コツコツ勉強しました。その結果、TOEICでは目標としていた800点を越えることができ、この経験で学んだ主体的な姿勢を自分の生活に落とし込むことができました。今後も「主体的に学ぶ姿勢」を持続けていきます。

# ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム 海外インターンシップ/国際ボランティア

アメリカ・フロリダ州のバレンシアカレッジでディズニー社の講師からビジネスやサービスに関する科目を学びながら、ディズニーワールドで就業体験を積む「ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム」。

世界中から集まる仲間との学修や生活、就業体験を通じて、グローバルに活躍するために必要なスキルと経験、マインドを獲得することができます。

また、世界のビジネスシーンに身を置いてその現場を体感し、実践的な就業体験が積める「海外インターンシップ」や、海外でさまざまな人たちと関わり、環境保護や開発途上国の子どもの支援活動といった、ボランティア活動に参加できる「国際ボランティア」などのプログラムも充実。

身に付けた語学力を駆使しながら、世界各国のさまざまな現場を肌で感じることで真のグローバル人材になるための力を養うことができます。



※学生の所属は、現行の学部・学系・コース名となっています。

## ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム参加者インタビュー

留学先：アメリカ（バレンシア大学 2017年2月～8月）

## 一人ひとりが自分らしく輝く 「多様性」の理解とマネジメント。

国際総合科学部 国際教養学系 国際文化コース 4年  
神奈川県立金井高等学校卒

高見 明希 Aki Takami

もともと英語が得意ではありませんでしたが、「さまざまな国の人とコミュニケーションをとり、未知の世界を知る」ことにとても興味があり、語学留学ではなく就業体験がメインのこのプログラムに参加しました。ディズニーワールドでの就業体験では、世界中から来たキャスト一人ひとりが自分らしさを生かして働いており、考え方が「違って当たり前」を受け入れ、認めることの大切さを改めて感じました。中でもプログラムで出会ったマネージャーや大学の先生は、それぞれの多様性を理解し、マネジメントすることがとても上手で、理想像に出会えたことで新たな目標もできました。将来は、日本と海外をつなぐ架け橋となれるような仕事をしたいと思っています。



※学生の所属は、現行の学部・学系・コース名となっています。

## 国際ボランティア参加者インタビュー

渡航先：オーストラリア（メルボルン 2017年2月～3月）

## 充実した体験が、これからの 学修のモチベーションにつながる。

国際総合科学部 理学系 生命環境コース 4年  
茨城県立土浦第一高等学校卒

岩田 望 Nozomi Iwata

海外への渡航経験がなく、大学生のうちに英語力を伸ばして異文化を体験しようと参加しました。実際に現地で海外の友人と共同生活をしてみると、日本人とは異なった文化や意識の違いを感じることができ、英会話はカタコトでもなんとかコミュニケーションを取ることができました。しかし、英語力の不足による意思疎通の滞りを実感することもあり、それが帰国後の英語学修の強いモチベーションになりました。ボランティア活動を通して、オーストラリアの野生動物や大自然を生で体験することができ、普通の海外旅行では体験できない充実したものとなりました。グローバル社会の実践的な場で活躍できるように努力を続けたいと思います。



## 海外インターンシップ参加者インタビュー

渡航先：シンガポール（コニカミノルタ シンガポール販社 2017年8月）

## 実務に近い業務に携わり、 キャリアの視野を広げる機会に。

国際総合科学部 経営科学系 会計学コース 4年  
福井県立高志高等学校卒

加藤 優衣 Yui Kato

将来どのような仕事をしたいのか、働くとはどういったことなのかについて理解を深めるために応募しました。現地企業での財務レポートの作成や営業部門とのミーティングなど、実務に近い業務に携われたことがとてもよかったと思います。営業部門や人事部門の方の業務を間近で見ることで、それぞれのやりがいや大変さを知り、自分の将来のキャリアに対する視野がとても広がりました。自分とは異なる文化・背景を持つ人と働くという経験を通して、何事も物怖じせずとにかく挑戦してみる姿勢が身に付きました。もし参加していなければ、今頃もっと狭い視野でキャリアについて考えていただろうと思います。



# 03 | ヨコハマで学ぶ

## 横浜という地域が学びの場となる

横浜市は日本最大の政令指定都市としてさまざまな産業が集積する大都市です。そこには多くの都市型の課題や地域の課題が存在しています。そんな現代の都市やコミュニティが抱える課題に、行政や地域住民とともに解決に向けて取り組んだり、地元企業とともに企業の経済活動を活性化させるビジネスプランを作り上げたりするなど、YCUではゼミやボランティア活動等を通じて、社会課題に挑み、実践的なアプローチを学ぶことができます。また、カリキュラムの中にも「地域志向科目」や「地域実践科目」といった、地域に関する学修を行う科目も用意されています。

### ■ 教員と学生が取り組む地域貢献活動

地域社会が抱えるさまざまな課題を地域課題として地域の企業や自治体などに提案してもらい、それらの課題にYCUの教員と学生が解決に向けて取り組みます。地元横浜でのさまざまなイベントや企業との連携など、横浜をフィールドにした実践的な学びにより学生は大きく成長します。



#### 01 京急電鉄、京急不動産、横浜市建築局 金沢区との空き家利活用プロジェクト

横浜市郊外の空き家の増加という社会課題に対し、実習授業で実態を把握した上で、空き家利活用の方策等を学生が提案します。それらを産学官で多面的に検証し、社会の中での実用化を模索しています。(国際都市学系 齊藤広子教授 他)

#### 02 Aozora Factory

約800社もの製造業を中心とした企業が集積する金沢臨海部産業団地。この地域の活性化を目指し、企業の魅力を分かりやすく紹介する子ども向けワークショップを開催するなど、地元企業の魅力を発信するプラットフォームを創出しています。(経営科学系 芦澤美智子 准教授)



#### 03 並木ラボ

高齢化が進んでいる金沢シーサイドタウンに「並木ラボ」を開設し、地域住民の交流の場としてコミュニティの活性化に取り組んでいます。また、医学部教員・学生による出前講座や健康相談を実施するなど、地域住民の健康づくりの拠点としても機能しています。(国際都市学系 三輪律江 准教授・中西正彦 准教授)

#### 04 国際会議での発表

第6回アジア・スマートシティ会議におけるYokohama Youth Event 2017では、YCUの学生が、各国の専門家やアジア開発銀行のエコノミストらと英語で議論を行うセッションで、新興国の課題に対して地元横浜の取り組みをもとに解決策を提言しました。(経営科学系 芦澤美智子 准教授)

#### 05 ポンパドウルとの商品開発

横浜市立大学生協の魅力向上を目的に、学生がブランドマネジメントの観点から消費者行動分析に基づき地元横浜の老舗パン店と共同で商品開発に取り組み、オリジナル商品を考案。YCUのオリジナルグッズとして販売しています。(経営科学系 柴田典子 准教授)

地域実践科目を履修した学生の声

国際総合科学部 国際教養学系 人間科学コース4年  
橋本 美沙 Misa Hashimoto 神奈川県立光陵高等学校卒

私は神奈川県や横浜市について学問的な視点で学びたいと思い、地域実践科目を履修しました。「基礎」「応用」に加えて、金沢八景の活性化についてのグループワーク、地元企業でのインターンシップなどの「実践」という3つの観点から地域の魅力や課題を学びました。これらの学びを生かして、高齢者や子どもなど立場の弱い人々・悩みや困難を抱えた人々に対して、親身に寄り添いサポートをすることで地域社会に貢献したいと考えています。

※地域実践科目の開講については、2019年度は変更になる可能性があります。

※学生の所属は、現行の学部・学系・コース名となっています。



## ボランティア支援室

学生の「地域に貢献したい」という意欲や、地域での主体的な学びをサポートするため、YCU ボランティア支援室ではさまざまな活動を行っています。学生の活動希望と地域からの要請(ニーズ)をコーディネートしたり、ボランティア情報発信の拠点として、また初めてボランティア活動に参加する学生が、安心して参加できるようサポートを行うなど、地域社会でボランティアを通じて成長する学生をバックアップしています。



### ■ 学生の自主的なボランティア活動を支援



ボランティア支援室では10のカテゴリに分けてボランティア活動の情報を収集・発信しており、2017年度は延べ443名の学生が地元のイベントやスポーツ・国際交流などのイベント、子どもたちの学習支援などの活動に参加しました。学生には、「ボランティア証明書」を発行するために、事前の登録を呼びかけています。「ボランティア証明書」はボランティア活動を形に残し可視化するためのもので、就職活動の場面等で、在学中に取り組んだ活動をアピールするための客観的資料として活用することも可能です。また、ボランティア支援室学生スタッフ(Volunch)による「ボラツアー」では、初めてボランティアに参加する学生に学生スタッフが同行し、ボランティアを安心して始められるきっかけづくりの場を提供、楽しみながら体験してもらう工夫をしています。

### ■ 学生が取り組む地域貢献活動

地域貢献活動に取り組むサークルや学生団体を大学が支援。2017年度は8団体の事業が採択され、年度末には報告会を開催して成果を発表、優秀な活動を表彰しました。



#### 01 YDC Yokohama Dream Catchers

子どもたちに正しく医療を理解してもらうため、医学部の学生が小・中学校へ訪問授業を行っています。医療機関の使い分けや救急車の適正利用についての講義、医師・看護師の仕事を知りやすく説明するなど、子どもたちに医療への関心を高めってもらう活動を行っています。



#### 02 いのちの授業

横浜市内の小学校を対象に、看護学科の学生が「いのち」に関する出前授業を行っています。生命誕生のプロセスや仕組みを、スライドや体験などにより紹介し、「いのち」について考えるきっかけとしてもらうための活動を行っています。



YCUと関東学院大学、金沢区が連携し「大学の活力を生かしたまちづくり」に取り組んでいます。2017年度は学生グループ「金沢研究会」が地元金沢の魅力を発信すべく、さまざまなイベントを企画・開催しました。また「中西ゼミ」は並木地区で、住民と連携した地域ビジョンの作成・周知サポート活動を行いました。



#### 03 SCIENCE らいげーす

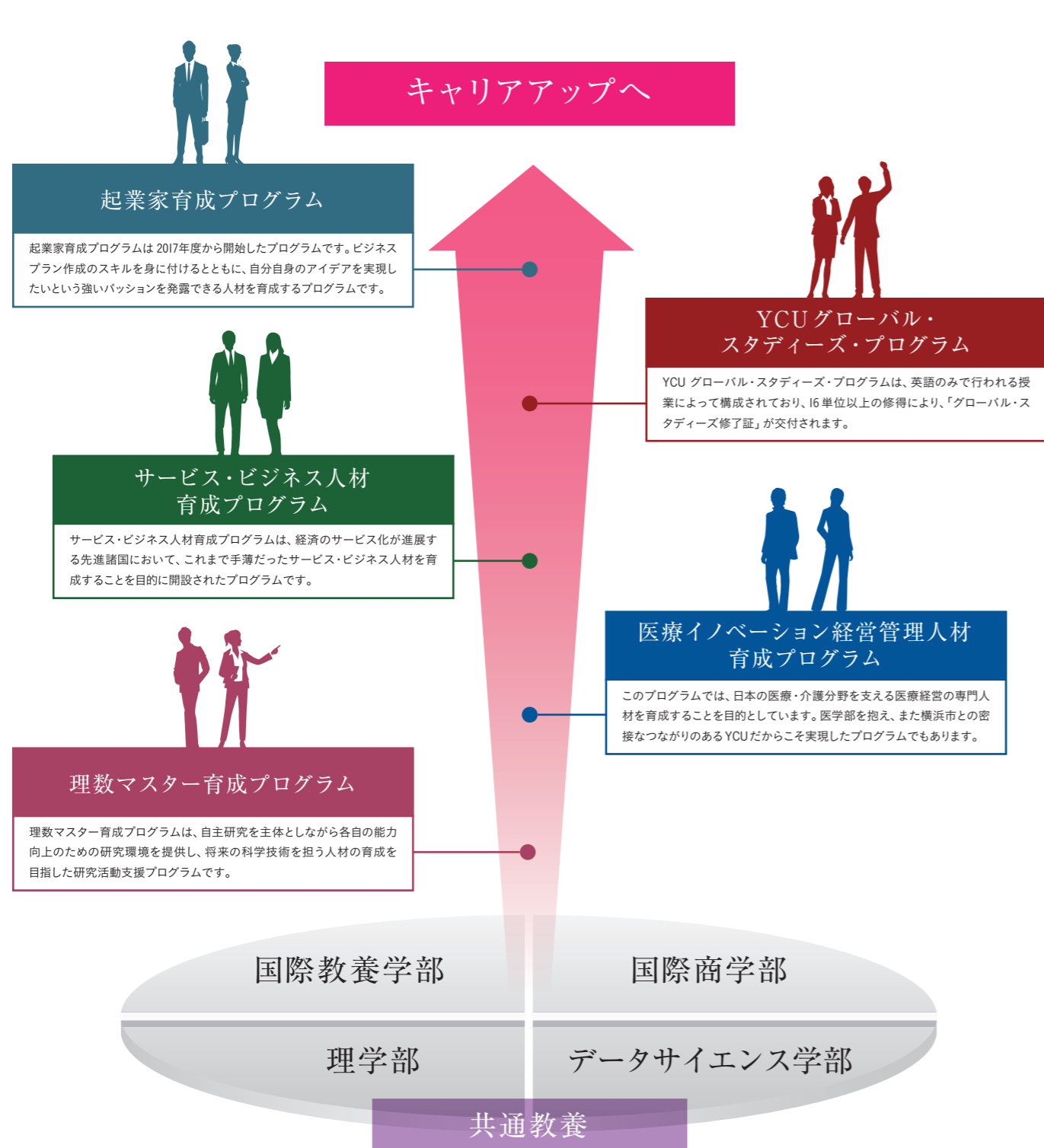
舞岡キャンパスのある戸塚区舞岡地域で、学校で行っている科学活動を支援し、子どもたちに自然科学への関心を高めってもらうための活動を行っています。昆虫の研究活動やサイエンスカフェの開催、地元学校での参加型学習支援活動などを展開しています。

# 04 | 領域横断教育

## YCUならではのキャリア形成プログラム

横浜市立大学では、共通教養の学修を基盤にして、国際教養学部、国際商学部、理学部、データサイエンス学部、医学部に分かれて専門を究めていきます。その専門性を究めるとともに、将来のキャリア形成を視野に入れ、体系だった知識を身に付けた人材を育成するための各種プログラムが設けられています。

※2018年5月時点のプログラムです。2019年度は、変更になる可能性があります。



※学生の所属は、現行の学部・学系・コース名となっています。

**学生の声**

**理数マスター育成プログラム**

**期間** 2015年5月～2018年3月(34ヵ月)

国際総合科学部 理学系  
生命環境コース 4年  
神奈川県立横須賀大津高等学校卒

**加藤 麦都** Mugito Kato

もともと食品に関わる研究に興味があり、このプログラムに参加し、「ミツバの組織培養～栽培技術への応用をめざして～」というテーマの研究を行っています。1 年次から研究室に入って基礎的な内容を学び、先生との相談を通して現在のテーマに至りました。ミツバの病害を植物生理学の技術を生かして解決することを目標としており、このカギとなる「ミツバの培養条件」や「大量培養の方法」を明らかにしつつあります。結果が出るまで辛抱強く観察を続ける必要があり、「自分で考えること」「継続すること」の重要性、そして純粋に「学問の面白さ」を学ぶことができました。

**学生の声**

**医療イノベーション経営管理人材育成プログラム**

**期間** 2016年4月～2018年3月(24ヵ月)

国際総合科学部 経営科学系  
会計学コース 4年  
鹿児島県立沖永良部高等学校卒

**沖吉 慶也** Michinari Okiyoshi

**学生の声**

**サービス・ビジネス人材育成プログラム**

**期間** 2016年4月～2017年3月(11ヵ月)

国際総合科学部 経営科学系  
経営学コース 4年  
愛知県立西尾高等学校卒

**板倉 美穂** Miho Itakura

本プログラムでは、非営利組織の中でも医療機関・介護事業の経営管理に特化した講義を履修し、日本の医療制度や業界の現状を学んだ上で、課題を発見し解決策を考えるという取り組みました。私は医療法人へのインターンシップにも参加し、より実践的な経営管理を学ぶことができました。また、経営に関する知識だけでなく、興味のあることには自分からチャレンジするということの大切さもインターンシップから学ぶことができました。医療業界では経営管理を行える人材が求められており、これからは学んだ経験を生かすとともに、能動的にアクションを起こしていくことで、医療業界を支える人材になりたいです。

**学生の声**

**起業家育成プログラム**

**期間** 2017年4月～2018年2月(11ヵ月)

国際総合科学部 経営科学系  
会計学コース 4年  
山梨県立甲府西高等学校卒

**伴野 洋介** Yosuke Banno

**学生の声**

**YCU グローバル・スタディーズ・プログラム**

**期間** 2016年4月～2018年4月(24ヵ月)

国際総合科学部 国際都市学系  
グローバル協力コース 3年  
東京都 私立日本大学第三高等学校卒

**藤原 奏** Kana Fujiwara

前期はベンチャー企業の経営者の方に講演していただき、ビジネス起ち上げの原点にある想いや苦労したこと、今後のビジョンなどを伺うことができました。また、グループワークでは自分たちの原体験からニーズを発掘し、ターゲット設定などを行いました。後期からはビジネスプランの作成に取り組み、集大成として臨んだ大学のコンテストでは最優秀賞をいただきました。かながわ学生ビジネスプランコンテストでは審査員賞をいただくこともでき、他大学生との交流は大変貴重な経験となりました。プログラムを通して、日常のあらゆる事象に問題意識を持ち、ビジネスにつなげていこうとする姿勢を学びました。

講義を通してのディスカッションや発表、レポートは英語で行われ、最初は自分の英語の実用能力の低さを実感しました。特に印象に残っている講義は「現代アジア・太平洋地域事情」です。日本近隣の国が抱える自然環境やインフラの課題に将来を見据えて向き合うという内容で、日本語で理解していたことも、他言語を通して学ぶことで多くの発見がありました。レポートを書く際に英語の文献を多く参照し、英語力の向上につながったと感じます。将来は日本と海外の架け橋になる仕事に就きたいと考えているので、プログラムの中で気づいた自分の弱点を克服して、英語の実用的な能力を身に付けたいです。

# 国際教養学部

School of International Liberal Arts

国際教養学科 ■教養学系 ■都市学系

学位：学士（学術）

深い思考、柔軟な発想、理論に裏打ちされた  
実践力でグローバル化時代の未来を切り開く国際人に



## ■こんな学びを志向する人に

- 1 世界の人々の相互理解に貢献したい
- 2 複雑化する現代社会が抱える問題の解決に貢献したい
- 3 外国語をその背景となる文化や歴史を理解しながら学びたい
- 4 人間の心のメカニズム、発達や成長について学びたい
- 5 まちづくり、都市計画、都市デザインに関心がある
- 6 都市・地域の課題解決に貢献したい

（2019年4月開設予定）

## ■国際教養学部の特徴

国際教養学部は、豊かな教養と高い思考力、さらに、高い外国語運用能力と課題解決に向けた実践的な力を養う教育を展開します。それにより、多文化共生社会の実現や世界規模の課題、現代のさまざまな都市における諸問題の解決に貢献できる人材を育成します。教養教育と専門教育の融合をベースとしながら、社会・文化・人間に関わる多様な学問群の中から、自らの関心に沿って「主体的な学び」を進め、それぞれの分野における「専門的な知見」を修得します。また、幅広いアプローチを学ぶことで「多角的視点」に立ち、ものごとの本質や根本をとらえる豊かな教養と高い思考力を養います。加えて、このような教養と思考力に裏打ちされた、現代の都市・地域社会が直面する現実的な課題を解決するための実践力をもつ人材を育成していきます。

### 特色1 『専門性の深化と学問の融合による 深い思考力と柔軟な発想力の獲得』

グローバル化が進み、複雑化する社会で生きていくために必要なことは何でしょうか。それは、ものごとの本質を見極められる深い思考力と未知の事象に出会った時に対応できる柔軟な発想力です。国際教養学部では1年生全員が国際社会論、国際文化論、人間科学論、都市政策・まちづくり論という学問入門科目を受講し学びのスタートを切ります。2年次からは、社会・文化・人間の諸問題を多角的に捉える教養学系と都市・地域の課題に実践力で挑む都市学系の2学系、4つのクラスター（科目群）の中から自ら選択した分野の勉強を深めます。さらに関連するクラスターの学問領域を融合的に学ぶことによって、深い思考力と柔軟な発想力を身に付けていきます。

### 特色2 『理論に裏打ちされた実践力を鍛える』

大学での学びの大きな特徴は、専門性を持つこと、そしてその専門性を武器に理論的な思考ができるようになることです。さらには、身に付けた力を社会に還元することが大学を卒業した人の使命といえるでしょう。国際教養学部の学びの中には、社会に還元するための実践力を鍛えるプログラムが用意されています。海外、国内で行う実習プログラムはその一例です。国連や JICA、海外、国内の大学、自治体などと連携したフィールドワークや共同研究で学びのカタチを変えていく体験をします。講義で学んだことを現実の課題に当てはめて思考したり、国内外の同世代の学生とディスカッションしたりという体験を通して、理論と実践の両面から学びを深めていきます。

### 特色3 『グローバル時代の未来を切り開く コミュニケーション能力』

よりよい学びのためには、学んだことを形にして人に伝えること、相互に理解しあうことが必要です。国際教養学部の学びにはコミュニケーション能力を鍛える仕掛けがちりばめられています。少人数で行われるゼミでの発表や討論、講義中に課されるプレゼンテーションなど、発表や討論の機会がたくさんあります。経験を積むことによって、コミュニケーション能力を磨いていきます。高度な英語運用能力の修得に加えて、もうひとつの外国語を学ぶことにも力を入れており、国際教養学部教養学系では英語以外の言語を学ぶ「初習外国語」を必修としています。2年生前期後半から夏休みにかけての期間に海外体験をすることを強く推奨しています。以心伝心ではなく、ことばとことばの積み重ねによって相互理解をする体験がグローバル時代の未来を切り開いていく力へとつながります。

#### Message from the Dean

深い専門性、幅広い教養、そして  
高い外国語運用能力に基づいて、  
主体的に課題を解決できる  
実行力のある人間を育てる場。

国際教養学部長（就任予定）

佐藤 響子 Kyoko Satoh

国際社会では多角的な視野に立って課題を発見し、確かな思考力と高い対話能力で課題を解決できる人材が求められています。そこで必要とされるのは、外国語能力を含むコミュニケーション能力、多様な社会・文化的背景の理解、自文化の相対化、根拠に基づいて主体的に行動できる能力です。国際教養学部では、選択したクラスターで体系的に専門の軸を固めるとともに、隣接する学問領域との融合をはかり、専門性の深化と学問の融合による深い思考力と柔軟な発想力の獲得



を目指します。ゼミの活動では、他者との協働作業を通して理論に裏打ちされた思考を応用できる実践力を鍛えます。さらに、海外留学や国内外におけるフィールドワーク、インターンシップ等、さまざまな体験を積むことで相互理解に基づく日本語および外国語でのコミュニケーション能力に磨きをかけます。ともに作り、ともに育つ場としての国際教養学部での学びを通して、あらゆる社会、文化、思考を認め合い生かすことができる、グローバル時代の未来を切り開いていく国際人を目指しましょう。

## ■ 4年間の学びのイメージ

	1年次	2年次	3年次	4年次
学部の 特長	国際教養学部の入門科目を学び、基礎を固める	専門性を深めるため教養学系、都市学系のどちらかを選択し、専門性を確立するために4つのクラスター(科目群)からひとつを選択する	海外留学、インターンシップ、英語で行われる専門科目などを履修し複文化・複言語を体験。専門を深めると同時に、学問間の融合を図る	学修をさらに深化させ、4年間の集大成として卒業論文を作成する
教養学系		プレゼミ	演習	卒論演習 大学院科目の早期履修
都市学系		都市課題実習Ⅰ	都市課題実習Ⅱ	
共通		教養ゼミ/基礎ゼミ	Advanced Practical English	
領域横断		領域横断型人材育成プログラム		

## ■ 専門性を深める学系とクラスター

国際教養学部は、「教養学系」と「都市学系」という2つの学系を持ち、少人数で行われるゼミを中心にそれぞれの専門性を深めていきます。その専門性を確立するために4つのクラスター（科目群）を設けています。学生はそこから必ず1つのクラスターを選択し、集中的に学ぶ「専門の軸」を持ちながら、関連す

る学問領域の科目まで融合的に学修することができます。＜国際社会＞＜国際文化＞＜人間科学＞＜都市政策とまちづくり＞の4つのクラスターを専門の軸として、下記の専門科目における「人間」「社会」「文化」「都市」のカテゴリーから関連する科目を履修していきます。

国際社会(教養学系)	国際文化(教養学系)	人間科学(教養学系)	都市政策とまちづくり(都市学系)
社会学、国際関係学など	文学、言語学、歴史学など	哲学、身体科学、心理学など	地域科学、都市計画学など

## ■ 国際教養学部専門科目・全学開放科目一覧

人間		社会			文化				都市	
哲学の人間論A 哲学の人間論B 現代倫理学 臨床心理学A 臨床心理学B 臨床心理学C 発達心理学 現代思想 文化人類学 心理学研究法 身体運動科学 現代教育論	社会福祉論 宗教論 東洋思想 認知心理学 社会心理学 運動生理学 オルタナティブ教育論 インクルージョン論 文化人類学 体育学研究法 スポーツ文化論 世界の福祉 高齢社会論	現代社会論 社会学 エスニシティ論 アジア地域論 国際協力論 国際開発学 国際法Ⅰ 国際法Ⅱ メディア社会論 社会理論 東南アジア研究 東アジア社会経済論 国際移住論A 国際移住論B 海洋法 多文化社会論	男女共同参画社会論 南アジア研究 中国研究 アメリカ社会論 芸術社会論 メディア・リテラシー論 ヨーロッパ統合論 ラテンアメリカ研究 アフリカ社会論 平和構築論 家族社会学 ジェンダー論 文化社会学A 文化社会学B 韓国朝鮮研究 地域開発論 国際経済社会論 国際人権法	日本外交論 農村振興論 国際機構論 Global Issues 芸術社会論 メディア・リテラシー論 ヨーロッパ統合論 ラテンアメリカ研究 アフリカ社会論 Japan and International Cooperation International Cooperation in Urban Development 国際人権法	日本文化史A 日本文化史B 中国文化論A 中国文化論B 東南アジア史 アメリカ文学A アメリカ文学B イギリス文化論 フランス語文学 ドイツ文化論A ドイツ文化論B 言語学 Anglo・アメリカ文学批評論 イギリス文学A イギリス文学B フランス文化論 応用言語論 日本語文学 日本思想史 日本古典文化論 イスラーム地域史A イスラーム地域史B	アメリカ文化論 表象文化論 British Literature in English 欧米の歴史 都市文化論 歴史学 現代美術論 コミュニケーション論 日本近代文化論 日本近代文学 日本古典文学 日本近現代史A 日本近現代史B Japanese Literature in English 東アジア史A 東アジア史B 中国古典文化 中東社会・文化論 アメリカ史 American Literature in English Explication of American Literary Text A	Explication of American Literary Text B 英米言語文化A 英米言語文化B 翻訳文化論A 翻訳文化論B 西洋古典学A 西洋古典学B 演劇文化論 音楽文化論 映像文化論 ヨーロッパ史 社会言語論A 社会言語論B 理論言語学 日本メディア史 東洋文化 Elements of Fiction European Culture in English 英語構文研究 メディア英語 ロシア・東欧の文化	都市計画論 都市解析 地域活性化論 都市と暮らし 比較社会システム論 行政法Ⅰ 行政法Ⅱ 住環境計画論 地球環境政策論 地方自治論 都市空間形成論 地域CSR論 都市デザイン論 参加・協働論 資源循環論 都市防災計画論 不動産マネジメント論 CSR実践論 非営利組織論 観光政策論	比較地方自治 横浜の都市づくり 都市経済学 労働生活政策論 港湾都市論 環境まちづくり論 文化政策論 地域保健医療福祉論 労働経済学 環境経済学 資源経済学 環境ISO論 品質ISO論 日本の都市計画と都市開発 都市課題実習Ⅰ 都市課題実習Ⅱ 海外都市課題実習 インターンシップ実習 キャンパス起業体験実習	
外国語・実習・専門ゼミ										
専門外国語A(フランス語) 専門外国語B(フランス語) 地域調査実習	専門外国語A(ドイツ語) 専門外国語B(ドイツ語) 海外文化実習	専門外国語A(スペイン語) 専門外国語B(スペイン語) 海外調査実習	専門外国語A(中国語) 専門外国語B(中国語) プレゼミA	専門外国語A(韓国・朝鮮語) 専門外国語B(韓国・朝鮮語) 演習Ⅰ	アジア諸言語Ⅰ(タイ語) アジア諸言語Ⅱ(タイ語) 演習Ⅱ	アジア諸言語Ⅰ(ペルシャ語) アジア諸言語Ⅱ(ペルシャ語) 卒論演習Ⅰ	アジア諸言語Ⅰ(ペルシャ語) アジア諸言語Ⅱ(ペルシャ語) 卒論演習Ⅱ	卒業論文		
全学開放科目										
医療イノベーション経営管理論 サービス・ビジネス論Ⅰ サービス・ビジネス論Ⅱ 会計論 起業家人材論 起業プランニング論 医療経営論 Global Business Administration Global Business Strategy Global Organization Theory Japanese Industry Japanese Economy	Global Leadership Global Service Management Global Human Resource Development Introductory AccountingⅠ Introductory AccountingⅡ Intermediate Accounting International Business Basics of Corporate Analysis and Valuation Global Innovation Management Global Marketing Advanced Topics in Economics Introduction to IFRSs	民法・物権Ⅰ 民法・物権Ⅱ 民法・債権Ⅰ 民法・債権Ⅱ 環境法 財務諸表分析Ⅰ 財務諸表分析Ⅱ 経済統計Ⅰ 経済統計Ⅱ 経済政策Ⅰ 財政学Ⅰ ミクロ経済学Ⅰ	ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 統計の数理Ⅰ 国際金融論Ⅱ 金融論Ⅰ 金融論Ⅱ 計量経済学Ⅰ 計量経済学Ⅱ 経営財務論 財政学Ⅱ ミクロ経済学Ⅱ	公共経済学 コーポレート・ファイナンス 代数学 統計の数理Ⅱ 統計の数理Ⅲ 調査設計論 多変量データ解析 統計モデリングⅠ 統計モデリングⅡ 応用統計学Ⅰ 応用統計学Ⅱ データマイニング	機械学習 データ可視化法 ビッグデータ解析 計算機統計学 計算機概論 情報理論 アルゴリズム論 数値解析 最適化理論 並列分散処理 臨床研究・疫学入門Ⅰ 臨床研究・疫学入門Ⅱ	医療統計学 計量経済学モデリングAⅠ 計量経済学モデリングAⅡ 計量経済学モデリングB 金融時系列モデリング サンプリング法 自然科学モデリング 量子計算モデリング				

## ■ Pick up 授業



### 文化社会学

滝田 祥子

「文化」を社会的に解明していく方法や理論的基盤を学び、さまざまな社会問題を考えていく視座を身に付けることを到達目標として、「文化」を五感で捉え、作品化し、伝えるために「エスノグラフィー」の手法を学びます。エスノグラフィーは、人びとが生きる現場を理解するための方法であり、「当たり前」「異文化」「他者」を捉え直すきっかけを与えてくれます。自分を取り巻く世界を、五感を使いながらより詳細に観察し、作品化することで文化を社会的に解明します。講義は、一般的エスノグラフィーの手法の概念や理論を学び、その重要性を踏まえた上で、実践としてフィールドワークを行い、レポート報告会という一連のプロセスで進めていきます。自分の身近な環境であるYCUの学生生活の現場、その他、アルバイト先、部活動等、日常生活が学びの場となります。



### 都市課題実習Ⅱ

齊藤 広子・中西 正彦

この授業は、都市学系の科目に位置付けられており、まちづくりに関する基礎的な知識を前提としています。地域が直面する課題を発見し、その背景や意味、構造を理解し、解決策を提示・実行する「まちづくり」活動には、さまざまな能力が求められます。本講義は、「まちづくり」に取り組むために必要な思考力、調査・解析力、提案力を修得すること、個人作業によるスキル向上に加え、グループでの作業・討論を通じて、合意形成および共同成果物作成のノウハウを修得することの2つを到達目標にしています。また、週4回の授業を15週にわたって行う実習形式で、前半は横浜市金沢区の大規模敷地を対象に、周辺地域の状況を読み解き、社会的な需要を考察した上で「地域に資する施設の計画」を作成することを課題とします。後半は、金沢区内の住宅地を対象に、まちの魅力を発見し向上させ、発信するための提案づくりを行います。

## ■ 主な科目紹介

### 臨床心理学

#### 講義概要

臨床心理学の歴史、理論、および心理的不適応とそれらに対する多様なアプローチ方法や援助法など、臨床心理学の基礎について学修します。さらに、臨床心理学の統合、社会的要請と倫理など、現代の課題について学ぶことで、「人間とは何か」について考えます。

### エスニシティ論

#### 講義概要

現代社会における民族・人種・宗教間の対立や社会的格差などの問題を理解するために、社会学では「エスニシティ」(ethnicity)というコンセプトが作られています。この授業では、エスニシティに関わる社会学を中心とした基礎理論や概念を学んだ上で、欧米や日本など先進国の実際の事例を理解します。

### 海外調査実習(アジア)

#### 講義概要

本実習ではアジア各地の現地を訪問することで、経済の発展や都市の形成、社会の変容などについてその発展・変容のエネルギーを直に体感します。あらかじめ座学で学んだことを眼前の現象と結びつけ考察することで、アジア地域に関する理解をさらに深めます。

### ジェンダー論

#### 講義概要

本講義は、ジェンダーという知的領野の入門科目です。現代日本社会のジェンダー構造を理解するとともに、社会に存在するジェンダー、セクシュアリティに関する現状を把握する力、さらに現実の個別具体的な問題に直面したときに、問題の在処を的確に把握し、適切に対処できる力を身に付けます。

### 日本文化史

#### 講義概要

本講義では、近年の「日本」の文化史研究を踏まえ、国境や時代、多様性など文化形成に関わる諸問題について学びます。さらに、環境、感性、差別、出版などを通じた文化史の分析視角および、氾濫する文化情報を批判的に捉える洞察力を身に付けます。文化史が捉える範囲は、とても広く、記憶や心性、沈黙、しぐさ、匂いなど人間活動に関わるものすべてを対象として学びます。

### 都市デザイン論

#### 講義概要

「都市デザイン」を学ぶことで、人口減少などにより個性と活力を失いつつある都市や地域が抱える課題解決のための方法論を身に付けます。一般的な都市計画から、横浜の戦略的な取り組みの事例などを取り上げ、地域が持つ個性、特色を磨き、都市で活動する人の主体性を引き出し、活力を形成していくための取り組みを知り、将来の都市づくりにつなげます。

教員一覧

各教員の研究内容はこちらをご覧ください。  
http://www.yokohama-cu.ac.jp/researcher/



青 正澄 Masazumi AO 教授 地球環境政策論	柿崎 一郎 Ichiro KAKIZAKI 教授 東南アジア研究	高橋 寛人 Hiroto TAKAHASHI 教授 教育学	増田 公香 Kimika MASUDA 教授 社会福祉論
有馬 斉 Hitoshi ARIMA 准教授 倫理学	影山 摩子弥 Makoya KAGEYAMA 教授 比較社会システム論	滝田 祥子 Sachiko TAKITA 教授 多文化社会論	松本 郁代 Ikuyo MATSUMOTO 教授 日本文化史
石川 永子 Eiko ISHIKAWA 准教授 都市防災計画論	加藤 千博 Chihiro KATO 准教授 イギリス文化論	土屋 慶子 Keiko TSUCHIYA 准教授 英語学	三上 真司 Shinji MIKAMI 教授 哲学
岩崎 徹 Toru IWASAKI 准教授 英文学	Kléber GHIMIRE 教授 グローバル経済論	角田 隆一 Ryuichi TSUNODA 准教授 現代社会論	三輪 律江 Norie MIWA 准教授 市民まちづくり論
上村 雄彦 Takehiko UEMURA 教授 国際政治論	後藤 寛 Yutaka GOTO 准教授 都市解析	坪谷 美欧子 Mioko TSUBOYA 准教授 社会学	本宮 一男 Kazuo MOTOMIYA 准教授 日本近現代史
浮田 徹嗣 Tetsuji UKITA 准教授 精神分析学	齊藤 広子 Hiroko SAITO 教授 不動産マネジメント論	中谷 崇 Takashi NAKATANI 准教授 アメリカ文学	山崎 和美 Kazumi YAMAZAKI 准教授 アジア近現代史
宇野 二郎 Jiro UNO 教授 地方自治	佐藤 響子 Kyoko SATOH 教授 コミュニケーション論	中西 正彦 Masahiko NAKANISHI 准教授 都市計画論	山根 徹也 Tetsuya YAMANE 教授 西洋史
大島 誠 Makoto OOSHIMA 准教授 都市財政論	塩尻 智之 Tomoyuki SHIOJIRI 准教授 身体文化論	長谷川 真里 Mari HASEGAWA 教授 発達心理学	吉田 栄一 Eiichi YOSHIDA 准教授 国際協力論
乙坂 智子 Tomoko OTOSAKA 教授 中国前近代史	庄司 達也 Tatsuya SHOJI 教授 近代日本文化論	速水 淑子 Yoshiko HAYAMI 准教授 ドイツ語	渡會 知子 Tomoko WATARAI 准教授 社会理論
小野寺 淳 Jun ONODERA 教授 人文地理学	鈴木 伸治 Nobuharu SUZUKI 教授 景観まちづくり論	平井 美佳 Mika HIRAI 准教授 臨床心理学	和仁 道郎 Michiro WANI 准教授 国際経済論
小幡 敏行 Toshiyuki OBATA 准教授 中国哲学	瀬田 真 Makoto SETA 准教授 国際法	平松 尚子 Naoko HIRAMATSU 准教授 フランス文学	

(2018年5月時点の予定)



学生の声

※学生の所属は、現行の学部・学系・コース名となっています。



未知の領域に挑戦して、  
想像以上の自分に成長。

国際総合科学部 国際教養学系 社会関係論コース 3年

山村 菜々 Nana Yamamura 神奈川県 横浜市立桜丘高等学校卒

高校を卒業した時点では、自分のやりたいことがあまり明確に決まっていませんでしたが、YCUでは領域横断的に興味のある分野について学びを深めることができるため、幅広い分野を知った上で進路を選択することができました。また、これまでに国際ボランティアや海外留学のプログラムに積極的に挑戦し、多くのことを学びました。これらの新しい挑戦に踏み出す際には不安もありましたが、実際に体験してみないと得られない発見がたくさんあり、一歩踏み出して外の世界を覗く大切さを知りました。今後も積極的に未経験の領域に挑戦して、想像以上の自分に成長していきたいです。

2年次後期の時間割の例

	月	火	水	木	金
1時限目	—	—	—	—	—
2時限目	グローバル市民社会論B	比較文化論	現代倫理学	—	—
3時限目	歴史から今を知る	社会理論	フランス語中級	—	—
4時限目	—	日本社会史/ ヨーロッパ社会史	現代社会論	外書講読	日本社会史/ ヨーロッパ社会史
5時限目	演習II	—	—	現代思想	—



将来の目標のために  
専門以外の勉学にも励む。

国際総合科学部 国際教養学系 人間科学コース 3年

門田 知哉 Tomoya Monden 広島県 私立AICJ高等学校卒

私が所属する人間科学コースでは、心理・哲学・社会的要素を用い、多角的に「人」に焦点を当て、その真理を学ぶことができます。講義は座学による知識の蓄積だけでなく、学生や先生とグループワークを通して知識を深め学んでいます。私は1年次から教職課程の講義を受けており、将来は教員採用試験を受ける予定です。教師になった際には本コースでの学びを生かし、その先には海外での活動も考えています。途上国で十分な教育を受けられない子どもたちに対して、その子たちに寄り添って教育の機会を与えられるような人材になりたいです。YCUでは生きた英語を学べる機会が多いため、将来の目標のために専門以外の勉学にも日々励んでいます。

2年次後期の時間割の例

	月	火	水	木	金
1時限目	—	翻訳文化論	生埋人類学	—	—
2時限目	都市文化論	演習II	現代日本社会論	—	社会言語論
3時限目	言語論	Elements of Fiction	身体科学	—	道徳教育論 ※
4時限目	英語科教育法 ※	Explication of American Literary Text B	メディア英語	—	特別活動論 ※
5時限目	—	Global Issues	—	—	—

※ 教職課程の専門科目



社会を深く理解することで  
自分がすべきことが見えてくる。

国際総合科学部 国際都市学系 地域政策コース 3年

山下 航平 Kohei Yamashita 国立筑波大学附属坂戸高等学校卒

YCUには素晴らしい研究室が多くあり、私は地球環境政策を専攻しています。所属している研究室のグループ研究では、海洋汚染問題について調査や問題解決に向けた提案も行っており、世界規模で問題となっている海洋汚染問題など最先端の内容を研究しています。研究成果は横浜市が主催する海博や東京ビッグサイトで開催されるエコプロダクツ展で発表でき、また北欧へ行き、現地NPO/NGOや大学、地方自治体などの環境ステークホルダーと意見交換や研究発表を行うこともできるため、自らの研究の意義などを考える機会になっています。社会を深く理解することで自分がすべきことが見えてくると感じています。

2年次後期の時間割の例

	月	火	水	木	金
1時限目	—	—	—	—	環境ビジネス・資源循環論
2時限目	—	高齢社会論b	—	都市財政論	グローバル地理
3時限目	—	比較地方自治	ラテン・アメリカ社会論	—	アジア近現代史
4時限目	—	大都市経営論	メディア英語	特講(グリーン購入)	—
5時限目	—	Global Issues	演習II	—	—

# 国際商学部

School of Economics and Business Administration

## 国際商学科

学位：学士（経営学）・学士（経済学）

## 実社会に変革をもたらす グローバルリーダーを育成



## ■ こんな学びを志向する人に

- 1 企画立案する方法や起業する方法を学びたい
- 2 金融機関の活動や金融などの政策について学びたい
- 3 グローバル企業で活躍するための経営管理能力を身に付けたい
- 4 「経営学」と「経済学」を1年間学んでから深く追求する学問を決めたい
- 5 さまざまな専門職（公認会計士、税理士）を目指したい
- 6 民間企業から公務員まで、幅広く自分の可能性を広げる学びをしたい

（2019年4月開設予定）

## ■ 国際商学部の特徴

国際商学部は、経営学・経済学を中心とする学問的専門性に基づき、現実の国際的な労働・製品・金融市場の動向を踏まえた社会経済活動を学ぶとともに、国際商業都市・横浜という地域での学びを通して、既成概念にとらわれない課題発見力と企画立案力、そして実業界で役立つ確かな英語力を培います。また、文理融合的思考力を養い、数理解理解力やデータ分析力などを生かした特色ある教育を行います。これらの教育を通して、グローバル企業に必要な経営管理能力や新事業を創造する企画立案力を備え、学問的な専門性に裏付けられたマネジメントに関する高度な「実学」力により、実業界や公的組織で活躍する幅広い職業人を養成します。

### 特色 1 『英語で学ぶ専門科目で ビジネスに強い英語力を強化』

皆さんが大学を卒業する頃には、会議での公用語が英語となっている企業は増えていることでしょう。そうでないとしても、仕事で英語を使用する機会は確実に増えています。つまり、グローバル企業で活躍するために欠かせないのは、コミュニケーションのための英語力だけでなく、仕事に生かせる実践的な英語力だと考えます。そこで、国際商学部では、英語による専門科目（Global Business Strategy, Advanced Topics in Economics, Introductory Accounting など）を多数学ぶことができます。たとえば、Introductory Accounting を2年次後期に学修してもらうために、1年次に簿記入門、2年次の前期に会計学原論という関連科目を事前に日本語で学修できるように計画されているので、英語での専門科目の学修も無理なく進めることができます。

### 特色 2 『海外で実践力を養う、 海外インターンシップ』

グローバル企業は世界各国に支社や事業所を開設しています。日本企業もこれから急速に世界中の都市に進出していくことでしょう。つまり、近い将来、「企業で働く」ということは国内だけでなく海外をフィールドとして活躍することを意味するのです。そこで、国際商学部ではこれからのビジネスには欠かすことのできないグローバルな視点と経営管理能力を入学後の早い段階から意識し、確実に獲得してもらうため、また、在学中に海外で働くことを体験してもらいたいという思いから、海外企業などへのインターンシップに参加する機会を提供していきます。たとえば、本学卒業生とのネットワークから、シンガポールにあるコニカミノルタビジネスソリューションズアジアでの実習が実現しています。

### 特色 3 『データ分析、起業、医療経営など 多様な専門性を育成』

ビジネスの世界、たとえば、新商品を開発し販売し収益を上げるまでには、どこに工場を建設するのか、原材料はどこから購入するのか、工場の作業員をどのように確保するのか、商品の広告費にいくらかけるのか、そして、商品の価格はいくらにするのか、その他、決断しなければならない課題がたくさんあります。こうした課題解決に経営学と経済学の知識は必須です。しかし、今ではこうした課題の解決に経営学や経済学以外の知識も必要となっています。そのひとつが膨大なデータを分析し数値化する能力です。また、経済成長が見込まれない社会で企業が発展していくためには、新事業を創り出す（起業する）ための企画立案力も必要となります。その他、人口が減少していく社会では医療に関係する課題も山積しており、こうした諸課題に経営的な視点からの解決が強く求められています。そこで、国際商学部では、本学のデータサイエンス学部や医学部と連携し、「計量経済学」、「起業家人材論」、「医療イノベーション経営管理論」など特色ある科目を設け多様な専門性を育成します。

#### Message from the Dean

「人と進んで交わり共に資質を高める」  
という理念のもと  
豊富な卒業生ネットワークを生かして、  
グローバル社会で活躍するための実学力を高める。

国際商学部長（就任予定）

大澤 正俊 Masatoshi Osawa

2019年4月に設置予定の国際商学部は、1928年設立の横浜商業専門学校を開学の祖とし、1949年に新制大学（学校教育法に拠る大学）商学部として発足しました。その後、2005年から現在まで国際総合科学部（経営科学系）として、これまで、開国・開港の地である横浜にふさわしく、開放的で国際性・進取性に富む学風は受け継がれ、実践力の溢れる人材を多数輩出してきました。現代社会は、グローバル化、ICT（情報通信技術）の急速な発展、少子高齢化による市場の縮小や労働人口の減少などが、想像以上のスピードで進んでいる状況です。これに伴い大きく変化してきているビジネスの世界



でも活躍できるリーダーを養成することが、これからの横浜市立大学の使命であると受け止め、国際商学部を設置するに至りました。国際商学部でも「人と進んで交わり共に資質を高める」という開学当初からの理念のもと、精力的に実業界と関わりながら実学力（経営学・経済学の専門性に裏付けられたマネジメントに関する実践力）を養っていきます。そのため学外実習では、実業界で活躍している多くの卒業生とのネットワークと国際商業都市である「横浜」というフィールドを生かし、学問的な理論・知識に加え、実践力を高める教育を行い、実業界や公的機関などで活躍できる職業人の育成を目指します。

## ■ 4年間の学びのイメージ

	1年次	2年次	3年次	4年次
学部の 特長	国際商学部 の入門科目を 学び、基礎を 固める	経営と経済の基礎理論を学び、2年次後期から専門ゼミに所属し、専門領域を決定する	経営と経済の応用科目からグローバル企業に必要な経営管理能力や企画立案力を学び、専門領域を深める	学修をさらに深化させ、4年間の集大成として卒業論文を作成する
		プレゼミ	演習	卒論演習
		英語による専門科目（基礎）	英語による専門科目（応用）	
		海外留学・学外実習 前期には、海外留学・学外実習として、 ●海外サマーセミナー参加 ●海外企業インターンシップなど 積極的に海外体験を推奨する期間があります。		大学院科目の早期履修
共通	全学開放科目			
	共通教養科目			
	教養ゼミ/基礎ゼミ			
	Practical English	Advanced Practical English		
領域横断		領域横断型人材育成プログラム		

## ■ 実践で学ぶための海外体験や実習

1年次は国際商学部の入門科目を学び、2年次には経営・経済の基礎理論をしっかりと学びます。さらに、2年次の6月中旬から9月にかけて、海外企業インターンシップや短期留学など、積極的に海外での体験を積める期間を設けています。そして2年次後期になると専門ゼミに配属され、専門を深めていくことにな

ります。また、国際商学部では、さまざまな企業や自治体と連携した「企画提案型実習」、医学部やデータサイエンス学部とも連携した「文理融合型実習」を設け、アクティブラーニングによる学びで実践的なテーマに挑戦します。

## ■ 国際商学部専門科目・全学開放科目一覧

専門科目					
医療イノベーション経営管理論 サービス・ビジネス論Ⅰ サービス・ビジネス論Ⅱ 公会計論 起業家人材論 起業プランニング論 医療経営論 Global Business Administration Global Business Strategy Global Organization Theory Japanese Industry Japanese Economy Global Leadership Global Service Management Global Human Resource Development Introductory AccountingⅠ Introductory AccountingⅡ Intermediate Accounting International Business Basics of Corporate Analysis and Valuation Global Innovation Management Global Marketing	Advanced Topics in Economics Introduction to IFRSs 民法・物権Ⅰ 民法・物権Ⅱ 民法・債権Ⅰ 民法・債権Ⅱ 環境法 財務諸表分析Ⅰ 財務諸表分析Ⅱ 経済統計Ⅰ 経済統計Ⅱ 経済政策Ⅰ 経済政策Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 行政法Ⅰ 行政法Ⅱ 国際金融論Ⅰ 国際金融論Ⅱ	金融論Ⅰ 金融論Ⅱ 計量経済学Ⅰ 計量経済学Ⅱ 経営財務論 財政学Ⅰ 財政学Ⅱ 公共経済学 地方自治論 コーポレート・ファイナンス ビジネスエコノミクス 商業簿記Ⅰ 商業簿記Ⅱ 会計学原論Ⅰ 会計学原論Ⅱ 工業簿記 経営労務 経営組織論 マーケティング論 観光政策論 国際経営論 原価計算論 国際会計論	経営戦略論 マーケティングリサーチ 組織行動論 人的資源管理論 企業論 経営情報論 財務諸表論 コーポレート・ガバナンス コストマネジメント論 イノベーション・マネジメント 組織文化論 経営史 証券市場論 監査論 ベンチャービジネス論 多国籍企業論 管理会計論 企業戦略論 国際税務戦略 生産管理論 リスクマネジメント論	中小企業論 税務会計論 消費者行動論 流通ロジスティクス論 情報の経済学Ⅰ 情報の経済学Ⅱ 経済数学 国際経済学Ⅰ 国際経済学Ⅱ ゲーム理論 公共政策 都市経済学 ファイナンス理論 契約理論 産業組織論 労働経済学 社会保障論 地理情報システム論 港湾都市論 資源経済学 環境経済学 経済成長論	景気循環論 金融システム論 公共選択論 地方財政学 会社法 租税法 ビジネス法務 手形小切手法 金融商品取引法 倒産法 サマープログラム インターンシップ実習 企画立案型実習A 企画立案型実習B 文理融合型実習A 文理融合型実習B
専門ゼミ					
プレゼミア	演習Ⅰ	演習Ⅱ	演習Ⅲ	卒論演習Ⅰ	卒論演習Ⅱ
全学開放科目					
国際協力論 国際開発学 グローバル政治論 国際法Ⅰ 国際法Ⅱ 海洋法 グローバル公共政策論 国際機構論 Global Issues Learning Global Cooperation in English International Cooperation in Urban Development 国際人権法 応用言語論 英米言語文化A 英米言語文化B	翻訳文化論A 翻訳文化論B 社会言語論A 社会言語論B European Culture in English 英語構文研究 都市計画論 都市解析 地域活性化論 都市と暮らし 比較社会システム論 住環境計画論 都市空間形成論 地域CSR論 都市デザイン論	参加・協働論 都市財政論 資源循環論 都市防災計画論 不動産マネジメント論 CSR実践論 観光政策論 横浜の都市づくり 労働生活政策論 環境まちづくり論 文化政策論 地域保健医療福祉論 日本の都市計画と都市開発 海外調査実習 専門外国語A(フランス語)	専門外国語B(フランス語) 専門外国語A(ドイツ語) 専門外国語B(ドイツ語) 専門外国語A(スペイン語) 専門外国語B(スペイン語) 専門外国語A(中国語) 専門外国語B(中国語) 専門外国語A(韓国・朝鮮語) 専門外国語B(韓国・朝鮮語) アジア諸言語Ⅰ(タイ語) アジア諸言語Ⅱ(タイ語) アジア諸言語Ⅰ(ベルジャ語) アジア諸言語Ⅱ(ベルジャ語) 代数学 統計の数理Ⅰ	統計の数理Ⅱ 調査設計論 多変量データ解析 統計モデリングⅠ 統計モデリングⅡ 応用統計学Ⅰ 応用統計学Ⅱ データマイニング 機械学習 データ可視化法 ビッグデータ解析 計算機統計学 計算機概論 情報理論 アルゴリズム論	数値解析 最適化理論 並列分散処理 臨床研究・疫学入門Ⅰ 臨床研究・疫学入門Ⅱ 医療統計学 計量経済学モデリングAⅠ 計量経済学モデリングAⅡ 計量経済学モデリングB 金融時系列モデリング サンプリング法 自然科学モデリング 量子計算モデリング

## ■ Pick up 授業



### 国際経済学Ⅰ

太田 暁

ノーベル経済学賞を受賞したポール・クルーグマンは、彼の著書の中で新聞やニュースで「学生が国際経済について読んだり聞いたりすることのほとんどが、まったくでたらめ」と言っています。ではグローバル化がさらに深化する現代において、私たちは世界経済をどのように見たら良いのでしょうか。本講義は経済学を用いて、国際経済を分析する考え方・フレームワークを学びます。具体的には、貿易の基礎理論、特に生産技術の違いや生産要素の賦存量の違い、規模の経済性などをテーマに国際貿易理論を学修します。授業を通じて、貿易発生のメカニズムや貿易による利益を理解し、国際経済に関する問題について経済学的な観点から分析できる力を身に付けます。



### 医療イノベーション経営管理論

黒木 淳

医療制度や政策の特徴を学ぶとともに、実務家から医療機関や介護施設での経営管理に必要な事柄を学びます。講義は、①医療機関や介護施設を運営するにあたり重要な制度の知識の獲得、②多彩な医療関係の外部講師による講義、③特定の病棟の中期経営計画の作成という3つのポイントを中心に進められ、5名程度のグループで病院の中期計画について報告することを最終目標とします。講義を通して①わが国の医療制度・政策の特徴を説明することができる。②医療管理・介護実践のマネジメントに必要な事柄を説明することができる。③病棟・施設設置計画を作成することができる。の3つの目標を達成することで、医療・介護に必要な資源を理解し、医療機関や介護施設で経営面からイノベーションを起こすことができる人材を目指します。

## ■ 主な科目紹介

### 起業プランニング論

#### 講義概要

起業の意義として、①経済の新陳代謝の活発化、②イノベティブな技術やビジネスモデルの市場投入、③経済成長の担い手となる成長力の高い企業の誕生、などが挙げられます。この講義では、起業に興味のある学生の背中を後押しするため、ビジネスプラン作成のスキルを身に付けます。

### 経営戦略論

#### 講義概要

この講義では経営戦略研究の変遷、経営戦略の形成過程を学修することで、その意義・概略、そして基礎理論を理解します。視聴覚教材等を用いて事例を紹介することで、ロードマップの重要性を含め、経営戦略への理解を深めます。また、企業を自分自身に置き換えることで、自分の将来設計や目標を作ることができるようになります。

### コストマネジメント論

#### 講義概要

原価計算とは、原材料や労働力などの経営資源のインプットが、製品としてアウトプットされる過程を貨幣的に記録するための技術であり、製造業の健全な経営に不可欠なシステムです。この講義では、工業簿記・原価計算論に関する各テーマを日商簿記検定1級レベルで求められる理論や計算手法を中心に学修します。

### 消費者行動論

#### 講義概要

マーケティング戦略を行う上で、「消費者」を理解することは不可欠です。この講義では、消費者の行動を、「マーケティングと消費者行動の関係」「消費者行動論とマーケティング・リサーチの関係」「量的調査と質的調査」「インタビューにおける諸注意」「質的データの分析手法」によって学びます。さらに、学んだりサーチ方法を実践することで、インプットした知識の理解をより深めています。

### 税務会計論

#### 講義概要

税務会計論とは、会計学の研究成果を用いて租税を研究する学問です。この講義では、主に法人税の課税所得算定の全体的な枠組みに加え、法人住民税や法人事業税について学修します。また、「租税法」における全般的な論点及び所得税、相続税、消費税などの法人税以外の個別税目についても学修します。

### 公共選択論

#### 講義概要

この講義では、公共的な意思決定に関し考察が行えるようになることを目指し、ミクロ経済学の復習を行うとともに、市場の失敗について改めて取り上げ、政府の役割に関し考察します。また、公共選択論および政治経済学の文脈から政府と市場の在り方に関して学び、考察していきます。

## 教員一覧

各教員の研究内容はこちらをご覧ください。  
<http://www.yokohama-cu.ac.jp/researcher/>



芦澤 美智子 Michiko ASHIZAWA 准教授 経営管理論	鞠 重鎬 Joongho KOOK 教授 財政学	張 櫻馨 Ying-Hsin CHANG 教授 商業簿記	三浦 敬 Takashi MIURA 教授 会計学原論
岩佐 朋子 Tomoko IWASA 准教授 ビジネスエコノミクス	黒木 淳 Makoto KUROKI 准教授 管理会計論	中條 祐介 Yusuke NAKAJO 教授 国際会計論	安川 文朗 Fumiaki YASUKAWA 教授 医療経営論
大澤 正俊 Masatoshi OSAWA 教授 民法・物権	坂口 利裕 Toshihiro SAKAGUCHI 教授 社会工学	中國 善行 Yoshiyuki NAKAZONO 准教授 マクロ経済学	山藤 竜太郎 Ryutaro YAMAFUJI 准教授 国際経営論
太田 塁 Rui OTA 准教授 国際経済学	柴田 典子 Noriko SHIBATA 准教授 マーケティング論	長畑 周史 Shushi NAGAHATA 准教授 会社法	吉永 崇史 Takashi YOSHINAGA 准教授 経営組織論
大塚 章弘 Akihiro OTSUKA 准教授 都市の経済と政策	白石 小百合 Sayuri SHIRAIISHI 教授 計量経済学	永松 陽明 Akira NAGAMATSU 准教授 経営情報論	和田 淳一郎 Junichiro WADA 教授 公共経済学
鴨志田 晃 Akira KAMOSHIDA 教授 サービスビジネス論	随 清遠 Qingyuan SUI 教授 金融論	中山 健 Takeshi NAKAYAMA 教授 経営戦略論	
康 聖一 Seongill KANG 教授 情報の経済学	高橋 隆幸 Takayuki TAKAHASHI 准教授 税務会計論	藤崎 晴彦 Haruhiko FUJISAKI 准教授 原価計算論	

(2018年5月時点の予定)



## 学生の声

※学生の所属は、現行の学部・学系・コース名となっています。



### 経済に関する正しい情報を 多くの人に届けたい。

国際総合科学部 経営科学系 経済学コース 3年

田辺 美冬 Mifuyu Tanabe 神奈川県 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校卒

1年次に経営・経済・会計について幅広く学び、2年次のゼミ選択からそれぞれの専門分野へ進むため、内容を理解したうえで自分に合う分野を探せます。経済学は生活に密に関わりながらも複雑でわかりにくい分野だと思います。日進月歩で新技術が開発され、お金を取り巻く環境も目まぐるしく変化していき、無知なまましていると取り残されていってしまいます。社会科学の中ではデータを取得しやすい学問でもあるため、経済に関する正しい情報を多くの人に理解してもらうためにも、これまで蓄積されてきたデータから未来の現象を予測できるようにになりたいです。

2年次後期の時間割の例

	月	火	水	木	金
1時限目	—	—	ミクロ経済学Ⅱ	経営管理論Ⅱ	—
2時限目	金融システム論	計画数学	社会科学の方法Ⅱ	マクロ経済学Ⅱ	—
3時限目	—	—	情報の経済学Ⅱ	—	—
4時限目	—	経済思想史	—	経済統計Ⅱ	—
5時限目	経済政策Ⅱ	—	演習Ⅱ	経済成長論	—



### 簿記資格取得のための 講義も充実。

国際総合科学部 経営科学系 会計学コース 4年

赤城 希奈 Kina Akagi 神奈川県立横浜翠嵐高等学校卒

高校生の頃に公認会計士という職を知り、大学在学中に資格取得の勉強を始めようと決めていました。そんな時、YCU に会計学コースがあることを偶然知り、ここなら資格取得において必要な基礎も学べるのではないかと思い入学を決意しました。実際に、1年次に簿記3級、2年次に簿記2級、そして一部1級の範囲にも踏み込んだ講義を受けることができました。また、授業の空き時間を資格取得のための勉強に充てています。YCUでは簿記の基礎知識はもろんのこと、さまざまな講義や活動を通して、経済・経営学という大枠の根本的な理解も深めることができました。将来はこの経験を生かして、監査法人で会計の専門家として働きたいです。

3年次後期の時間割の例

	月	火	水	木	金
1時限目	—	—	—	—	—
2時限目	—	企業論Ⅱ	—	—	—
3時限目	—	—	国際税務戦略	—	—
4時限目	—	—	演習Ⅳ	—	—
5時限目	—	—	税務会計論Ⅱ	—	—



### グローバルな環境で経営を学び 将来は海外で活躍できる人材に。

国際総合科学部 経営科学系 経営学コース 3年

軒野 秀則 Hidenori Nokino 埼玉県 私立西武学園文理高等学校卒

中学生の頃にアメリカで暮らした経験から、アメリカと日本でのスーパーマーケットで食品の販売方法の違い、価格設定の違いに気づきマーケティングに興味をもちました。このきっかけから、将来は海外で営業やマーケティングに携わりたいと考えようになり、グローバルな環境で経営を学べるYCUを志望しました。目標は、海外の企業と日本の企業の間により良い関係を築くための交渉役となることです。ゼミでの知識、専門分野以外の知識、部活動で学んだこと、少人数授業で培われたコミュニケーション能力や積極性などをフル活用することで相手の気持ちを汲み取り、アウトプットできる人材になりたいです。

2年次後期の時間割の例

	月	火	水	木	金
1時限目	Global Business Strategy	—	ミクロ経済学Ⅱ	経営管理論Ⅱ	経営組織論Ⅱ
2時限目	Global Innovation Management	経営戦略論Ⅱ	人的資源管理論Ⅱ	マクロ経済学Ⅱ	—
3時限目	—	ビジネスエコノミクスⅡ	マーケティング論Ⅱ	—	演習Ⅱ
4時限目	—	簿記入門Ⅱ	—	—	—
5時限目	—	—	—	—	—

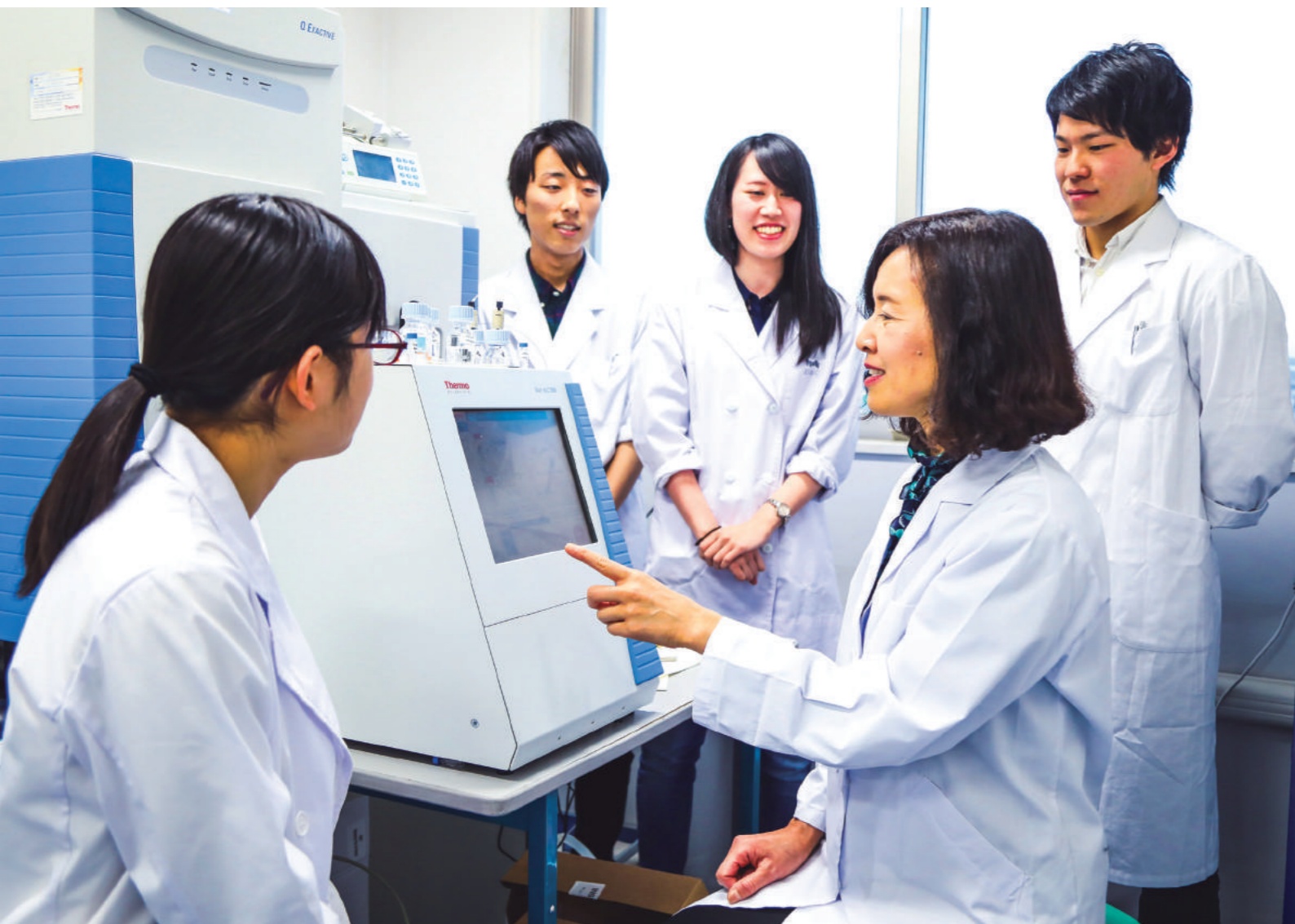
# 理学部

School of Science

## 理学科

学位：学士（理学）

## 多角的アプローチで 生命現象を理学的に解明する



## ■ こんな学びを志向する人に

- 1 物理学・化学・生物学・地学分野の基礎を体系的に学び、さらに高度専門分野を探究したい
- 2 エネルギー・環境・食糧問題に関心がある
- 3 物理・化学で生命の仕組みを理解し、社会に役立てたい
- 4 最先端科学技術・未来科学技術に興味がある
- 5 自然現象を理解し、イノベーションしたい
- 6 生命科学や医療に関連した仕事、研究に興味がある

（2019年4月開設予定）

## ■ 理学部の特色

理学部は、自然科学の基礎を全般的に学ぶことで、物質科学の概念を踏まえて細胞・個体スケールの生命現象をとらえることができる人材、生命現象を原子・分子スケールで起こる物質科学としてとらえることができる人材の育成を目指しています。そして、理学的専門教養をもとに、医学・農学・工学などの連携研究にも積極的に挑戦できる人材を養成します。理学部では、生命とそれを取り巻く環境を対象として、それらを構成する物質の構造・機能・反応をシステムとして捉え、それぞれの生命における階層を接続することで生命現象を理解することを目指します。

### 特色 1 『物質科学や生命科学、およびこれらの融合領域の専門知識を学修する』

理学部では、すべての学生が物理学、化学、生物学、地学の基礎を一通り学んだ上で、物質科学、生命科学、あるいはこれらの融合領域分野へ進みます。高等学校で物理あるいは生物を履修していない者に対して、1年次にリメディアル講座の授業を用意しています。6つの履修モデル（物理で生命現象を解明できる人材育成、化学で生命現象を解明できる人材育成、生命を脅かすさまざまな環境要因に対する生命の防御機構や適応機構を深く探究できる人材育成、食糧問題や環境浄化に取り組める人材育成、生体分子の構造と機能を理解し、創薬に応用できる人材育成、細胞・生体の働きを理解し、医療関連に応用できる人材育成）に沿って、高度な専門的知識・技術を身に付けます。

### 特色 2 『グローバルな研究マインドと実力を身に付ける「国際リトリートプログラム」』

自然を対象とする研究は、自然現象の観察とそれを理解するための検証実験や理論の構築により発展してきました。原子分子サイズから地球規模のものまでを対象とする自然科学は、国や地域にとらわれない世界中どこでも通用するグローバルな学問です。自然科学で世界に貢献するためには、グローバルな視点を持ち、英語を使って研究成果を発表する必要があります。「国際リトリートプログラム」は、卒業研究によって得られた成果を海外の大学等で英語を使って発表し、海外の研究者とディスカッションできるプログラムです。本プログラムは大学院生命ナノシステム科学研究科・生命医科学研究科との連携により実施する、グローバルな研究マインドと世界で通用する研究者としての実力を養うためのもので、理学部4年生が早期履修することができます。

### 特色 3 『1年次から研究活動を行える「理数マスター育成プログラム」』

自然科学研究では実験に基づく研究が不可欠であり、理学部の学生は卒業研究で配属された各研究室において研究を行い成果を卒業論文としてまとめます。しかし、学生にとっての研究スタートは3年次後期あるいは4年次であり、それまで待たなければなりません。本学理学部の特別プログラムである「理数マスター育成プログラム」では、プログラム参加学生は1年次から自主的に研究活動を行うことができます。そのための専用教室「理数マスター室」をいつでも使用できるように整備しました。学生自らが決めたテーマに従って、教員の個別指導のもとで研究を進め、その成果をサイエンスインカレ等で発表します。これまで物理学、化学、生物学、物質科学、生命科学、医科学、計算科学、植物科学などさまざまな分野の自主研究が行われています。

## Message from the Dean

## 物質科学と生命科学で 生命現象を細胞・個体スケールでとらえ 原子・分子スケールの観点から解明する。

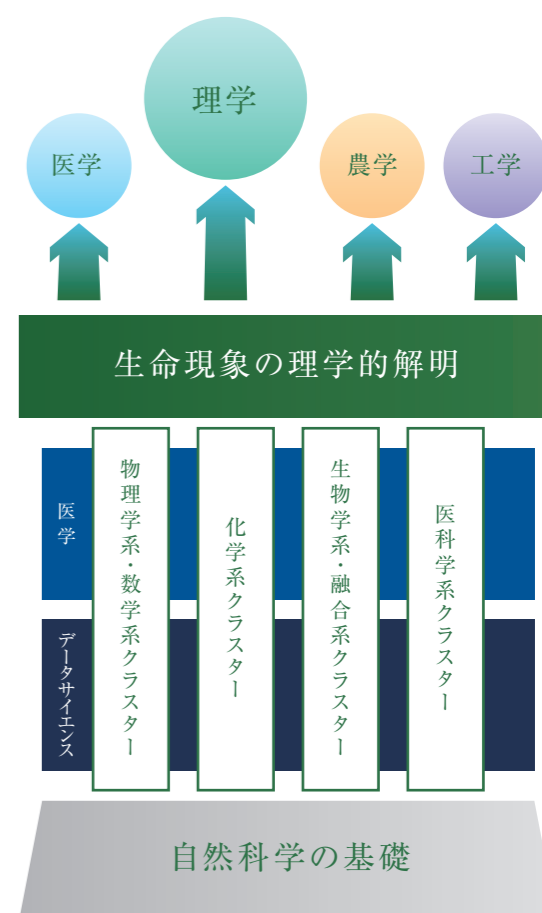
理学部長（就任予定）

篠崎 一英 Kazuteru Shinozaki

今日の科学は、これまでの物理学・化学・生物学といった分野で構成されていたものが、より高度・専門的に深化した結果、いくつもの小さな分野・領域に細分化されてきました。一方で、エネルギー・環境・医療などの諸問題は、このような細分化した分野からのアプローチだけでは対応しきれないほど、高度化・複雑化が進んでいます。理学部では、研究と教育の中心となる「ヒトの生命現象」の理解と解明のため、従来の生物学だけではなく、物理学や化学の概念や理論を基盤とした理学的知識の修得を必要不可欠



としています。さらにナノテクノロジーやデータサイエンスなどの最先端テクノロジーを駆使して、多面的に生命現象の理解、解明にアプローチします。理学部では、物質科学や生命科学、そしてこれらの融合領域の専門知識を学修し、物質科学の概念を持ちながら、細胞・個体スケールの生命現象をとらえることができる人材、生命現象を原子・分子スケールで起こる物理・化学現象としてとらえることができる人材、医学・農学・工学などとの連携研究にも積極的に挑戦できる人材を育てます。



## ■ 4年間の学びのイメージ

	1年次	2年次	3年次	4年次
学部の 特長	物理、化学、生物に関する基礎知識 と技術を学ぶ	専門科目を4つの科目群に分類し、 そのうち2つを選択し、専門性を深める	選択した科目群の知識・技能をもと に高度な専門科目を履修する	学修をさらに深化させ、4年間の 集大成として卒業研究を行う
		Global Science		研究室配属
	実験の基礎科目	実験技法の修得科目	専門実験科目	大学院科目の早期履修
共通	全学開放科目			
	共通教養科目			
	教養ゼミ/基礎ゼミ			
	Practical English	Advanced Practical English		
領域横断	領域横断型人材育成プログラム			

## ■ 6つの履修モデルと4つのクラスター（科目群）

1年次には全員が物理学、化学、生物学の基礎実験を必修で学びます。それにより、理学全般の基礎的な知識や、必要とされる実験技術をしっかりと修得し、専門教育にスムーズに移行できる基礎力を養います。2年次以降はさまざまな専門領域から目的をもって学ぶため、6つの履修モデルを用意し、体系的に学修でき

### 6つの履修モデル

物理で生命現象を解明できる人材	化学で生命現象を解明できる人材	生命を脅かすさまざまな環境要因に対する 生命の防御機構や適応機構を深く探究できる人材
食糧問題や環境浄化に取り組める人材	生体分子の構造と機能を理解し、 創薬に応用できる人材	細胞・生体の働きを理解し、 医療関連に応用できる人材

※履修モデルの具体的な内容は調整中です。

## ■ 理学部専門科目・全学開放科目一覧

物理学系・数学系クラスター		化学系クラスター		生物学系・融合系クラスター		医科学系クラスター	
振動と波動 電磁気学 熱力学 地学概説 基礎量子力学 統計力学	基礎生命物理学 地球科学入門 自然科学数学A(微分方程式) 自然科学数学B(フーリエ解析) 自然科学数学C(複素解析) 自然科学数学D(ベクトル解析)	基礎有機化学 基礎無機化学 化学熱力学 分析化学	有機化学 無機化学 溶液化学 先端機器分析化学	細胞生物学 遺伝学 植物生理学Ⅰ 植物生理学Ⅱ 分子生物学 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 微生物学	動物生理学Ⅰ 分子細胞生物学 放射線生物学 糖鎖生物学 タンパク質の構造生物化学 遺伝子の生物化学 構造創薬科学	人体の解剖生理学 脳神経科学 分子細胞医科学 臨床概論・疾病病態学	発生・再生医学 薬理学 生命医科学特別講義
総合学修科目群							
Global Science		課題提案型演習A	課題提案型演習B	理数自主研究Ⅰ	理数自主研究Ⅱ	理数自主研究Ⅲ	
専門発展科目群							
量子力学 固体物性 物理学演習 生命物理学	地震学 電子物性 マテリアルデザイン 知覚情報科学	先端科学技術 創薬有機化学 錯体化学 化学反応速度論	量子化学 天然物有機化学 エネルギー変換 動物生理学Ⅱ	細胞工学 資源生物利用学 ゲノム遺伝学 再生発生物学	環境毒性学 極限環境生物学 先端植物科学 環境保全学	生命情報科学 創薬分析化学 遺伝子機能科学 先端タンパク質科学	
実験実習科目群				卒業研究関連科目群			
自然科学実験Ⅰ 自然科学実験Ⅱ		地球科学実験 生命科学実験	生命機能計測実験 物質計測実験	先端科学演習 卒業研究Ⅰ	先端科学実習 卒業研究Ⅱ	卒業論文	
全学開放科目							

国際協力論 国際開発学 グローバル政治論 国際法Ⅰ 国際法Ⅱ 海洋法 グローバル公共政策論 国際機構論 Global Issues Learning Global Cooperation in English International Cooperation in Urban Development 国際人権法 応用言語論 英米言語文化A 英米言語文化B 翻訳文化論A 翻訳文化論B 社会言語論A 社会言語論B European Culture in English	英語構文研究 都市計画論 都市解析 地域活性化論 都市と暮らし 比較社会システム論 住環境計画論 地方自治論 都市空間形成論 地域CSR論 都市デザイン論 参加・協働論 都市財政論 資源循環論 都市防災計画論 不動産マネジメント論 CSR実践論 非営利組織論 観光政策論 横浜の都市づくり 労働生活政策論 環境まちづくり論 文化政策論	地域保健医療福祉論 日本の都市計画と都市開発 海外調査実習 専門外国語A(フランス語) 専門外国語B(フランス語) 専門外国語A(ドイツ語) 専門外国語B(ドイツ語) 専門外国語A(スペイン語) 専門外国語B(スペイン語) 専門外国語A(中国語) 専門外国語B(中国語) 専門外国語A(韓国・朝鮮語) 専門外国語B(韓国・朝鮮語) アジア諸言語Ⅰ(タイ語) アジア諸言語Ⅱ(タイ語) アジア諸言語Ⅰ(ベルシャ語) アジア諸言語Ⅱ(ベルシャ語) 医療イノベーション経営管理論 サービス・ビジネス論Ⅰ サービス・ビジネス論Ⅱ 公会計論 起業家人材論 起業プランニング論	医療経営論 Global Business Administration Global Business Strategy Global Organization Theory Japanese Industry Japanese Economy Global Leadership Global Service Management Global Human Resource Development Introductory AccountingⅠ Introductory AccountingⅡ Intermediate Accounting International Business Basics of Corporate Analysis and Valuation Global Innovation Management Global Marketing Advanced Topics in Economics Introduction to IFRSs 民法・物権Ⅰ 民法・物権Ⅱ 民法・債権Ⅰ 民法・債権Ⅱ	環境法 財務諸表分析Ⅰ 財務諸表分析Ⅱ 経済統計Ⅰ 経済統計Ⅱ 経済政策Ⅰ 経済政策Ⅱ ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ マクロ経済学Ⅰ マクロ経済学Ⅱ 行政法Ⅰ 行政法Ⅱ 国際金融論Ⅰ 国際金融論Ⅱ 金融論Ⅰ 金融論Ⅱ 計量経済学Ⅰ 計量経済学Ⅱ 経営財務論 財政学Ⅰ 財政学Ⅱ 公共経済学	コーポレート・ファイナンス 代数学 統計の数理Ⅰ 統計の数理Ⅱ 調査設計論 多変量データ解析 統計モデリングⅠ 統計モデリングⅡ 応用統計学Ⅰ 応用統計学Ⅱ データマイニング 機械学習 データ可視化法 ビッグデータ解析 計算機統計学 計算機概論 情報理論 アルゴリズム論 数値解析 最適化理論 並列分散処理 臨床研究・疫学入門Ⅰ 臨床研究・疫学入門Ⅱ	医療統計学 計量経済学モデリングAⅠ 計量経済学モデリングAⅡ 計量経済学モデリングB 金融時系列モデリング サンプリング法 自然科学モデリング 量子計算モデリング
--	---	--	---	---	---	---

## ■ Pick up 授業



## 生命機能実習Ⅰ

理学部教員

本実習では、基礎的な知識と応用力を身に付けるだけでなく、実際に実験を通して生命科学の検証法を身に付けます。実習は、微生物学実習、生化学実習、分子生物学実習、植物学実習、実験試薬と実験生物の安全管理からなります。実験のタンパク質科学の最も基本的な操作のカラムクロマトグラフィーや電気泳動の原理を理解した上で、実際に操作を体験します。また、分子生物学の基本的な操作であるプラスミドの精製とPCRによるDNAの増幅を行い、原理と操作法を身に付け、また、植物や動物の生理学実験を通して、個体としての生物学を身に付けます。



## 自然科学実験Ⅱ

理学部教員

自然科学実験科目の主眼は、<ものづくり>を通して科学的な物質感を実践的に養うことにあります。すなわちミクロな分子構造を理解しつつ、マクロな量の物質を正確に扱うことができるよう、“頭”と“手”の両方で物質を理解できることを目標としています。ナノテクノロジーや環境調和型の技術開発のためには新規材料・物質を創製する<ものづくり>の技術が大変重要になります。本実験は、物理的・化学的手法を用いて有機化合物、金属錯体、無機化合物などの合成やその機能化のための基礎技術を修得することを目的としています。さらに有機化合物の合成、金属錯体の合成（光合成系を模した光増感型太陽電池の作成）、金属酸化物の合成とその超伝導などの機能測定を行うことによって、手法を身に付け、研究室配属後の実験に備えます。

## ■ 主な科目紹介

### 地震学

#### 講義概要

日本は世界有数の地震国であり、このような環境で生活する私たちは、必然的に「地震と共存」していかなければなりません。そのためには、地球科学（地震学）で得られた知見を最大限に生かしながら、地震がもたらす災害（震災）を軽減していく必要があります。本講義では、このような問題意識をもちながら、地震学の基礎について学修します。

### 基礎量子力学

#### 講義概要

波動方程式、波動関数の確率的解釈、物理量の演算子の解釈など量子力学の基本的な概念を学びます。加えて、この考え方を1次元の箱型ポテンシャル中の電子、調和振動子、1次元散乱など基本的な問題に適用しその理解を深めます。また、これらの問題に対する近似方法のひとつである変分法についても学修します。

### 基礎有機化学

#### 講義概要

この講義では、まず反応を理解するために必要な立体化学、活性中間体について学修します。官能基の性質、カチオン、アニオン、ラジカルなどの活性中間体の構造と安定性、脱離基、置換反応、付加反応、脱離反応を理解することで有機化学の基礎知識を身に付けます。またアルデヒド、ケトン、カルボン酸誘導体の性質、反応などについても学修します。

### 微生物学

#### 講義概要

人類は特定の微生物が増殖しやすい環境をつくりだすことでワインや日本酒、味噌の醸造を古くからおこなってきました。本講義では、その微生物とはいったいどのような生物なのかを、細胞構造、遺伝子構造、代謝を比較することで学修します。最新の研究を交えて学んだ基礎知識を基に、微生物のあらゆるメカニズムを理解します。

### 薬理学

#### 講義概要

薬物の作用とその機序について学びます。薬物の主作用と副作用、および薬物の作用点・作用メカニズムを理解し、薬物が主作用を通じて病態に対する改善とヒトの自然治療力をいかにして助長するかを学修します。さらに、基礎薬理学と分子生命科学の進展に支えられた創薬の現状と課題についても学修します。

### 先端科学技術

#### 講義概要

先端科学技術を応用している企業や大学の研究者や開発者などを講師として招き、オムニバス形式で先端科学技術の基礎や応用例について学修します。大学や企業の現場における最先端の研究、開発に触れることで、社会における科学技術の重要性・可能性、現状での問題点および将来展望を再認識し、基礎科学の学修の効果を向上させます。

教員一覧

各教員の研究内容はこちらでご覧いただけます。  
http://www.yokohama-cu.ac.jp/researcher/



明石 知子 Satoko AKASHI 准教授 生体高分子機能科学	川崎 ナナ Nana KAWASAKI 教授 創薬科学	篠崎 一英 Kazuteru SHINOZAKI 教授 無機化学	坂 智広 Tomohiro BAN 教授 資源生物利用学
足立 典隆 Noritaka ADACHI 教授 動物細胞工学	川崎 博史 Hiroshi KAWASAKI 准教授 タンパク質科学	嶋田 幸久 Yukihisa SHIMADA 教授 植物応用ゲノム科学	東 昌市 Shoichi HIGASHI 教授 生体分子機能制御学
荒谷 康昭 Yasuaki ARATANI 教授 免疫生物学	北 幸海 Yukiumi KITA 准教授 量子化学	関本 奏子 Kanao SEKIMOTO 助教 大気イオン化学	藤井 道彦 Michihiko FUJII 教授 不老長寿学
有田 恭平 Kyohei ARITA 准教授 生体高分子構造科学	木寺 詔紀 Akinori KIDERA 教授 生命情報科学	高井 直樹 Naoki TAKAI 助教 生化学	本多 尚 Hisashi HONDA 教授 固体物性科学
池上 貴久 Takahisa IKEGAMI 教授 生体高分子機能科学	木下 郁雄 Ikuo KINOSHITA 准教授 固体電子物性	高橋 栄夫 Hideo TAKAHASHI 教授 生体分子計測科学	丸山 大輔 Daisuke MARUYAMA 助教 植物分子・生理科学
池口 満徳 Mitsunori IKEGUCHI 教授 生命情報科学	木下 哲 Tetsu KINOSHITA 教授 植物エピゲノム科学	高見澤 聡 Satoshi TAKAMIZAWA 教授 物質機能科学	Ruggero MICHELETTO 教授 知覚情報
石川 裕一 Yuichi ISHIKAWA 准教授 有機化学	金 亜伊 Ahyi KIM 准教授 地震学	高山 光男 Mitsuo TAKAYAMA 教授 分析化学	水谷 健二 Kenji MIZUTANI 助教 構造生物学
石元 孝佳 Takayoshi ISHIMOTO 准教授 計算物質科学	沓名 伸介 Shinsuke KUTSUNA 准教授 微生物学	橘 勝 Masaru TACHIBANA 教授 材料物性科学	中村 郁子 Ayako NAKAMURA 助教 植物応用ゲノム科学
一色 正之 Masayuki ISSHIKI 准教授 植物細胞工学	古久保 哲朗 Tetsuro KOKUBO 教授 遺伝子機能科学	谷本 博一 Hirokazu TANIMOTO 講師 生物物理	山田 重樹 Shigeki YAMADA 准教授 固体物理
内山 英穂 Hideho UCHIYAMA 教授 再生発生学	小島 伸彦 Nobuhiko KOJIMA 准教授 細胞生物学	辻 寛之 Hiroyuki TSUJI 准教授 育種学	横山 崇 Takashi YOKOYAMA 教授 表面・ナノ構造物性科学
浴本 亨 Toru EKIMOTO 助教 生物物理学	小沼 剛 Tsuyoshi KONUMA 助教 構造生物学	J.R.H. TAME 教授 生体分子設計科学	吉田 明希子 Akiko YOSHIDA 助教 分子生物学
及川 雅人 Masato OHKAWA 教授 天然物有機化学	坂倉 正義 Masayoshi SAKAKURA 助教 構造生物学	仁科 行雄 Yukio NISHINA 准教授 分子細胞生物学	吉本 和生 Kazuo YOSHIMOTO 教授 固体地球物理学
大関 泰裕 Yasuhiro OZEKI 教授 比較動物生理学	佐藤 卓也 Takuya SATO 助教 発生生物学	禾 晃和 Terukazu NOGI 准教授 生体高分子構造科学	
片岡 浩介 Kosuke KATAOKA 准教授 遺伝子機能科学	佐藤 友美 Tomomi SATO 教授 内分泌学	野々瀬 真司 Shinji NONOSE 准教授 物理化学	
Robert A. KANALY 教授 分子毒性学	佐藤 衛 Mamoru SATO 教授 生体高分子構造科学	朴 三用 Sam-yong PARK 教授 生体分子設計科学	
川浦 香奈子 Kanao KAWAURA 准教授 植物ゲノム科学	塩田 肇 Hajime SHIOTA 准教授 植物発生生物学	林 郁子 Ikuko HAYASHI 准教授 生体分子計測科学	

(2018年5月時点の予定)

学生の声

※学生の所属は、現行の学部・学系・コース名となっています。



材料研究で  
社会に貢献できる成果をあげたい。

国際総合科学部 理学系 物質科学コース 3年  
中村 勇太 Yuta Nakamura 神奈川県 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校卒

「理数マスター育成プログラム」に興味を惹かれYCUを選びました。実際に1年次から参加し、興味のある分野で研究活動を行うことができました。さまざまなイベントで全国の仲間たちと切磋琢磨することで知見を広げ、プレゼンテーション力を伸ばすことができました。本コースでは、自然科学を紐解く知識や手法を学ぶことで「各物質・原子・分子の性質と原因」について理解することができます。各材料における特性を社会でどのように応用できるのか、またその特性が生じる原因を考察していくことで、社会に貢献できるような成果をあげたいです。

2年次後期の時間割					
	月	火	水	木	金
1時限目	理科教育法 ※	—	—	—	—
2時限目	物質科学ゼミ	基礎量子力学/ 基礎統計力学	有機物質化学	—	—
3時限目	シミュレーション実験	—	基礎量子力学/ 基礎統計力学	教育課程論 ※	道徳教育論 ※
4時限目	シミュレーション実験	経済学入門	—	教師論 ※	有機物質化学
5時限目	生体高分子構造科学	—	—	—	—

※ 教職課程の専門科目

さまざまな角度から生命現象を学び  
科学の奥深さ、面白さを感じられる。

国際総合科学部 理学系 生命医科学コース 3年  
石井 理愛 Rie Ishii 神奈川県立横浜平沼高等学校卒

共通教養では他学系の科目も学ぶことができるため興味の幅を広げられ、多方面から考える力を養うことができます。さまざまな講義を受けて、病気の原因やその発症メカニズムへの興味がさらに深まり、生命科学と医科学の両面から生命現象を学べる本コースに進みました。講義科目の名称は違っても、それは切り取り方によって違って見えるだけで、実は密に関連しているということを実感し、科学の奥深さ、面白さを改めて感じています。将来は広い視点から疾患などの生命現象を解明する研究に携わっていきたいと考えています。

2年次後期の時間割					
	月	火	水	木	金
1時限目	—	—	—	—	微生物学
2時限目	生化学Ⅱ	人体の解剖生理学	有機物質化学/ 無機物質化学	分子細胞医科学	—
3時限目	—	—	—	生体高分子機能科学	—
4時限目	—	—	—	—	有機物質化学/ 無機物質化学
5時限目	生体高分子構造科学	生命医学ゼミⅡ	—	—	—

将来は食糧問題解決に  
貢献できる研究者に。

国際総合科学部 理学系 生命環境コース 3年  
落合 智佳子 Chikako Ochiai 京都府 私立立命館宇治高等学校卒

YCUには植物、動物、微生物、海洋生物など、幅広い分野の最新の研究に携わっている先生方が多数いるので、それぞれの現状や問題点などについても詳しく教わるすることができます。ゼミでは最新の英字論文を読み学生や先生方の前でプレゼンテーションをする機会が多く設けられているので、最新の研究内容について深く学ぶうえにプレゼンテーションスキルも向上します。また、実験実習が多く実用的な実験手技を身に付けることが可能です。将来は厳しい環境で育つ植物の開発に関する研究を行い、世界で深刻になっている食糧問題の解決に貢献できるような研究者になりたいと考えています。

2年次後期の時間割					
	月	火	水	木	金
1時限目	—	—	—	—	微生物学
2時限目	生化学Ⅱ	動物生理学Ⅰ	有機物質化学	放射線生物学	—
3時限目	—	基礎生命科学実習	—	APE V	—
4時限目	生命環境ゼミⅡ	基礎生命科学実習	—	APE V	有機物質化学
5時限目	—	基礎生命科学実習	—	—	地学概説Ⅱ

# データサイエンス学部

School of Data Science

## データサイエンス学科

学位：学士（データサイエンス）

## データの持つ力で未来を創る データサイエンス



### ■ こんな学びを志向する人に

- 1 統計学とコンピュータを武器に問題解決に立ち向かいたい
- 2 コミュニケーションを大切にしながら人や社会に貢献したい
- 3 ビッグデータを駆使して社会の課題を発掘し、解決したい
- 4 データの力をベースに、発想力で勝負する経営者になりたい
- 5 自らの興味のある分野をデータの立場からじっくり見つけたい
- 6 さまざまなバックグラウンドを持つ人たちと積極的に交流したい
- 7 とにかく自分の持つパワーを全開にしたい

### ■ データサイエンス学部の特徴

社会はIoT（Internet of Things）の活用によりすべてのモノがネットにつながる、「第4次産業革命」を迎えつつあります。医療関連のデータからSNSの何気ないつぶやきまで、日々膨大なデータが生まれ蓄積される社会において、データサイエンス学部が育成するのは、そんな膨大なデータの中から新たな社会的な価値を創造できる人材です。データを読み解くために必要な数理や統計の基礎的な知識をはじめ、社会で不可欠なコミュニケーション能力や、イノベーションを起こす発想力、そして次世代に通用するビジネス力を養い、データサイエンティストに必要な素養を身に付けた人材を輩出することこそが、本学部の目的です。そのために、文系・理系という枠にとられない柔軟な思考と発想を大切に、データが生まれる企業や官公庁といった「現場」での実践的な学びの機会を多く提供します。また、世界をフィールドに活躍するデータサイエンティストに必要な、国際水準の英語力の修得にも力を入れます。

#### 特色1 『文理融合』

数値や数式を扱うのが理系、文字や文章を扱うのが文系、と思っ

#### 特色2 『現場重視』

現場重視といっても、基礎理論を軽視するという意味では決してありません。しっかりした基礎・土台を作らないとその上には何物をも構築できないのは理の当然です。データサイエンスの分野は変化のスピードがものすごく速く、目の前の流行のみを追っていたのでは、いつまでたっても追いつくことはできません。まずは基礎固め。データサイエンス学部では、基礎を重視します。その基礎力がどんな現場であれ、必ず生きるのです。基礎的な力を養った上で、いくつかの企業や横浜市の各部局と連携し、データが実際に生まれる現場でPBL（Project-Based Learning、課題解決型学修）を行い、実践的に学びます。それは決して教員が学生に教える場ではありません。共にデータと格闘し、思いもよらない解決法を見出してくれることを期待しています。

#### 特色3 『国際水準の英語力』

自分の考えやアイデアを他の人に伝える手段は、言葉で伝えるか、文章を書くかです。どんなに素晴らしいアイデアであっても内に秘めて外に出さないのでは、アイデアがないのと区別が付きません。外に出す以前に、人の意見を聞いたり文章を読んだりすることによって自分自身のアイデアを醸成するという段階があるのはもちろんです。これらに必要なのは言語です。データサイエンスのフィールドは「世界」です。そしてフィールドが世界であるならば、その言語は、現時点では英語が中心であり、学会や国際会議では英語が共通言語です。専門的な討論は当然、会議後の懇親会でも英語が飛び交います。データサイエンティストとしての活躍の場が「世界」である以上、そこで通用する英語力をしっかりと鍛えていきます。

#### Message from the Dean

#### 首都圏初のデータサイエンス学部。

#### データを武器に未来を切り拓く

#### データサイエンティストを育成。

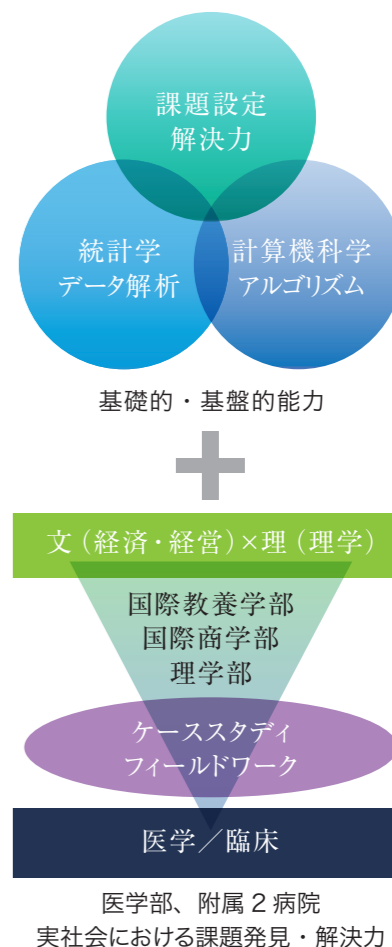
データサイエンス学部長

岩崎 学 Manabu Iwasaki

2018年4月、首都圏初のデータサイエンス学部が65名の新入生を迎えて始動しました。データサイエンスに対する諸企業などの実社会の期待は大きくオープンキャンパスでも、私の学部紹介の後での「何かご質問はありますか」との呼びかけに手を挙げたのは、高校生本人ではなく、一緒においでのお父様だったりしました。社会が期待するこれからの人材を育成する新学部としての注目度は予想以上で、新しい学問分野に飛び込もうという進取の気概に満ちた学生が来てくれました。データサイエンスは、完成



した学問分野ではなく、これから作っていくべき性質のものです。私自身は長年、統計学の研究教育に携わってきましたが、それらをデータサイエンスのキーワードの下で考え直しています。教員が教え学生が学ぶ、というこれまでのやり方とは全く違います。学生と共に作っていく、お互い走りながら考えるというダイナミックな教育を実践します。共に歴史を作ろうという気概に満ちた皆さんの入学を、風光明媚な金沢八景の地で待っています。



4年間の学びのイメージ

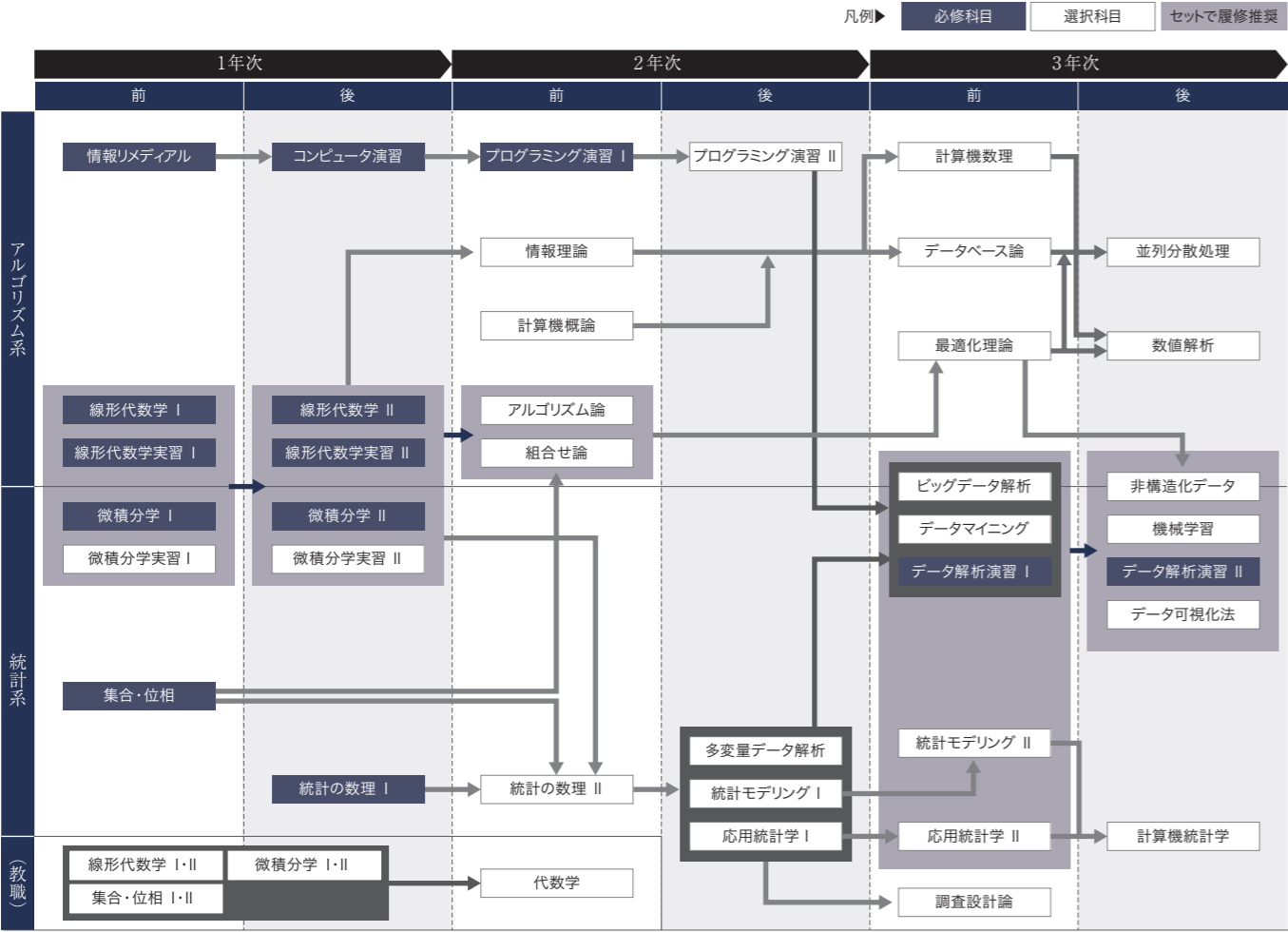
		1年次		2年次		3年次		4年次		
		前	後	前	後	前	後	前	後	
学部の特長	DSの基盤	文理融合の マインドを学ぶ 国際通用力・ 英語を学ぶ	国際社会で 活躍するための 実践的な 英語や教養 を学ぶ	社会で広く用 いられるDS を網羅的に 知る	文系+理系のさまざまな科目を履修し、 DS人材となる基礎知識を身につける					
	DSの専門	現場対応力を 身につける	数学とコンピュータの基礎を学ぶ	統計・計算機科学の基礎を学ぶ						
				DSをどのように社会に応用するか学ぶ						
				インターンシップなどを通じて、DSの研究に取り組む						
				演習	卒業研究					
共通	全学開放科目									
	教養ゼミ		共通教養科目							
	Practical English					Advanced Practical English				

基礎から応用、実践的PBLへ

数学や計算機科学の基礎的な科目として、1年次前期から必修科目として「線形代数」や「微積分」、「集合・位相」などを学び基礎を固めます。また、後期からは一人一台のパソコンを活用する「コンピュータ演習」等により計算機を利用した実践的な基本技術を修得します。2年次以降は、「プログラミング演習」や「アルゴ

リズム論」、「多変量データ解析」等を学びつつ、「計量経済学モデリング」や「医療統計学」といった、修得したデータサイエンスに係る知識や技能を社会展開に応用していくことにシフトしていきます。3年次以降の演習では、企業や官公庁におけるPBLを通じて実践的に学ぶとともに、それらの成果を卒業研究としてまとめていきます。

データサイエンス学部専門科目 カリキュラムマップ



データサイエンス学部専門科目・全学開放科目一覧

基礎系	PC操作・演習系	統計系	アルゴリズム系	医系	経済系	計算系		
線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 微積分Ⅰ 微積分Ⅱ 線形代数学実習Ⅰ 線形代数学実習Ⅱ 微積分実習Ⅰ 微積分実習Ⅱ 集合・位相 情報リメディアル コンピュータ演習 統計の数理Ⅰ 組合せ論	プログラミング演習Ⅰ プログラミング演習Ⅱ データ解析演習Ⅰ データ解析演習Ⅱ	多変量データ解析 統計モデリングⅠ 統計モデリングⅡ データマイニング データ可視化法 統計の数理Ⅱ 調査設計論 応用統計Ⅰ 応用統計Ⅱ 計算機統計学	機械学習 ビッグデータ解析 アルゴリズム論 非構造化データ	臨床研究・疫学入門Ⅰ 臨床研究・疫学入門Ⅱ 医療統計学	計量経済学モデリング AⅠ 計量経済学モデリング AⅡ 計量経済学モデリング B 金融時系列モデリング サンプリング法	自然科学モデリング 量子計算モデリング 代数学 計算機概論 情報理論 数値解析 計算機数理 最適化理論 並列分散処理		
専門領域演習								
専門領域演習Ⅰ			専門領域演習Ⅱ					
卒業研究								
卒業研究Ⅰ			卒業研究Ⅱ					
全学開放科目								
地域情報化とまちづくり ミクロ経済学Ⅰ ミクロ経済学Ⅱ 経済統計Ⅰ	経済統計Ⅱ 経営財務Ⅰ 経営財務Ⅱ 財務諸表分析Ⅰ	財務諸表分析Ⅱ 経済政策Ⅰ 経済政策Ⅱ 金融論Ⅰ	金融論Ⅱ 財政学Ⅰ 財政学Ⅱ	計量経済学Ⅰ 計量経済学Ⅱ 国際金融論Ⅰ	国際金融論Ⅱ 公共経済学 電磁気学	有機物の化学 周期表の化学 地学概説Ⅰ 自然科学数学A 自然科学数学B 自然科学数学C	自然科学数学D 基礎量子力学 基礎統計力学	計算分子化学 地震学 生命情報科学

教員一覧

各教員の研究内容はこちらをご覧ください。  
<http://www.yokohama-cu.ac.jp/researcher/>



阿部 貴行 Takayuki ABE 准教授 応用統計学	清見 礼 Masashi KIYOMI 准教授 計画数学	土屋 隆裕 Takahiro TSUCHIYA 教授 調査設計論	汪 金芳 Jinfang WANG 教授 統計の数理
岩崎 学 Manabu IWASAKI 教授 統計科学	小泉 和之 Kazuyuki KOIZUMI 准教授 データ解析・情報理論	中谷 朋昭 Tomoaki NAKATANI 教授 金融時系列モデリング	
大西 暁生 Akio ONISHI 教授 計量経済モデリング	田栗 正隆 Masataka TAGURI 准教授 医療統計学	藤田 慎也 Shinya FUJITA 准教授 組合せ論	
小野 陽子 Yoko ONO 准教授 データ解析	立川 仁典 Masanori TACHIKAWA 教授 量子化学	山崎 真見 Masami YAMASAKI 教授 ビッグデータ解析	

(2018年5月時点の予定)



## Pick up 授業



### 微積分学Ⅰ

小泉 和之

微積分学Ⅰは、データサイエンス専門科目の中でも基礎的な科目に位置付けられており、主に1年次で履修します。この講義では、「数列の極限」「関数の極限」「導関数」「テイラーの定理」「不定積分」「有理関数の積分」「初等関数の積分」などを取り扱います。微分法と積分法の基本を学修することで、データサイエンスに不可欠な知識を身に付けます。具体的には、1変数関数における微分積分の基礎の習得のため、関数の極限を理解することから始め、微分の考え方を導入し、その応用までを学び、理解します。また、テイラーの定理による近似の考え方の学修に加え、さらに積分法の考え方を理解し、面積などの応用面と合わせて統計などで広く利用される広義積分まで学修します。

## データサイエンス学部 社会連携

データサイエンス学部では、企業や官公庁と連携した教育・研究を展開していきます。2018年度は、「データサイエンスセミナー」と題して、企業や官公庁などの現場の第一線で活躍するゲスト講師を迎え、実社会でのさまざまなデータ活用事例に触れるセミナーを開催しています。企業におけるマーケティングやビジネス戦略、ものづくりの品質管理などに、どのようにデータが分析され、活用されているのか、また、官公庁においてはデータの利活用による政策立案やオープンデータ活用推進の取り組みなどを生の声から学ぶことで、データサイエンス学部の学生が、自分の学びが将来どのような分野で活用することができるかを考える機会となっています。また、企業との産学連携協定を締結し、データが分析・活用される現場でのインターンシップや共同研究などを推進し、社会との連携を今後ますます進めていきます。



## 主な科目紹介

### 統計の数理Ⅰ

#### 講義概要

「記述統計学」、「確率」、「確率分布」について学修します。具体的には、統計データやグラフの意味を理解に加え、独自にデータを要約できるようにデータの取得法、および数値的・グラフ的要約法を学びます。また、母集団、標本、確率、確率変数、確率分布の性質を熟知し、積率母関数などの方法による確率分布の性質に関する考察ができるよう学修し、理解を深めます。

### アルゴリズム論

#### 講義概要

本講義では、理論計算機科学の根幹をなすアルゴリズムと計算量の考え方について基本的な事柄を学修します。具体的には、「計算機による計算のコストとは何なのか」、「それをどのように計るのか」、「良いやり方で計算を行うことで同じ問題が如何に低いコストで解けるのか」を数学的な基礎知識を学修します。



### 線形代数学実習Ⅰ

土屋 隆裕・阿部 貴行

データサイエンス学部で学んでいく統計学では、ひとつの変数を分析するよりも、たくさんの変数に対する関係を分析する、多変量解析法を用います。その際に必要なのが、線形代数学の知識です。この講義では、演習を行うことで、線形代数学Ⅰで学修した内容の理解度を確認します。ベクトルと行列の基本演算、行列式や逆行列の計算ができ、統計解析との関連を理解することは、データサイエンスを学ぶ上で非常に重要です。具体的には、演習を通じて、2×2行列ではケーリー・ハミルトンの定理と行列式を用いることで逆行列の演算が可能となること、また、それが一般のn×n行列では適用することができないことなどを学修します。またこの授業は、実際に計算するために必要な情報学的な知識も含めて学修していきます。

## 学生の声



### まだまだ発展途上のこの分野を成長させていけるように。

データサイエンス学部 データサイエンス学科 1年

吉鷹 佑介 Yusukey Yoshitaka 神奈川県 私立桐蔭学園中等教育学校卒

数学が好きだったことや、データサイエンスという学問の秘められた可能性に惹かれて本学部に進学しようと思いました。データサイエンスは統計学などの数学的な分野がメインになるかと思うのですが、それを現実に応用しようとする特定の知識や考え方では難しいと感じます。数学を主軸として、経済学や経営学、医療などの分野にも触れることで、データサイエンスをどのように生かすかを考えられることに本学部の意義があると私は考えています。YCUでの学びを通して、まだまだ発展途上のデータサイエンスという分野を成長させられるようにこれからの学生生活を通して歩みを進めていきたいです。

1年次前期の時間割の例

	月	火	水	木	金
1時限目	PE	—	—	教養ゼミ	PE
2時限目	—	—	PE	教養ゼミ	情報リメディアルn
3時限目	集合・位相	微積分学Ⅰ	DSセミナー※	—	線形代数学Ⅰ
4時限目	—	簿記入門Ⅰa	総合講義(横浜から世界へ)	経済学入門Ⅰb	線形代数学実習Ⅰ
5時限目	—	微積分学実習Ⅰ	経営学入門Ⅰb	—	—



### 本学部での学びを通して人々の生活環境を向上させていきたい。

データサイエンス学部 データサイエンス学科 1年

堀 風沙 Nagisa Hori 愛知県立時習館高等学校卒

本学部は他学部に比べ少人数であることが特徴のひとつだと思います。講義でわからなかったところなどを先生に相談しやすく、とても恵まれた環境で学修ができていると実感しています。また、文理融合のカリキュラムであることも本学部の特徴のひとつであり、文系・理系の異なる考え方などを取り入れることができるため、バランスの取れた思考力の向上に役立っています。将来は人工知能を駆使して人々の暮らしをより豊かにするような仕事がしたいと思っています。これから学ぶデータ解析を用いて人々のニーズを把握し、それを機械のプログラムに応用させ人々の生活環境を向上させていきたいです。

1年次前期の時間割の例

	月	火	水	木	金
1時限目	PE	—	—	教養ゼミ	PE
2時限目	—	—	PE	教養ゼミ	—
3時限目	集合・位相	微積分学Ⅰ	DSセミナー※	—	線形代数学Ⅰ
4時限目	心算学入門a	社会統計学c	—	—	線形代数学実習Ⅰ
5時限目	—	微積分学実習Ⅰ	経営学入門Ⅰb	—	総合講義(生命科学と環境)

### これからの時代に必要な統計学やプログラミングを一から学ぶことができる。

データサイエンス学部 データサイエンス学科 1年

橋村 至 Itaru Hashimura Ffynone House School (イギリス) 卒

情報学系の道に進もうと思っていたところ、YCUにデータサイエンス学部が新設されることを知り、進学を決意しました。今後、データサイエンティストはますます活躍の場が広がっていくと感じているので、その基礎となる統計学やプログラミングを一から学ぶことができる本学部は大変魅力的だと思います。将来は統計学を生かした仕事をしたいと思っています。例えば、医療統計やスポーツ統計を生かすことができるような企業、経営面で活躍できそうな企業などです。そのために、本学部で統計に関する基礎と応用を学び、それらを大学卒業後の生活にも生かしていけるよう学びを深めていきたいです。

1年次前期の時間割の例

	月	火	水	木	金
1時限目	—	教養ゼミ	—	—	—
2時限目	健康スポーツ実習a	教養ゼミ	—	—	—
3時限目	集合・位相	微積分学Ⅰ	DSセミナー※	日本国憲法a	線形代数学Ⅰ
4時限目	心算学入門a	簿記入門Ⅰa	総合講義(横浜から世界へ)	—	線形代数学実習Ⅰ
5時限目	社会統計学Ⅰb	微積分学実習Ⅰ	—	—	—

※卒業要件には含まれない任意参加のセミナー

# 医学部

School of Medicine

学位：学士（医学）・学士（看護学）

## ミッション

横浜市立大学医学部は、地域社会や国内外で活躍できる、  
医学・看護を担う人材育成と、創造的研究により  
社会の発展と人類の福祉に寄与することを使命とする。

### ■医学科

## 時代の変化に 常に対応できる 人材の育成

私たちが目標とするのは、豊かな人間性と深い知性を有し、  
確固たる倫理観に基づく総合的判断力を持ち、  
生涯にわたって研鑽を続け、  
医学・医療を通して人類の福祉に貢献する人材の育成です。



### ■医学科の特徴

グローバル化や超高齢社会など急激な社会構造の変化により、医学・医療の分野では、これまでよりも早いスピードで高度化、専門分化が進んでいます。  
医学科では、こうした時代の変化にも適切に対応できる優れた実践能力とリサーチマインドを持った人材を育成しています。

- シミュレーターの活用などによる医療体験教育の充実
- 地域における福祉、保健、医療施設での実習の充実
- 基礎、臨床教室での体験型学修としての教室体験演習や研究実習（リサーチ・クラークシップ）の実施
- 学生参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）の推進
- 学生、教職員の積極的な学修意欲に応える講演会、FDなどの実施

Message from the Dean

## プロフェッショナルへの第一歩

医学部長

益田 宗孝 Munetaka Masuda ■外科治療学

横浜市立大学医学部は附属2病院を有し、医学科・看護学科ともに実践的な教育を受けることができる恵まれた環境にあります。本学は横浜市・神奈川県の地域医療を支える、多くの優秀な人材を育成する責任がある一方で、社会のグローバル化に対応して、日本のみならず世界に向けて情報を発信できる人材を育成していきたいと考えています。皆さんは、このような時代の要請に応えることのできる医療・医学のプロフェッショナルを目指して、新たに大学生生活を始められることになります。



プロフェッショナルとは卓越した専門知識と技量を持ちながら、使命感と倫理観に裏打ちされた仕事を行う人を意味しており、それに加えて、医療の世界では“人を思いやる心”を持ち合わせた人を意味します。また、生命を預かる仕事をしていくには、多角的な視野を持って真実を見極める探求心が求められています。プロフェッショナルへの道は険しく厳しい道ですが、皆さんなら素晴らしいプロフェッショナルになれることを確信しています。横浜市立大学医学部は皆さんを全力で応援します。

## 医学部が求める学生像

- 高い倫理観と医学分野への深い関心を有する人
- 思いやりがあり、命を尊ぶ心を有する人
- 柔軟性と協調性、高いコミュニケーション能力を有する人
- 向学心を有する人
- 自ら問題を発見し、解決するための学修意欲を有する人
- 医療の担い手たる責任感・使命感を有する人
- 医学界をリードし、医学・医療の進歩に世界レベルで貢献する熱意を有する人
- 医療実践者として社会に貢献する意欲のある人

### ■看護学科

## 看護の 未来を担う リーダーを育成

高い教養と専門性だけではなく、  
他者の苦しみや痛み、喜びも理解することができるような  
豊かな人間力を持ち、未来の看護をけん引できる  
リーダーの育成に取り組んでいます。



### ■看護学科の特徴

1年次にPractical Englishや教養ゼミ、総合講義などの共通教養科目を学び、専門の基礎となるリベラルアーツを修得すると同時に専門科目、専門支持科目も履修していきます。  
2年次以降になると附属病院に隣接する福浦キャンパスで、体系的なカリキュラムによる各領域の専門科目と実習が展開されます。

- アクティブラーニングによるリーダー人材の育成
- 附属2病院を有する充実した実習環境
- グローバルなフィールドでの看護教育
- クラス担任制をはじめとするきめ細やかな指導体制

Message from the Dean

## リーダーシップを発揮できる、 優れた人材を育成

医学部看護学科 看護学科長

叶谷 由佳 Yuka Kanoya ■老年看護学

看護学科の特徴は、グローバル社会でリーダーシップをとれる看護職の育成を目指している点です。カリキュラムでは、総合大学ならではの学際的な教養をベースに、医学科との協働、連携を意識して、チームの中でリーダーシップをとれることを目指した教育、また、国際語である英語による会話がある程度できるよう、英語教育や海外フィールドワークによる教育の機会を設けています。看護は、これからますます需要が増加していく学問分野です。そのため、新しい時代に必要な看護を自ら創造し



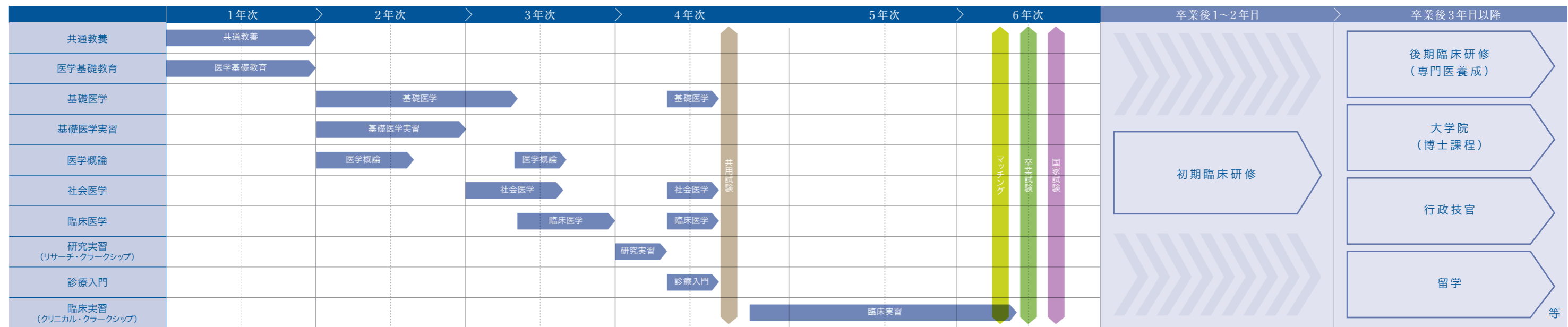
ていくような立場で活躍できる看護師を目指し、教育しています。このような、新しい学問分野を築いていける柔軟性と企画力をもった学生さんに、多く来ていただきたいと思います。また、看護師は、“人”を対象とする職業です。人と関わるのが好きな学生さんに受験いただくことを、教職員一同お待ちしています。これからは、若い人々たちによる新しいアイデアが求められる時代です。横浜市立大学で、一緒にのびのびと学んでいきましょう。

# 医学部 医学科

School of Medicine Medical Course



## ■ 医学科カリキュラム



## Pick up Curriculum

### 医学基礎教育

1年次

教養ゼミ、Practical English、化学・生物等、専門教育の基盤となる知識や考え方を修得します。また、医師や医学研究者としてのキャリア形成の第一歩として、診療・研究活動に実際に触れ、医学を学修する動機づけを高めるため、教室体験演習を行っています。



### 基礎医学

2年次～4年次

正常な人体の構造と機能、さまざまな疾患の原因とその病態、また薬物の作用等について、個体・組織・細胞レベルから分子構造レベルまで幅広い視点から学修します。講義・演習・実習を通して、知識や論理的な考え方や研究手法を学びます。



### 医学概論

2年次～3年次

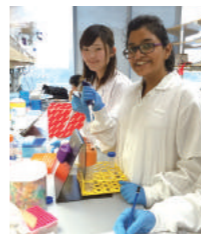
医師にはさまざまなスタッフと連携し、患者さんと信頼関係を築くことが求められます。医師に必須の医療倫理やプロフェッショナリズム、患者さんと医師の関係のためのコミュニケーション技法について医療倫理学や医療コミュニケーション論等の科目を通して学びます。



### 研究実習 (リサーチ・クラークシップ)

4年次

基礎又は臨床医学教室に15週間配属され、医学研究を行います。医療人として知識と技術を駆使するには科学的な視点が必要です。この科目では研究手法修得のみならず、それらを基に未解明の医学的課題に取り組むリサーチマインドを身に付けることを目的とします。



### 診療入門

4年次

診療に関する基本知識、技能、態度について学びます。また医療面接法や身体診察法などの診療技能を実習や演習を通して身に付けます。これらの実践的な学修内容(技能や態度)は、共用試験(OSCE)により評価されます。



### 臨床実習 (クリニカル・クラークシップ)

4年次～6年次

4年次までの全科目に合格するとスチューデントドクターとして診療参加型の病院実習を行うことができます。医療チームの一員として診療に参加し、指導医のもとさまざまな職種とのスタッフと連携して on the job trainingを行います。



# 新しい時代の医学・医療を担う医療人を育成

## ■ 医学科カリキュラム全体像

医学科カリキュラムは、1年次に主に金沢八景キャンパスで受講する「共通教養科目・医学基礎教育科目」と、2年次以降の福浦キャンパスでの「医学科専門教育科目」のカリキュラムから成り立っています。「医学科専門教育科目」では、医学教育モデル・コア・カリキュラム（文部科学省が提言する学修ガイドライン）及び世界医学教育連盟のグローバルスタンダードに基づいたカリキュラムを踏まえて学修します。4年次までにコア・カリキュラムを含む、基礎医学から社会医学・臨床医学までの講義および基礎医学実習などを履修し、全国共

通の標準評価試験である「共用試験」を受験します。この試験は医学知識の学修レベルを評価するCBTと診療技能や態度を評価する OSCE から成ります。両方に合格しないと臨床実習に進むことができません。附属病院か附属市民総合医療センターでの臨床実習を修了し、卒業試験に合格すると卒業が認められます。在学時の6年間を通じて、各学生に担当が配置され、全人的にサポートする体制を取っています。本学の医師国家試験合格率は例年高い実績を収めています。

## ■ 卒業時に修得している能力

横浜市立大学医学部医学科生は、卒業時まで以下の能力を獲得し、地域社会や国内外で活躍し、創造的研究により社会の発展と人類の福祉に寄与する人材として羽ばたきます。

- 1 プロフェッショナリズム
- 2 医学知識（修得した医学関連知識を実践に応用できる）
- 3 医療の実践（診断・治療の基本技能及び科学的根拠に基づく治療計画が立てられる）
- 4 対人関係とコミュニケーション
- 5 医療と社会（医療等に関する制度・規則を理解し、業務を通じて社会に貢献できる）
- 6 生涯学習（知識を探求し、情報を科学的に評価できる。新しい情報を生み出すための研究計画立案ができる）
- 7 医学の進歩への貢献に向けた準備（医学の分野での課題解決に向けた貢献）

# 探求心（リサーチマインド）を持った医療人へ

医学部および2つの附属病院における教育・研究・診療の一体的な運用のもと、医学教育の質の向上を図ることにより、リサーチマインド（探求心）を持った優れた臨床医・医学研究者を育成することを目的としています。

「医学教育センター」は「教育重視」「学生中心」「地域貢献」の3つの基本方針のもとに、国際都市横浜ならではの国際標準を踏まえた質の高い医学・臨床教育に取り組んでいます。

## 医学科の特徴

### 1 リサーチ・クラークシップ

4年次に進級すると同時にリサーチ・クラークシップ（研究実習）が始まり、15週間の医学研究に参加します。リサーチ・クラークシップの目的は、各教室の研究活動に一定期間主体的に関わることで、早期から「未解決の課題に対する意識を常に持ち、積極的に取り組むこと」「科学的な思考で真実を見極める努力を怠らないこと」といった物事の本質に迫ろうという姿勢「リサーチマインド」を養成することです。

科学的根拠、発想に基づいた新しい診断、新しい生命現象や病態解明、疾患の診断・治療を開発していく医師・医学研究者のリーダーを養成するためには学生のうちから、リサーチ・マインドを養成することが重要であると考えています。



リサーチ・クラークシップ配属先		配属先	人 数	配属先	人 数
	海外	シンシナシティ小児病院メディカルセンター（アメリカ）	3	カリフォルニア大学サンディエゴ校（アメリカ）	1
		ウェイン州立大学（アメリカ）	2	シンガポール国立大学（シンガポール）	1
		サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所（アメリカ）	2		
	国内	東京大学	1	国立成育医療研究センター研究所	2
		東京工業大学	2	国立国際医療研究センター研究所	1
		順天堂大学	1	国立精神・神経医療研究センター	1
		理化学研究所	2	日本医療政策機構	1
		国立感染症研究所	1		
	学内	横浜国立大学基礎系教室	32	横浜国立大学臨床系教室	42

2018年度実績

学生の声

## 未知の環境に飛び込むことで得られた“積極性”。

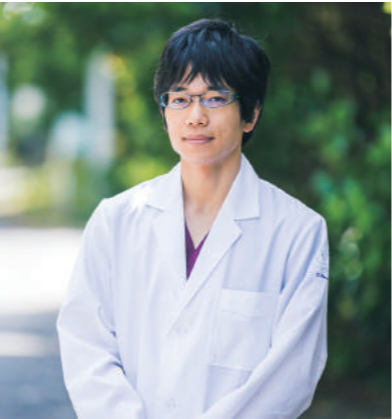
医学科5年

本田 誠一郎 Seichiro Honda  
東京都 私立開成高等学校卒

■ 配属先: Sanford Consortium for Regenerative Medicine

配属先のラボでは iPS 細胞を用いた実験が多く行われており、今回私はパーキンソン病の患者さんの皮膚細胞から iPS 細胞を培養して神経細胞に分化させ、どのような薬物に治療の可能性があるかという研究の一端に携わらせていただきました。最初のうちは英語での意思疎通がうまくいかず、研究室経験がなく何の実験手技も身に付いていなかったため大変苦労しました。そんな中で、本当

にやりたいことは何なのか、どうすれば周りの人に認められるのかについて考え、自ら積極的に働きかけていくことで、終盤は一人で実験ができるようになったり、英語でコミュニケーションが取れるようになったりしました。この“積極性”というのは未知の環境に飛び込んでみて身に付くものだと思います。リサーチ・クラークシップを通じて能動的に学ぶ姿勢の大切さに気付くことができました。



### 2 医師国家試験対策

詳細は ◆P.94～

医学教育センターのバックアップにより、医師国家試験の合格率は日本の大学でもトップクラスを維持しています。

過去の 実績	実施年	合格率	順位
	2017年実施	96.6%	4位
	2016年実施	97.8%	6位

※順位は80大学中（既卒含む）

医師  
国家試験

合格率  
2018年実施

97.7%  
(全国2位、全国平均 90.1%)  
※既卒含む



### 3 医学科領域

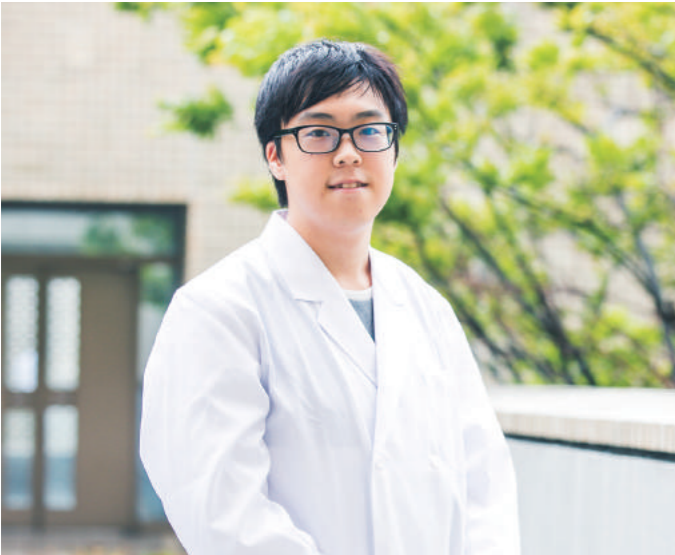
基礎医学系		
[基礎系教室名]		
組織学	RI 研究センター	遺伝学
神経解剖学	微生物学	臨床統計学
循環制御医学	免疫学	法医学
生理学	病態病理学	医学教育学
生化学	分子病理学	医療情報学
分子生物学	臓器再生医学	健康社会医学ユニット
薬理学	実験動物医学	



臨床医学系		
[臨床系教室名]		
血液・免疫・感染症内科	消化器・腫瘍外科学	放射線医学
呼吸器病学	麻酔科学	精神医学
循環器・腎臓内科学	救急医学	眼科学
消化器内科学	脳神経外科学	視覚再生外科学
肝胆膵消化器病学	産婦人科学	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
内分泌・糖尿病内科学	小児科学	皮膚科学
神経内科学・脳卒中医学	泌尿器科学	口腔外科学
がん総合医科学	運動器病態学	総合診療医学
外科治療学	形成外科学	リハビリテーション科学



医学科在学生／卒業生の紹介



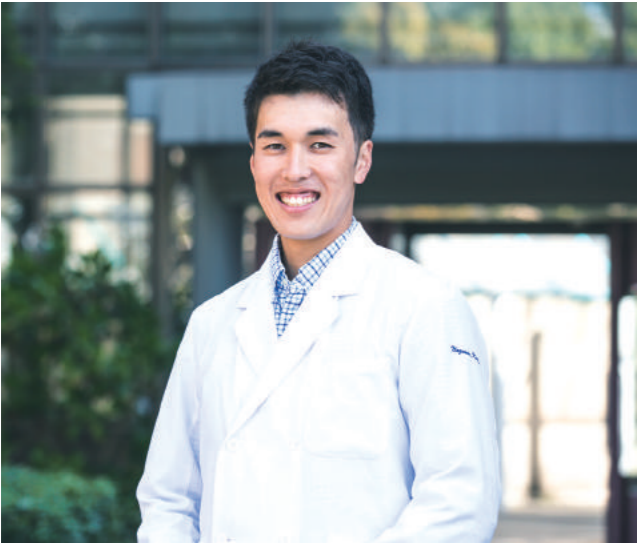
1 年次から実際の医療現場の空気に触れ、  
医師になるということの自覚をより明確に実感。

医学科 2 年  
古川 大期 Taiki Furukawa 神奈川県 私立桐光学園高等学校卒

地域医療の中核を担い多くの主要病院や医療施設と関連をもつ点、英語教育に力を入れている点からYCUを選択しました。1年次の共通教養では英語教育や文理融合の科目を学ぶことができ、幅広い視点や考え方を得ることができました。また、「教室体験演習」では臨床系・基礎系のそれぞれの教室を担当の先生に解説していただく機会があり、肝胆膵消化器病学の教室では、その場で内視鏡の手技を見学できたことが特に印象に残っています。早い段階から実際の医療現場の空気に触れることができ、医師になるということが明確に自覚できました。

1年次前期の時間割の例

	月	火	水	木	金
1時限目	APE 1c	—	—	教養ゼミ	—
2時限目	APE 1c	—	—	教養ゼミ	—
3時限目	化学結合と構造	倫理学	—	—	社会統計学1c
4時限目	微分と積分	行列とベクトル	生体分子と細胞	医療と社会	科学技術の創成
5時限目	—	—	リメディアル物理	病気を科学する	生命科学と環境



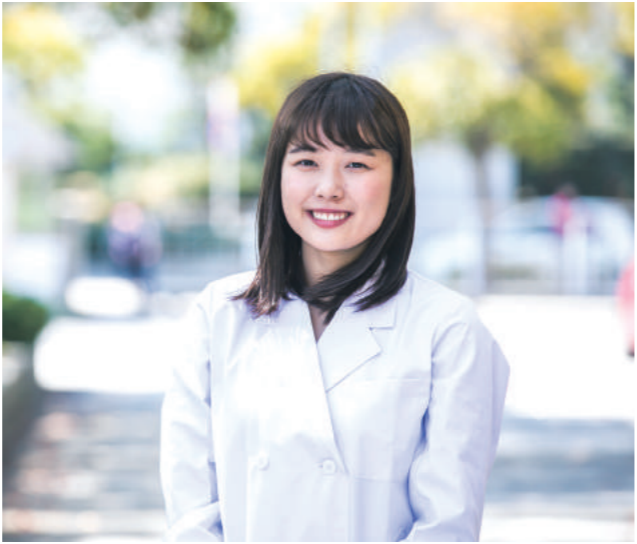
地元・横浜の医療を支え  
発展させていけるような医師に。

医学科 3 年  
永守 駿太 Shunta Nagamori 神奈川県 私立聖光学院高等学校卒

出身地である横浜の医療を支えたいという理由からYCUを志望しました。2年次には基礎医学を学び、座学に加え解剖発生学、生理学など多くの実習を通して、人体の仕組み・機能について深く理解できました。また、学修した知識を基にTBL（チームベースの学修）、PBL（プロブレムベースの学修）を行うことで、チームで意見を出し合い、議論して課題を解決していく力を育むことができました。3年次からは、より臨床的な内容を扱うことが増えていくので、学修してきた基礎医学の内容を活用して理解を深めるとともに、自分が目指す医師像について模索していきます。

2年次前期の時間割の例

	月	火	水	木	金
1時限目	生理学	生化学	医療コミュニケーション	生理学	分子細胞生物学
2時限目	生理学	生化学	医療コミュニケーション	生理学	分子細胞生物学
3時限目	生理学	生化学	医療コミュニケーション	生理学	分子細胞生物学
4時限目	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学
5時限目	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学
6時限目	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学	解剖発生学



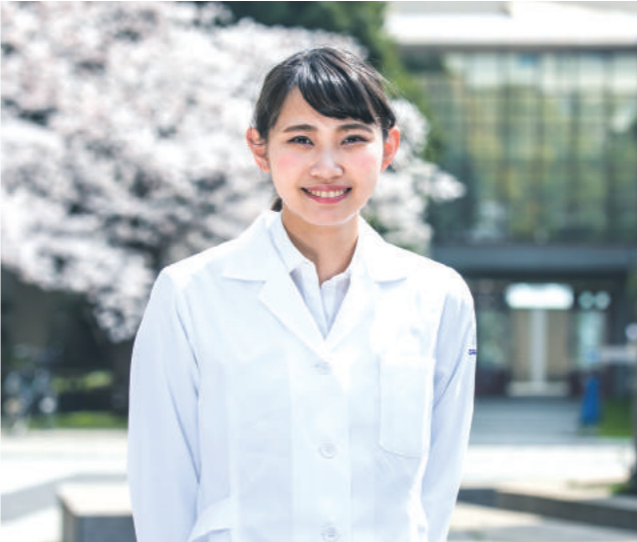
共通目標から生まれる  
大きな団結力が魅力。

医学科 4 年  
金澤 荣生 Mao Kanazawa 東京都 私立渋谷教育学園渋谷高等学校卒

医学科の学生たちは、学業以外にも部活・アルバイト・習い事・遊びなど、それぞれの時間を過ごしていますが、国家試験に受かって医師になるという共通した大きな目標があるため、互いに切磋琢磨しながらも大きな団結力でつながっているところに魅力を感じます。試験前にはぐっと集中して皆で助け合いながら勉強するため、試験や実習が終わったときには大きな達成感を得ることができます。また、入学当初から切望していた海外でのリサーチ・クラークシップへ参加できることになったので、今は最終発表に向けて全力で取り組んでいます。

3年次前期の時間割の例

	月	火	水	木	金
1時限目	神経内科学・脳卒中医学	再生医学	環境分子医学	疫学・予防医学	病態代謝生理学
2時限目	神経内科学・脳卒中医学	再生医学	環境分子医学	疫学・予防医学	病態代謝生理学
3時限目	神経内科学・脳卒中医学	再生医学	環境分子医学	疫学・予防医学	病態代謝生理学
4時限目	病態代謝生理学	基礎病理学	整形外科	疫学・予防医学	基礎病理学
5時限目	病態代謝生理学	基礎病理学	整形外科	疫学・予防医学	基礎病理学
6時限目	病態代謝生理学	基礎病理学	整形外科	疫学・予防医学	基礎病理学



「なぜ?」という純粋な  
好奇心を追いかけることの大切さ。

医学科 5 年  
張田 佳代 Kayo Harita 神奈川県 私立フェリス学院高等学校卒

YCUでは、人体の仕組みを知るための基礎医学、そして病気の治療をするための臨床医学について、広く深く学べる環境に魅力を感じます。特に、基礎医学・臨床医学の座学を経て3カ月の研究期間（リサーチ・クラークシップ）があり、興味のある分野の研究に直に触れることができます。私は身体を守る仕組みを解明する免疫学に興味を持ち、全身性エリテマトーデス（SLE）の新規治療法開発に関する研究に参加しました。与えられたことをこなすだけでは決して得られない、純粋な「なぜ?」という好奇心を追いかけることの大切さを学びました。

4年次前期の時間割の例

月	火	水	木	金
リサーチ・クラークシップ				

患者さんに向き合いつつ、病態解明や  
治療法の発見の研究にも取り組みたい。

2018年3月卒業  
石井 義人 Yoshito Ishii 神奈川県立柏陽高等学校卒

医学部がある福浦キャンパスは周りを海などの自然に囲まれたキャンパスであり、のびのびと学生生活を送れる点が良いところです。一方で、1時間ほどで横浜に出ることもでき、勉強だけではないメリハリのあるキャンパスライフを満喫できます。大学では学業にプラスアルファで学内の機関で研究補助員として先生方の研究のお手伝いをさせていただき、研究の大変さと面白さを教えていただきました。3年次の系統講義で神経内科に興味を湧き、4年次にはリサーチ・クラークシップで研究に参加したこともあって、神経内科医になるための勉学に励んでいます。神経内科領域には治療可能な疾患も増えてきましたが、まだまだ病態が明らかになっていなかったり、治療法が確立していない疾患が多くあります。治療のために患者さんに向き合うと同時に、病態解明や治療法の発見の研究にも取り組み、神経内科領域の発展に少しでも寄与していきたいです。

2018年度より初期研修医（藤沢市民病院→附属市民総合医療センター）として勤務



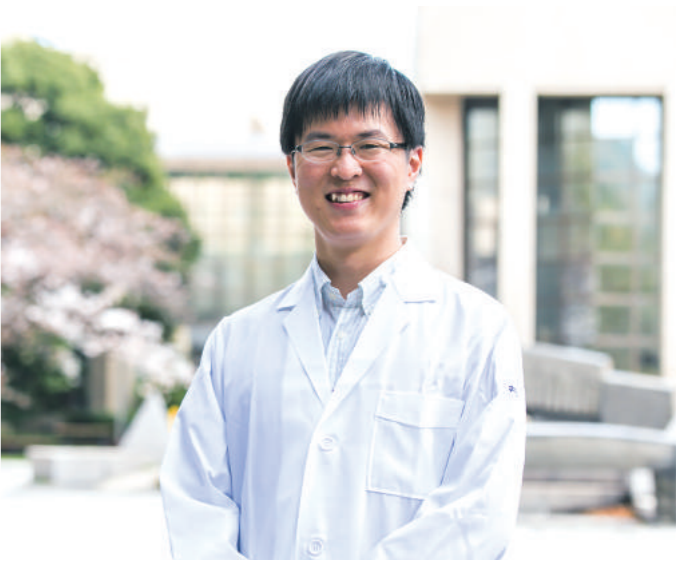
YCUでの学びを生かして多くの命を救い、  
学び育ったこの地に恩返しできる医師に。

医学科 6 年  
岸尾 望 Nozomu Kishio 埼玉県立 浦和高等学校卒

同級生や先輩・後輩の距離が近く、勉強を教え合ったり、将来の進路について情報交換をしたりする環境がYCUにはあります。部活動では硬式野球部に所属しており、体力の向上だけでなく、密なチームワークなど座学では得にくいことを学んでいます。5年次から始まる病棟実習では、医学的知識を応用するのは勿論のこと、患者さんとのコミュニケーションや医師としてのあり方を日々模索しています。将来は小児科医として、講義や病棟実習、部活動などで得たものを生かして一人でも多くの子どもを救い、そして、医学生として学び育ったこの地に医師として恩返ししていきたいです。

5年次前期の時間割の例

月	火	水	木	金
病棟実習				



# 医学生の一日

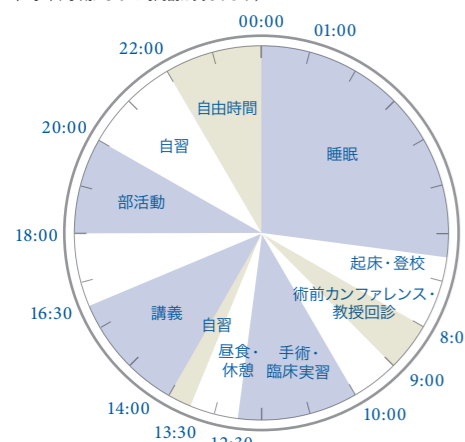
日々勉強と臨床実習とめまぐるしいYCU医学生のとある一日をピックアップしてご紹介します。

YCUの医学科は少人数制ということもあり、教員や職員に気軽に相談できる環境があることが特徴です。

また、附属病院での臨床実習や併設するシミュレーションセンターでの技術向上のためのトレーニングなど、分単位で最先端の医療を学んでいます。そんな中でも部活動やサークル活動にも積極的に取り組んでいます。

## 医学生の一日のスケジュール

(※学年、学期によって時間割は異なります)



### 10:00 外科基本手技実習 (シミュレーションセンター)

医療技術を磨くための数多くの機材が揃っており、腹腔鏡手術、内視鏡検査、救命救急などのトレーニングができます。医学部生はもちろん、医師・看護師などすべての医療従事者がスキルアップのため利用します。



### 12:30 昼食・休憩

食堂は、忙しい学生の強い味方。医学部のある福浦キャンパスの食堂は、カフェテリア方式。季節に応じたメニューも楽しめます。



### 8:00 術前カンファレンス・教授回診

4年次後期から行う臨床実習。指導医と共にスチューデントドクターとして診療に参加します。また、カンファレンスでは、各症例についての情報をチーム全員で共有し、最適な治療方針の検討や経過のポイントを確認します。



### 18:00 部活動

共通の趣味を持った仲間との活動も学生生活の楽しみです。福浦キャンパスでは、水泳部や、サッカー部、剣道部などのほかに、医療を楽しく学ぶためのサークルやピアノ部などが活発に活動しています。



### 20:00 自習(医学情報センター)

医学情報センターは、一日の復習や、明日の予習をするのに最適な場所。登録すれば上級生は24時間利用可能です。医療に関する資料はもちろん、国内外の雑誌や映像などの資料も充実しています。

### 14:00 講義(ヘボンホール)

医学科講義棟 1 階の多目的ホールは、横浜近代医療の父であるヘボン博士の名前がつけられています。講義はもちろん、講演会や演奏会などさまざまなイベントが開催されます。



## ■医学教育センター 「教育重視」「学生中心」「地域貢献」の3つの基本理念のもとに、医学教育の質の向上に取り組んでいます。



### 医学教育分野別評価

他大学に先駆けて世界医学教育連盟(WFME)により認証されている外部評価を受審し、グローバルスタンダードに準拠したカリキュラム改革を進めています。日本で最も少ない90名の定員で、アットホームな雰囲気の中、医学生の学修をサポートしています。



### ベストティーチャー賞

医学教育の質の向上を目的として、学生へのアンケートを実施しています。アンケート結果を基に、講義や実習、担任など、学生の教育に熱心に取り組んだ教員および教室を学年毎に選出し、ベストティーチャーとして表彰しています。



### 医学部長ランチミーティング

医学部長(医学教育センター長)と接する機会の少ない若手の教員がセンター長・副センター長と、医学教育の現状や課題、授業等での工夫やアイデアなどについて自由に意見交換を行い、共有化を図っています。



### 新入生合宿

医学科新入生のモチベーション向上、および医師としてのあるべき姿、倫理観の醸成を目的として、1泊2日の医学科新入生合宿を実施しています。合宿では教員や上級生からの講話や発表を伴うグループワークなどが行われます。

## ■シミュレーションセンター 安全で質の高い医療を提供するため、シミュレーターを用いた教育を行っています。



シミュレーションセンター  
センター長  
秋山 浩利  
Hirotoshi Akiyama  
専門: 消化器・腫瘍外科学(食道・胃)

YCUのシミュレーションセンターは、年間約8,000名以上の方が利用しています。多くの医療従事者がここでさまざまな医療技術のスキルアップを行っており、附属病院での安全で質の高い医療の提供に大きく貢献しています。



### ラップメンター (腹腔鏡下手術)

腹腔鏡手術や内視鏡検査のトレーニングができるシミュレーターや、救命救急のための高性能シミュレーターがあります。

### 診察室

医学科のカリキュラムの中では、心音の聴診を行う医学科2年次の生理学実習などに使われます。



### 外科トレーニングルーム

医学科5、6年次の病棟実習中のトレーニングを中心に実習が行われます。外科の基本的な手技から専門医を目指す方まで経験に合わせた段階別のトレーニングができる、外科寺子屋なども開催しています。





明日の看護のリーダーへ

看護学科は、1898年（明治31年）に創設された横浜市立十全看護婦養成所が源流となり、横浜市に初めて設立された公立の看護専門職の高等教育機関です。国際都市横浜において医学部を有する総合大学の看護学科であり、高度教養教育として求められる国際性、創造性、倫理観はもとより、他者の苦しみや痛み、喜びも理解することができる豊かな人間力を持った人材の育成に取り組んでいます。看護学の専門教育機関として関係職種や地域住民とも連携し、人々の健康や生活の質の向上に貢献し、高度先端医療を担い、新しい時代の実践の場を改革できる、誇り高い人材の育成を目指しています。

看護学科カリキュラム全体像

看護学は、看護師・助産師・保健師等が活動するにあたっての専門性の根拠を理論的・体系的に追究する実学としての学問領域です。本学科のカリキュラムは、共通教養科目と専門支持科目ならびに専門科目より構成されています。講義・演習・実習を通じて、生命の誕生から安らかな死に至るすべての人々のライフステージで必要とされ、かつ保健医療福祉機関から地域在宅等におけるあらゆる看護活動の場での看護実践活動を支える看護学の基礎を体系的に教授します。卒業の認定者には、看護師国家試験受験資格、保健師国家試験受験資格（選択制）が与えられます。本学の看護師国家試験および保健師国家試験の合格率は例年高い実績を収めています。

- 取得できる資格
- 看護師国家試験受験資格
  - 保健師国家試験受験資格（選択制）



看護学科カリキュラム

			1年次	2年次	3年次	4年次
共通教養科目			○語学は Practical English もしくは Essential Practical English	○看護英語	○看護英語	
			総合講義（4単位選択必修）			
			○情報コミュニケーション入門 ○教養ゼミ ○病気を科学する	○心を科学する ○倫理学		
専門支持科目		看護生命科学	○看護形態・機能学Ⅰ ○看護形態・機能学Ⅱ	○看護薬理学 ○看護形態・機能学演習 ○臨床病態看護学Ⅰ	○臨床病態看護学Ⅱ	
		看護社会科学		○保健医療統計学 ○社会福祉学 ○人間発達学	○保健福祉行政論	
専門科目	健康生活基礎看護学	基礎看護学	○看護学概論	○基礎看護方法論Ⅰ ○基礎看護援助論Ⅰ ○基礎看護学実習Ⅰ	○基礎看護方法論Ⅱ ○基礎看護援助論Ⅱ ○基礎看護援助論Ⅲ ○基礎看護学実習Ⅱ	
	健康生活応用看護学Ⅰ	成人看護学Ⅰ		○成人看護学概論Ⅰ	○成人看護方法論Ⅰ	○成人看護学実習Ⅰ ○成人看護学実習Ⅱ
		成人看護学Ⅱ			○成人看護学概論Ⅱ ○成人看護方法論Ⅱ ○成人看護学実習Ⅰ	○成人看護学実習Ⅲ
		母性看護学		○母性看護学概論 ○母性病態・治療学	○母性看護方法論	○母性看護学実習
		小児看護学			○小児看護学概論 ○小児病態・治療学	○小児看護学実習
		老年看護学			○老年看護学概論	○老年看護学実習Ⅰ
		精神看護学		○精神看護学概論 ○精神病態・治療学	○精神看護方法論	○精神看護学実習
	健康生活応用看護学Ⅱ	在宅看護学		○在宅看護学概論	○在宅看護方法論Ⅰ	○在宅看護学実習
		地域看護学		○地域看護学概論	○地域看護方法論Ⅰ ○地域看護学実習Ⅰ	○地域看護学実習Ⅱ* ○地域看護学演習Ⅰ* ○地域看護学演習Ⅱ*
	健康生活統合看護学	統合実践看護学	○看護の統合と実践Ⅰ			○看護の統合と実践Ⅲ(統合実習) ○看護の統合と実践Ⅳ(卒業研究Ⅱ)
		専門共通看護学		○看護倫理学	○家族看護学	○看護管理学
		国際看護学			○国際看護学Ⅰ	○国際看護学Ⅱ

専門科目の対人関係論演習もしくは、医療安全学、看護経済学、感染看護学、看護教育論より科目1単位選択必修。 \*印は、選択科目を示す。

Pick up Curriculum

看護生命科学 1年次～2年次

看護生命科学では、健康に関わる諸問題・課題を理解する基盤となる身体の形態・機能などに加え、身体を健康との関係からミクロ・マクロの視点より理解する科目である看護形態・機能学Ⅰ～Ⅱ、看護生化学、看護微生物学、看護薬理学、看護栄養学、臨床病態看護学Ⅰ・Ⅱなどを配置しています。さらに身体各部の構造や位置関係および生理機能について演習を通して理解を深めるために看護形態・機能学演習を配置しています。



看護社会科学 1年次～3年次

看護社会科学では、人間生活の営みの基盤となる発達や対人関係、さらに健康生活を支えるしくみを広く理解する科目である人間発達学・対人関係論・社会福祉学・保健福祉行政論・公衆衛生学などを配置しています。さらに選択科目として医療安全学・看護経済学のほか、心理学の諸理論を用いて医療・看護の対象である人の心理プロセスを理解できるようにゼミ形式で行う対人関係論演習なども配置しています。



健康生活応用看護学Ⅰ 2年次～4年次

健康生活応用看護学Ⅰは、成人看護学Ⅰ・Ⅱ・母性看護学・小児看護学・老年看護学・精神看護学の6領域から構成されています。ここでは人間の誕生から成長、発達、加齢までの生涯発達の視点を理解し、各発達段階における健康の保持増進、疾病予防等、患者・家族の看護について学修します。各看護学は概論、方法論、演習、実習で構成され、TBLによるアクティブラーニングの手法なども用いて、体系的に学べるよう配置しています。



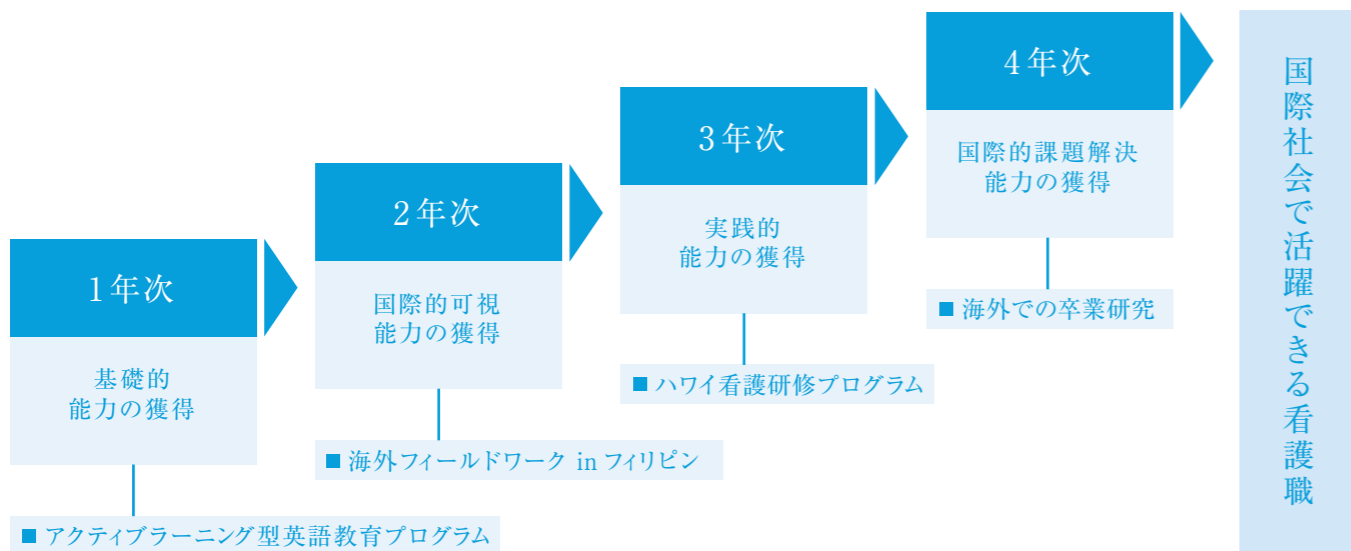
健康生活統合看護学 1年次～4年次

健康生活統合看護学は、統合実践看護学、専門共通看護学、国際看護学より構成されています。統合実践看護学では、看護実践の向上に関わる課題探究に向けて研究方法論を学び、看護実践活動の中から、各自テーマを持ち看護実践をします。そして、その成果を科学的に論証し卒業論文としてまとめます。専門共通看護学は、健康生活応用看護学に横断的に関与し、より円滑に理解できる科目群として、感染看護学、看護管理学、家族看護学などを配置しています。



# グローバル教育の取り組み

看護学科では、国際化社会における看護の実践と、看護、医療、保健における国際多様性を理解することによって視野の広い看護職を育成するため、1年次から4年次までのカリキュラムの中に体系的にグローバルな教育プログラムを用意しています。1年次から全学で取り組む Practical English で培った英語力を基盤に、年次ごとにさまざまな国際体験を積むことができます。



## 1年次

### アクティブラーニング型英語教育プログラム

1年次の必修科目である「看護の統合と実践I」において「看護を目指す初学者が国際的視野を持ち看護に対する理解を深めることができる」ことを目指し、アクティブラーニングの手法を取り入れながら英語による実践的教育を行っています。この授業では、Practical English センター（以下、PEセンター）や外国人模擬患者の協力を得て経験型学習を取り入れた講義・演習を行い、看護実践におけるコミュニケーションの重要性、英語によるコミュニケーションを学びます。看護学科1年生全員が、前期はシナリオに基づき患者の立場で、後期は、医療者の立場で医療コミュニケーションを学びます。最終的に外国人模擬患者を相手に、学修した英語を用いた医療コミュニケーションを活用した看護を実践し、外国人模擬患者から学生に評価表を用いてフィードバックをもらいます。



## 2年次

### 海外フィールドワーク in フィリピン

2年次「国際看護学I」の授業においては、国際看護の視点を養うことを目的に、海外フィールドワークを実施しています。開発途上国における母子保健の現状や、行政、WHO 等の実際の活動に触れます。フィリピンのマニラ市やイロイロ市では、現地の学生や地域住民との交流を通じて異文化への理解を深めるとともに、現地コミュニティのクリニックや保育園を訪問し、歌や劇を交え子供たちに衛生教育や健康教育を行います。現地の看護学生とも交流し、異なる文化、医療体制などをテーマにプレゼンテーションや意見交換をします。さらに、WHO 西太平洋地域事務所を訪問し、西太平洋地域における母子保健の現状や、開発協力の実際について話を聞き国際的な視点を養います。



## 3年次

### ハワイ看護研修プログラム

3年次には10日間、米国ハワイにおいて英語と海外の看護学部で授業や医療現場を学ぶプログラムが用意されています。ハワイ・オアフ島の Hawaii Tokai International College に滞在し、そこでは看護英語と英語によるプレゼンテーションスキルを学びます。同時にハワイ大学マノア校看護学部で演習授業に参加、外国の看護教育の現場に触れるとともに現地学生との交流を通じて国際的コミュニケーションスキルも培います。さらに、病院見学を通じた米国医療看護の実践を見学し、現地専門看護師による講義、フィールドワーク等を行いながら、国際看護の知見を深めていきます。最終日には現地での学びを英語プレゼンテーションとしてまとめ発表し、現地英語講師から講評を受けます。また、本プログラムでは現地での学びをより確かなものにするため、出発前に PE センターの看護師資格をもつネイティブ英語講師による「英語学習会」を毎週実施。学習会では医療看護英語だけでなく、コミュニケーション、ディスカッションなどのスキルアップを目指します。



## 4年次

### 海外での卒業研究

海外での卒業研究（調査）は看護の統合と実践Ⅲ（統合実習）に位置付けられます。看護実践の向上にかかわる個々の関心やテーマ（課題）を追求するためのフィールドとしてフィリピンにおける調査が可能です。研究フィールドはコミュニティクリニックや現地住民の集会場などです。4年次は、学生自身の看護に対する考え方や卒業後の進路が明確となります。それに伴い学生個々の興味関心事が多様化し、近年では、卒業後に海外で働くことを希望する学生が増加しています。そのため YCU では4年間の学修における集大成である卒業研究を、国内だけではなく海外でも行えるよう、学生のニーズを尊重しサポートする体制を整えています。



### 日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の助成を受けて実施される海外学生交流プログラム。2017年度は「災害医療と看護-日本・フィリピンにおける災害医療と看護の役割」をテーマにフィリピン大学（UPM）から学生・教員を横浜へ招聘し、YCU 看護学生との交流事業を実施しました。プログラムは施設訪問（附属2病院・JICA・CITYNET 横浜等）・学内外講師による講義・本学講義「国際看護学I」における UPM・YCU による共同グループワーク等、多彩な内容で展開しました。グループワークでは両校の学生による活発な議論・プレゼンテーションが英語で行われ、環境や制度が異なる国の学生同士、異なる視点を生かしながら災害医療と看護について有意義な学びを得ることができました。最終日には学生主体の文化交流も行われ、将来につながる友好的な学生間ネットワークが形成されました。



学生の声

「今しかできない体験を」と思い切って挑戦。  
未来の医療人として、実りの多い経験に。

渡航先：フィリピン（マニラ市・イロイロ市）

看護学科3年

山田 果菜 Kana Yamada 神奈川県立平塚中等教育学校卒

最初は自信がなかったためでしたが「今しかできない体験を大学生という目線で」と、思い切って飛び込んでみました。母子保健を中心とした地域の医療機関や大学病院の見学、また子どもへの健康教育など日々異なるプログラムの中で、日本とは全く違う現状を目の当たりにしました。これまで常識だと思っていたことが通じず、周囲の状況を複合的に捉え客観的

な目線で物事を判断することが今まで以上に求められ、学びの多い日々でした。拙い英語でもなんとかコミュニケーションがとれたことは自信になりましたが、さらなる語学力向上の必要性も実感しました。今後の具体的なビジョンを定めていくために、未来の医療人の一人として、相手の現状や背景に目を向けた取り組みを大切にしていきたいです。



看護学科在学学生／卒業生の紹介



日々の積み重ねが  
今後につながっていく。

看護学科2年  
藤井 杏莉 Anri Fujii 神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校卒

共通教養科目などで看護学科以外の学生と共に学ぶことにより、視野を広げ考えを深めていけると思ったことと、二つの附属病院を持っていることからYCUを志望しました。授業の特別講師として現役の看護師さんに来ていただき、実習では本学出身の看護師さんから指導していただくことでモチベーションが上がり、より現実的な話が聞けることも魅力に感じます。私は早い段階でPEや情報コミュニケーション科目の単位を修得したので、その分APEや看護の学修に力を入れることができました。日々の学修が今後につながると信じて励んでいます。

1年次前期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限目	—	教養ゼミ	APE	—	—
2時限目	—	教養ゼミ	APE	—	—
3時限目	看護形態-機能学Ⅰ	総合講義 (基幹系/入門)	—	看護学概論	—
4時限目	看護形態-機能学Ⅱ	—	—	総合講義(医療と社会)	—
5時限目	看護形態-機能学Ⅱ	—	—	病気を科学する	総合講義 (生命科学と環境)



多様なフィールドで活躍し  
社会に貢献したい。

看護学科3年  
門内 百恵 Momoe Kadouchi 宮崎県立宮崎西高等学校卒

国際都市横浜において重要な医療拠点である2つの附属病院を有し、実習環境が充実していること、また、必修の共通教養科目によって人間性やコミュニケーション力、プレゼン力を養うことができると考えYCUを志望しました。日々の講義の中でも、在宅での療養が増加している現代の特徴を踏まえて地域の人々の日常に寄り添う看護について考えたり、国際看護における看護師の役割の多様性や活躍の場について学んだりしています。こうした恵まれた環境の中で自分の学びを深められることに感謝し、多様なフィールドで活躍し社会に貢献できる看護師を目指しています。

2年次前期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限目	臨床病態治療学Ⅰ	地域看護学概論	看護薬理学	基礎看護方法論Ⅱ	保健福祉行政論
2時限目	臨床病態治療学Ⅰ	母性看護学概論	精神看護学概論	基礎看護援助論Ⅱ	保健福祉行政論
3時限目	臨床病態治療学Ⅰ	在宅看護学概論	成人看護学概論	基礎看護援助論Ⅱ	看護形態機能学演習
4時限目	精神病態治療学	保健医療統計学	看護倫理学	基礎看護援助論Ⅱ	看護形態機能学演習
5時限目	母性病態治療学	保健医療統計学	社会福祉学	基礎看護援助論Ⅱ	—



専門分野以外の学びも  
深められる環境。

看護学科4年  
秋谷 恵里奈 Erina Akiya 神奈川県 私立横浜雙葉高等学校卒

学内の雰囲気や実習環境の良さはもちろん、所属学科を問わず多くの学生とのコミュニケーションから刺激を受け、学生として、人として成長できることがYCUの魅力です。3年次に各病棟で実習をさせていただく中で、現場の看護師さんの丁寧で温かく個性性に応じた看護の形や、実際に患者さんと関わる上での困難や喜び、そして何より看護の可能性というものを実感することができました。今年度は4年間の集大成として今までの学生生活で学んだことを統合しつつ、専門分野以外のことから学びを得ることでさらに成長していきたいです。

3年次前期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限目	—	—	地域看護方法論Ⅱ	—	—
2時限目	—	在宅看護方法論Ⅰ	地域看護方法論Ⅱ	—	—
3時限目	成人看護演習Ⅱ	小児看護方法論	精神看護演習	母性看護学演習	看護情報学
4時限目	成人看護演習Ⅱ	国際看護学Ⅱ	老年看護方法論	母性看護学演習	看護情報学
5時限目	—	—	—	—	—



「今しかできないことを全力で」を  
モットーに挑み続けた4年間。

2018年3月卒業  
小島 早紀子 Sakiko Kojima 神奈川県立多摩高等学校卒

4年間で力を入れたのはやはり実習です。学生だからこそできる関わりとは何かを考えて臨み、時間が許す限りベッドサイドに行き、患者さんとの関係を築けるように心掛けてきました。また、学業だけでなく、週3回の水泳部での活動や、学祭の部門企画、「いのちの授業」の活動、フィリピンでのフィールドワークや短期留学など、「今しかできないことを全力で」をモットーに「怯まず挑戦すること」を4年間大切にしてきました。就職活動では自分とはどのような人であるのか、どのような経験をしてきて何を感じ、考えてきたかということが大切になりますが、学生生活を通して、自分の長所や短所、得意なことや好きなことがより明確になったと感じています。今後は実習で感じた新鮮な気持ちを忘れずに、患者さんや家族、また各々が持つ多様な価値観と向き合い、広い視野をもって患者さんを捉えることができる看護師になれるよう頑張っていきたいです。

横浜市立大学附属病院 就職
---------------



国際化する医療現場での感覚を  
磨くために複数回の海外渡航。

2018年3月卒業  
後藤 純輝 Junki Goto 神奈川県立秦野高等学校卒

国際化する世情に対応できるように、これからの社会で活躍できる人材を育てるカリキュラムに魅力を感じ、YCUを志望しました。実際に2年次には看護学科単独としては初となるフィリピンでのフィールドワークに参加する機会をいただき、3年次にはフィリピンの看護学生を迎えるサポーターの役割を務めました。これらの経験は、国際化する医療現場における感覚を養うための貴重な経験となりました。学外の活動としても、長期休暇期間にアフリカで活動しているYCU出身の看護師の先輩などを頼って現地の病院での活動を見学させていただくなど、可能な限り途上国にある医療現場を見学して過ごしました。実際に患者さんを受けもつ病棟での実習では、看護師の役割と求められる姿について悩み考えさせられるものとなりました。何が最善の医療なのか患者さんと一緒に悩み、考え続けられることができるような看護師を目指します。

横浜市立大学附属 市民総合医療センター 就職
------------------------

看護学科 修学資金貸与制度

看護学科3・4年次で、YCU卒業後直ちに附属2病院(附属病院・附属市民総合医療センター)に就職を希望する学生に対して、修学資金を貸与する制度です。貸与を受けた期間に相当する期間、附属2病院で業務に従事した場合は返還が免除となります。また、優秀な人材確保とキャリア支援の一環として、2016年度の規程改定により、助産課程やYCU大学院への進学期間における修学資金の返還猶予が認められています。

国家試験合格状況

本学科では、毎年全国トップクラスの国家試験合格率を実現しています。4年次には4月に個別面談を実施して指導や支援を行い、伸び悩んでいる学生には補習講義や随時のフォローアップ面接など、きめ細かいサポートが特色です。

看護師  
国家試験

合格率  
2018年3月  
卒業生

100%  
(全国平均 91.0%)

保健師  
国家試験

合格率  
2018年3月  
卒業生

96.5%  
(全国平均 81.4%)

主な就職・進学先

<主な就職先>

- ・横浜市立大学附属病院
- ・横浜市立大学附属市民総合医療センター
- ・虎の門病院
- ・横浜市立市民病院
- ・横浜南共済病院
- ・横浜市(保健師)

<主な進学先>

- ・横浜市立大学大学院 医学研究科 看護学専攻
- ・神奈川県立衛生看護専門学校 助産師学科
- ・東京大学 健康科学看護学専攻

# 看護学生の1日

YCUの医学部看護学科の学生は、専門課程を福浦キャンパスにある看護教育研究棟で学びます。  
看護学生のある1日のスケジュールを通して、看護教育研究棟を紹介します。



身近な実習機関として貴重な場を提供する2つの附属病院

## 横浜市立大学附属病院

(福浦キャンパス)



福浦キャンパスに医学部と共に立地する附属病院は、370万人の横浜市民の医療の最後の砦として安全かつ高度な医療を提供しています。高度先進医療の開発と発展を推進する、横浜市内唯一の「特定機能病院」であり、「地域がん診療連携拠点病院」「神奈川県エイズ治療中核拠点病院」「災害拠点病院」の役割を担うなど、各領域で最高水準の医療・看護を提供しています。さらに、医療人を養成する機関として大学の医学教育の根幹を担い、附属市民総合医療センターと協同して、多くの実習生や臨床研修医を受け入れています。また、地域医療連携の中核として県内の医療機関との連携を図り、地域全体の医療の向上に貢献しています。

病院長・卒業生メッセージ



多くの症例、多様な環境で医療を学べる実り多い日々。

初期臨床研修医2年目として診療に携わっており、将来志望する科を中心に各科で臨床経験を積んでいます。当院では質の高い指導体制のもと最先端の医療技術に触れることができ、多くの症例が各地から紹介されます。こうした環境の中で学べるのは大学病院ならではの良さであり、非常に刺激的で充実した毎日を送っています。市内の関連病院も多く、医療実習では高度専門医療から地域密着型の医療まで多様な環境に携わることもできます。大学生活では、医学部だけでなく他学部生との交流も盛んで、幅広い人間関係を築けることが魅力です。

附属病院 研修医

香西 柘樹 Yuki Kozai

2017年3月 横浜市立大学 医学部医学科 卒業  
和歌山県 私立智辯学園和歌山高等学校卒

個別性を大切にした看護を提供できるように。

YCU では1年次に共通教養科目で他学部の学生と交流でき、2年次からは専門科目の学修が本格化します。理解しやすいように工夫された座学、同級生と練習を重ねる学内演習、実際に患者さんを受け持つ臨地実習と、段階を踏む過程で先生や同級生たちと切磋琢磨しながら実践的な看護を深めることができます。私は現在、循環器内科、腎臓・高血圧内科、内分泌・糖尿病内科の混合病棟で勤務をしています。慢性疾患を抱える患者さんが多く、ご家族も含め一人ひとりの個性を大切にしたい看護を提供できるよう日々頑張っています。

附属病院 看護師

岡本 瞳 Hitomi Okamoto

2017年3月 横浜市立大学 医学部看護学科 卒業  
神奈川県 私立横須賀学院高等学校卒

患者さんの思いをくみ取り、最善を尽くす医療人を育成。

ここでの病棟実習では、さまざまな疾患・症例を目の当たりにし、多くの患者さんと触れ合う機会に恵まれています。実習で大切なのは、人を思いやる心を育むこととコミュニケーション力を向上させることで、“人としての成長”と言い換えられるでしょう。私たちが教えられるのは、知識と技術です。人間的な成長は、自分に足りないものに気づき、それをひとつずつ積み重ねていけばよいことで、一足飛びにと焦る必要はありません。医学科の5年生は、よりドクターに近い立場で臨床に立つようになります。そのときに、医学的な最善策が患者さんの望む方法とは限らないといったような、“医療と医学の違い”に直面するかも知れません。医療には相手の気持ちをくみ取る心が必要です。安全性を確保しながら、医療人として患者さんの気持ちと医療に関わるすべてのスタッフのことも考慮した最善策を実行するプロセスを学び取ってほしいと思います。

附属病院長

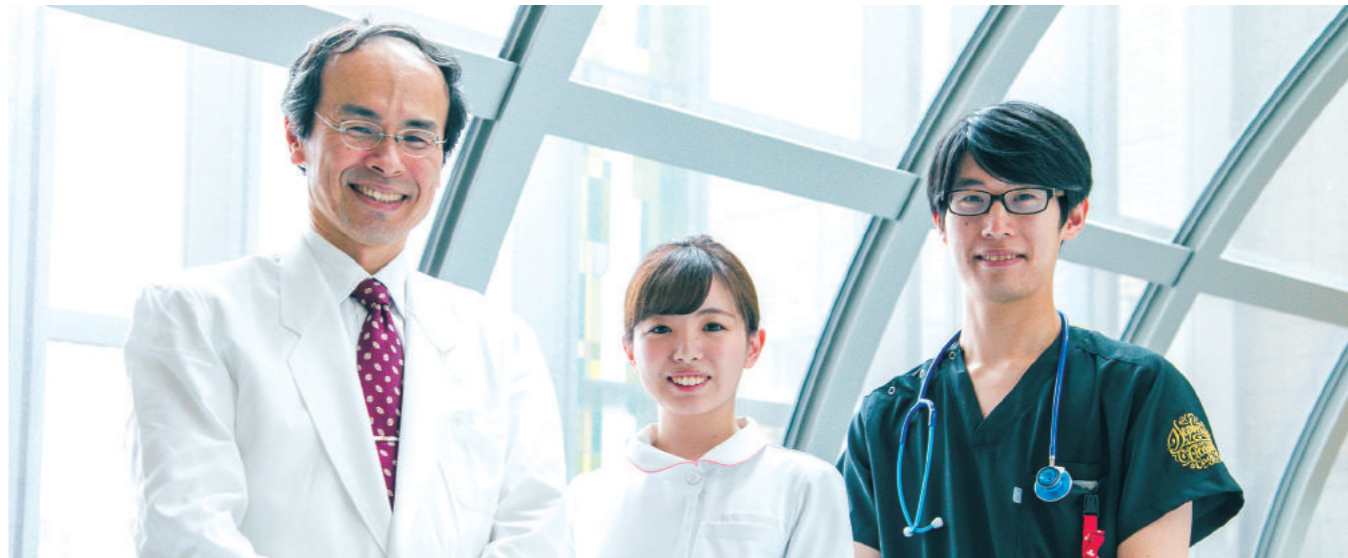
相原 道子 Michiko Aihara

## 横浜市立大学附属市民総合医療センター

(横浜市南区浦舟町)



病院長・卒業生メッセージ



最先端の高度医療から地元密着型医療まで、幅広く学べる環境。

附属市民総合医療センターは、高度専門医療や救急医療を通じて地域社会に多大な貢献をする、まさに横浜のインフラです。YCUは福浦、浦舟（センター病院）という、歴史と特徴の異なる2つの附属病院を有し、高度先進医療から地域密着型医療まで幅広い医療を、多くの症例に接しながら実習・研修できる環境を整えています。この恵まれた環境が、国家試験の合格率の高さや初期臨床研修医受け入れのフルマッチの達成につながっていると自負しています。医療職は、身に付けた専門知識を目の前の患者さんに直接役立て、目の前で患者さんの喜びを直接感じる、やりがいのある職業です。YCUで社会に貢献する医療人としての資質を大いに高めてください。

附属市民総合医療センター病院長

後藤 隆久 Takahisa Goto

2017年3月 横浜市立大学 医学部看護学科 卒業  
神奈川県立相模原高等学校卒

先輩方とも活発に情報共有を行い望ましい看護を共に考えていく。

看護師2年目として小児科病棟で勤務しており、気持ちや症状をうまく伝えられない子どもへの関わり方や、年代や性格による対応を学んでいます。ペア看護方式では、先輩方とペアを組む中で活発な情報共有と望ましい看護を共に考えることで刺激を受けています。YCUでは医学科と看護学科が併設しているため、医療分野の知識をより深めることができ、附属2病院での実習を通して、先進医療や地域医療に触れながら成長できました。日々の生活面や進路についても細やかにサポートしてくださる先生方が揃っている温かい環境です。

附属市民病院医療センター 看護師

永井 響 Hibiki Nagai

2017年3月 横浜市立大学 医学部看護学科 卒業  
神奈川県立相模原高等学校卒

多様な経験を積み、医療人としての研鑽を重ねられる。

研修医2年目として、月単位でさまざまな科をローテーションしながら患者さんの診察・検査・治療方針決定などに関わり、上級医の先生や他職種の方々と議論し、そこから学びながら医療人としての研鑽を積み日々です。また、学会発表や小児科サマーキャンプなどのイベントにも参加して医療行為以外の面でも多様な経験をさせていただいています。多くの人口と医療機関を抱える横浜での医療は、クリニックでの外来診療から大学病院での最先端の治療まで幅広い領域となっています。YCUで医学や看護学を学べば、きっと多くの選択肢が得られるかと思います。

附属市民病院医療センター 研修医

坂田 雄祐 Yusuke Sakata

2017年3月 横浜市立大学 医学部医学科 卒業  
神奈川県 私立栄光学園高等学校卒

# 都市社会文化研究科

Graduate School of Urban Social and Cultural Studies

都市社会文化専攻 大学院 ●関連する学部：国際教養学部



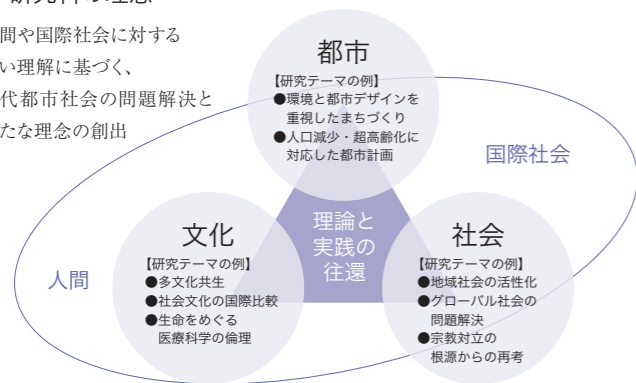
## 多分野融合型のカリキュラム編成と地域社会との実践的連携

都市に関わる課題を中心に、人文科学を基盤としつつ、社会科学、さらに自然科学の一部におよぶ豊富な授業科目を用意し、人間と文化の理解を基礎に社会の多様な課題に取り組むことのできるカリキュラムを提供します。また、国際都市横浜の公立大学に開設された大学院という特性を生かし、横浜市関連団体・市内に立地する国際機関・NPOなどと連携して講師の招聘・インターンシップ・研究生の

受け入れ・共同研究などの取り組み、さらに実践的な感覚を養う目的でフィールドワークを推奨しています。半数近い授業科目を平日夜間および土曜日に開講し、博士前期課程では修士論文によらない修了も可能とするなど、社会人も学びやすい条件を整え、積極的に受け入れています。

### ■ 研究科の理念

人間や国際社会に対する深い理解に基づく、現代都市社会の問題解決と新たな理念の創出



### ■ 都市社会文化研究科 修了後の主な進路 2010年度～2017年度修了者

博士前期課程 博士後期課程	[就職]			[進学]	
	神奈川県庁 株式会社日立製作所 株式会社毎日新聞社	株式会社リクルートキャリア 株式会社ワークスアプリケーションズ 積和不動産株式会社	テルモ株式会社 マンパワーグループ株式会社 横浜市役所 など	横浜市立大学大学院 名古屋大学大学院 上智大学大学院 など	

### ■ 修士論文テーマ例 2017年度修了者

- 中国の高新技術産業開発区における研究開発機能—成都ハイテク区を事例として—
- 国境を超えた自治体間連携の可能性—日系中小企業のベトナム進出支援の観点から—
- 金子光晴研究：「書物」という視点から
- 行政による外国人住民対応の課題と多文化共生の新たな可能性—横浜市中区の事例からみる現実のすり合わせ—
- 南朝正史の「孝」の記述について
- 「平和構築」における「ノン・フォーマル教育」の意義と課題に関する考察
- 京浜臨海部におけるライフサイエンス・クラスターの形成に関する考察
- ベルギー・フランデレン地域政府の政策統合—ファイナケミカル産業を巡る施策を事例として—
- 〈ミニ・パブリックス〉を用いた住民参加の可能性—地方自治体の政策形成過程における意義・背景と課題・方向性—
- 高齢年マンションにおける管理不全に至るメカニズムの研究および横浜市における管理不全マンションの実態調査など

# 国際マネジメント研究科

Graduate School of International Management

国際マネジメント専攻 大学院 ●関連する学部：国際商学部／データサイエンス学部



## グローバル経済に対応したカリキュラムとサービス・サイエンス研究プログラムの提供

グローバル化が進む企業で活躍できる人材の育成を教育目標としています。この目標を達成するため、博士前期課程では履修科目群を「基礎科目群」と「応用科目群」とで構成し、段階的に専門知識を身に付けていける体制を整えるとともに、特定の指導教員による2年間の研究を通し、問題発見、問題解決、プレゼンテーション等の能力の向上を支援します。近年海外から注目されているわが国のサービス・

ビジネスについて専門的かつ科学的に研究を進めることを目的とする、「サービス・サイエンス研究プログラム」が提供されている点も、本研究科の特色です。所定のプログラム対象科目を一定単位以上取得した場合、本研究科により、サービス・サイエンス研究プログラム修了者として認定しています。

### ■ サービス・サイエンス研究プログラム (2016年度開設)

サービス・サイエンス研究プログラムは、我が国や諸外国の先進的なサービス・ビジネスについて、専門的かつ科学的に研究できるようにするため開設しました。このプログラムにより民間企業はもちろん、医療・福祉機関、行政機関やNPOなどでサービスのスペシャリストとして活躍できる人材の養成を目指しています。

#### ▼ モデル1

グローバルの視点から情報・流通・ヘルスケア・行政などのサービス分野における専門的な知識やスキルを発揮する人材

#### ▼ モデル2

企業会計のメカニズム、企業分析の手法、国際会計の知識をベースに、資金調達、海外事業展開部門に会計サービスを提供できる人材

### ■ 国際マネジメント研究科 修了後の主な進路 2010年度～2017年度修了者

博士前期課程 博士後期課程	[就職]				[進学]	
	株式会社アイネット 株式会社NTTデータ 株式会社NTTデータ経営研究所 NTTデータシステム技術株式会社	京セラコミュニケーションシステム株式会社 日本アイ・ビー・エム株式会社 日本電気株式会社 (NEC) パナソニック株式会社	株式会社日立ビルシステム 富士通株式会社 フューチャーアーキテクト株式会社 マルハニチロ株式会社	ヤマハ株式会社 東京都 富士ソフト株式会社 横浜市役所 など	横浜市立大学大学院 慶應義塾大学大学院 順天堂大学大学院 など	

### ■ 修士論文テーマ例 2017年度修了者

- CVSの流通チャネル多角化の分析
- ディーブラーニングを用いた需要予測に関する研究
- 中国人プロサッカー選手の復帰移籍プロセスが最初に在籍したクラブ・チームへの組織コミットメントの変化に与える影響
- 貿易政策の変更がもたらす国内製品の質と価格への影響—牛肉自由化を例にした実証分析—
- 専門看護師の就労環境と専門性発揮の条件
- 担当権の効力が及ぶ目的物の範囲における経済的一体性に関する一考察
- 中国企業による日本企業M&Aに関する研究

など

# 生命ナノシステム科学研究科

Graduate School of Nanobioscience

## 物質システム科学専攻 / 生命環境システム科学専攻

大学院 ● 関連する学部: 理学部 / データサイエンス学部



### 物質システム科学専攻

8つの部門

- ナノ物質科学
- 光物質科学
- 量子表面科学
- 計算物質科学
- 集積情報科学
- 知覚情報科学
- 物質計測科学
- 有機物質科学

基礎科学から生まれた知識・科学技術は現在ではナノ科学として開花し、物質現象だけでなく生命現象を解き明かす計測原理や情報解析原理のイノベーションを創出しています。本専攻では、電子・原子・分子の視点から、生命物質を含めたナノシステムに対して、“実験科学”（合成・計測・評価）と“計算科学”（計算・情報・予測）を駆使することで、ナノシステムの原理を理解するだけでなく、新たなナノシステムを創出し、社会に貢献します。

#### ■ 学生の声

生命ナノシステム科学研究科 生命環境システム科学専攻 博士後期課程 3 年

三上 雅史 Masafumi Mikami

所属: 連携大学院 農業・食品産業技術総合研究機構  
横浜市立大学 国際総合科学部卒

私は連携大学院である農研機構の生物機能利用研究部門に所属しています。農研機構では大学よりも多岐にわたる研究分野が存在しており、他分野の研究者と関わることで自身の視野を広げることができるとともに、さまざまな視点から研究のアドバイスをもらうことができます。八景キャンパスとは雰囲気は違いますが、将来、研究者を目指したい方にはとても魅力的な環境だと思います。YCUでは農研機構の他に、理化学研究所や海洋研

究開発機構等、多くの機関の研究室と連携しています。生命ナノシステム科学研究科では、カリキュラムの中に、研究機関の研究者の講義を聴けるチャンスもあり、このような機会は横浜市立大学独自の良さだと思います。また、他大学と比べて、学生数は少ないように感じることがありますが、その分、教員の指導が行き届き、十分なサポートが得られるのも特色の1つです。



2017年度 YCU Best Student Award受賞時の写真

#### ■ 生命ナノシステム科学研究科 修了後の主な進路 2010年度～2017年度修了者

博士前期課程 博士後期課程	物質システム科学専攻			生命環境システム科学専攻		
	【就職】			【就職】		
	エーザイ株式会社 エスエス製薬株式会社 カシオ計算機株式会社 株式会社IH I 株式会社NTTデータ 株式会社資生堂 株式会社野村総合研究所 株式会社メタルワン	株式会社LIXIL 気象庁 キヤノン株式会社 昭和シェル石油株式会社 ソフトバンク株式会社 テロルチョコ株式会社 テルモ株式会社 トヨタ自動車株式会社	日産化学工業株式会社 日本調剤株式会社 日本放送協会 (NHK) 日本発条株式会社 日立化成株式会社 横浜ゴム株式会社	アース製薬株式会社 小野薬品工業株式会社 オリンパス株式会社 株式会社伊藤園 株式会社LSIメディア 株式会社明治 株式会社横浜銀行 キリン株式会社	塩野義製薬株式会社 シミツ株式会社 自然科学研究機構 国立天文台 新日鐵住金株式会社 中外製薬株式会社 東京都庁 独立行政法人理化学研究所 日本調剤株式会社	ネスレ日本株式会社 バイエル薬品株式会社 ホーユー株式会社 丸大食品株式会社 Meiji Seika ファルマ株式会社
	【進学】 横浜市立大学大学院			【進学】 横浜市立大学大学院 京都大学大学院		

#### ■ 修士論文テーマ例 2017年度修了者

物質システム科学専攻

- 植物由来香気成分（イソオイゲノール）の酸化反応とバニリンの生成機構
- 燃料電池応用に向けたFe-N添加カーボンナノウォール触媒の作製と評価
- 二分子横層によって構築した分子ダイオードの構造や伝導特性に関する研究
- Synthetic studies of scopadulciol, an inhibitor of Wnt signaling pathway など

生命環境システム科学専攻

- バンコムギにおけるCRISPR/Cas9システムのための標的配列の最適化
- Identification of metabolites from bacterial benzo[a]pyrene biotransformation by LC/ESI-MS/MS
- フタル酸エステルによる生殖毒性の評価を可能にするin vitro再構築構築の作製 など

# 生命医科学研究科

Graduate School of Medical Life Science

## 生命医科学専攻

大学院

● 関連する学部: 理学部 / データサイエンス学部 / 医学部医学科



## ポストゲノム時代の新しい生命医科学の教育研究と最先端研究機関との高度な連携

生命医科学研究科では、既存の物理学・化学・生物学・遺伝学・情報科学を統合することで細胞生物学を含めた先端医科学研究へ応用展開していく教育体制を構築しています。メインキャンパスは、理化学研究所横浜キャンパスに隣接した鶴見キャンパスにあり、理化学研究所との連携大学院を一層発展させるとともに、生命医科学の

出口を見据えた連携をより一層広げるために、横浜市立大学医学研究科をはじめ、産業技術総合研究所 (AIST)、国立医薬品食品衛生研究所 (NIHS) へと連携を拡げた教育体制を構築しています。さらに、生命医科学研究の基盤となるさまざまな新技術の開発も推進していきます。

#### ■ 研究紹介

生命医科学研究科

池口 満徳 Mitsunori Ikeguchi

教授  
専門: 生命情報科学

医薬品の設計では、「鍵と鍵穴」とよく言われるように、標的タンパク質（鍵穴）にフィットする分子（鍵）として設計されます。さらに、その標的タンパク質の立体構造は堅いものではなく、柔らかに動くため、そこにうまく医薬分子が結合する必要があります。そのような医薬分子や標的タンパク質の柔らかい立体構造とその機能との関係性について、スーパーコンピュータなどの計算機を駆使して原子レベルで研究を行っています。



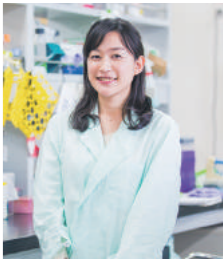
#### ■ 学生の声

生命医科学研究科 生命医科学専攻 博士後期課程3年

鉄 啓恵 Hiroe Tetsu

所属: 連携大学院 理化学研究所 横浜キャンパス  
茨城大学 工学部卒

人の健康を支えたいという思いから医学の研究を志し、専攻分野を変更して進学しました。YCUにはさまざまなバックグラウンドの先生方がいるのが特徴です。また、本研究科は理化学研究所と連携していることから、国内トップクラスの技術を学べることに魅力を感じました。現在は免疫学を専攻しており、アレルギーをはじめとして、肥満やがんといった諸疾患に関わる自然リンパ球について研究しています。特に、血管新生と呼ばれる新しい血管ができる現象に興味を持ち、自然リンパ球との関係を明らかにすることを目的に日々研究に取り組んでいます。



#### ■ 生命医科学研究科 修了後の主な進路 2011年度～2017年度修了者

博士前期課程 博士後期課程	【就職】					【進学】	
	エーザイ株式会社 エスビー食品株式会社 神奈川県庁 株式会社江東微生物研究所	株式会社野村総合研究所 川澄化学工業株式会社 協和発酵キリン株式会社 キリン株式会社	キュービー株式会社 JFEシステムズ株式会社 大鵬薬品工業株式会社 ダイキン工業株式会社	タカナシ乳業株式会社 中外製薬株式会社 テルモ株式会社 丸大食品株式会社	ライオン株式会社 など	横浜市立大学大学院 京都大学大学院 東京工業大学大学院	など

#### ■ 修士論文テーマ例 2017年度修了者

- オメガ3脂肪酸代謝酵素のゲノムワイド解析
- DNAメチル化酵素DNMT1とマルチプル-モノユビキチン化ヒストンH3複合体の構造生物学的研究
- プレキシナA1が形成するシグナル伝達複合体のX線結晶構造解析
- 溶液NMRを用いたヒト膜タンパク質C99の性状解析
- 新規マイクロ流体デバイスを用いた精密培養での酸素供給について
- タンパク翻訳を促進する非コードRNA(SINEUP)の核酸医薬としての機能評価系構築
- 金属結合を目的とした人工タンパク質の設計と解析
- 医薬品候補化合物の標的同定を目指したリボソームディスプレイ法の開発
- など

# 医学研究科

Graduate School of Medicine

医学、生命科学、看護学における高度な研究能力

医科学専攻

大学院

● 関連する学部・学科：理学部 / 医学部医学科

修士課程

博士課程



医科学は現在、基礎研究とその臨床応用、開発研究が最も盛んな科学分野のひとつです。YCUの医科学専攻が目指すところは、基礎研究から臨床研究へ、臨床現場から研究室への双方の視点を併せ持ち、理論と実践の双方から学問を探究

できる姿勢を持つ医療人材の育成です。さらには医療が行われる社会とのつながりを俯瞰し、課題解決に向けて飽くなき努力を続け、独創性と人間性の豊かな人材の輩出を目指しています。

## ■ 医科学専攻修士課程

修士課程は、医学部医学科以外の学士課程修了者で、医学研究を希望する学生のための2年間のコースです。修了後は、博士課程に進学、あるいは企業や研究所における研究職としてのキャリアを歩みます。多様な生命現象の本質を解明する生命医科学研究から、難治性疾患の病態形成機構の解明まで、幅広く研究が行われています。

## ■ 医科学専攻博士課程

博士課程は、医学、歯学、薬学あるいは獣医学等の学士課程を修了した学生、大学院修士課程または博士前期課程を修了した学生を対象とした課程です。修士、あるいは博士前期課程での研究のさらなる発展や、臨床現場で生じた疑問や発想をさらに深化させる研究を展開し、先端医科学をリードする研究者、教育者を育成します。

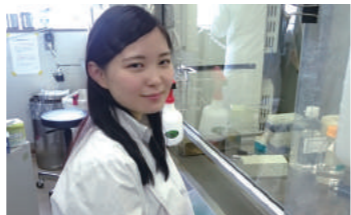
## ■ 学生の声

### 再生医療技術によって、移植を必要としている方に希望を届けたい。

医学研究科 医科学専攻 修士課程 2年 碓井 彩華 Ayaka Usui 東京薬科大学 生命科学部卒

私が所属する臓器再生医学教室では、世界で初めてヒトiPS細胞から“臓器の芽”を創り出すことに成功しています。この“臓器の芽”を創り出す革新的な再生医療技術は、移植が必要である多くの患者さんを救うことが期待さ

れます。現在私はこの革新的技術を応用し、腫瘍微小環境の再現を伴ったがん組織の再構成技術の構築に取り組んでいます。



## ■ 医学研究科医科学専攻 修了後の主な進路

修士課程	[就職]				[進学]	
	日本調剤株式会社 中外製薬株式会社 第一医科株式会社 昭和産業株式会社 株式会社ワールドインテック	株式会社エスアールディ 横浜市教育委員会 ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 プレジジョン・システム・サイエンス株式会社	パレクセル・インターナショナル株式会社 シミツク株式会社 クリニプロ株式会社 ライオン株式会社 株式会社テクノプロ・テクノロR&D社	帝人株式会社 大鵬薬品株式会社 オリンパス株式会社 株式会社日立製作所	横浜市立大学院 日本獣医生命科学大学	など
博士課程	[就職]				[進学]	
	横浜市立大学附属病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター 社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市南部病院	南東北がん陽子線治療センター 独立行政法人地域医療機能推進機構横浜保土ヶ谷中央病院 独立行政法人医薬品医療機器総合機構	特定医療法人財団慈恵会 大口東総合病院 大和市立病院 埼玉メディカルセンター 国立保健医療科学院	国立大学法人東京医科歯科大学 国際医療福祉大学 熱海病院 公益財団法人がん研究会有明病院 茅ヶ崎市立病院 横浜労災病院	横浜南共済病院 横須賀市立市民病院 横須賀共済病院 エイソーヘルスクエア株式会社 アステラス製薬株式会社	など

を持ち、国際的な指導者を育成

看護学専攻

大学院

● 関連する学部・学科：理学部 / 医学部看護学科

博士前期課程

博士後期課程



YCUの看護学専攻は、地域に貢献することをミッションに、横浜市に初めて設立された公立の看護専門職の高等教育機関としての歴史があります。高齢化社会の進展などにより医療、保健、福祉のあり方が大きく変容する中において、看護学における高度な専門性と研究能力に裏打ちされた実践を通じて、看護の現場を改革で

きる人材を育成します。また、2018年度より開設された博士後期課程では、複雑化する医療ニーズに対応できる看護理論を創造できる研究者や、CNS（専門看護師）等の高度看護実践専門職を育成できる教育者を養成する、市内唯一の看護学における高度な教育・研究拠点を目指します。

## ■ 看護学専攻 12の分野

- 看護生命科学分野
- 看護管理学分野
- がん看護学分野
- 周麻酔期看護学分野
- 母性看護学分野
- 基礎看護学分野
- 小児看護学分野
- 感染看護学分野
- 精神看護学分野
- がん・先端成人看護学分野
- 地域看護学分野

## ■ 看護学専攻博士前期課程

広い視野に立脚して看護学の専門性を追求するとともに、エビデンスに基づいた看護実践ができる専門看護師や周麻酔期看護師をはじめとした高度実践看護師を育成するとともに、看護学の研究能力を持って現場を変革できる看護管理者、また、高い識見をもつ教育者や研究者といった、次世代の看護をけん引するリーダーを育成します。

## ■ 看護学専攻博士後期課程

2018年度から開設された博士後期課程では、今後ますます複雑・多様化する看護ニーズに対応できる看護スキルやシステム構築、看護理論等を開発できる看護学研究者の育成を目指しています。またそのような看護ニーズに対応できる高度看護実践専門職やそれらを育成できる看護学教育者、さらに臨床や行政において指導的な立場で専門業務を担う人材を輩出します。

## ■ 学生の声

### 研究に打ち込める恵まれた環境で、科学的根拠に基づいた効果的な看護ケアを探究。

医学研究科 看護学専攻 看護生命科学分野 博士前期課程2年 前澤 美佳 Mika Maezawa 横浜市立大学 医学部看護学科卒

薬物治療等に伴う副作用によりQOLを著しく損なわれている患者さんに対する科学的根拠に基づいた効果的な看護ケアを探究するために、大学院に進学しました。肥満者に対する適切な経皮的与薬方法の確立をテーマに研究して

います。当研究室は、看護系大学院では稀な専用の実験施設を有しており、身体で生じている現象を遺伝子・タンパクレベルから解明することが可能です。熱意ある先生方や志高い学生に囲まれ、毎日が充実しています。



## ■ 医学研究科看護学専攻博士前期課程課程修了者の主な進路（現職・復職を含む）

博士前期課程	教育研究機関	
	横浜市立大学 創価大学 帝京平成大学	公益財団法人日本訪問看護財団 千葉科学大学看護学部教員 など
横浜市立大学附属病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター 神奈川県立がんセンター 神奈川県立循環器呼吸器病センター 済生会横浜市東部病院 横須賀市立市民病院 横浜労災病院 横浜南共済病院	独立行政法人国立病院機構横浜医療センター 鳥取大学医学部附属病院 医療法人社団星川小児クリニック 医療法人カメラ横浜カメラホスピタル 株式会社オルタナ オルタナメディカルベース横浜並木自治体（横浜市、東京都特別区）	CNS（専門看護師）合格者（累計） 感染看護学 5名 がん看護学 1名 精神看護学 4名

# 研究施設・連携研究機関

## ■ 先端医科学研究センター（福浦キャンパス）



がん、生活習慣病などの克服を目指した基礎研究と、その成果を臨床に応用する橋渡し研究（トランスレーショナル・リサーチ）を推進しています。



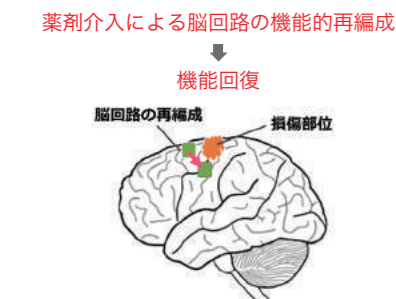
横浜市立大学先端医科学研究センターは、2006年に設置された大学直属の研究センターです。臨床への橋渡し研究を推進するとともに、各解析センター等の研究活動を基盤に、これまで文部科学省の「イノベーションシステム整備事業」や、日本医療研究開発機構（AMED）の「難治性疾患克服実用化研究事業」、「再生

医療実現拠点ネットワークプログラム」等、数々の大規模プロジェクトに参画するなど、国内有数のライフサイエンス研究拠点として着実な成果を重ねてきました。今後も優れた研究成果をより早く社会に還元できるよう取組を進めています。

## ｜ 最近の主な研究成果 ｜

脳卒中後のリハビリテーション効果を促進する新薬の候補化合物を特定し、新薬開発に向けて治験実施へ～『Science』に掲載～

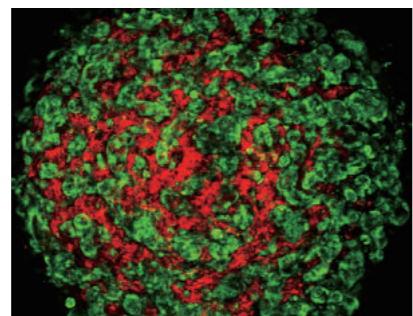
医学部 生理学 高橋琢哉教授らの研究グループは、企業との共同研究により、脳卒中後のリハビリテーション効果を大きく促進させる新薬の候補化合物の特定に成功しました。この化合物には、脳損傷後の機能回復のメカニズムである脳の可塑性を向上させる効果があります。この新薬が実用化されれば、脳卒中後の麻痺の回復に向け、リハビリテーションに取り組む多くの患者さんにとって、より効果的な治療法となることが期待されます。



リハビリテーション効果促進薬の考え方

ヒト iPS 細胞からミニ肝臓の大量製造に成功し、再生医療への応用を大幅に加速～『Cell Reports』に掲載～

医学部 臓器再生医学 谷口英樹主任教授、武部貴則教授らの研究グループは、企業との連携のもと、iPS細胞からヒトのミニ肝臓（iPSC 肝芽）を大量製造する手法の開発に成功しました。現在、iPS細胞由来のヒトミニ肝臓移植の安全性評価を目的とした臨床研究を目指していますが、この開発技術に基づく再生医療が実現化できれば、多くの肝疾患の患者さんを救うことが可能な革新的な医療技術となることが期待されます。



血管網を有するミニ肝臓 赤：血管細胞 緑：肝臓細胞

川崎病の血液診断マーカー候補タンパク質を発見～『Scientific Reports』に掲載～

先端医科学研究センターの木村弥生准教授、平野久学長補佐・特任教授らの研究グループは、質量分析装置を用いた血清プロテオーム解析により、4種類の川崎病の血液診断マーカー候補タンパク質を発見しました。川崎病は主に4歳以下の乳幼児に発症する急性熱性発疹性疾患で、この発見により、早期の的確な診断と病勢の変化の把握、また、治療法の改善によって、合併症のない早期治療が期待されます。



プロテオーム解析

## ■ 次世代臨床研究センター（附属病院）



臨床研究を円滑かつ安全に実施するための支援を行っています。

2015年度に発足した次世代臨床研究センター（Y-NEXT）は、附属病院長を中心とし、臨床研究を専門とするプロフェッショナルが集結して、全学的な臨床研究の支援を行っています。Y-NEXTが担うのは、「夢の治療法」を「あたり前の選択肢」として確立するための臨床研究を推進することです。

横浜市立大学附属病院 次世代臨床研究センター	
横浜市立大学や地域医療機関における臨床研究の推進・活性化を目的とした支援組織	
研究開発支援室	研究デザイン支援、臨床研究のプロジェクト管理、相談業務全般など
臨床試験データ管理室	データ管理、中央モニタリング、統計解析など
信頼性保証室	臨床試験に対する品質保証・監査など
教育研修室	臨床研究の教育・研修計画の実施、プロトコルの作成支援など
臨床試験管理室	CRC（臨床研究コーディネーター）業務、IRB（治験審査委員会）事務局業務など
事務室	センター事務統括、臨床研究NW事務局、知財管理倫理運営委員会事務局及び倫理審査・利益相反管理・研究倫理教育研修に関する各委員会事務局



## ■ 連携大学院・協定研究機関など

連携大学院とは、協定締結により外部の研究機関の研究者を大学の教授・准教授として迎え、その機関の研究環境を活用しながら研究指導等が受けられるシステムです。YCUではさまざまな機関と連携協定を締結しています。

連携大学院			
生命ナノシステム科学研究科	理化学研究所 横浜キャンパス 物質・材料研究機構（NIMS）	海洋研究開発機構（JAMSTEC） NTT 物性科学基礎研究所 など	農業・食品産業技術総合研究機構
生命医科学研究科	理化学研究所 横浜キャンパス	産業技術総合研究所（AIST）	国立医薬品食品衛生研究所（NIHS） など
医学研究科	放射線医学総合研究所 国立感染症研究所 国立国際医療研究センター 理化学研究所	横浜市立市民病院 神奈川県立こども医療センター 公益財団法人がん研究会 がん研究所 神奈川県立がんセンター臨床研究所	医薬品医療機器総合機構（PMDA） 国立成育医療研究センター 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 国立精神・神経医療研究センター など

### その他の協定研究機関・大学

生命ナノシステム科学研究科	台湾師範大学	チェンマイ大学	名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 など
生命医科学研究科	浦項工科大学校 など		
医学研究科	テキサス州立大学MDアンダーソンがんセンター	サンフォード・バーナム・プレビス医学研究所	カリフォルニア大学サンディエゴ校（UCSD） ハルビン医科大学

# 鶴見キャンパス



## 世界トップレベルの研究設備で学ぶ

鶴見キャンパスでは、理学部の学部生、生命医科学研究科の大学院生が学修、研究を行います。本キャンパスに所属する教員は、学部生、大学院生の指導はもちろん、生命医科学分野における世界的な研究拠点となることを目指して、研究活動に取り組んでいます。また、本キャンパスは理化学研究所横浜キャンパスと同一敷地内に位置し、生命医科学研究科では理化学研究所、産業技術総合研究所、国立

医薬品食品衛生研究所から、多くの研究者が客員教員として参加し、世界トップレベルの研究を背景にした若手研究者の育成を行っています。鶴見キャンパスには海外からの研究者の来訪も多く、国際色豊かな研究生活を送ることができます。

### ■ NMR装置

世界最高レベル  
高感度NMR装置を  
用いた生体高分子の  
研究を行っています。



950MHz超高感度LC-NMR装置

NMR(核磁気共鳴)装置は、医薬品などの有機化合物のみならず、細胞や組織を構成するタンパク質、核酸、脂質などの生体分子を、非破壊的に原子レベルで観測できる卓越した研究機器です。鶴見キャンパスには500、600、700、800、950MHzとさまざまな静磁場強度の超電導磁石をもつNMR装置があります。中でも950MHz-NMRは世界トップレベルの感度を誇り、高速液体クロマトグラフィーで分離した化学物質をリアルタイムで検出できるように設計されています。これにより、超微量の代謝物質などを分解される前に同定でき、より大きな生体内タンパク質の立体構造や触媒作用に関するダイナミクスも解析できるようになりました。NMR解析から得られる情報は、新たな生命現象の解明のほか、タンパク質が関与する疾病の原因究明、薬剤設計などの創薬研究、機能性食品の開発など、多岐に活用することができ、最先端の研究を推し進めることが可能となります。さらに950MHz-NMRは溶液の試料だけでなく、神経変性疾患の原因であるアミロイドなど固体の試料でも測定できるようになっており、外部の大学や企業からの研究者にも広く利用されています。

### ■ スーパーコンピュータ

バイオ研究分野の  
分析を促進させる  
スーパーコンピュータ



2017年8月に導入されたスーパーコンピュータCray XC50

Cray XC50は、並列計算機として、現在最も優れているといわれているスーパーコンピュータのひとつです。このシステムは、4480個の計算コアからなり、344TFLOPSの性能を持ちます。Cray XCシステムの導入により、タンパク質立体構造の情報解析などさまざまな生命科学の研究分野がより推進されるものと期待されています。現在、生命科学の研究分野では、ゲノムの配列情報や、タンパク質の立体構造情報など、大量の情報が作り出され、世界で共有されています。「バイオインフォマティクス」という研究分野は、その名前の通り、バイオ(生物学)とインフォマティクス(情報科学)が融合した研究分野で、インターネットやコンピュータを使って、そのような膨大なデータの中から、重要な情報を取り出すための研究をしています。「生体分子シミュレーション」は、DNAやタンパク質といった生体分子の機能や構造のあり方を、コンピュータの中で、バーチャル(人工的)にシミュレーションして明らかにしようという研究分野です。このように鶴見キャンパスでは、インターネットやスーパーコンピュータをバイオ研究に最大限に生かすような最先端の研究を行っています。



# 木原生物学研究所 (舞岡キャンパス)



## 最先端の植物科学研究を舞岡から発信する

舞岡キャンパスにある木原生物学研究所は、コムギ等の高等植物に関する遺伝学や進化学の偉大な業績でゲノムの概念を世界に先駆けて提唱した木原均博士が設立した研究所を源流としています。現在は大学の附置研究所として、理化学研究所や農業・食品産業技術総合研究機構、名古屋大学 ITbM などの他機関と連携し、最先端の植物研究を展開しています。数千系統のコムギや数百系統

のトウガラシを保有し、そこから集めた遺伝子情報を基に遺伝資源を有効に活用する研究、それらのリソースをゲノム情報に置き換える研究、ゲノム情報を基に現象を解明し実社会で役立てる研究等を行っています。また、研究所の教員は横浜国立大学生命ナノシステム科学研究科の専任教員として、学部生と大学院生の教育に携わっています。

## 研究部門・各部門が目指すもの

### ■ 植物遺伝資源科学部門

コムギ・トウガラシの系統保存をはじめ、その有効利用の研究や気候・病気に対する食料生産のための研究、また植物ホルモン・フロリゲンの解明と植物改良への応用を行っています。

フロリゲン遺伝子の変異により超早咲きになったキク ▶



高校の生物の  
教科書にも  
載ってます！



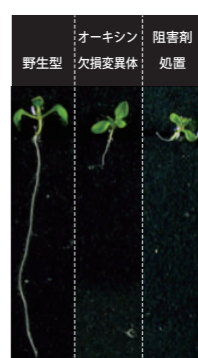
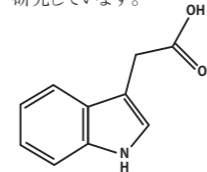
### ■ 植物ゲノム科学部門

コムギのゲノム情報を解読し、遺伝子レベルでパンコムギの品種改良や小麦粉の品質向上、アレルゲンフリー小麦粉の開発を目指しています。



### ■ 植物応用ゲノム科学部門

植物ホルモンオーキシシンによる生合成の研究やさまざまな植物での作用研究、植物の成長制御を分子レベルで研究しています。



### ■ 植物エピゲノム科学部門

植物の遺伝子のはたらきを決める仕組み、特にオスとメスのゲノムの役割を解明すべく基礎研究を進めています。

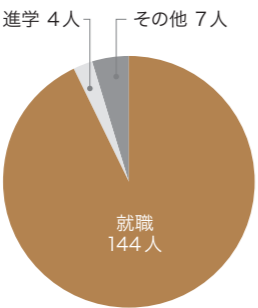
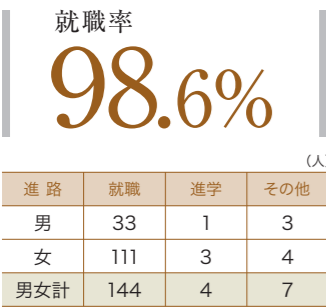


# 進路状況（国際総合科学部）

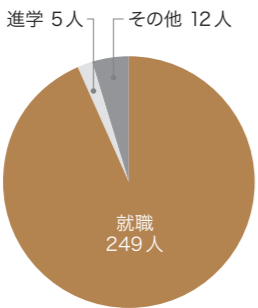
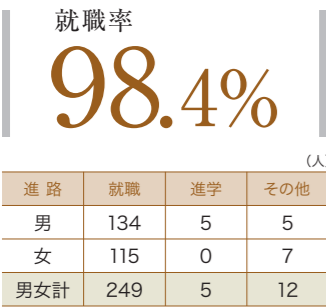


## 国際総合科学部 就職実績 | 2017年度 卒業生進路状況 (2018年5月1日現在)

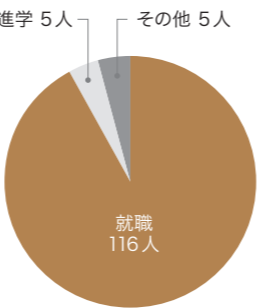
### 国際教養学系



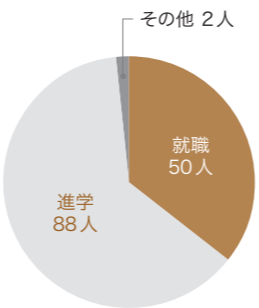
### 経営科学系



### 国際都市学系



### 理学系



※就職率：就職者÷就職希望者数  
※その他：留学、資格取得など

## 卒業後の主な進路

国際教養学系			
■製造業	明治安田生命保険相互会社 横浜信用金庫	人事院 東京国税局 東京都特別区 栃木県	株式会社日立システムズ 株式会社北海道新聞社 東映アニメーション株式会社 日本放送協会（NHK） 富士ソフト株式会社
■建設・不動産	東急ファシリティサービス株式会社 ミサワホームインク株式会社	■商社・卸売・小売	■その他
■広告・コンサルティング・専門サービス	三井不動産リアルティ株式会社 株式会社リクルートキャリア 公益財団法人世界自然保護基金ジャパン（WWFジャパン） 社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC） 総合警備保障株式会社	ENEOSグローブ株式会社 株式会社サンゲツ 株式会社ジャパネットたかた 株式会社ファミリーマート 株式会社ヤマダ電機 JFE商事株式会社 豊田通商株式会社 西川産業株式会社	アパホテル株式会社 ANAエアポートサービス株式会社 株式会社リクルートメディカルキャリア 日本航空株式会社（JAL）
■金融・保険業	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 AIGグループ 岡三証券株式会社 オリックス生命保険株式会社 株式会社ゆうちょ銀行 みずほフィナンシャルグループ	■情報通信・マスコミ	■主な進学先（大学院）
		株式会社NTTドコモ 株式会社オービック 株式会社ジュビターテレコム（JCOM）	ANAエアポートサービス株式会社 株式会社リクルートメディカルキャリア 日本航空株式会社（JAL） 横浜市立大学 University of Kent 筑波大学

国際都市学系			
■製造業	アサヒビール株式会社 株式会社IHII 株式会社クボタ 株式会社JVCケンウッド 日本製粉株式会社 本田技研工業株式会社 三菱電機株式会社 YKK株式会社	東京都庁 東京都特別区 内閣府沖縄総合事務局 横浜税関 横浜地方裁判所 大和市役所	株式会社エイチ・アイ・エス 株式会社ANA Cargo 株式会社JALスカイ 株式会社JTBCoportセールス 株式会社星野リゾート 全国農業協同組合連合会 東京モノレール株式会社 東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本） 横浜商工会議所 RIZAPグループ株式会社
■金融・保険業	オリックス生命保険株式会社 株式会社大和証券グループ本社 株式会社横浜銀行 野村證券株式会社 みずほフィナンシャルグループ	■商社・卸売・小売	■主な進学先（大学院）
		株式会社ニトリ 日鉄住金物産株式会社 三菱食品株式会社 リコー販売株式会社 株式会社DMM.com 株式会社富士通エフサス 新日鉄住金ソリューションズ株式会社 楽天株式会社	千葉大学

経営科学系			
■製造業	旭化成株式会社 花王株式会社 カシオ計算機株式会社 株式会社アシックス 株式会社キーンエス 株式会社バンダイ 株式会社日立製作所 株式会社ファンケル キャノン株式会社 コニカミノルタ株式会社 シチズン時計株式会社 ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 パナソニック株式会社 富士通株式会社 YKK株式会社	株式会社博報堂 株式会社読売広告社 ■公務員・教員 横浜市役所 神奈川県庁 東京都特別区 横浜市交通局 ■商社・卸売・小売	株式会社オービック 株式会社ワークスアプリケーションズ 西日本電信電話株式会社（NTT西日本） ソフトバンク株式会社 富士ソフト株式会社 ヤフー株式会社
■金融・保険業	SMBCH日興証券株式会社 株式会社大和証券グループ本社 株式会社三井住友銀行 株式会社横浜銀行 住友生命保険相互会社 野村證券株式会社 日本銀行 三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券株式会社	ENEOSグローブ株式会社 株式会社ジーユー 株式会社阪急阪神百貨店 株式会社丸井グループ 日鉄住金物産株式会社 日本たばこ産業株式会社（JT） ■情報通信・マスコミ	■その他
■建設・不動産	株式会社長谷工コーポレーション 株式会社ルミネ 清水建設株式会社 タマホーム株式会社 三井不動産商業マネジメント株式会社 ■広告・コンサルティング・専門サービス	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 株式会社NTT東日本・南関東	神奈川県中央交通株式会社 株式会社サカタのタネ 東北電力株式会社 独立行政法人国際協力機構（JICA） 日本航空株式会社（JAL） 日本年金機構 ■主な進学先（大学院）
			横浜市立大学 一橋大学

理学系			
■主な進学先（大学院）	横浜市立大学 大阪市立大学 大阪大学 鹿児島大学 慶應義塾大学 静岡大学 筑波大学 東京工業大学 東京大学 東京農工大学 東北大学 名古屋大学	■金融・保険業	株式会社高島屋 JFE商事株式会社
		■建設・不動産	■情報通信・マスコミ
		株式会社タカキベーカー（アンデルセングループ） 株式会社日立製作所 株式会社ドクターシーラボ 第一三共株式会社 東芝テック株式会社 パナソニック株式会社 三菱ケミカル株式会社 （三菱化学・三菱樹脂・三菱レイヨン）	キャンバストラップ ■商社・卸売・小売
			伊藤忠マシントクノス株式会社 株式会社ジャパネットたかた

学生支援

# 進路状況（医学部）



国家試験対策 | きめ細かい指導で高い合格率を達成

医学科国家試験対策（2017年度実績）

医師 国家試験

合格率  
2018年実施

97.7%  
(全国2位・全国平均 90.1%)  
※既卒含む

- 5年次2月、6年次5月、9月、1月に実力試験を実施。
- 年に2回（7月、11月）の民間模試を全員受験。  
さらに2回（12月、1月）民間模試受験を奨励。  
→受験結果のフィードバック（模試結果を踏まえて面談と個別指導を実施）。
- 各分野の教員が協力して国家試験対策授業を実施。

看護学科国家試験対策（2017年度実績）

看護師 国家試験

合格率  
2018年3月卒業生

100%  
(全国平均 91.0%)

保健師 国家試験

合格率  
2018年3月卒業生

96.5%  
(全国平均 81.4%)

国家試験対策スケジュール

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
医 学	5年次		6年次										
	実力試験					模擬試験		実力試験		模擬試験	模擬試験	実力試験・模擬試験	国家試験
		国家試験対策授業											
		個人面談（随時）											
看 護	3年次		4年次										
			個別面談								卒業論文提出		国家試験
			模擬試験					模擬試験		模擬試験	模擬試験	模擬試験	
											補習講義	補習講義	
			フォローアップ面談										

## 卒業後の主な進路

医学科卒業生は、医師国家試験の合格後、2年間の初期臨床研修が必修化されています。医師が将来専門とする分野にかかわらず、基本的な診療能力を身に付けることができるよう、2004年度から臨床研修が必修化されました。初期臨床研修の後は、各診療科の専門研修（後期研修）に臨む他、大学院進学・医療分野への就職といった進路が一般的となります。看護学科卒業生は、看護師・保健師として就職・進学等の進路を選択し、YCUでは多くが横浜市内・首都圏の医療機関へ就職しています。

### 医学科 初期研修先

研修先		人数	
		1年目	2年目(予定)
本 学	横浜市立大学附属病院	0	7
	横浜市立大学附属市民総合医療センター	1	6
横浜市内	横浜労災病院	9	7
	横浜医療センター	7	3
	横浜南共済病院	6	4
	横浜市立市民病院	5	3
	みなと赤十字病院	2	1
	済生会横浜市東部病院	1	1
	栄共済病院	1	1
	汐田総合病院	1	1
	横浜保土ヶ谷中央病院	0	1
神奈川県内	藤沢市民病院	6	5
	横須賀共済病院	6	6
	関東労災病院	2	2
	小田原市立病院	1	1
	川崎協同病院	1	1
	茅ヶ崎市立病院	1	1
東京都	聖路加国際病院	3	3
	東京医療センター	3	3
	都立大塚病院	2	2
	日本赤十字医療センター	2	2
	東京医科歯科大学附属病院	0	2
	JR 東京総合病院	1	1
	NTT 東日本関東病院	1	1
	大森赤十字病院	1	0
	国立国際医療研究センター	1	1
	東京共済病院	1	0
	東京警察病院	1	1
	東京墨東病院	1	0
	都立駒込病院	1	1
	都立多摩総合病院	1	1
埼玉県	独協医科大学埼玉医療センター	1	1
	千葉徳洲会病院	1	1
北海道	手稲溪仁会病院	2	2
新潟県	厚生連佐渡総合病院	2	2
福島県	公立相馬総合病院	1	1
高知県	近森病院	1	1
	高知医療センター	1	1
その他		4	
合 計		84	



### 看護学科 就職先

区分	就職先		人数
就 職 (88)	本学 (54)	横浜市立大学附属病院	17
		附属市民総合医療センター	37
	横浜市内 (9)	けいゆう病院	2
		済生会横浜市東部病院	2
		横浜市立市民病院	2
		神奈川県がんセンター	1
		岡田眼科	2
	神奈川県内 (10)	平塚市民病院	2
		湘南鎌倉総合病院	2
		川崎幸病院	1
		新百合ヶ丘総合病院	1
		聖マリアンナ医科大学病院	1
		東海大学附属病院	1
		横須賀共済病院	1
	東京都 (11)	横須賀市立うわまち病院	1
		国立国際医療研究センター病院	2
		東京共済病院	2
		慶應義塾大学病院	1
		国立成育医療研究センター	1
		新宿外科クリニック	1
		セラヴィ 新橋クリニック	1
		東京医科歯科大学病院	1
	静岡県 (1)	虎の門病院	1
		都立小児総合医療センター	1
	静岡県立静岡病院	1	1
	京都 (1)	京都大学医学部附属病院	1
	保健師		2
	他の職種		0
進 学			7
その他			1
合 計			96

#### ■医学科 卒業生 初期臨床研修修了後の進路

横浜市立大学附属病院	藤沢市民病院
横浜市立大学附属市民総合医療センター	大和市立病院
国立横浜医療センター	小田原市立病院
横浜市立市民病院	神奈川県立足柄上病院
済生会横浜市南部病院	NTT東日本関東病院
横浜労災病院	青梅市立総合病院
横浜南共済病院	東京都保健医療公社 豊島病院
横須賀共済病院	東京ベイ・浦安市川医療センター
横須賀市民病院	など
湘南鎌倉総合病院	(2016年度、2017年度修了者の主な進路)



# 学生支援 キャリアサポート



YCUではキャリア支援センターが中心となり、入学から卒業まで、  
自己のキャリアにおける目標を達成するための多様なプログラムを提供し、  
卒業後のキャリア形成を支援しています。

内定者の声

早くからキャリア・進路相談を受けたことで  
これ以上ないと言える大学生活に。

国際総合科学部 経営科学系 経営学コース 2018年3月卒業生  
古野 佑実 Yumi Furuno 神奈川県立希望ヶ丘高等学校卒

サービスに関わる企業活動を研究するゼミに所属してました。米国のディズニーワールドでキャストとして働く留学プログラムにも参加し、「人々が満足するサービスを生み出すための仕組み」について、座学と実践を交えながら学びました。結果的に、それらの経験を携え自信をもって就職活動に臨むことができましたが、入学当時は進路と大学生活での過ごし方について悩んでいました。1年次の終わりにキャリア・

進路相談を利用し、留学の実現や希望のゼミに入るために  
行うべき準備の仕方や具体的な計画をキャリア支援センターの方に一緒に考えていただき、温かい激励の言葉で背中を押していただいたお陰で、これ以上ないと言えるほど充実した大学生活を過ごすことができました。就職活動だけでなく、早くから将来を見据えたキャリア・進路相談を受けることができる環境は、YCUならではの良さだと感じます。



内定先 日本航空株式会社（業務企画職） ■ 就職活動期間：4ヵ月 ■ 内定社数：1社 ■ 総応募社数：10社

## 合同企業セミナー

YCU学生の採用を積極的に検討している企業に出展いただき、学内で企業説明会を実施しています。学外で行われる企業説明会とは異なり、YCU学生のみを対象とするため、企業の人事担当者より密接なコミュニケーションが図れます。2017年度は4日間で計204社が出展し、延べ約1,200名の学生が参加しました。このセミナーに出展している企業へ就職する学生も毎年多数います。



### ■合同企業セミナーの主な出展企業（法人格省略）

IHI、あいおいニッセイ同和損害保険、アイリスオーヤマ、アサヒビール、ありあけ、大林組、オービック、沖電気工業（OKI）、小野薬品工業、かながわ信用金庫、兼松エレクトロニクス、コニカミノルタ、サンゲツ、JFE商事、スズキ、住友生命保険、住友倉庫、鈴与、セイコーホールディングス、大成建設、大鵬薬品工業、大和証券グループ、高島屋、タキヒヨー、帝国ホテル、都市再生機構（UR都市機構）、豊島、日本航空（JAL）、日本たばこ産業（JT）、日本政策金融公庫、日本生命保険、日本調剤、阪和興業、パナソニックグループ、ファンケル、富士ゼロックス、富士フイルム、丸井グループ、丸美屋食品工業、三井不動産レジデンシャル、三菱地所レジデンス、明治安田生命保険、ゆうちょ銀行、横浜ゴム、横浜岡田屋、横浜銀行、横浜信用金庫、ライオン、LIXIL、ルミネ

## キャリア・進路相談

YCUでは専門のキャリア・コンサルタントが常駐しており、個性の高いキャリア相談を行っています。1年次から相談が可能で、希望する進路や将来のキャリア像を話しながら一緒にキャリアプランを立てていきます。継続的に相談することでプラン作成後の行動の振り返りやアドバイスも可能です。また、就職やキャリアプランに関するさまざまな課題や悩みへの対処方法といったコーチングも行います。

## Uターン・Iターン支援

首都圏以外の各地方で就職を希望する学生の就職活動支援を強化するため、Uターン・Iターン就職希望地域の大学で求人情報閲覧等が可能となる「就職支援パートナーシップ制度」を全国10大学と連携して行っています。学生は、就職を希望する地域のパートナー10大学で地元企業の求人情報閲覧や就職支援部署のラウンジ等の利用、個別相談などの就職支援を受けられます。関東圏以外出身で、卒業後に地元へ戻る学生への支援も充実しています。

### ■就職支援パートナーシップ制度参加大学



## キャリアメンター制度

就職活動を終えた4年生、博士前期課程（修士課程）2年生が、就職活動を控えた3年生や博士前期課程（修士課程）1年生の相談相手となって就職活動の支援をする制度です。これから就職活動をする学生は内定した先輩から就職活動の情報やノウハウを得ることができ、支援をする側の学生は後輩を指導することで、社会人として役に立つ指導力やリーダーシップ、コミュニケーション力を磨くことができるなど、両者にとってメリットがあります。キャリア支援センターでは学生同士のWIN-WINの関係を構築することで学生の成長を支援しています。



内定者の声

目標が定まらないまま始めた就職活動。  
学内サポートを利用したことが転機に。

国際総合科学部 理学系 物質科学コース 2018年3月卒業生  
樋口 裕貴 Yuki Higuchi 福島県立会津高等学校卒

大学院への進学を考えていたこともあり、就職活動を始めたのは解禁間際でした。飲食店でのアルバイト経験から、人と接する仕事に就きたいとぼんやり考えていましたが、志望する業界や職種などは定まっていませんでした。その状況から転機となったのが学内説明会とキャリア支援センターでのキャリア・進路相談でした。履歴書の書き方から面接対策まで指導してもらい非常に助かりました。ある時キャリア支援

センターの方とIT業界についてお話する機会があり、それまでは人と接する機会が少ない業界のように感じていたのですが、プロジェクトに関わる中でさまざまな人と関わる機会があると教えていただき、自身の興味と一致していたためIT業界をメインに就職活動を行いました。アルバイト先や高校時代の部活動の経験、そして研究室の先生方との話など学生生活のすべてが内定を勝ち得た要因だと思います。



内定先 日本アイ・ピー・エム株式会社 ■ 就職活動期間：4ヵ月 ■ 内定社数：7社 ■ 総応募社数：26社



## 国内インターンシップ

企業や官公庁と連携して在学を優先的に受け入れるYCU独自枠も多くあり、毎年多くの学生が参加しています。

### ■国内インターンシップ実習先実績（2017年度）※法人格省略

- |  |   |
|--|---|
| ■製造  | ■情報通信・マスコミ  |
| 味の素、ありあけ、JFEスチール、ニックス、日本発条、FOX、レナウン        | NTT東日本、タウンニュース社、ナンバーワンソリューションズ、ハイマックス、毎日新聞社横浜支局   |
| ■医療・福祉                                     | ■官公庁、教育機関   |
| 愛仁会、済生会横浜市東部病院、ゆうあいクリニック、横浜市立大学附属病院        | 横浜市役所、横浜市立大学、青森県庁、秋田市役所、磐田市役所、外務省、神奈川県庁、金沢区役所、群馬県大泉町役場、静岡県庁、静岡市役所、東京都庁、内閣府、農林水産省北陸農政局、文部科学省 |
| ■運輸・物流                                     | ■国際機関   |
| 神奈川中央交通、日新、横浜シーサイドライン                      | アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター、FAO、JICA横浜、WWFジャパン   |
| ■金融・保険、不動産管理等                              | ■その他サービス  |
| 神奈川銀行、三井住友海上火災保険、横浜インポートマート、横浜銀行、横浜市住宅供給公社 | 東横イン、日本ミャンマー支援機構  |
| ■卸売・小売                                     |   |
| 高島屋、ニトリ、丸井グループ、有隣堂                         |   |

### ■その他イベントも多数開催！

就職ガイダンス	専門の講師による就職活動対策講座を開催しています。進路についてのガイダンスからスタートし、エントリーシートやリクルートマナー、面接等の就職採用試験に向けた対策を行います。
業界研究入門	業界について学ぶ講座です。講師は、さまざまな業界で活躍するYCUの卒業生をはじめ、各業界に精通した方にお越しいただいています。製造業（食品、製菓など）、商社、IT、公務員等、YCU学生の志望度の高い業界を中心に実施しています。
公務員講座	外部の公務員試験対策予備校と提携し、学内で開講しています。学内で実施するため、大学の授業終了後に受講でき、移動の時間や交通費もかかりません。また、YCU学生のための特別料金で受講することができ、公務員面接対策や模擬試験なども無料で受けることができます。

※学生の所属は、現行の学部・学系・コース名となっています。

内定者の声

## 行き詰まったら大学のサポートや先輩方を頼ることをお勧め。

国際総合科学部 国際教養学系 社会関係論コース 2018年3月卒業生

杉江 有香 Yuka Sugie 神奈川県 私立横浜雙葉高等学校卒

3年次になる春に公務員試験を受けることを決め、学内の公務員講座を受講していましたが、世の中にどのような仕事や働き方があるのかを知らずに公務員に絞ることに不安を感じ、民間企業と併願することに決めました。この両立を支えてくれたのが、キャリア支援センターが開催している就職ガイダンス、そして親身に相談のってくれる大学の先輩方でした。ガイダンスでは、具体的な情報やさまざまな業界・

職種の方のお話を聞くことができ、進路選択の視野を広げる機会にすることができました。また、社会人として活躍されている先輩方に相談に乗っていただくことで「社会人としてどのように生きたいか」を真剣に考えることができました。行き詰まった時は大学のサポートや先輩方を頼ることをお勧めします。私も今後はOGとして後輩の皆さんを支えている存在になれたらと思っています。



## キャリアサポーター制度

YCUの卒業生が在学生のキャリア・就職支援を行う制度です。個人情報保護法により、企業から大学に提供される卒業生情報も減少してきています。そのため就職を希望する企業で実際に働いている先輩に話を聞きたいと思っても、直接コンタクトを取ることが難しくなっています。YCUのキャリアサポーター制度では、学生がサポーターとして登録している卒業生へ直接コンタクトを取ることができ、職場の雰囲気や仕事内容および先輩の就職活動でのエピソードなど、先輩の本音を聞く機会が持てます。また年に1回学内で「キャリアサポーターと学生の集い」と題した交流会を行っています。毎年多くのサポーター、学生が参加し活気のあるイベントとなっています。

## 海外インターンシップ

グローバル企業や現地日系企業でインターンシップを実施しています。派遣国はアメリカやオーストラリアなどの英語圏のみならず、日本企業の進出が多い中国やインドなどの新興国まで、多岐にわたっています。所定の成果を修めた学生は、大学および後援会から渡航費用の一部が助成され、費用負担を軽減することができます。

### ■海外インターンシップ派遣実績（2017年度）

アメリカ（シアトル、ロサンゼルス）、オーストラリア（シドニー、メルボルン）、中国（上海）、韓国（ソウル）、インド（プネ）、シンガポール



# 学生支援 さまざまな学生サポート

YCUは規模が小さいがゆえに学生と教職員との距離が近く、少人数による教育やお互いの顔の見える関係が学生一人ひとりの学びを高めます。

学修面のみならず、専門スタッフによる学生相談や情報交換の場、保護者への説明会など、サポート体制も充実しています。

## キャンパス相談

各キャンパスで臨床心理士の資格を持つカウンセラーが、心身の健康、人間関係、修学、将来の進路など、学生生活におけるさまざまな事柄に関する相談に応じます。必要に応じて、教員や学務部門、社会資源につなぐなど、学生生活を円滑に送れるよう、サポートしています。



## 保護者説明会

YCU では在学生の保護者の皆様を対象とした説明会を実施しています。本学の教育理念や学生生活・留学・就職に関する支援について、保護者の方にも理解を深めていただくことで、学生へのサポートがより充実したものになるよう、教職員による説明や個別相談を行っています。また遠方にお住まいの方でも参加いただけるよう、毎年地方会場でも説明会を開催しています。



## バリアフリー支援室

専任のコーディネーターが、病気や障害のある学生の相談や修学支援を行います。健康管理センターや、学生支援に関する事務部門と連携しながら、教員との調整や、学生個々に即した合理的配慮を提供するほか、学内研修やサポートスタッフ（学生による有償サポート）の育成・調整などを行っています。



## 情報交換会

学生の自治団体（中央委員会、運動部連合会、文化部連合会、浜大祭実行委員会、横浜市立大学生協学生委員会）の代表者と学生支援部門のスタッフが月に1回ミーティングを行い、学生の声をダイレクトに吸い上げるとともに、主に大学行事や部活動、大学施設の利用などに関して、意見交換を行う場を設けています。



# 学生支援 図書館

## 学術情報センター（金沢八景キャンパス）



### 約67万冊の豊富な蔵書と充実した学修施設

大学における学修・教育・研究のための幅広い分野の資料を所蔵しています。  
さまざまな場面で活用できる学修環境や、学修支援サービスも用意しています。

## 医学情報センター（福浦キャンパス）



### 豊富な医学情報で学修・研究と医療の現場をサポート

医学部の附属図書館として、医学・看護分野の資料を所蔵している図書館です。  
YCUの学生・教職員に限らず一般の方にも広く開放され、地域医療の情報拠点となっています。

## ■ YCUの図書館の魅力

### ● 各キャンパスの図書館・図書室

YCUには、幅広い分野の資料を集めた学術情報センター（金沢八景キャンパス）、医学系の資料に特化した医学情報センター（福浦キャンパス）のほか、3つの図書室があります。各キャンパスの資料は、取り寄せて利用することもできます。



### ● 幅広い分野の資料が充実

現在、図書館には約85万冊の図書と約2万タイトルの雑誌が所蔵されています。授業の進捗に合わせて活用できる、専門的な学修・研究資料のほかにも、語学資料や学生生活に役立つ資料が揃っています。



### ● レファレンス

資料が見つからない、探し方が分からない、勉強やレポートなどで課題に行き詰まったときなど、図書館で困ったことがあったら図書館員に相談してみてください。図書館員を上手に活用することも、図書館を使いこなす方法のひとつです。



### ● 電子資料も整備

図書や雑誌など紙の資料だけでなく、パソコンで見ることができる電子資料を整備しています。2万タイトル以上の電子ジャーナルや1万5千タイトル以上の電子ブック、各種データベースが学修・研究・診療に広く活用されています。



### ● 授業や国家試験対策をサポート（医学情報センター）

医師・看護師・保健師・助産師各国家試験対策の参考書や問題集などを取り揃え、皆さんの夢の実現をサポートしています。また、ノートパソコンやプロジェクターの貸出、グループ学修室の利用などにより、グループでの学修も可能です。



### ● 「24時間開館」で図書館フル活用！（医学情報センター）

許可された学生（医学科5年次以上、看護学科3年次以上）は、閉館後や休日などの休館日も図書館を利用できます。静脈認証による入館システムを導入しているため、安心・落ち着いた環境で、国家試験対策、臨地実習の準備ができます。



### ● 多様な学修スタイルに対応した施設

図書館内には、個人で利用できる閲覧席はもちろん、グループ学修やセミナーなどに使える学修スペースが設置されています。2018年3月には、市民の方からの寄附金によって、学生向けのオープンスペース「Library Students Plaza」を開設しました。机や椅子を自由に動かすことができる会話可能なスペースであり、グループ発表の準備などに活用されています。また、館内には閲覧室に設置されたパソコンのほか、無線LAN設備があり、自分のパソコンをインターネットに接続して使うこともできます。



### ● 学生ライブラリストッフ（学術情報センター）

学術情報センターでは、学生ライブラリストッフ（通称学生LS）と呼ばれる学生ボランティアが活動しています。学生ならではの視点で、図書館のサービスや資料の探し方のコツなどを紹介しており、図書館には、学生LS発行の広報誌も並んでいます。



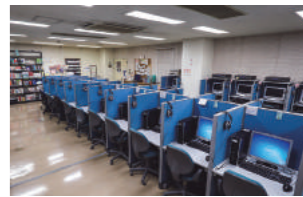
### ● 情報教育実習室（金沢八景キャンパス）

パソコン・プリンタ完備の教室が複数あり、講義の空き時間に自由に利用できます。予習・復習や専門的な研究にも活用してください。平日夜間には、大学院生の相談員を配置しています。



### ● LLテープライブラリー（金沢八景キャンパス）

英語、フランス語、ドイツ語、中国語などのCD付語学教材や外国映画などのDVDがあり、集中しやすい環境で学修できます。また、TOEFLなど資格試験対策教材も充実しています。



### ● LL実習室（金沢八景キャンパス）

語学教材を用いた講義が行われるほか、英語e-learningシステムなどを利用した自習や、スピーキング練習に利用できます。



# YCUのキャンパスライフ

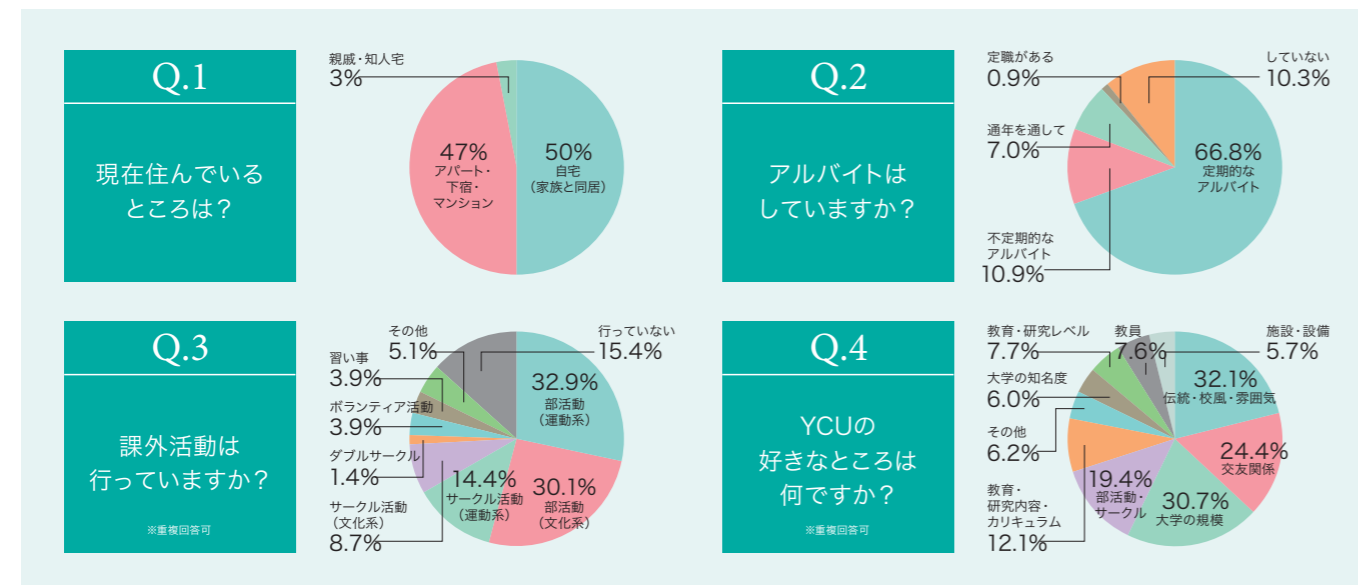
## YCUの1年（参考：2018年度予定）

● 共通年間スケジュール 国際教養学部／国際商学部／理学部／データサイエンス学部／医学部

● 金沢八景キャンパス 国際教養学部／国際商学部／理学部／データサイエンス学部／医学部（1年）／大学院 ● 福浦キャンパス 医学部 医学科（2～6年）・看護学科（2～4年）／大学院

4月 April	5月 May	6月 June	7月 July	8月 August	9月 September
<ul style="list-style-type: none"> <li>●入学式</li> <li>●履修相談会</li> <li>●新入生オリエンテーション</li> <li>●前期授業開始</li> <li>●履修登録申請</li> <li>●1学期授業開始（医学科）</li> <li>●前期授業開始（看護学科）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新入生合宿（医学科）</li> <li>●履修登録確認期間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●首都大学東京との定期戦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東日本医科学生総合体育大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●前期終了／夏季休暇</li> <li>●ゼミ合宿</li> <li>●海外派遣プログラム（夏期）</li> <li>●関東甲信越大学体育大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●後期授業開始</li> <li>●後期履修申請</li> <li>●2学期授業開始（医学科）</li> <li>●後期授業開始（看護学科）</li> <li>●実験動物慰霊祭（医3年）</li> <li>●ご遺骨返還式（医2・6年）</li> </ul>
					
10月 October	11月 November	12月 December	1月 January	2月 February	3月 March
<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災訓練</li> <li>●履修登録確認期間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●浜大祭</li> <li>●Medical Festival</li> <li>●共用試験CBT（医4年）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●冬季休暇</li> <li>●国際総合科学部卒業論文提出</li> <li>●共用試験OSCE（医4年）</li> <li>●医学のために献体された方々への感謝の集い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●卒業論文発表会（文系）</li> <li>●3学期授業開始（医学科）</li> <li>●白衣授与式（医4年）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●後期終了</li> <li>●海外派遣プログラム（春期）</li> <li>●卒業論文発表会（理系）</li> <li>●医師国家試験</li> <li>●看護師／保健師国家試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●卒業式</li> <li>●医学部・医学研究科学学位授与式</li> </ul>
					

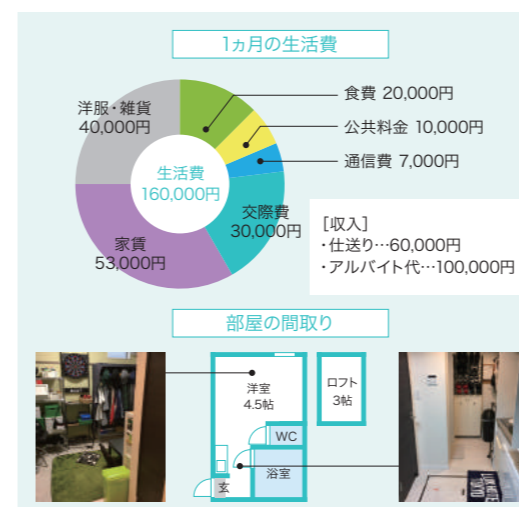
## 学生アンケート



※アンケートは2016年度実施のデータを基に作成しています。

# キャンパスライフ 実家暮らし・一人暮らし

※学生の所属は、現行の学部・学系・コース名となっています。



## 大学生協のサポートもあるので初めての一人暮らしも安心です。

国際総合科学部 経営科学系 経営学コース 3年  
宮城県仙台三枝高等学校卒

大槻 達矢さん Tatsuya Otsuki

住まいは、金沢八景キャンパスから自転車で10分、徒歩20分くらいの場所で、7.5帖のロフト付きの部屋です。YCUへの入学が決まった時点で、大学生協を通じて部屋探しをサポートしてもらえるため、すぐに見つけることができました。一人暮らしを始めてから整理整頓を心掛けるようになり、水まわりの掃除も定期的に行っています。実家からお米などの食べ物を送ってもらっていますが、キャンパス付近には学生が気軽に入ることができるお店も多いため、友人と食事をする時などによく利用しています。

一人暮らし



10:00 登校・自習

金沢八景キャンパスは、駅から徒歩5分。自宅から徒歩圏内。



11:00 空き時間

キャンパスには学生が自由に使える多目的スペースが多いのが特徴。天気の良い日にはオープンテラスでのんびり談笑。



13:00 授業

授業では「企業」を取り囲む問題を、理論の助けを借りながら自分なりに分析していきます。少人数で行われる授業は気が抜けません。



17:00 サークル活動

ハンドボール、バスケット、バレー、ダーツのサークルで活動しています。YCUは部活・サークルの所属率が8割を超える活発な大学です。

# キャンパスライフ 部活・サークル

## YCUの仲間と創る もうひとつの大学生活

大学での部活動やサークル活動への入部率は一般的に半数程度と言われています。しかし、YCUでは86.1%の入部率を誇り、ボランティア活動などの課外活動も含めると90%を超えます。運動系・文化系・その他サークルの団体数も150を数え、もうひとつの大学生活の選択肢はさまざまです。

### サッカー部 (金沢八景キャンパス)

サッカー部は今年度「関東リーグ参入」という目標を掲げ、日々の練習や試合に取り組んでいます。監督がいないことを逆に強みにして、部員一人ひとりが目標達成に向けて、能動的に考え行動することを習慣化するようにしています。貴重な大学生活の時間を、熱い仲間たちと共により一層充実させたものにしていきましょう！



### 応援団チアリーダー部 SEAGULLS (金沢八景キャンパス)

応援団では大学行事や地域イベントにおける活動にも力を入れており、さらなる活動領域の拡大に挑戦しています。チアリーダー部では大会やイベントをメインに活動しており、大会では1つ上の部門に挑戦し日々成長しています。今年の目標は大学、地域から愛される応援団、チアリーダー部になることなので、より大きく貢献していきたいと思います。



### 硬式野球部 (金沢八景キャンパス)

硬式野球部は、「二部優勝、一部昇格」を目標に掲げ、日々の練習に取り組んでいます。一人ひとりがチームの一員としての自覚を持ち、練習に取り組める雰囲気があります。また、上下関係はほとんどなく、言いたいことを言い合える環境があり、チームワークは抜群です。大学生活が充実したものになることは間違いありません。





ラグビー部  
(金沢八景キャンパス)

ラグビー部は、現在関東大学ラグビーリーグ4部昇格を目標に日々活動しています。部員数は若干20名と少ないですが、怪我なく充実した練習や試合を行っています。ラグビー部の特徴は、オンとオフがはっきりしているところです。集中して練習した後は、皆でご飯に行ったりBBQをしたり、スノボ一泊合宿に行ったりなどとても楽しく過ごせています。



We x Medicine  
(福浦キャンパス)

We x Medicineは、「大学では学べない医療を楽しく学ぶ」をモットーに少数精鋭で活動しています。普段は各々が関心を持つ分野を学修テーマとして扱い、ディスカッションを通じて内容を深め合います。長期休暇では、学外勉強会やセミナーへの参加、病院見学などを実施しており、学外交流も充実しています。雰囲気も和やかで、活動日も都合に合わせて柔軟に対応できるので兼部しやすいことも大きな特徴です。



セカンド・ウィンド・ジャズ・オーケストラ  
(金沢八景キャンパス)

Second Wind Jazz Orchestraは、横浜市立大学の学生を中心に結成されたピクバンドジャズの部活動です。定期演奏会の開催、夏の大会、他大学との合同のライブで演奏するほか、横浜を中心に山下公園や百貨店など、さまざまな場所でのイベントに出演しています。現在部員は49人で、よりよい演奏を目指し日々練習に励んでいます。合宿やBBQなどのイベントも多く、入部すれば充実した大学生活になること間違いなしです！



ピアノ部  
(福浦キャンパス)

Yokohama Medical Klavierは、夏と冬の定期演奏会や横浜市立大学附属病院での演奏会などを中心に活動しているピアノ部です。以前少しだけピアノに触れたことがある人から、ピアノ歴十数年の人まで幅広く、またジャンルもクラシックからジャズアニメまでさまざまです。ピアノ以外にも、BBQや旅行など楽しいイベントが盛りだくさんの、和気藹々とした部活です。一緒に音楽を楽しみませんか？



ジャグリングサークルしゃかりきバンダ  
(金沢八景キャンパス)



科学倶楽部  
(金沢八景キャンパス)



茶道部  
(金沢八景キャンパス)



合気道部  
(金沢八景キャンパス)



女子フットサル部 Animoll  
(金沢八景キャンパス)



管弦楽団  
(金沢八景キャンパス)



鉄道研究部  
(金沢八景キャンパス)



福浦倶楽部 (軽音楽部)  
(福浦キャンパス)



水泳部  
(福浦キャンパス)



ヨット部  
(福浦キャンパス)



バレーボール部  
(福浦キャンパス)

## ■多くの学生が所属する150の部活＆サークル

### 金沢八景キャンパス

#### 運動部連合会 所属団体 (加盟34団体)

- アーチェリー部
- 合気道部
- アメリカン・フットボール部
- ウインドサーフィン部
- 応援団チアリーダー部 SEAGULLS
- オリエンテーリング部
- 空手道部
- 弓道部
- 男子グランドホッケー部
- 女子グランドホッケー部
- 剣道部
- 男子硬式庭球部

- 女子硬式庭球部
- 硬式野球部
- ゴルフ部
- サッカー部
- 柔道部
- 準硬式野球部
- 水泳部
- スキー部
- 卓球部
- テコンドー部
- 軟式野球部
- 男子バスケットボール部

- 女子バスケットボール部
- バドミントン部
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- ハンドボール部
- 男子フットサル部 VERDADE
- 女子フットサル部 Animoll
- ヨット部
- ラグビー部
- 陸上競技部

#### 文化部連合会 所属団体 (加盟38団体)

- アカペラシンガーズ voxbox
- 囲碁部
- 映画研究会
- 英語部 (YCU ESS)
- 演劇研究部 (劇団海星館)
- 海外事情研究部
- 科学倶楽部
- 科学研究会
- 学生赤十字奉仕団
- 株式投資部 CLOVER FUND
- 環境ボランティア Step Up↑
- 管弦楽団
- ギター部
- 軽音楽部 SESSION
- 混声合唱団
- 茶道部
- ジャグリングサークル しゃかりきバンダ
- 写真研究部
- 吹奏楽団「奏」
- セカンド・ウィンド・ジャズ・オーケストラ
- 探検部
- ダンス部 ALMA
- 釣り部 HAM
- てつがく倶楽部 フリートーク's
- 鉄道研究部
- 天文部 137MeL

- 陶芸部
- パーソナルコンピューター部 CLip
- HAKKEY+
- 美術部
- ピアノ会
- ブルース研究部
- 文芸部
- 漫画研究会
- 料理部
- Y.B.C放送研究部
- YCU Records
- 社交舞踏研究会

#### 運動系サークル (加盟団体21団体)

- ABC (バドミントン)
- EVOLVE (バレーボール)
- オールラウンドサークル ほてち
- おさんぽサークル Largo
- 空手会
- オレンジベコ (硬式テニス)
- CROSS (フットサル)
- サイクリングサークル TeamYCU

- leopard (7人制サッカー)
- Rowing Boat Club
- YCU カメリア (野球)
- ワンダーフォーゲル同好会
- YOKOHAMA CITY UNIV. SUP team (スタンドアップパドル)

#### 文化系サークル (加盟16団体)

- かるた会
- 金沢研究会
- 聖書研究会
- SORO (国際交流)
- TFT-UA 横浜市立大学支部
- トレボル@横市
- 動画サークル & observations
- 虹帆 (ジェンダーに関する勉強会)
- Hotcake Mix (ハンドメイド)
- ボードゲーム・アナログゲームサークル
- Glocal-Y
- レゴサークル

- 模擬国連サークル (国際社会・国際政治に関する勉強会)
- One Thing Crew (ダンス)
- デジフォトサークル
- ミュージカルサークル HERE

### 福浦キャンパス

#### 医学部 運動部連合会 所属団体 (加盟19団体)

- 剣道部
- 硬式庭球部 (男子)
- 硬式庭球部 (女子)
- 硬式野球部
- ゴルフ部
- サッカー部
- 柔道部

- 少林寺拳法部
- 水泳部
- ソフトテニス部
- 卓球部
- ダンス部 Zero
- バスケットボール部 (男子)
- バスケットボール部 (女子)

- バドミントン部
- バレーボール部
- フットサル部
- ヨット部
- ラグビー部

#### 医学部 文化部連合会 所属団体 (加盟17団体)

- We x Medicine (旧社会医学研究会)
- ACLS研究会
- 音楽部
- 茶道部
- 写真部
- 手話サークル・あしながおじさん

- 医学部学生赤十字奉仕団
- ちちん。びい。びい (小児病棟ボランティア)
- DJ部
- 東洋医学研究会
- 福浦倶楽部 (軽音楽部)
- 福浦絃楽舎

- 分子医学研究会
- Hepburn's (アカペラ)
- Yokohama Medical Klavier
- 外科技術研究会
- 美術愛好会

#### 運動系サークル (加盟2団体)

- スキーサークル
- やまのぼり

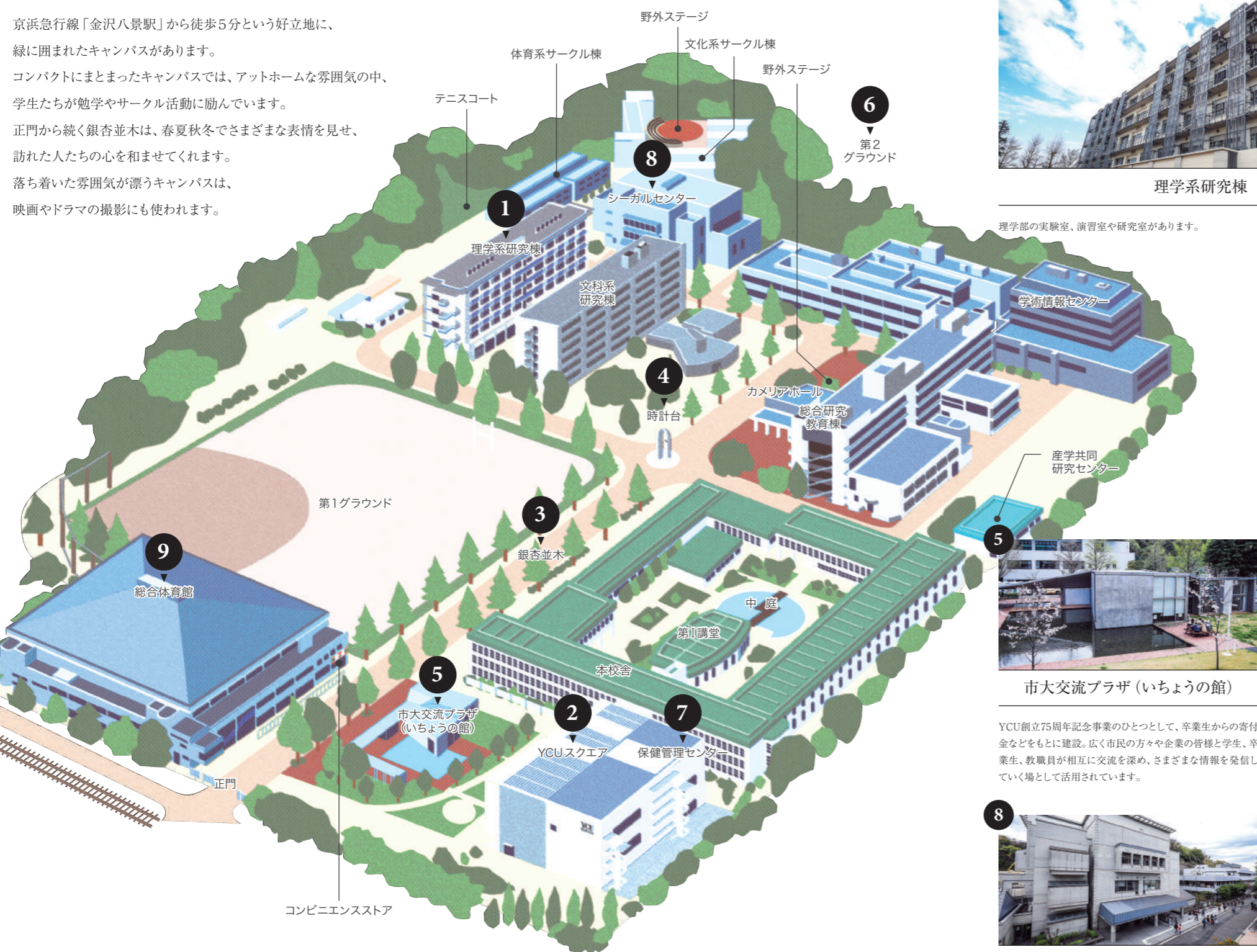
#### 文化系サークル (加盟3団体)

- しゃかりきバンダ
- 解剖道場
- 市大道場

# キャンパス紹介 金沢八景キャンパス

■ 国際教養学部 ■ 国際商学部 ■ 理学部 ■ データサイエンス学部 ■ 医学部（1年次）

京浜急行線「金沢八景駅」から徒歩5分という好立地に、  
緑に囲まれたキャンパスがあります。  
コンパクトにまとまったキャンパスでは、アットホームな雰囲気の中、  
学生たちが勉学やサークル活動に励んでいます。  
正門から続く銀杏並木は、春夏秋冬でさまざまな表情を見せ、  
訪れた人たちの心を和ませてくれます。  
落ち着いた雰囲気が漂うキャンパスは、  
映画やドラマの撮影にも使われます。



横浜駅から約18分。  
コンパクトで緑豊かなキャンパス。



理学系研究棟

理学部の実験室、演習室や研究室があります。



YCUスクエア

2016年春に完成した「YCUスクエア」は、YCUの新たなシンボル。白を基調とした明るく開放的なデザインで、地域の人と学生、教員が積極的に活動・交流するスペースとして活用されています。



銀杏並木

1948年（昭和23年）に横浜医科大学予科（医学部医学科の前身）の学生たちが植えたものです。



時計台

YCUのシンボルとなるオブジェです。敷地内の中央に位置し、学生たちが待ち合わせの場所としても利用しています。



第2グラウンド

全面に人工芝が敷かれた多目的グラウンドとテニスのハードコート3面からなる第2グラウンドでは、主に運動部が活動しています。週末には地域開放もっており、市民の方々に広く利用されています。



保健管理センター

すべての学生、教職員の健康増進、疾病の予防や心身の不調などに、医師・保健師・看護師・臨床心理士が各キャンパスで対応しています。急なケガや体調不良に対する応急処置や一般的な健康相談だけでなく、人間関係や学業などさまざまな悩み・心配ごとまで、あらゆる相談に応じています。



市大交流プラザ（いちょうの館）

YCU創立75周年記念事業のひとつとして、卒業生からの寄付金などをとに建設。広く市民の方々や企業の皆様と学生、卒業生、教職員が相互に交流を深め、さまざまな情報を発信していく場として活用されています。

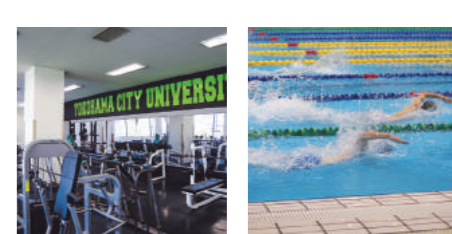


シーガルセンター



総合体育館

アリーナに加えて、空手・剣道場、柔道場、温水プール、トレーニングルームを備えた体育館です。学生の課外活動や、各種イベントに活用されています。



トレーニングルーム

温水プール

アクセス

横浜駅から約18分 / 品川駅から約40分 / 羽田空港から約40分

# キャンパス紹介 福浦キャンパス

大学附属病院と隣接。  
医療現場に近いキャンパス。

## ■ 医学部（2年次以上）

シーサイドラインの「市大医学部駅」とキャンパスが直結されたアクセスの良さ。

キャンパスは大学附属病院と隣接しており、  
早くから医療現場を体験することができます。

また、サッカー、野球などが可能なグラウンドのほか  
テニスコートが3面、体育館、サークル棟を完備し、  
充実した運動設備に恵まれています。



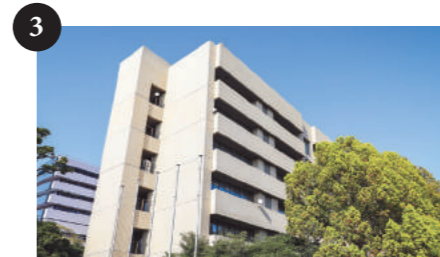
先端医科学研究センター

がんや生活習慣病等の克服に向けた最先端の医科学研究を行う共同実験施設等が整備され、その成果を市民に還元できるよう研究開発が行われます。



基礎研究棟

臨床医学・基礎医学を担当する教員の研究室があります。附属病院での診察と並行して、臨床・基礎分野での研究が行われています。

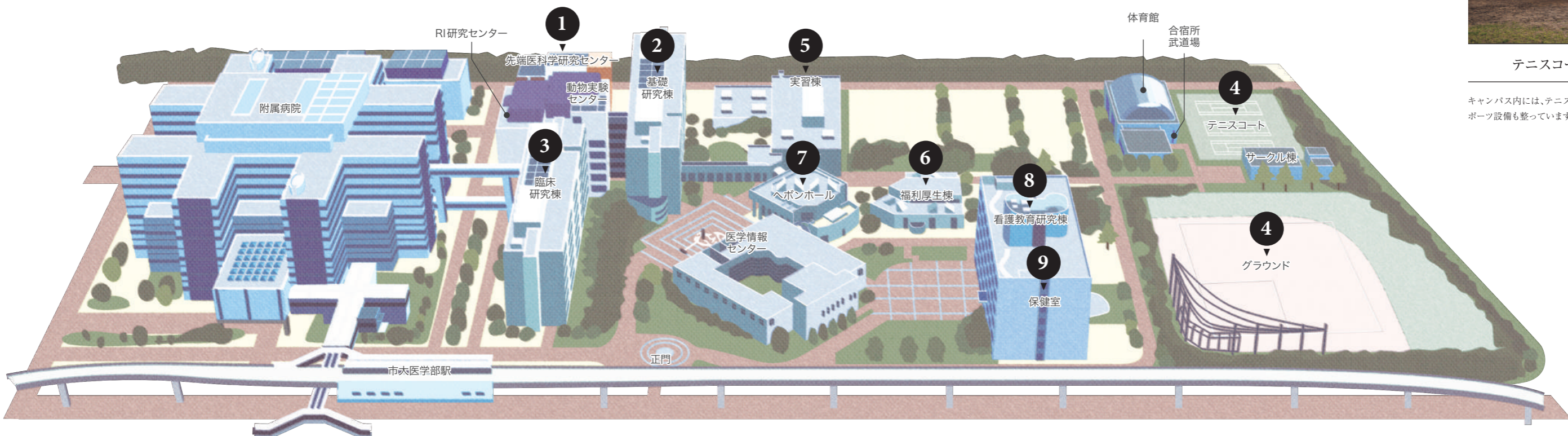


臨床研究棟



テニスコート・グラウンド

キャンパス内には、テニスコートのほかグラウンドなどのスポーツ設備も整っています。



実習棟

医学科学学生の実習を行うための施設。実習室は「病理・寄生虫実習室」「組織実習室」「解剖実習室」などが設置されています。



福利厚生棟

カフェテリア方式の食堂をはじめ、購買では医学書・看護専門書や、日用雑貨、旅行取扱まで幅広く取り揃えています。



ヘボンホール（講義棟1F）

横浜近代医療の歴史は、アメリカ人のヘボン博士の横浜における開業医活動から始まりました。その功績を称える趣旨で医学科講義棟1Fの多目的ホールを「ヘボンホール」と名付けました。



看護教育研究棟

多くの講義室のほかに、領域毎の看護学実習室があり、講義や演習をはじめさまざまな催しに利用されています。また、棟内には食堂やラウンジがあり、ランチタイムや講義の合間にほっとひと息ついたり、おしゃべりしたりと楽しく過ごすスペースが用意されています。



保健室

看護師が常駐しており、ケガや体調不良に対する応急処置や一般的な健康相談に応じています。

## アクセス

シーサイドライン「市大医学部駅」直結。京浜急行線「金沢八景駅」より約10分

# 入試情報

## 2019年度入試TOPICS

### 国際総合科学部再編に伴う募集人員の変更

国際総合科学部を再編し、国際教養学部、国際商学部、理学部の3学部を新たに開設します。これに伴い、入試制度ごとの募集人員が変更となります。

>>> P.112

### 医学部医学科で特別選抜（国際バカロレア入試）を実施

国際バカロレア（IB）資格を取得した（または取得見込）人を対象とした入試を医学部医学科で新たに実施します。

>>> P.116

### 医学部医学科特別推薦入試募集人員と対象校の変更

医学部医学科特別推薦入試の募集人員を5名から8名へ増員し、対象校を本学科への合格実績にかかわらず、神奈川県内所在の高等学校・中等教育学校に拡大します。

>>> P.116

## 2019年度入試制度および募集人員

		一般選抜		特別選抜									計
		一般選抜 [前期日程] [後期日程]		公募推薦入試	指定校推薦入試	特別推薦入試	AO入試	海外帰国生入試	国際バカロレア入試	科学オリンピック入試	外国人留学生入試	社会人入試	
学部	学科	前	後										
国際教養学部	国際教養学科	前 160名	A方式 105名 B方式 55名	30名	55名	—	25名	若干名	若干名	—	若干名	若干名	270名
	計	160名		30名	55名	—	25名	若干名	若干名	—	若干名	若干名	270名
国際商学部	国際商学科	前 190名	A方式 130名 B方式 60名	15名	50名	—	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	260名
	計	190名		15名	50名	—	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	260名
理学部	理学科	前 70名	A方式 45名 B方式 25名	15名	35名	—	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	120名
	計	70名		15名	35名	—	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	120名
データサイエンス学部	データサイエンス学科	前 40名 後 5名		—	10名	—	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	60名
	計	45名		—	10名	—	5名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	60名
医学部	医学科	前 80名	一般 58名 地域 17名 指定 5名	—	—	地域 8名	—	—	一般 2名	—	—	—	90名
	看護学科	前 70名		—	30名	—	—	—	—	—	—	—	100名
	計	150名		—	30名	8名	—	—	2名	—	—	—	190名
合 計		615名		60名	180名	8名	35名	若干名	2名	若干名	若干名	若干名	900名

（医学部医学科募集枠） 一般：一般枠 地域：地域医療枠 指定：神奈川県指定診療科枠

## 2019年度入試日程 ※9月～12月は2018年、1月～3月は2019年

### ■大学入試センター試験

区 分	出願期間	試験日
大学入試センター試験	10月上旬	1月 19日（土）・20日（日）

### ■一般選抜

区 分	出願期間	試験日	合格発表日
前期日程	1月 28日（月）～2月 6日（水）	2月 25日（月）・26日（火）	3月 10日（日）
後期日程	1月 28日（月）～2月 6日（水）	3月 12日（火）	3月 20日（水）

### ■特別選抜

区 分	出願期間	試験日	合格発表日
AO入試 [国際教養学部／国際商学部／理学部]	9月 3日（月）～ 5日（水）	1次 書類審査 2次 10月 13日（土）	1次 9月 28日（金） 2次 10月 23日（火）
		1次 書類審査 2次 11月 17日（土） 3次 〈大学入試センター試験〉	1次 11月 6日（火） 2次 11月 27日（火） 3次 2月 13日（水）
海外帰国生入試	9月 10日（月）～ 14日（金）	10月 6日（土）	10月 23日（火）
国際バカロレア入試 [国際教養学部／国際商学部／理学部／データサイエンス学部]	9月 10日（月）～ 14日（金）	10月 6日（土）	10月 23日（火）
国際バカロレア入試 [医学部医学科]	11月 5日（月）～ 7日（水）	1次 書類審査 2次 12月 8日（土）	1次 11月 16日（金） 2次 2月 13日（水）
科学オリンピック入試	9月 10日（月）～ 14日（金）	10月 6日（土）	10月 23日（火）
外国人留学生入試	9月 10日（月）～ 14日（金）	10月 6日（土）	10月 23日（火）
社会人入試	9月 10日（月）～ 14日（金）	10月 6日（土）	10月 23日（火）
指定校推薦入試	11月 1日（木）～ 6日（火）	11月 17日（土）	11月 27日（火）
公募推薦入試	1月 15日（火）～ 25日（金）	〈大学入試センター試験〉	2月 13日（水）
特別推薦入試	11月 5日（月）～ 7日（水）	1次 書類審査 2次 12月 8日（土） 3次 〈大学入試センター試験〉	1次 11月 16日（金） 2次 12月 14日（金） 3次 2月 13日（水）

## 2019年度 一般選抜 入試概要 ※詳細は必ず各募集要項で確認してください

一般選抜	
● 国際教養学部・国際商学部 [前期日程]	
▶ 出願時にA方式・B方式の選択は必要ありません。受験した科目がA方式・B方式とも満たしている場合は、両方式の選抜の対象となります。 ◆ 必須 ◇ 選択	
大学入試センター試験	
A方式	5 (6) 教科7 (8) 科目 [1,000点]
◆ 外 国 語《300点》	『英語』（リスニングを含む）
◆ 国 語《200点》	『国語』（古文・漢文を含む）
◆ 地歴公民《200点》※1	『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』から2科目
◆ 数 学《200点》※2	『数学Ⅰ・数学A』（必須） 『数学Ⅱ・数学B』『簿記・会計』『情報関係基礎』から1科目
◆ 理 科《100点》	『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』 『物理』『化学』『生物』『地学』 『基礎を付した科目』から2科目または『基礎を付していない科目』から1科目
個別学力検査（第2次試験）	
A・B共通	2科目 [500点]
◆ 外 国 語《300点》	英語（『コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ』）
◆ そ の 他《200点》	小論文
B方式	
3教科3科目 [700点]	
◆ 外 国 語《300点》	『英語』（リスニングを含む）
◇ 国 語《200点》	『国語』（古文・漢文を含む）
◇ 地歴公民《200点》	『世界史B』『日本史B』『地理B』『倫理、政治・経済』から1科目
◇ 数 学《200点》※2	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』『簿記・会計』『情報関係基礎』から1科目
2教科2科目《400点》	

※1 同一名称を含む科目の組み合わせで2科目を選択解答することはできません。

※2 『簿記・会計』『情報関係基礎』を選択解答できる者は、高等学校または中等教育学校において、これらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了（見込み）の者に限ります。

2019年度

一般選抜

入試概要

※詳細は必ず各募集要項で確認してください

- 理学部〔前期日程〕
- ▶出願時にA方式・B方式の選択をしてください。

大学入試センター試験	
A・B共通	5教科7科目 [1,200点]
◆外国語《500点》	『英語』（リスニングを含む）
◆国語《200点》	『国語』（古文・漢文を含む）
◆地歴公民《100点》	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目
◆数学《200点》	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』
◆理科《200点》	「物理」「化学」「生物」から2科目

- データサイエンス学部〔前期日程・後期日程〕

大学入試センター試験	
前・後共通	4 (5) 教科6 (7) 科目 [1,300点]
◆外国語 前期《500点》後期《400点》	『英語』（リスニングを含む）
◆国語 前期《200点》後期《200点》	『国語』
◆数学 前期《300点》後期《400点》	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』
◇地歴公民 前期《0～300点》 後期《0～300点》	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から最大2科目
◇理科 前期《0～300点》 後期《0～300点》	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」の「基礎を付した科目」または「基礎を付していない科目」から1科目から2科目

- 医学部〈医学科〉〔前期日程〕

大学入試センター試験	
5教科7科目 [1,000点]	
◆外国語《300点》	『英語』（リスニングを含む）
◆国語《200点》	『国語』（古文・漢文を含む）
◆地歴公民《100点》	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目
◆数学《200点》	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』
◆理科《200点》	「物理」「化学」「生物」から2科目

- 医学部〈看護学科〉〔前期日程〕

大学入試センター試験	
5教科6 (7) 科目 [1,000点]	
◆外国語《400点》	『英語』（リスニングを含む）
◆国語《200点》	『国語』（古文・漢文を含む）
◆地歴公民《100点》	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目
◆数学《200点》または《100点》	『数学Ⅰ・数学A』『数学Ⅱ・数学B』から最大2科目
◆理科《200点》または《100点》	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「物理」「化学」「生物」「基礎を付した科目」から最大2科目または「基礎を付していない科目」から2科目

- ◆ 必須

個別学力検査（第2次試験）	
A方式	2教科3科目 [900点]
◆数学《300点》	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B
◆理科《600点》	『物理基礎・物理』『化学基礎・化学』『生物基礎・生物』から2科目
B方式	2教科2科目 [600点]
◆数学《300点》	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B
◆理科《300点》	『物理基礎・物理』『化学基礎・化学』『生物基礎・生物』から1科目

- ◆ 必須 ◇ 選択

個別学力検査（第2次試験）	
前期	2教科2科目 [700点]
◆数学《400点》	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B（必須）（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B）から2題（選択）（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B）、（数学Ⅲ）、（確率分布と統計的な推測）から1題
◆総合問題《300点》	図表データ、文章等の情報を与え、それに基づいた論説能力を問う。

後期	1科目 [200点]
◆その他《200点》	面接

※3 地理歴史・公民・理科を合わせて3科目以上受験した場合は、高得点の2科目を採用します。ただし、以下については条件つきとなります。  
（地理歴史・公民を2科目受験した場合）第1解答科目が採用された場合のみ、第2解答科目を採用の対象とします。  
（基礎を付していない理科（「物理」「化学」「生物」「地学」）を2科目受験した場合）第1解答科目が採用された場合のみ、第2解答科目を採用の対象とします。

- ◆ 必須

個別学力検査（第2次試験）	
3教科4科目 [1,200点] + 小論文 + 面接	
◆外国語《400点》	英語（『コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ』）
◆数学《400点》	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B
◆理科《400点》	「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」「生物基礎・生物」から2科目
◆その他《段階評価》	小論文 面接

- ◆ 必須

個別学力検査（第2次試験）	
1科目 [300点] + 面接	
◆論文《300点》	
◆その他《段階評価》	面接

※4 数学・理科を合わせて4 (5) 科目以上受験した場合は、高得点の3科目を採用します。  
ただし、理科で基礎を付していない科目（「物理」「化学」「生物」「地学」）を2科目受験した場合は、第1解答科目が採用された場合のみ、第2解答科目を採用の対象とします。

2019年度

特別選抜

入試概要

※詳細は必ず各募集要項で確認してください

- 国際教養学部・国際商学部・理学部

入試区分	概 要	選抜方法
公募推薦入試	横浜市立大学を第1志望とし、出身学校長の推薦を受け、大学入試センター試験において大学の指定する教科・科目のすべてを受験した人を対象とした入試です。卒業見込の人に加え前年3月に卒業した人の出願も認めます。	◆書類審査 ◆大学入試センター試験成績 5(6) 教科7(8) 科目
指定校推薦入試	横浜市立大学を第1志望とし、本学への入学実績に基づき本学国際教養学部・国際商学部・理学部が指定する高等学校に在籍している人を対象とした入試です。	◆書類審査 ◆面接
AO入試	横浜市立大学を第1志望とし、国際教養学部・国際商学部・理学部での勉学を強く希望する人を対象とした「自己推薦」による入試です。高校生から社会人まで、大学入学資格を持つ人を広く対象として独自の個性や資質などを備えた人を選抜するため実施します。	□第1次選考（書類審査） ◆プレゼンテーション(発表)概要1 ◆プレゼンテーション(発表)概要2 ◆英語資格のスコア・級 ◆調査書 等 □第2次選考 ◆面接
海外帰国生入試	外国の高等学校で学んだ邦人等を対象に実施する入試です。日本とは異なる教育制度の元で修得した学科目の修得内容や外国滞在経験により培われた国際的感覚などを評価します。	◆小論文 ◆面接
国際バカロレア入試	国際バカロレア（IB）資格を取得した（または取得見込）邦人等を対象とした入試です。IB資格の取得地は日本国内・国外を問いません。	◆小論文 ◆面接
科学オリンピック入試 （国際商学部・理学部のみ実施）	科学オリンピック・コンテスト（全国物理コンテスト、化学グランプリ、日本生物学オリンピック、または日本数学オリンピック）の最初のステージの成績が平均点以上の人を対象とした入試です。コンテスト参加等を通じて培われた科学的資質を評価します。 ※国際商学部は、日本数学オリンピックのみが対象。	◆小論文 ◆面接
外国人留学生入試	日本国以外の学校教育制度による12年の課程を修了(または修了見込)し、その国において大学入学資格を有する外国人を対象として実施します。日本留学試験で一定以上の成績を修めていることも条件となります。	◆小論文 ◆面接
社会人入試	大学入学資格を持ち、満25歳以上の人を対象として実施します。	◆小論文 ◆面接

- データサイエンス学部

入試区分	概 要	選抜方法
指定校推薦入試	横浜市立大学を第1志望とし、本学への入学実績に基づき本学データサイエンス学部が指定する高等学校に在籍している人を対象とした入試です。	◆書類審査 ◆面接
AO入試	横浜市立大学を第1志望とし、データサイエンス学部での勉学を強く希望する人を対象とした「自己推薦」による入試です。高校生から社会人まで、大学入学資格を持つ人を広く対象として独自の個性や資質などを備えた人を選抜するため実施します。	□第1次選考（書類審査） ◆プレゼンテーション(発表)概要1 ◆プレゼンテーション(発表)概要2 ◆英語資格のスコア・級 ◆調査書 等 □第2次選考 ◆面接 □第3次選考 ◆大学入試センター試験成績 4 (5) 教科6 (7) 科目 ※教科・科目は一般選抜に同じ
海外帰国生入試	外国の高等学校で学んだ邦人等を対象に実施する入試です。日本とは異なる教育制度の元で修得した学科目の修得内容や外国滞在経験により培われた国際的感覚などを評価します。	◆総合問題 ◆面接
国際バカロレア入試	国際バカロレア（IB）資格を取得した（または取得見込）邦人等を対象とした入試です。IB資格の取得地は日本国内・国外を問いません。	◆総合問題 ◆面接
科学オリンピック入試	「日本数学オリンピック 予選」でBランク以上の成績を修めた人を対象とした入試です。コンテスト参加等を通じて培われた科学的資質を評価します。	◆総合問題 ◆面接
外国人留学生入試	日本国以外の学校教育制度による12年の課程を修了(または修了見込)し、その国において大学入学資格を有する外国人を対象として実施します。日本留学試験で一定以上の成績を修めていることも条件となります。	◆総合問題 ◆面接
社会人入試	大学入学資格を持ち、満25歳以上の人を対象として実施します。	◆総合問題 ◆面接

2019年度 特別選抜 入試概要 ※詳細は必ず各募集要項で確認してください

● 医学部〈医学科〉

入試区分	概 要	選抜方法
特別推薦入試	神奈川県内の公立立高等学校・中等教育学校在籍者の中から、特別に推薦された人を対象とし、書類審査、多面的な面接および大学入試センター試験の成績により、人物・学業成績ともに優秀な人を選抜します。	<div>□第1次選考（書類審査） ◆高等学校の成績 ◆英語資格のスコア・級 ◆志願理由書の内容 等</div> <div>□第2次選考（面接審査） ◆MMI※の手法による多面的な面接</div> <div>□第3次選考 ◆大学入試センター試験成績 5教科7科目 ※教科・科目は一般選抜に同じ</div>
国際バカロレア入試	国際バカロレア（IB）資格を取得した（または取得見込）人を対象とした入試です。IB資格の取得地は日本国内・国外を問いません。	<div>□第1次選考（書類審査） ◆国際バカロレア資格の成績評価 *出願者数が概ね4名を超えた場合のみ実施</div> <div>□第2次選考（面接審査） ◆MMI※の手法による多面的な面接</div>

※MMI（Multiple Mini Interview）

● 医学部〈看護学科〉

入試区分	概 要	選抜方法
指定校推薦入試	横浜市立大学を第1志望とし、本学看護学科が指定する高等学校に在籍している人を対象とした入試です。卒業後は横浜市内を中心とした地域医療へ積極的に貢献できる人の入学を期待する制度です。	◆書類審査 ◆面接

2019年度 特別選抜 出願要件〔英語資格〕 ※詳細は必ず各募集要項で確認してください

以下の各入試において、出願時に下記のスコア・級以上の公式な証明書の提出が必要となります。

入試区分	学部・学科	国際教養学部	国際商学部	理学部	データサイエンス学部	医学部	
		国際教養学科	国際商学科	理学科	データサイエンス学科	医学科	看護学科
指定校推薦入試		B	B	B	B	—	C
特別推薦入試		—	—	—	—	B	—
AO入試		B	B or A※1	B	B	—	—
海外帰国生入試		A	A	B	A	—	—
国際バカロレア入試		A	A	B	A	A	—
科学オリンピック入試		—	B	B	B	—	—
外国人留学生入試		A	B	B	B	—	—
社会人入試		A※2	A※2	A※2	A※2	—	—

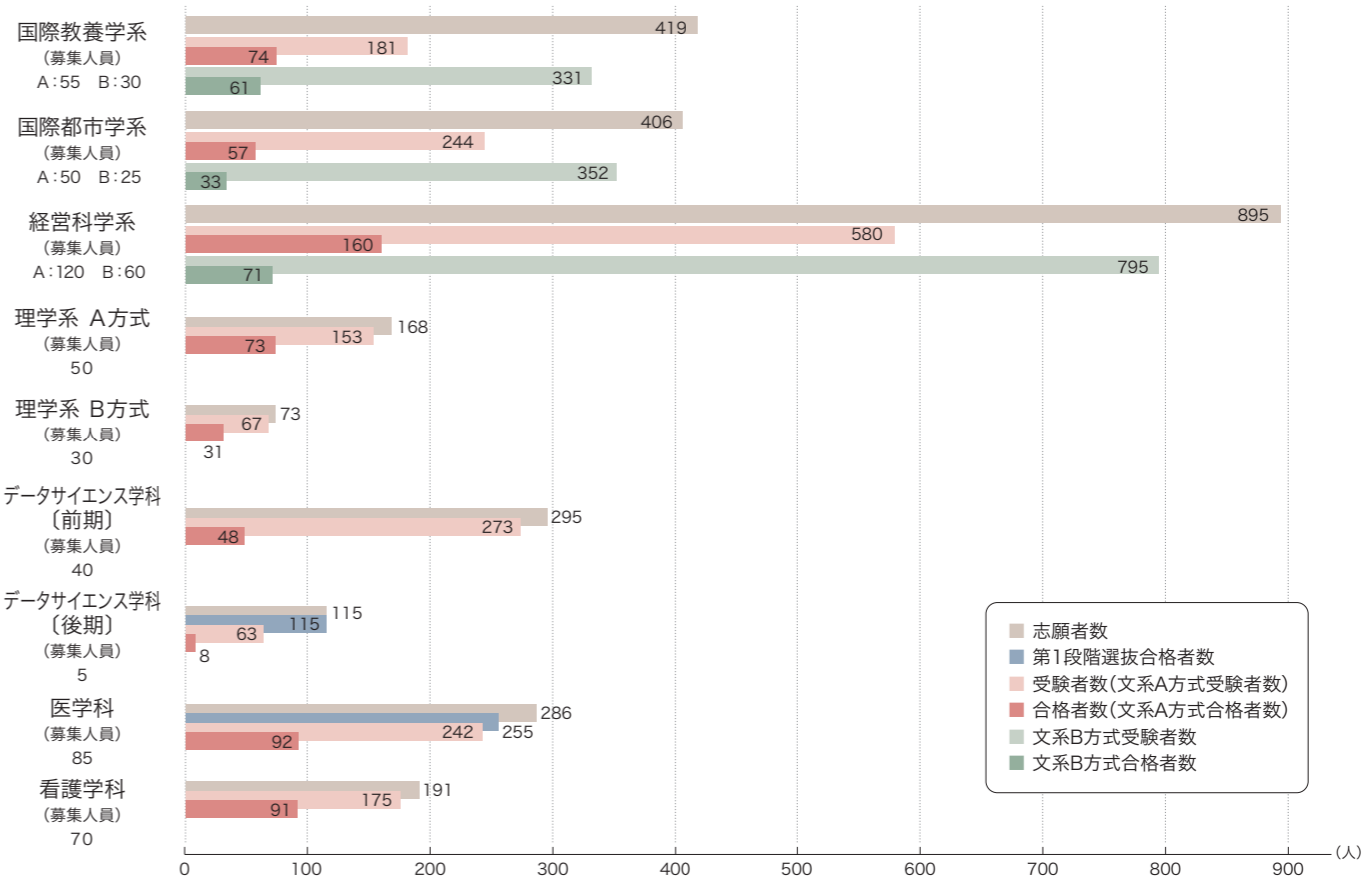
※1.所定の数学（商業含む）4科目履修の現役・既卒1年目はB、それ以外はA ※2.GTECは除く

試験の種類 基準	TOEFL-PBT (TOEFL-iBT)	TOEIC (L&R)	GTEC (3技能版)	英検	IELTS (アカデミック・モジュール各パート)
A	500 (61)	600	700	準1級	5.0 (4.5)
B	460 (48)	500	600	2級	4.5 (4.0)
C	417 (35)	400	500	準2級	4.0 (3.5)

2018年度 一般選抜 入試結果〔入試実施状況〕

上段(女子)、下段(現役)は内数												
学部	学系・学科		募集人員	志願者数	志願倍率	第1段階選抜合格者数	受験者数		合格者数 ※追加合格者数を含む		追加合格者数	入学者数
国際総合科学部（前期）	国際教養学系	A方式	55	419 (289) (371)	4.9	－	331	181 (134) (162)	135	74 (59) (67)	0	97 (69) (85)
		B方式	30					331 (229) (296)		61 (36) (56)	0	
	国際都市学系	A方式	50	406 (260) (357)	5.4	－	352	244 (162) (222)	90	57 (37) (51)	0	78 (51) (68)
		B方式	25					352 (231) (316)		33 (22) (29)	0	
	経営科学系	A方式	120	895 (359) (691)	5.0	－	795	580 (239) (453)	231	160 (61) (128)	0	192 (76) (154)
		B方式	60					795 (323) (616)		71 (28) (57)	0	
	理学系	A方式	50	168 (76) (126)	3.4	－	153 (70) (114)		73 (36) (61)		0	58 (26) (51)
		B方式	30	73 (36) (57)	2.4	－	67 (31) (53)		31 (14) (23)		0	26 (11) (20)
	計			420	1,961 (1,020) (1,602)	4.7	－	1,698 (884) (1,395)		560 (293) (472)		0
データサイエンス学部	データサイエンス学科（前期）		40	295 (87) (222)	7.4	－	273 (81) (207)		48 (14) (38)		0	45 (13) (36)
	データサイエンス学科（後期）		5	115 (41) (83)	23.0	115	63 (23) (47)		8 (5) (5)		0	7 (4) (4)
	計		45	410 (128) (305)	9.1	115	336 (104) (254)		56 (19) (43)		0	52 (17) (40)
医学部（前期）	医学科		85	286 (106) (149)	3.4	255	242 (87) (131)		92 (27) (60)		7	85 (23) (54)
	看護学科		70	191 (179) (164)	2.7	－	175 (164) (152)		91 (87) (77)		7	70 (66) (58)
	計		155	477 (285) (313)	3.1	255	417 (251) (283)		183 (114) (137)		14	155 (89) (112)
合 計			620	2,848 (1,433) (2,220)	4.6	370	2,451 (1,239) (1,932)		799 (426) (652)		14	658 (339) (530)

《参考》文系学系においてA・B方式とも合格基準に達した者の人数は、国際教養学系23人、国際都市学系13人、経営科学系33人



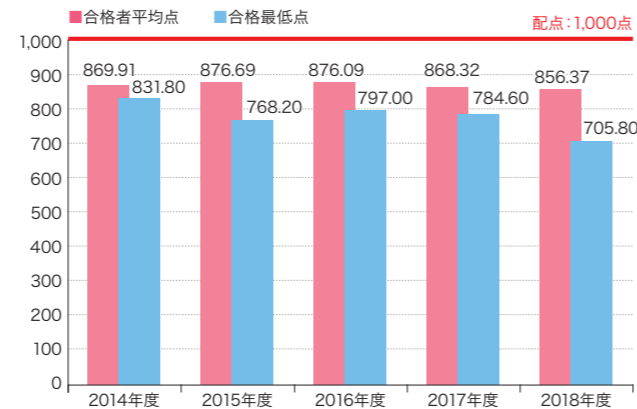
# 2018年度 一般選抜 入試結果〔得点集計〕

## 【医学部 医学科】第1段階選抜 合格最低点・合格者平均点

年度	志願者数	合格者数	センター試験得点(得点率)		配点
			合格最低点	合格者平均点	
2018年度	286	255	705.80 (70.6%)	856.37 (85.6%)	1,000

【参考】

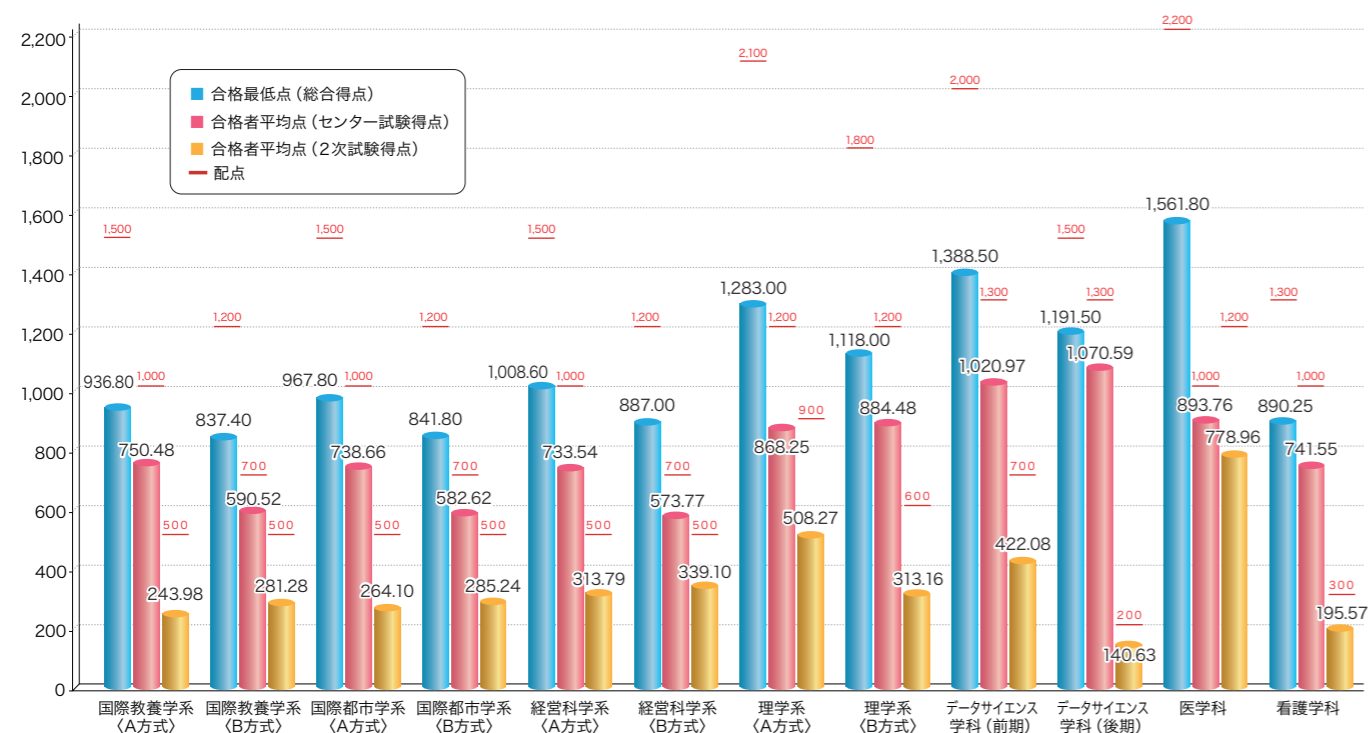
2017年度	311	255	784.60 (78.5%)	868.32 (86.8%)	1,000
2016年度	336	255	797.00 (79.7%)	876.09 (87.6%)	1,000
2015年度	324	270	768.20 (76.8%)	876.69 (87.7%)	1,000
2014年度	377	270	831.80 (83.2%)	869.91 (87.0%)	1,000



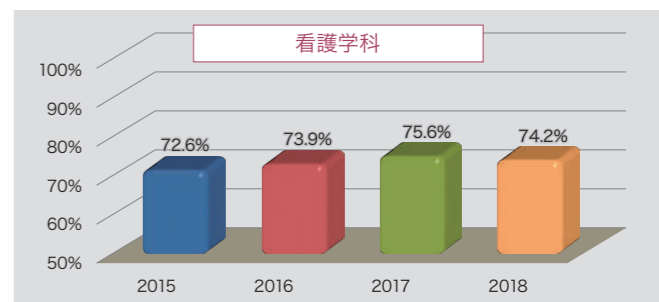
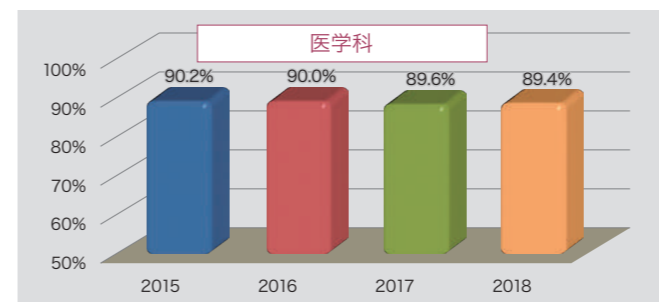
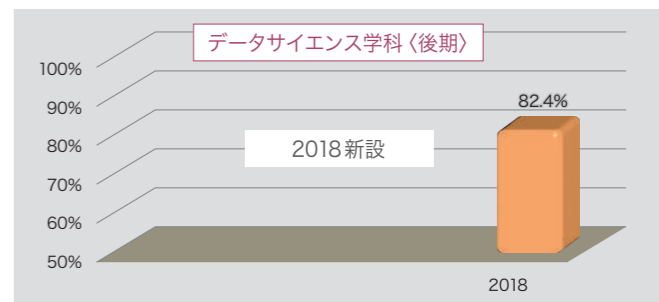
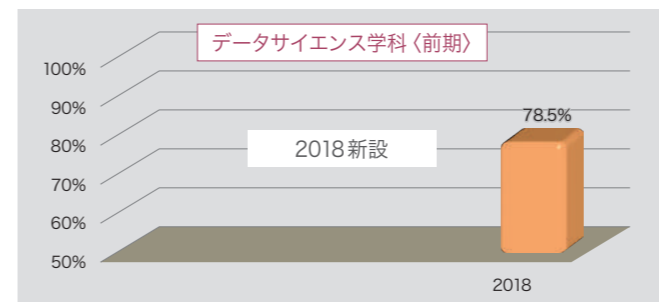
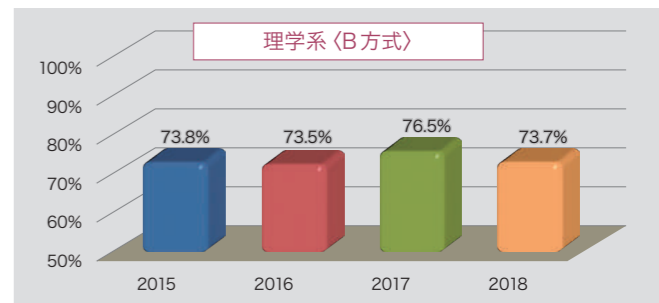
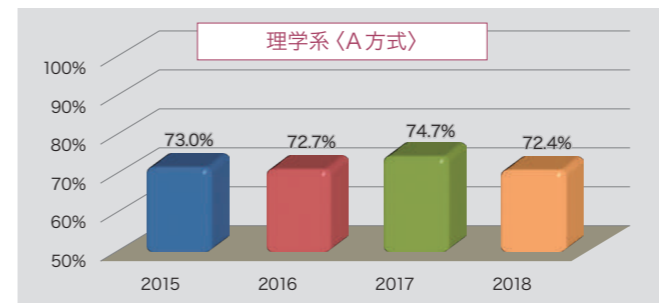
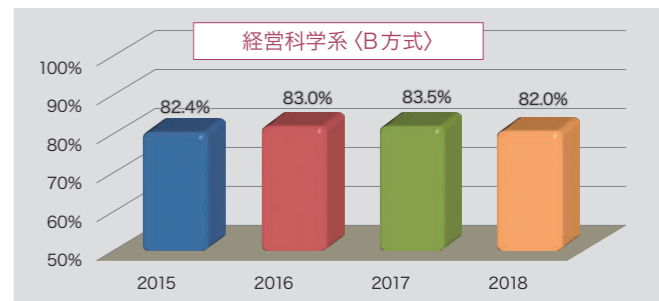
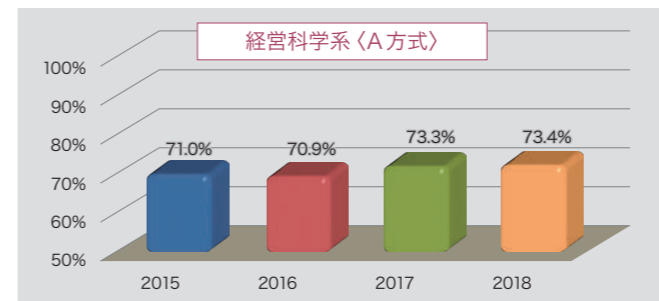
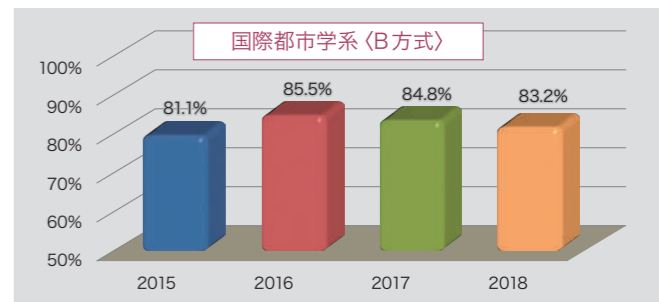
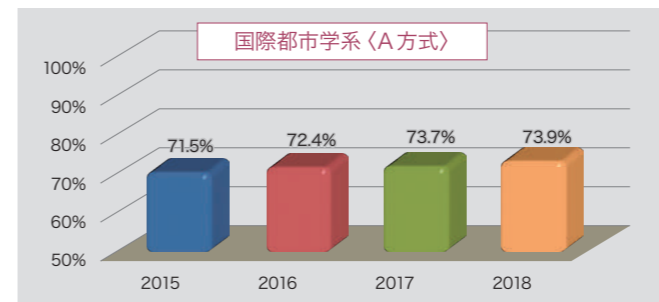
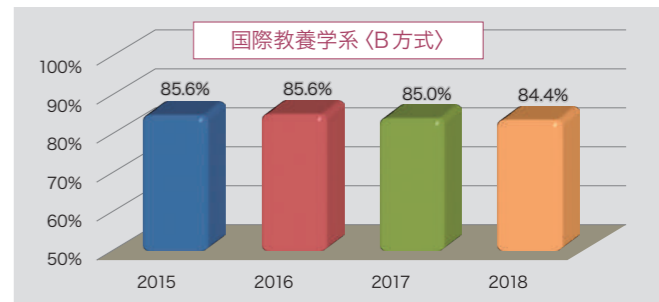
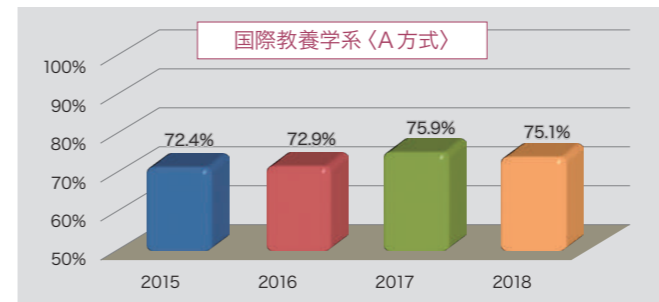
## 合格最低点・合格者平均点

※追加合格者の得点は含まれません

学部	学系・学科		合格最低点		合格者平均点			
			総合		センター試験		2次試験	
			得点(得点率)	配点	得点(得点率)	配点	得点(得点率)	配点
国際総合科学部	国際教養学系	A方式	936.80 (62.5%)	1,500	750.48 (75.1%)	1,000	243.98 (48.8%)	500
		B方式	837.40 (69.8%)	1,200	590.52 (84.4%)	700	281.28 (56.3%)	500
	国際都市学系	A方式	967.80 (64.5%)	1,500	738.66 (73.9%)	1,000	264.10 (52.8%)	500
		B方式	841.80 (70.2%)	1,200	582.62 (83.2%)	700	285.24 (57.1%)	500
	経営科学系	A方式	1008.60 (67.2%)	1,500	733.54 (73.4%)	1,000	313.79 (62.8%)	500
		B方式	887.00 (73.9%)	1,200	573.77 (82.0%)	700	339.10 (67.8%)	500
データサイエンス学部	データサイエンス学科	A方式	1283.00 (61.1%)	2,100	868.25 (72.4%)	1,200	508.27 (56.5%)	900
		B方式	1118.00 (62.1%)	1,800	884.48 (73.7%)	1,200	313.16 (52.2%)	600
医学部	医学科	前期	1388.50 (69.4%)	2,000	1020.97 (78.5%)	1,300	422.08 (60.3%)	700
		後期	1191.50 (79.4%)	1,500	1070.59 (82.4%)	1,300	140.63 (70.3%)	200
	看護学科		890.25 (68.5%)	1,300	741.55 (74.2%)	1,000	195.57 (65.2%)	300



## 大学入試センター試験 合格者平均得点率推移

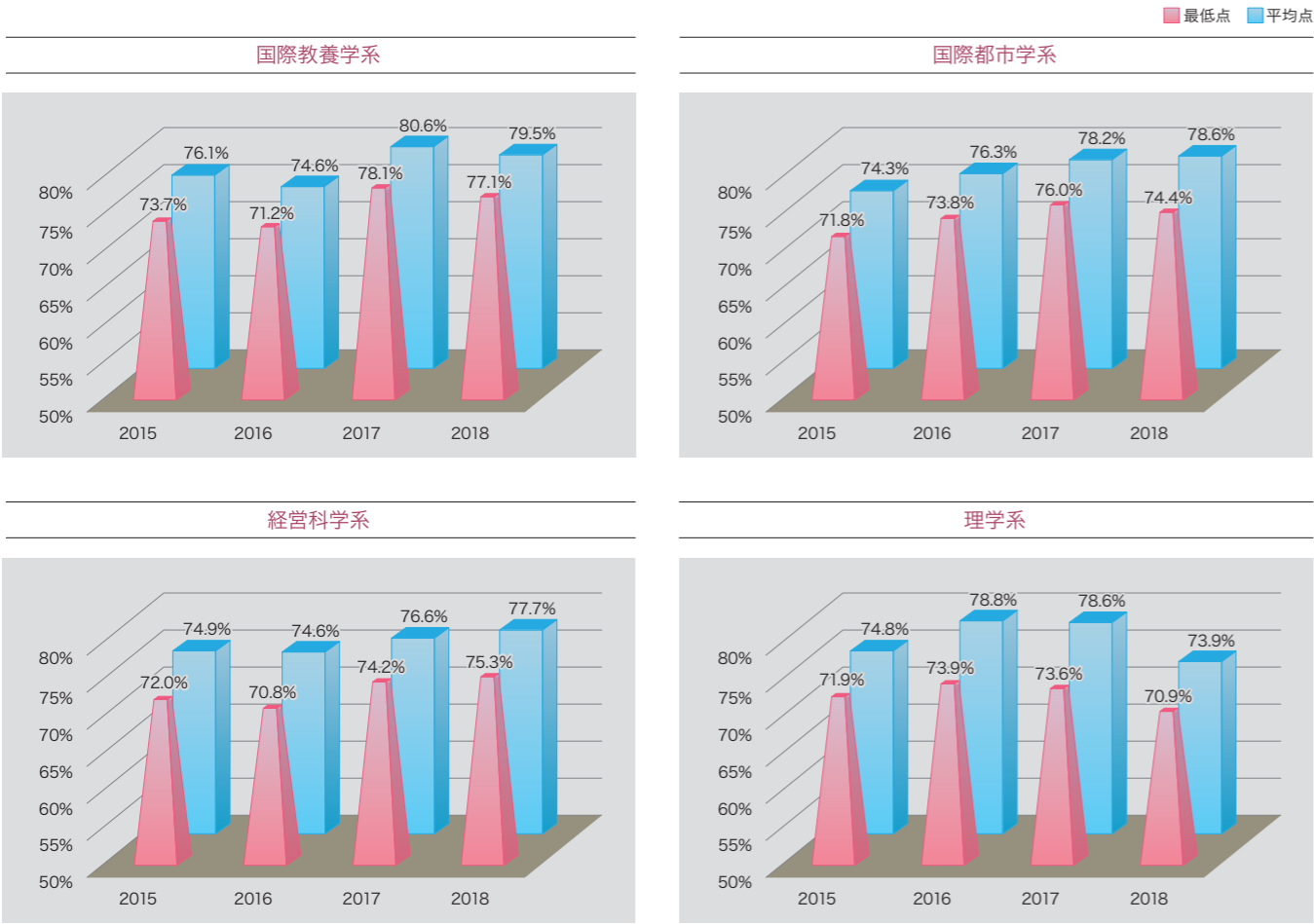


2018年度 特別選抜 入試結果

特別推薦	(女子) は内数								
	学 部	学 科	募集人員	志願者数	志願倍率	第1次選考 合格者数	受験者数	第2次選考 合格者数	最終合格者数
	医学部	医学科	5	24 (7)	4.8	20 (5)	20 (5)	20 (5)	5 (2)
		合 計	5	24 (7)	4.8	20 (5)	20 (5)	20 (5)	5 (2)

公募推薦	(女子) 〈現役〉 は内数								
	学 部	学 系	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	入学者数	
	国際総合 科学部	国際教養学系	10	58 (53) 〈54〉	5.8	58 (53) 〈54〉	11 (9) 〈10〉	11 (9) 〈10〉	
		国際都市学系	10	48 (37) 〈47〉	4.8	48 (37) 〈47〉	10 (6) 〈10〉	10 (6) 〈10〉	
		経営科学系	15	85 (52) 〈80〉	5.7	85 (52) 〈80〉	15 (6) 〈14〉	15 (6) 〈14〉	
		理学系	15	54 (33) 〈45〉	3.6	54 (33) 〈45〉	16 (8) 〈13〉	16 (8) 〈13〉	
		合 計	50	245 (175) 〈226〉	4.9	245 (175) 〈226〉	52 (29) 〈47〉	52 (29) 〈47〉	
	■ 合格者平均点・最低点								
	学 系		募集人員	合格者数	配点	センター試験得点 (得点率)			
					センター試験	合格者平均点	合格最低点		
	国際教養学系		10	11	1,000	795.22 (79.5%)	770.80 (77.1%)		
	国際都市学系		10	10	1,000	785.94 (78.6%)	743.80 (74.4%)		
	経営科学系		15	15	1,000	777.17 (77.7%)	752.80 (75.3%)		
	理学系		15	16	1,000	739.36 (73.9%)	709.00 (70.9%)		

公募推薦合格者平均点・最低点推移 (得点率)



指定校 推薦	(女子) は内数						
	学 部	学系・学科	募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数
	国際総合 科学部	国際教養学系	30	33 (30)	1.1	33 (30)	33 (30)
		国際都市学系	25	33 (25)	1.3	33 (25)	33 (25)
		経営科学系	50	59 (37)	1.2	59 (37)	59 (37)
		理学系	40	31 (18)	0.8	31 (18)	31 (18)
		合 計	145	156 (110)	1.1	156 (110)	156 (110)
	データ サイエンス学部	データサイエンス学科	10	5 (2)	0.5	5 (2)	5 (2)
		合 計	10	5 (2)	0.5	5 (2)	5 (2)
	医学部	看護学科	30	30 (30)	1.0	30 (30)	30 (30)
		合 計	30	30 (30)	1.0	30 (30)	30 (30)
	合 計		185	191 (142)	1.0	191 (142)	191 (142)

AO	(女子) 〈現役〉 は内数									
	学 部	学系・学科	募集人員	志願者数	志願倍率	第1次選考 合格者数	第2次選考 受験者数	第2次選考 合格者数	受験者数	合格者数
	国際総合 科学部	国際教養学系	15	111 (86) 〈102〉	7.4	33	—	—	30 (25) 〈28〉	15 (13) 〈13〉
		国際都市学系	10	52 (41) 〈49〉	5.2	22	—	—	21 (20) 〈19〉	10 (9) 〈9〉
		経営科学系	5	33 (22) 〈27〉	6.6	10	—	—	10 (8) 〈10〉	5 (4) 〈5〉
		理学系	5	6 (5) 〈5〉	1.2	6	—	—	6 (5) 〈5〉	4 (4) 〈3〉
		合 計	35	202 (154) 〈183〉	5.8	71	—	—	67 (58) 〈62〉	34 (30) 〈30〉
	データ サイエンス学部	データサイエンス学科	5	5 (5) 〈4〉	1.0	5	5 (5) 〈4〉	4 (4) 〈3〉	4 (4) 〈3〉	4 (4) 〈3〉
		合 計	5	5 (5) 〈4〉	1.0	5	5 (5) 〈4〉	4 (4) 〈3〉	4 (4) 〈3〉	4 (4) 〈3〉
	合 計		40	207 (159) 〈187〉	5.2	76	5 (5) 〈4〉	4 (4) 〈3〉	71 (62) 〈65〉	38 (34) 〈33〉

海外 帰国生	(女子) は内数						
	学 部	学系・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
	国際総合 科学部	国際教養学系	若干名	34 (22)	21 (13)	5 (3)	2 (1)
		国際都市学系	若干名	23 (11)	13 (6)	6 (4)	4 (2)
		経営科学系	若干名	27 (8)	18 (6)	10 (4)	6 (2)
		理学系	若干名	7 (5)	7 (5)	3 (3)	3 (3)
		合 計	若干名	91 (46)	59 (30)	24 (14)	15 (8)
	データ サイエンス学部	データサイエンス学科	若干名	2 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)
		合 計	若干名	2 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)
	合 計		若干名	93 (46)	61 (30)	26 (14)	16 (8)

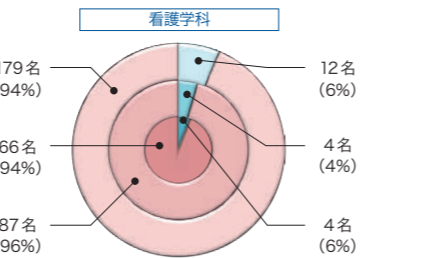
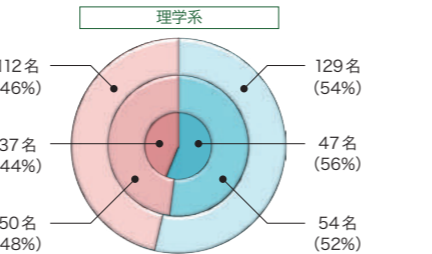
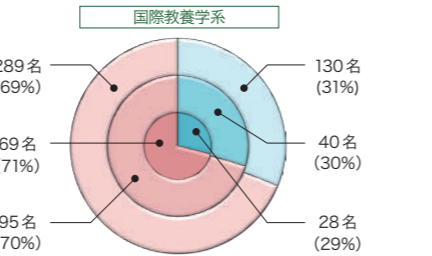
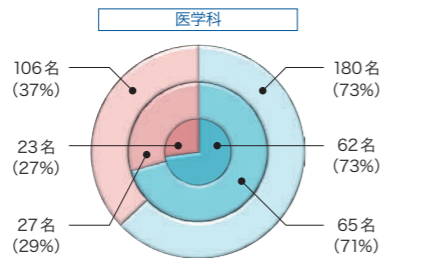
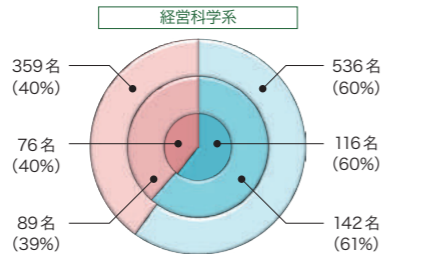
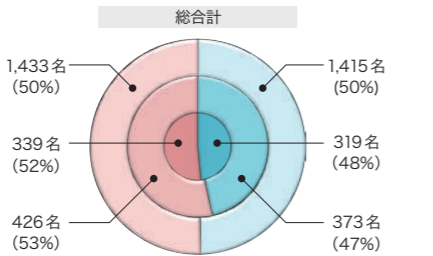
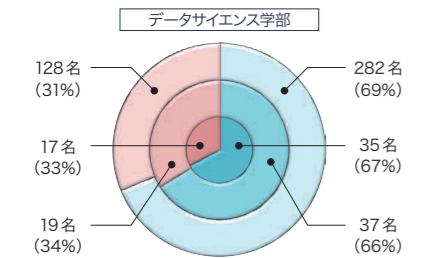
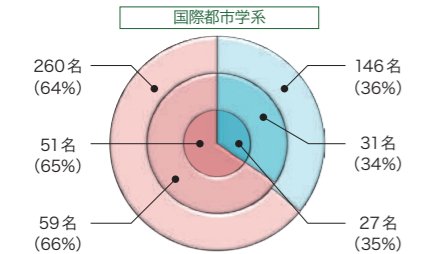
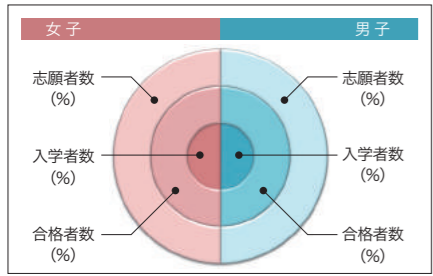
国際 バカロレア	(女子) は内数						
	学 部	学系・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
	国際総合 科学部	国際教養学系	若干名	5 (5)	4 (4)	3 (3)	0 (0)
		国際都市学系	若干名	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1 (1)
		経営科学系	若干名	4 (3)	3 (2)	3 (2)	0 (0)
		理学系	若干名	6 (4)	6 (4)	2 (1)	2 (1)
		合 計	若干名	17 (14)	15 (12)	10 (8)	3 (2)
	データ サイエンス学部	データサイエンス学科	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		合 計	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合 計		若干名	17 (14)	15 (12)	10 (8)	3 (2)

科学 オリンピック	(女子) 〈現役〉 は内数						
	学 部	学系・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
	国際総合 科学部	経営科学系	若干名	2 (1) 〈2〉	2 (1) 〈2〉	2 (1) 〈2〉	2 (1) 〈2〉
		理学系	若干名	8 (7) 〈8〉	8 (7) 〈8〉	5 (4) 〈5〉	3 (2) 〈3〉
		合 計	若干名	10 (8) 〈10〉	10 (8) 〈10〉	7 (5) 〈7〉	5 (3) 〈5〉
	データ サイエンス学部	データサイエンス学科	若干名	1 (0) 〈1〉	1 (0) 〈1〉	1 (0) 〈1〉	1 (0) 〈1〉
		合 計	若干名	1 (0) 〈1〉	1 (0) 〈1〉	1 (0) 〈1〉	1 (0) 〈1〉
	合 計		若干名	11 (8) 〈11〉	11 (8) 〈11〉	8 (5) 〈8〉	6 (3) 〈6〉

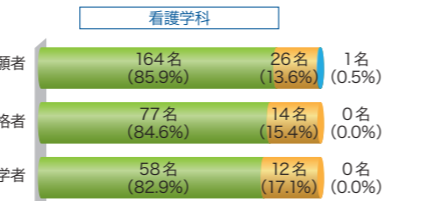
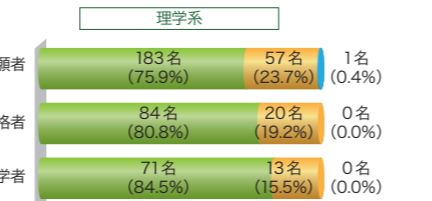
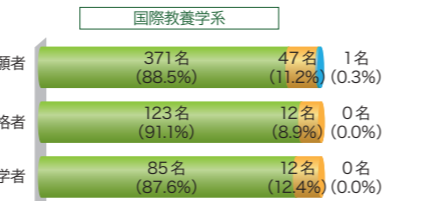
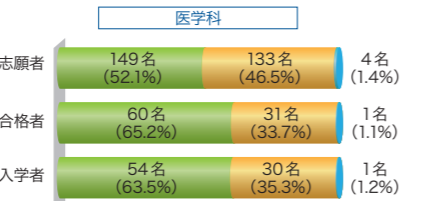
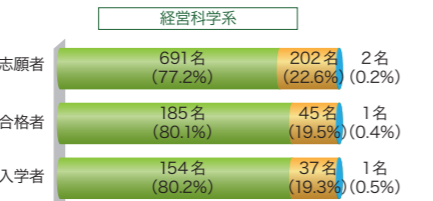
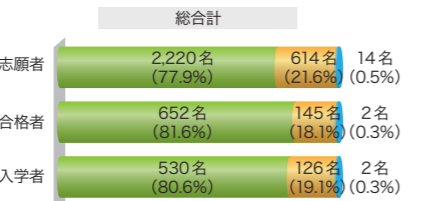
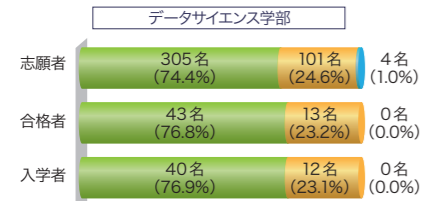
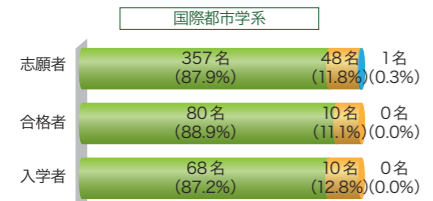
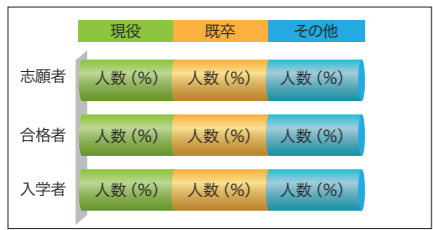
外国人 留学生	(女子) は内数						
	学 部	学系・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
	国際総合 科学部	国際教養学系	若干名	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
		国際都市学系	若干名	5 (2)	5 (2)	3 (1)	1 (0)
		経営科学系	若干名	9 (5)	9 (5)	6 (3)	4 (2)
		理学系	若干名	6 (1)	6 (1)	4 (1)	1 (0)
		合 計	若干名	21 (9)	21 (9)	13 (5)	6 (2)
	データ サイエンス学部	データサイエンス学科	若干名	3 (2)	3 (2)	2 (1)	2 (1)
		合 計	若干名	3 (2)	3 (2)	2 (1)	2 (1)
	合 計		若干名	24 (11)	24 (11)	15 (6)	8 (3)

社会人	(女子) は内数						
	学 部	学系・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
	国際総合 科学部	国際教養学系	若干名	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)
		国際都市学系	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		経営科学系	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		理学系	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		合 計	若干名	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)
	データ サイエンス学部	データサイエンス学科	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		合 計	若干名	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合 計		若干名	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)

## 2018年度 一般選抜 入試結果〔男女別集計〕



## 2018年度 一般選抜 入試結果〔現役・既卒別集計〕



## 2018年度入試結果〔都道府県別集計〕

近畿	志願者数	合格者数
滋賀	6	1
京都	29	9
大阪	39	8
兵庫	54	13
奈良	9	3
和歌山	13	2

■滋賀県  
石山

■京都府  
福知山 / 南陽 / 洛星 / 京都女子 / 立命館宇治 / 京都成章

■大阪府  
豊中 / 高津 / 住吉 / 生野 / 和泉 / 桃山学院 / 初芝富田林

■兵庫県  
神戸大学附属 / 明石北 / 西脇 / 豊岡 / 津名 / 西宮今津 / 西宮東 / 加古川北 / 三田祥雲館 / 国際 / 甲南女子 / 神戸龍谷 / 滝川

■奈良県  
歌傍 / 西大和学園

■和歌山県  
田辺 / 新宮

中国	志願者数	合格者数
鳥取	13	3
島根	5	1
岡山	23	8
広島	35	15
山口	18	6

■鳥取県  
鳥取西 / 米子北斗

■島根県  
津和野

■岡山県  
岡山朝日 / 岡山操山 / 新見 / 岡山一宮 / 岡山城東 / 就実 / 朝日塾

■広島県  
広島大学附属 / 広島大学附属福山 / 広島国泰寺 / 廿日市 / 尾道北 / 府中 / 基町 / 福山 / 神辺旭 / 崇徳 / 広島学院

■山口県  
徳山 / 防府 / 山口 / 下関南 / 山口県桜ヶ丘

九州	志願者数	合格者数
福岡	51	13
佐賀	13	4
長崎	10	6
熊本	16	6
大分	12	4
宮崎	22	7
鹿児島	28	7

■福岡県  
戸畑 / 八幡 / 筑紫丘 / 城南 / 筑紫 / 久留米 / 八女 / 嘉穂 / 北筑 / 福岡大学附属大濠 / 中村学園女子

■佐賀県  
佐賀西 / 小城 / 弘学館

■長崎県  
佐世保南 / 佐世保北 / 西陵 / 海星 / 青雲

■熊本県  
済々黈 / 熊本 / 第二 / 天草 / 熊本学園大学付属 / 文徳

■大分県  
杵築 / 大分舞鶴 / 中津南 / 藤蔭

■宮崎県  
宮崎大宮 / 宮崎西

■鹿児島県  
甲南 / 鹿児島中央 / 川内 / 鹿児島玉龍

北陸	志願者数	合格者数
富山	31	13
石川	18	5
福井	21	1

■富山県  
魚津 / 富山東 / 富山南 / 富山 / 富山中部 / 高岡 / 高岡南 / 福岡

■石川県  
金沢錦丘 / 金沢二水 / 金沢桜丘

■福井県  
武生

東海	志願者数	合格者数
岐阜	27	14
静岡	114	42
愛知	107	28
三重	28	4

■岐阜県  
岐阜 / 岐阜北 / 岐阜 / 大垣北 / 郡上 / 武義 / 関 / 多治見北 / 可児 / 帝京大学可児

■静岡県  
三島北 / 沼津東 / 富士 / 清水東 / 静岡 / 静岡城北 / 静岡東 / 袋井 / 浜松北 / 浜松西 / 静岡市立 / 浜松市立 / 富士東 / 伊豆中央 / 御殿場西 / 静岡北 / 静岡学園 / 浜松学芸 / 浜松日体 / 聖隷クリストファー / 藤枝明誠

■愛知県  
名古屋大学教育学部附属 / 愛知教育大学附属 / 旭丘 / 千種 / 中村 / 旭野 / 一宮西 / 刈谷 / 刈谷北 / 西尾 / 西尾東 / 国府 / 時習館 / 向陽 / 西春 / 豊田北 / 一宮興通 / 名東 / 常滑 / 愛知淑徳 / 東海 / 名古屋 / 中部大学春日丘 / 南山国際

■三重県  
桑名 / 津西 / 木本 / 高田

四国	志願者数	合格者数
徳島	12	4
香川	23	8
愛媛	27	11
高知	11	5

■徳島県  
城東 / 城南 / 徳島北

■香川県  
高松 / 坂出 / 丸亀 / 高松第一 / 大手前高松

■愛媛県  
新居浜西 / 西条 / 今治西 / 松山東 / 松山南 / 松山北 / 松山西 / 宇和島南 / 愛光

■高知県  
高知追手前 / 土佐 / 土佐女子 / 高知学芸

沖縄	志願者数	合格者数
沖縄	60	15

■沖縄県  
那覇 / 宮古 / 開邦 / 球陽 / 那覇国際 / 沖縄尚学 / 興南 / 昭和薬科大学附属

その他	志願者数	合格者数
その他	143	50

※志願者数・合格者数は全入試区分（一般選抜・特別選抜）における全学部・学科の合計人数です。 ※校名は合格者の出身校を示します。

甲信越	志願者数	合格者数
新潟	58	26
山梨	45	14
長野	74	25

■新潟県  
新潟 / 新潟南 / 新潟江南 / 新潟商業 / 長岡 / 三条 / 高田 / 高田北城 / 村上 / 燕 / 津南 / 直江津 / 新潟明訓 / 関志国際

■山梨県  
諏崎 / 吉田 / 甲府西 / 甲府東 / 甲陵 / 甲府昭和 / 北杜 / 駿台甲府 / 山梨学院

■長野県  
須坂 / 長野吉田 / 長野（県立） / 長野西 / 上田 / 上田染谷丘 / 野沢北 / 諏訪清陵 / 飯田 / 松本県ヶ丘 / 上田西

北海道	志願者数	合格者数
北海道	63	22

■北海道  
札幌手稲 / 札幌旭丘 / 札幌藻岩 / 小樽湖陵 / 旭川東 / 旭川北 / 名寄 / 北見北斗 / 帯広柏葉 / 釧路湖陵 / 北広島 / 札幌国際情報 / 紋別 / 函館 / 立命館慶祥 / 武修館

東北	志願者数	合格者数
青森	34	6
岩手	25	6
宮城	54	18
秋田	18	9
山形	21	7
福島	55	19

■青森県  
弘前中央 / 八戸 / 五所川原

■岩手県  
盛岡第一 / 花巻 / 黒沢尻北 / 不来方 / 盛岡中央

■宮城県  
仙台第一 / 仙台第二 / 仙台第三 / 石巻 / 泉 / 宮城第一 / 仙台南 / 泉館山 / 仙台青陵 / 仙台育英学園

■秋田県  
秋田 / 秋田北 / 秋田南 / 本荘 / 由利 / 横手

■山形県  
山形南 / 山形西 / 酒田東 / 日本大学山形

■福島県  
福島（県立） / 安積 / 安積黎明 / 会津学園 / 磐城 / 磐城桜が丘 / 郡山 / 石川（私立）

関東	志願者数	合格者数
茨城	96	29
栃木	53	19
群馬	69	17
埼玉	76	19
千葉	79	31
東京	581	136
神奈川	1,243	425

■茨城県  
日立第一 / 太田第一 / 水戸第一 / 水戸第二 / 緑岡 / 下妻第一 / 古河第三 / 日立北 / 牛久栄進 / 茨城 / 水城 / 土浦日本大学 / 江戸川学園取手 / 茗溪学園 / 常総学院 / 岩瀬日本大学 / ルネサンス

■栃木県  
宇都宮東 / 宇都宮女子 / 宇都宮中央女子 / 鹿沼 / 石橋 / 栃木 / 栃木女子 / 足利女子 / 大田原 / 宇都宮北 / 宇都宮短期大学附属 / 矢板中央

■群馬県  
前橋女子 / 高崎女子 / 太田女子 / 渋川女子 / 前橋東 / 中央 / 四ツ葉学園 / 高崎商科大学附属 / 東京農業大学第二 / ぐんま国際アカデミー高等部

■埼玉県  
筑波大学附属坂戸 / 熊谷 / 浦和第一女子 / 不動岡 / 越ヶ谷 / 大宮 / 浦和（市立） / 和光国際 / 淑徳と野 / 武南 / 栄東 / 昌平 / 獨協埼玉 / 春日部共栄 / 開智 / 川越東

■千葉県  
千葉南 / 船橋（県立） / 東葛飾 / 柏（県立） / 佐原 / 長生 / 木更津 / 千葉（市立） / 千城台 / 柏の葉 / 成田 / 市川 / 麗澤 / 千葉英和 / 八千代松陵 / 渋谷教育学園幕張 / 昭和学院秀英

■東京都  
東京工業大学附属科学技術 / 筑波大学附属 / 筑波大学附属駒場 / 東京学芸大学附属 / 東京学芸大学附属国際 / 青山 / 清瀬 / 小山台 / 小松川 / 昭和 / 新宿 / 竹早 / 立川 / 調布北 / 戸山 / 西 / 白鷗 / 八王子東 / 日比谷 / 富士 / 文京 / 保谷 / 町田 / 武蔵（都立） / 目黒（都立） / 両国 / 城東 / 武蔵野北 / 日野台 / 国際 / 小石川 / 桜修館 / 九段 / 立川国際 / 南多摩 / 三鷹 / 麹町学園女子 / 女子学院 / 白百合学園 / 雙葉 / 三輪学園 / 麻布 / 広尾学園 / 頌栄女子学院 / 実践女子学園 / 渋谷教育学園渋谷 / 見華学園 / 学習院高等科 / 都文館グローバル / 桜蔭 / 京華 / 駒込 / 桜丘 / 成立学園 / 東京成徳大学 / 開成 / 攻玉社 / 品川女子学院高等部 / 青稜 / 明徳学院 / トキワ松学園 / 多摩大学目黒 / 大森学園 / 田園調布学園高等部 / 聴友学園女子 / 成成学園女子 / 駒澤大学 / 駒場東邦 / 昭和女子大学附属昭和 / 東京農業大学第一 / 東京都市大学等々力 / 東京都市大学付属 / 実践学園 / 大妻中野 / 国学院大学久我山 / 淑徳巣鴨 / 豊島岡女子学園 / 本郷 / 八王子学園八王子 / 桜美林 / 錦城 / 桐朋 / 吉祥女子

■神奈川県  
鶴見 / 横浜翠嵐 / 横浜平沼 / 横浜緑ヶ丘 / 光陵 / 希望ヶ丘 / 港北 / 川和 / 市ヶ尾 / 柏陽 / 松陽 / 金井 / 瀬谷 / 多摩 / 横浜貫（県立） / 横浜貫大津 / 追浜 / 平塚江南 / 鎌倉 / 湘南 / 小田原 / 茅ヶ崎北陵 / 相模原（県立） / 秦野 / 厚木 / 大和 / 大磯 / 南 / 桜丘 / 金沢 / 戸塚 / 東 / 橋 / 横浜商業 / 川崎総合科学 / 氷取沢 / 大船 / 秦野望屋 / 神奈川総合 / みなと総合 / 横浜国際 / 弥栄 / 横浜栄 / 平塚 / 相模原 / 横浜サイエンスフロンティア / フェリス学院 / 横浜雙葉 / 横浜共立学園 / 横浜学院 / 中央大学附属横浜 / 聖光学院 / 関東学院 / 青山学院横浜英和 / 浅野 / 神奈川学園 / 横浜創英 / 捜真女子学校高等学部 / 白鷗女子 / 法政大学女子 / 横浜商科大学 / 慶應義塾 / 桐蔭学園 / 日本大学 / 関東学院六浦 / 横浜 / 山手学院 / 三浦学院 / 横浜学院 / カリタス女子 / サレジオ学院 / 洗足学園 / 平塚学園 / 栄光学園 / 鎌倉学園 / 鎌倉女子学院 / 北鎌倉女子学園 / 清泉女子学院 / 鶴沼 / 湘南工科大学附属 / 湘南学園 / 湘南白百合学園 / 日本大学藤沢 / 藤沢学園藤沢 / 向上 / 相洋 / 聖和学院 / 逗子開成 / 神奈川大学附属 / 横浜華人 / 桐光学園 / 森村学園高等部 / 横浜翠嵐 / 公文国際学園高等部 / 桐蔭学園（中等教育学校）

# 学費・奨学金

## 学費等

◆は毎年納入となります。（2018年度実績／単位：円）

学部・学科		国際教養学部 国際商学部		理学部 データサイエンス学部		医学部			
		国際教養学部 国際商学部		理学部 データサイエンス学部		医学部医学科		医学部看護学科	
入学区分		市内 ※1	市外	市内 ※1	市外	市内 ※1	市外	市内 ※1	市外
学費	入学金	141,000	282,000	141,000	282,000	141,000	282,000	141,000	282,000
	施設設備費（初年度のみ）	25,000	50,000	25,000	50,000	150,000	200,000	25,000	50,000
	授業料 ※2 ◆	557,400		557,400		573,000		557,400	
	実験実習費（2年次以降） ※2 ◆	—		16,700		35,000		16,700	
	諸会費	2,000		2,000		2,000		2,000	
諸会費	学術研究会会費	2,000		2,000		2,000		2,000	
	後援会会費	50,000		50,000		50,000		50,000	
	進交会（同窓会）入会費	5,000		5,000		5,000		5,000	
	自治会入会費	3,000		3,000		3,000		3,000	
	自治会会費	12,000		12,000		18,000		12,000	
保険料 ※5	学生教育研究災害傷害保険保険料 ※3	3,300（4年間）		3,300（4年間）		4,800（6年間）		—	
	学生教育研究災害傷害保険付帯学生生活総合保険保険料 ※4	補償内容により 36,790～80,310（4年間）		補償内容により 36,790～80,310（4年間）		57,280～（6年間） [一人暮らし学生用] 49,020～（6年間） [自宅学生用]		—	
	日本看護学校協議会共済会保険料	—		—		—		7,000（1年間）	
生活協同組合出資金 ※6		30,000		30,000		30,000		30,000	
初年度納付金合計 ※7		795,400	961,400	795,400	961,400	942,000	1,133,000	795,400	961,400
入学時納付金合計 ※8		238,000	404,000	238,000	404,000	369,000	560,000	238,000	404,000

※1.入学区分の「市内」とは、入学の日の1年以上前（2018年4月1日）から引き続き本人またはその扶養義務者が横浜市内に住民票上の住所を有する場合に該当します。

※2.本学入学後に授業料・実験実習費が改定された場合は、改定後の授業料・実験実習費が適用されます。なお、授業料は分納（5月・10月）です。

※3.被保険者が正課、学校行事、学内での課外活動、届出した学外での課外活動中に傷害を受けた場合に対象となります。

任意加入ですが、授業等で実習を行う場合、受入先から加入を求められる場合があります。

※4.学校の内外を問わず、学生自身のケガのほか、他人に対する賠償事故や臨床実習における事故などを補償します。

※5.保険料は入学後のお支払いとなります。

※6.生活協同組合に加入する際は、出資金が必要です。（出資金は、卒業または退学時に返還されます）。

※7.「初年度納付金合計」は、保険料、生活協同組合出資金を除いた合計額です。

※8.「入学時納付金合計」は、入学金・施設設備費・諸会費の合計金額です。

### 諸会費とは

YCUでは、入学者の皆さんに学生生活の充実、福利厚生の上昇、教育・研究活動の援助を目的とした活動を行う各団体（学術研究会、後援会、進交会、自治会）への加入をお願いしています。

加入すると、各団体が行っているさまざまな支援（課外活動、就職関係、資格取得関係、留学関係、研究関係など）を受けることができます。

例えば、キャンパス内へのベンチの設置や学内のICT環境の整備などが後援会の助成により行われています。



## 奨学金・授業料減免

### ● 授業料減免制度

経済的理由により、授業料納付が著しく困難な方の年間授業料が全額又は半額免除される制度です。

家計基準や学業成績等を審査の上、本学予算の範囲内で経済的困窮度の高い方から順に全額・半額の免除額を決定します。（年度審査）

#### 減免制度適用者の声



ゼミ活動が非常に忙しいため、アルバイトができなかったが、授業料減免のおかげでゼミ活動に励むことができました。



アルバイト時間を減らすことができ、精神的余裕をもって勉学に励む環境を手に入れることができました。



交通費などに費用がかかるボランティア活動に参加することができ、今後生きる上で必要な事を学ぶ事ができました。



夏期休暇中に短期語学研修に参加することができました。

### ● 日本学生支援機構奨学金（貸与型/全学生の約30％が利用）

日本学生支援機構（旧日本育英会）が行う貸与型の奨学金です。

無利子の第一種奨学金と有利子の第二種奨学金があり、それぞれ貸与の条件・月額が異なりますので、詳細は日本学生支援機構のWebサイトをご確認ください。

申請方法は高等学校在学中の「予約採用」と、大学入学後の「在学定期採用」、家計が急変した場合の「緊急・応急採用」の三種類があり、申請後は家計基準・成績基準により審査が行われ、貸与の可否が決定されます。

（日本学生支援機構Webサイト）



### ● 各種団体奨学金（給付型・貸与型など/全学生の約2％が受給）

地方自治体や財団法人等各種団体が、学業・人物ともに優秀で経済支援が必要な方を対象に、給付または貸与する奨学金です。

申請要件・募集時期は奨学金ごとに異なりますので、本学Webサイト及び各種自治体・財団のWebサイトをご確認ください。

[過去に採用実績のある主な奨学金]

〈学部生〉小原白梅育英基金、JT国内大学奨学金、榎山奨学財団、佐藤奨学会等

〈大学院生〉吉田育英会マスター21、萬谷記念かながわ奨学基金、松尾金蔵記念奨学基金等

（本学Webサイト（各種団体奨学金））



## 在学中に家計が急変した際の本学独自の救済制度

### ● 緊急応急対応型授業料減免

主たる家計支持者の死亡、疾病、失業や学生の実家や自宅などが災害により著しい損壊を受けたことにより、経済的困窮に陥った場合に半期の授業料が免除される制度です。

### ● 災害見舞金

火災・地震・風水害により著しい被害を受けた学生に対しては、所定の審査の上、100,000円を限度（被害の程度により異なる）とした災害見舞金を給付します。

申請期限は事由発生後60日以内です。

# Q & A

## ■ 授業・単位に関する Q&A

Q.1 カリキュラム内容の説明にてくる各種用語の意味を教えてください。

### A

#### ■ セメスター制

1年を2つのセメスター（学期）に分け、原則として学期毎に単位の認定を行います。また、セメスター毎に、週1コマ2単位科目と週3コマ3単位科目を併存させるなど、本学では柔軟な授業単位制を採用しています。

#### ■ クォーター科目

通常の授業期間（15週）の半分で授業を行う科目。通常の半期科目であれば、週1回の授業内容を週2回のペースで行います。

#### ■ ゼミ

ゼミナール（演習）の略。おおむね5～20人程度の少人数で担当教員を囲んで、テーマを掘り下げながら勉強していく授業形態のこと。学生主体で研究発表とディスカッションを中心に進めていきます。

#### ■ 単位

すべての科目には、学修量の目安となる「単位数」が決められています。週1コマ（1コマの授業時間は90分）の授業を1学期（前期または後期）行くと、原則として1単位または2単位が与えられます。なお、単位は授業時間外学修（自習）を組み合わせることを前提に成り立っています。

#### ■ カリキュラム

大学が用意したさまざまな授業科目の総称。ただし、それらの科目は高校時代のように、あらかじめ時間割が決められているものではなく、学生自らが時間割を組みます。通常、学期始めに自分が学ぶべき科目を選択し、大学に申請・登録（履修登録）を行います。

#### ■ TOEFL

英語を母国語としない人々の英語力を測る試験。おもに、米国・カナダの大学に留学を希望する外国人学生が、その大学での授業についていける英語力を有しているかを評価するために、実施されています。ちなみに留学するために必要なのはTOEFL-iBT 79点以上といわれています。

#### ■ 単位互換制度

単位互換とは、大学が相互に単位互換協定を締結し、これらの大学に所属する学生が、他の大学の授業科目を履修し、そこで取得した単位を所属する大学の単位として認める制度です。本学（学部）では市内11大学との間で、大学院では神奈川県内30大学の間で単位互換を行っています。

#### ■ 単位認定制度

他大学で取得した単位を自大学の単位として認める制度です。本学（学部）では、30単位以内を基本に学則で定められた単位数を超えない範囲で認定されることがあります。

#### ■ インターンシップ

学生が在学中に自らの学修内容や将来の進路などに関連した企業や団体などで就業体験を行うことです。



Q.2 教員免許状は取得できますか？

### A

データサイエンス学部では、所定の科目を履修し、教育実習などを行うと大学の中学校教諭一種および高等学校教諭一種の免許状を取得できます。また、生命ナノシステム科学研究科と生命医科学研究科では、理科の第一種免許状を持っている方は、所定の科目を履修することで、理科の中学校教諭専修および高等学校教諭専修の免許状を取得することができます。国際教養学部（英語）および理学部（理科）については、教員免許状が取得できるよう、現在、文部科学省へ教職課程認定申請中です。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。【注意】国際商学部については、教員免許状は取得できません。

学部	取得可能な免許教科
データサイエンス学部	数学

Q.3 医学部看護学科では、保健師の受験資格を得ることはできますか？

### A

一定の条件の元で可能です。看護学科では、保健師国家試験受験資格は選択制となっており、学年の概ね3割を上限としています。保健師国家試験受験資格を希望する人は、大学卒業に必要な所定の単位に加えて、保健師教育課程の所定の単位を履修する必要があります。なお、定員を超える希望者があった場合は選抜となります。

Q.4 教科書などのテキスト代はどのくらいかかりますか？

### A

学年や学部によって異なりますが、目安として1年次前期に購入が必要なテキストは以下のとおりです。

教科書・テキスト等	金額
ブラクティカル・イングリッシュ	約10,000円
教養ゼミ指定	約10,000円～30,000円
参考書	約1,000円～20,000円
推薦図書	約10,000円
合計金額	約36,000円～75,000円

Q.5 大学を卒業するために必要なことは何ですか？

### A

大学に定められた期間（原則として4年間、医学科は6年間）在学し、必要な授業科目を履修することが必要です。卒業に必要な授業科目の履修については、各学科で定められています。各授業科目には、内容に応じて単位数が設定されており、卒業に必要な科目を履修し、単位を修得していきます。

学部・学科	単位数
国際教養学部	124単位
国際商学部	124単位
理学部	124単位
データサイエンス学部	124単位
医学部医学科	201単位
医学部看護学科	124単位

## ■ 入試・その他に関する Q&A

Q.1 合格に必要なセンター試験の得点率の目安はどのくらいですか？

### A

年度により異なりますが、2018年度公募推薦入試および一般選抜の合格最低点・合格者平均点を掲載していますのでそちらを参考にしてください。

P.118～120

Q.2 2次試験の会場はどこですか？また、試験会場の下見はできますか？

### A

本学の2次試験は、すべて金沢八景キャンパスで行います。試験会場の確認については、各試験日前日の13時以降に学内の掲示板で試験室の位置を確認することができます。ただし、試験を実施する建物への立ち入りはできません。



Q.3 キャンパス見学はできますか？

### A

金沢八景キャンパスは自由に見学することができます。ただし、校舎内への立ち入りや、授業の見学は原則としてご遠慮いただいています。複数名での見学を希望される場合や、個別のご相談を希望される場合は、事前にアドミッションセンターまでお問い合わせください。なお、福浦キャンパス（医学部）は、構内の見学はご遠慮いただいています。福浦キャンパス内の見学を希望される場合は、夏のオープンキャンパス、秋の大学祭などの一般公開イベントにお越しください。

P.129



Q.4 入学手続の際に、授業料の納入は必要ですか？

### A

いいえ。授業料の納入は、入学後（5月と10月）になります。入学手続の際に納入が必要なのは、入学金・施設設備費・諸会費です。

P.124

Q.5 入学手続時納付金の返還制度はありますか？

### A

入学手続後、やむを得ない事情により入学できなくなった場合、所定の期日までに入学辞退の申し出を行えば、入学金以外の既納付金を返還します。

Q.6 横浜市内在住者に対する受験の際の特別措置等がありますか？

### A

出願から合否判定まで、受験生の住所・居住地による特別措置等はありません。ただし、横浜市内在住者については、入学金および施設設備費の金額が割引になります。

Q.7 身体に障害がありますが、入試の際に自動車での入構や車椅子での受験など、障害等の状況に応じた配慮をうけることができますか？

### A

入学後の対応を含めて、出願前の事前相談を承ります。障害者手帳や診断書、大学入試センター試験の配慮事項決定通知（出願している場合）などをもとに、本学での対応可能な配慮事項を検討して回答いたします。

Q.8 受験の際に宿泊施設は紹介してもらえますか？

### A

横浜市立大学生協同組合（生協）で、受験生のための宿泊先を紹介しています。受験宿泊に最適な大学近くの提携ホテルにあらかじめ部屋を予約していますので、安心して入試に専念できます。通常料金よりも安く、受験日2週間前まで申し込みを受け付けます。ただし、例年1月初旬頃から満室になることもありますので、早めに生協 Web サイトをご覧ください、メール・郵便・FAX でお申し込みください。

横浜市立大学生協 Web サイト <http://www.univcoop.jp/ycu/>



Q.9 在学生の保護者を対象とした学生生活の説明会や相談会がありますか？

### A

本学では毎年、在学生の保護者を対象に「保護者説明会」を開催しています。金沢八景・福浦の各キャンパスでの開催に加え、地方でも順次開催しています。本学の取り組みや学生生活、留学、また就職支援などについてご理解いただく機会としています。個別のご相談も受けしていますので、ぜひご参加ください。

# 学生募集要項等の請求方法

## ■テレメールで請求する

願書・資料の請求方法  インターネットか自動音声応答電話でご請求ください。

1

テレメールに **アクセス** してください

パソコン・スマホ・ケータイなら



**http://telemail.jp**

自動音声応答電話なら



**050-8601-0101** 24時間受付

※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約11円です。  
※住所・氏名等の登録時は、ゆっくり・はっきりとお話ください。登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

ご希望の資料の **資料請求番号** を入力してください

資 料 名	資料請求番号	料金(送料含)	発送開始予定
入学者選抜要項	582620	180円	6月下旬
AO入試学生募集要項	582610	180円	7月下旬
一般選抜第2次試験問題・解説集	562580	180円	7月下旬
一般選抜/公募推薦学生募集要項(国際教養学部・国際商学部・理学部)	562280	215円	11月上旬
一般選抜学生募集要項(データサイエンス学部)	623600	215円	11月上旬
一般選抜学生募集要項(医学部 医学科)	582280	180円	11月上旬
一般選抜学生募集要項(医学部 看護学科)	582480	140円	11月上旬

※料金はお届けする資料に同封の支払方法に従い、資料到着後1週間以内に表示料金をお支払いください。  
支払い方法は「ゆうちょ銀行・郵便局での払込み」「コンビニ支払い」「ケータイ払い(携帯電話通話料金と一緒にのお支払い)」「クレジットカード払い」がご利用になれます。  
なお、支払いに際して手数料が別途必要になります(ケータイ払い、クレジットカード払いは50円。コンビニ支払いは86円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは80円、窓口扱いは130円)。  
料金は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

2

上記のバーコードからアクセスした場合、資料請求番号の入力は不要



3

ガイダンスに従って **お届け先等** を登録してください

※テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。  
※資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

4

資料は1～2日で届きます

※発送開始日より前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。  
※予約受付の資料を除き、おおむね1～2日で資料が届きます。ただし受付時間や地域、配達事情によっては3日以上かかる場合もあります。また発送開始日が変更になる可能性もあります。  
なお、5日以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。

テレメールでの資料請求における資料のお届け・個人情報に関するお問合せ・お申し出先

**テレメールカスタマーセンター** IP電話 050-8601-0102  
(受付時間 9:30～18:00) ※テレメールカスタマーセンターは、株式会社フロムページが管理運営しています。

## ■「モバっちょ」で請求する

スマホ・ケータイ・パソコンから請求できます。  
下記URLにアクセスするか、スマホ・ケータイで右のバーコードを読み取ってください。

資料請求サイト



**http://djcm-b.jp/yokohama-cu2/**



「モバっちょ」

◇入学者選抜要項・各種学生募集要項：各250円

〈料金の支払い方法〉

請求時払い	携帯払い、スマホ払い、クレジットカード払いができます。(支払手数料は別途50円必要です。) ※携帯電話・スマホの機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒にお支払できない場合があります。その場合は、コンビニ後払いを選択してください。
後払い	資料到着後、コンビニでお支払いください。(支払手数料は別途126円必要です。)

「モバっちょ」での請求方法についてのお問合せ先 **大学情報センター株式会社** **モバっちょカスタマーセンター** ☎ **050-3540-5005** (平日10:00～18:00)

## ■直接受け取る

金沢八景キャンパス正門守衛所にて、募集要項等各種案内書を24時間受け取ることができます。  
※配布開始日はテレメールの発送開始に準じます。

# 知る見る学ぶ YCU

YCUでは、受験生はもちろん、高校1・2年生、保護者の皆様に向けたさまざまな情報発信を行っています。  
オープンキャンパスや大学祭、全国で開催される進学相談会で皆様のご参加をお待ちしています。

## ■オープンキャンパス ※事前のご予約をお願いしています。予約方法および最終のプログラムにつきましてはWebサイトにてご確認ください。

夏のオープンキャンパス

8/7 **火**

理学部・データサイエンス学部  
▶ 金沢八景キャンパス

●学部説明会 ●入試説明会 ●AO入試説明会 ●研究室見学 ●模擬授業  
●入試相談コーナー ●キャンパスツアー ●学生による相談コーナー など

8/8 **水**

国際教養学部・国際商学部・データサイエンス学部  
▶ 金沢八景キャンパス

●学部説明会 ●入試説明会 ●AO入試説明会 ●模擬授業 ●入試相談コーナー  
●キャンパスツアー ●学生による相談コーナー など

8/25 **土**

医学部 医学科  
▶ 福浦キャンパス

●学科説明会 ●入試説明会 など

8/26 **日**

医学部 看護学科  
▶ 福浦キャンパス

●学科説明会 ●入試説明会 ●模擬授業 ●専門領域の展示コーナー  
●キャンパスツアー ●学生による相談コーナー など

夏の進学説明会

7/1 **日**

全学部全学科  
▶ 金沢八景キャンパス

●入試説明会 ●AO入試説明会 ●キャンパスツアー など

施設公開・講演会 ※予約不要

8/4 **土**

木原生物学研究所一日施設公開・講演会  
▶ 舞岡キャンパス [10:00～15:30]

●研究紹介 ●展示 ●実験 ●入試説明会 など

## ■大 学 祭 2つの大学祭で《YCU》の雰囲気を楽しんでください

浜大祭

**11/3 **土**～4 **日****  
▶ 金沢八景キャンパス



Yokohama Medical Festival

**11/10 **土**～11 **日****  
▶ 福浦キャンパス



## ■進学相談会

北海道	札幌	7月 28日(土)	ACU-A
	札幌*	8月 24日(金)	札幌パークホテル
	札幌*	11月 13日(火)	札幌パークホテル
	札幌*	11月 13日(火)	札幌パークホテル
青森県	八戸*	9月 4日(火)	八戸プラザアーバンホール
	仙台*	9月 13日(木)	仙台サンプラザホール
	秋田*	9月 7日(金)	アルヴェ
	郡山*	9月 11日(火)	郡山ビューホテルアネックス
茨城県	水戸*	9月 18日(火)	水戸プラザホテル
	宇都宮*	9月 5日(水)	マロニエプラザ
	高崎*	9月 21日(金)	高崎アリーナ
	大宮*	11月 13日(火)	ソニックシティ
東京都	池袋	6月 17日(日)	サンシャインシティ
	新宿	6月 17日(日)	新宿エルタワー【看護学科対象】
	池袋	7月 8日(日)	サンシャインシティ
	池袋	7月 8日(日)	サンシャインシティ【留学生対象】
	有明	7月 14日(土)	東京ビッグサイト
	丸の内	7月 16日(月)	JPタワーホール【医学科対象】
	水道橋	7月 22日(日)	東京ドームシティプリズムホール
	有明	8月 21日(火)	東京ビッグサイト
	新宿*	9月 15日(土)	新宿エルタワー
	新宿*	11月 10日(土)	新宿NSビル
	横浜	6月 17日(日)	メディカルラボ横浜【医学科対象】
	横浜	7月 14日(土)	新都市ホール【データサイエンス学部・理学部対象】
神奈川県	横浜	7月 17日(火)	パシフィコ横浜
	横浜	7月 29日(日)	パシフィコ横浜
	横浜*	9月 1日(土)	新都市ホール
	横浜	9月 30日(日)	パシフィコ横浜
	横浜*	11月 7日(水)	新都市ホール
	新潟	8月 18日(土)	朱鷺メッセ
新潟県	新潟	8月 18日(土)	朱鷺メッセ
長野県	長野*	9月 13日(木)	ホテルメルパルク長野
	松本*	9月 14日(金)	ホテルブエナビスタ
長野県	松本*	12月 11日(火)	ホテルブエナビスタ
	長野*	12月 12日(水)	ホテルメトロポリタン長野
富山県	富山*	9月 11日(火)	ANAクラウンプラザホテル富山
石川県	金沢	9月 2日(日)	TKP金沢新幹線口会議室
	金沢*	9月 12日(水)	金沢駅までなしドーム
福井県	福井*	9月 13日(木)	フェニックス・プラザ
岐阜県	岐阜*	9月予定	じゅうるくプラザ
静岡県	静岡*	9月 12日(水)	ツインメッセ静岡
愛知県	名古屋	6月 24日(日)	吹上ホール
	名古屋	7月 16日(月)	名古屋国際会議場
	名古屋	7月 28日(土)	ポートメッセなごや
	名古屋	8月 19日(日)	名古屋国際会議場
京都府	京都*	9月 25日(火)	メルパルク京都
	大阪	7月 8日(日)	コングレコンベンションセンター
大阪府	大阪	7月 14日(土)	大阪国際会議場
	大阪	9月 24日(月)	ハービスホール【医学科対象】
兵庫県	神戸	9月 1日(土)	TKP神戸三宮カンファレンスセンター
岡山県	岡山*	9月 12日(水)	岡山コンベンションセンター
広島県	広島	7月 8日(日)	NTTクレドホール
	広島	7月 16日(月)	TKPガーデンシティ広島
山口県	山口*	12月 11日(火)	維新百年記念公園レクチャーホール
香川県	高松*	9月 19日(水)	レグザムホール
愛媛県	松山*	9月 20日(木)	松山市総合コミュニティセンター体育館
高知県	高知*	9月 26日(水)	ザ・クラウンパレス新阪急高知
福岡県	博多	7月 15日(日)	TKPカンファレンスシティ
	博多	8月 9日(木)	福岡国際会議場
長崎県	長崎*	9月 18日(火)	長崎新聞文化ホール
熊本県	熊本*	9月 12日(水)	ホテル日航熊本
大分県	大分*	9月 21日(金)	トキハ会館
宮崎県	宮崎*	9月 26日(水)	MRT micc
鹿児島県	鹿児島*	9月 14日(金)	ジェイドガーデンパレス

※開催都市名に\*がついている相談会は資料参加となります。  
※日程・会場等は変更になる場合があります。また、その他の日程・会場が追加になる場合もあります。詳細は本学Webサイトにてご確認ください。

スマホ・ケータイで

**YCUの各種情報をチェック!**

「がんばれ国公立大学受験生!!」サイトから、入試をはじめとする本学の情報を見ることができます。  
メールマガジンの登録をすれば、本学からのお知らせが自動的に配信されます。  
情報サイトの利用料もメールマガジンの登録料も無料(通信料は除く)です。ぜひご利用ください!

**http://ycu.jp/**



128

129